

## 第12章 環境影響評価準備書からの相違点

環境影響評価書の作成にあたっては、環境影響評価法第20条1項に基づく東京都知事意見を勘案するとともに、同法第18条第1項に基づく環境の保全の見地からの意見に配慮して、環境影響評価準備書の記載事項について検討を加え、必要な追記・修正を行った。

環境影響評価準備書からの主な相違点を、表12-1に示す。

なお、表現の適正化及び誤字・脱字等の訂正については、適宜行っている。

表 12-1(1) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 3-16 (3) 各施設	—	追記
p. 3-18 図 3-4-5 地下駅の概要 (平面図)	—	追記
p. 3-20 4) 換気施設等	また、本線及び換気施設の関連設備を置く設備棟を併設する。	また、 <u>防災・非常用設備、換気施設等関連設備、受電・配電設備、機器監視設備等の本線及び換気施設の関連設備を置く設備棟を併設する。この設備棟はコンクリート等の堅固な壁で覆うなど、屋外へ機器等が露出することがない構造となっている。</u>
p. 5-1-1~15 5-1 計画段階配慮事項	—	追記
p. 7-29 表 7-2-1(12) 環境影響評価項目に係る調査、予測及び評価の手法並びにその選定理由	(工事の実施・存在及び供用、調査の基本的な手法) 鳥類 (一般鳥類) : 5回 (春季、繁殖期、夏季、秋季、冬季)	(工事の実施・存在及び供用、調査の基本的な手法) 鳥類 (一般鳥類) : 5回 (春季、繁殖期、夏季、秋季、冬季) <u>繁殖期とは個別の鳥類の繁殖する時期を意味するものではなく、春季と夏季の間の期間を言う。</u>
p. 7-37~43 7-2-2 予測及び評価の前提とする区域	—	追記

表 12-1(2) 環境影響評価準備書からの主な相違点

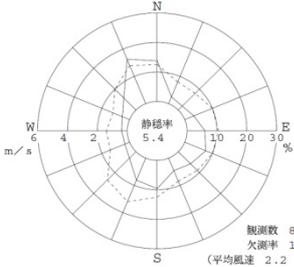
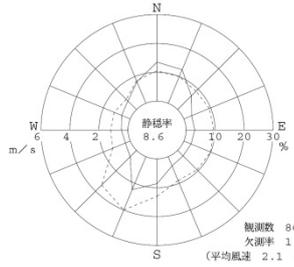
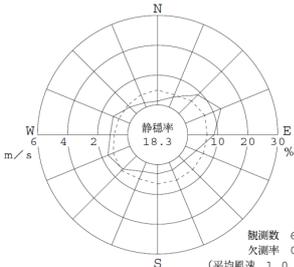
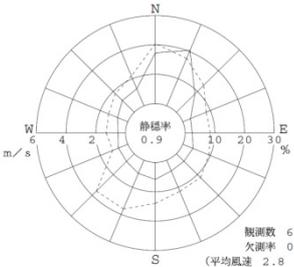
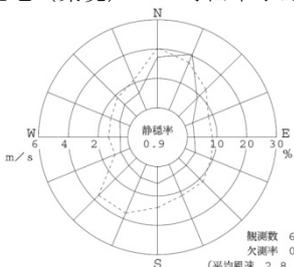
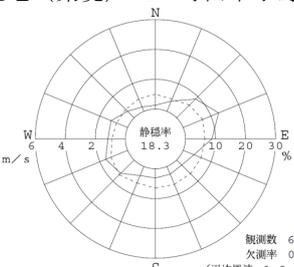
評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 7-46 表 7-3-1(3) 主な技術的助言の内容</p>	<p>(動物、魚類、底生動物、大学、技術的内容の助言)  <ul style="list-style-type: none"> <li>里山の河川やため池に生息する魚類の生息環境の把握に努める必要がある。</li> <li>濁水の処理にあたっては、適切な大きさの沈砂池を設置する必要がある。</li> </ul> </p>	<p>(動物、魚類、底生動物、大学、技術的内容の助言)  <ul style="list-style-type: none"> <li>里山の河川やため池に生息する魚類の生息環境の把握に努める必要がある。</li> <li>濁水の処理にあたっては、適切な大きさの沈砂池を設置する必要がある。</li> <li><u>地下水位の低下により沢や湿地への影響が生じる恐れがある場合にあっては、山岳トンネル上部に位置する沢や湿地を対象に、工事前に代表的な地点を選定し、動植物の状況を把握しておくとともに、工事中は流量観測等により減水の傾向をつかみ、工事による影響が懸念される場合は、該当する沢や湿地について、詳細なモニタリングを系統的に実施する必要がある。</u></li> </ul> </p>
<p>p. 8-1-1-3 表 8-1-1-4(2) 現地調査地点 (道路沿道大気)</p>	<p>(地点番号 01、計画施設) 非常口(都市部)01 変電施設</p>	<p>(地点番号 01、計画施設) <u>地下駅</u> 非常口(都市部)01 変電施設</p>
<p>p. 8-1-1-13 図 8-1-1-3(2) 風配図</p>	<p>(文献(気象)05 町田市能ヶ谷)</p>  <p>観測数 8645 欠測率 1.3 % (平均風速 2.2 m/s)</p>	<p>(文献(気象)05 町田市能ヶ谷)</p>  <p>観測数 8676 欠測率 1.0 % (平均風速 2.1 m/s)</p>
<p>p. 8-1-1-14 図 8-1-1-4(1) 風配図</p>	<p>(現地(環境)03 川崎市麻生区片平)</p>  <p>観測数 672 欠測率 0.0 % (平均風速 1.0 m/s)</p>	<p>(現地(環境)03 川崎市麻生区片平)</p>  <p>観測数 672 欠測率 0.0 % (平均風速 2.8 m/s)</p>
<p>p. 8-1-1-14 図 8-1-1-4(1) 風配図</p>	<p>(現地(環境)04 町田市小野路町)</p>  <p>観測数 672 欠測率 0.0 % (平均風速 2.8 m/s)</p>	<p>(現地(環境)04 町田市小野路町)</p>  <p>観測数 672 欠測率 0.0 % (平均風速 1.0 m/s)</p>

表 12-1 (3) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-1-1-17 表 8-1-1-9(1) 一酸化窒素、二酸化窒素及び窒素酸化物の測定結果	(地点番号 07、年平均値) 0.024	(地点番号 07、年平均値) 0.024 <u>(0.023)</u>
	(地点番号 08、年平均値) 0.023	(地点番号 08、年平均値) 0.023 <u>(0.020)</u>
	—	<u>注 2. 地点番号 07、08 は、年平均値の () 内に平成 24 年度に測定されたデータを示した。</u>
p. 8-1-1-18 表 8-1-1-9(2) 一酸化窒素、二酸化窒素及び窒素酸化物の測定結果	(地点番号 07、窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) の年平均値) 0.039	(地点番号 07、窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) の年平均値) 0.039 <u>(0.034)</u>
	(地点番号 08、窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) の年平均値) 0.047	(地点番号 08、窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) の年平均値) 0.047 <u>(0.041)</u>
	—	<u>注 2. 地点番号 07、08 は、年平均値の () 内に平成 24 年度に測定されたデータを示した。</u>
p. 8-1-1-19 表 8-1-1-10 浮遊粒子状物質の測定結果	環境基準の長期的評価による日平均値が 10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数	環境基準の長期的評価による日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数
	(地点番号 07、年平均値) 0.018	(地点番号 07、年平均値) 0.018 <u>(0.018)</u>
	(地点番号 08、年平均値) 0.020	(地点番号 08、年平均値) 0.020 <u>(0.017)</u>
—	<u>注 2. 地点番号 07、08 は、年平均値の () 内に平成 24 年度に測定されたデータを示した。</u>	
p. 8-1-1-25 ② 予測式	z : x 軸及び y 軸に直角な距離 (m)	z : x 軸に <u>直角な鉛直</u> 距離 (m)
p. 8-1-1-27 ② 予測式	<p>なお、地形が平坦でない場合は、地形の影響を考慮するために、図 8-1-1-6 に示す ERT (Environmental Research Technology Inc.) の PSDM (Point Source Diffusion Model) を用いた。このモデルでは計算地点の標高と煙突基部の標高差を h としたときに、煙流の中心位置の高さ He” は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標高 h が有効煙突高 He より低い場合は (下図では h<sub>1</sub> の例)、He-h/2 をブルーム中心軸の地表からの高さとする。</li> <li>・標高 h が有効煙突高 He より高い場合は (下図では h<sub>2</sub> の例)、He/2 をブルーム中心軸の地表からの高さとする。</li> </ul>	<p>地形の影響を考慮するために、図 8-1-1-6 に示す ERT (Environmental Research Technology Inc.) の PSDM (Point Source Diffusion Model) を用いた。このモデルでは計算地点の標高と煙突基部の標高差を h としたときに、煙流の中心位置の高さ He” は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標高 h が有効煙突高 He より低い場合は (下図では h<sub>1</sub> の例)、He-h/2 をブルーム中心軸の地表からの高さとする。</li> <li>・標高 h が有効煙突高 He より高い場合は (下図では h<sub>2</sub> の例)、He/2 をブルーム中心軸の地表からの高さとする。</li> </ul> <p><u>なお、本予測では東京都内全ての予測地点において ERT の PSDM モデルを採用した。</u></p>

表 12-1(4) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																												
準備書 p. 8-1-1-30～31 図 8-1-1-7 予測地点 (環境)	予測地点 (環境)	削除																																																																																												
p. 8-1-1-30 e) 予測対象時期	予測地点別の予測対象時期を表 8-1-1-16 に示す。	予測地点別の予測対象時期を表 8-1-1-16 に示す。 地上部工事における建設機械の稼働は、 日稼働時間を 8～17 時 (12 時台を除く) の 8 時間/日、月稼働日数は 22 日/月と想定し た。トンネル・地下駅工事における建設機 械の稼働は 24 時間稼働を前提とするど もに、月稼働日数は 22 日/月 (地下駅は 23 日/月) と想定した。																																																																																												
p. 8-1-1-31 g) 気象条件及びバック グラウンド濃度の設定	g) バックグラウンド濃度の設定 バックグラウンド濃度は、現地調査結 果を基に表 8-1-1-18 に示すとおり設定 した。	g) 気象条件及びバックグラウンド濃度の 設定 予測に用いる風向・風速データは、一般 環境大気測定局と現地調査結果との間で 高い相関が確認された場合は一般環境大 気測定局のデータを補正して用い、そう でない場合は現地調査結果を用いた。 日射量及び雲量は東京管区気象台のデー タ、バックグラウンド濃度は一般環境大 気測定局のデータ又は現地調査結果を基 に設定した。 予測に使用した気象及び大気質のデー タを表 8-1-1-18 に示す。																																																																																												
p. 8-1-1-32 表 8-1-1-18 予測に使用 した気象及び大気質 データ	<p style="text-align: center;"><b>表 8-1-1-18 予測に用いたバックグラウンド濃度</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点 番号</th> <th>使用したデータ</th> <th>窒素酸化物 (ppm)</th> <th>二酸化窒素 (ppm)</th> <th>浮遊粒子状物質 (<math>\mu\text{g}/\text{m}^3</math>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>文献 (大気) 02</td> <td>0.054</td> <td>0.029</td> <td>0.023</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>現地 (環境) 01</td> <td>0.036</td> <td>0.024</td> <td>0.022</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>現地 (環境) 02</td> <td>0.028</td> <td>0.021</td> <td>0.019</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>現地 (環境) 03</td> <td>0.013</td> <td>0.011</td> <td>0.019</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>現地 (環境) 04</td> <td>0.017</td> <td>0.013</td> <td>0.019</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>現地 (環境) 05</td> <td>0.017</td> <td>0.014</td> <td>0.017</td> </tr> </tbody> </table>	地点 番号	使用したデータ	窒素酸化物 (ppm)	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	01	文献 (大気) 02	0.054	0.029	0.023	02	現地 (環境) 01	0.036	0.024	0.022	03	現地 (環境) 02	0.028	0.021	0.019	04	現地 (環境) 03	0.013	0.011	0.019	05	現地 (環境) 04	0.017	0.013	0.019	06	現地 (環境) 05	0.017	0.014	0.017	<p style="text-align: center;"><b>表 8-1-1-18 予測に使用した気象及び大気質データ</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点 番号</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">気象データ</th> <th colspan="4">大気質データ (バックグラウンド濃度)</th> </tr> <tr> <th>風向・風速</th> <th>日射量・ 雲量</th> <th>使用 データ</th> <th>窒素 酸化物 (ppm)</th> <th>二酸化 窒素 (ppm)</th> <th>浮遊 粒子状 物質 (<math>\mu\text{g}/\text{m}^3</math>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区港南</td> <td>文献 (気象) 02</td> <td rowspan="6">文献 (気象) 01-1</td> <td>文献 (大気) 02</td> <td>0.054</td> <td>0.029</td> <td>0.023</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>高川区金島山</td> <td>文献 (気象) 03 (現地 (環境) 01)</td> <td>現地 (環境) 01</td> <td>0.036</td> <td>0.024</td> <td>0.022</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>大田区東雲谷</td> <td>現地 (環境) 02</td> <td>現地 (環境) 02</td> <td>0.028</td> <td>0.021</td> <td>0.019</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>町田市栗ヶ谷</td> <td>文献 (気象) 04 (現地 (環境) 03)</td> <td>現地 (環境) 03</td> <td>0.013</td> <td>0.011</td> <td>0.019</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>町田市小野路町</td> <td>文献 (気象) 05 (現地 (環境) 04)</td> <td>現地 (環境) 04</td> <td>0.017</td> <td>0.013</td> <td>0.019</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>町田市上小山田町</td> <td>現地 (環境) 05</td> <td>現地 (環境) 05</td> <td>0.017</td> <td>0.014</td> <td>0.017</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>注 1 / 1 は、文献調査地点の最接近に用いた現地調査地点の番号を示す。 注 2 予測に用いた風向・風速の採源は「資料編 1-3 予測に用いる気象条件」を参照 注 3 日射量及び雲量のデータは「資料編 1-2 気象調査結果」を参照</small></p>	地点 番号	予測地点	気象データ		大気質データ (バックグラウンド濃度)				風向・風速	日射量・ 雲量	使用 データ	窒素 酸化物 (ppm)	二酸化 窒素 (ppm)	浮遊 粒子状 物質 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	01	港区港南	文献 (気象) 02	文献 (気象) 01-1	文献 (大気) 02	0.054	0.029	0.023	02	高川区金島山	文献 (気象) 03 (現地 (環境) 01)	現地 (環境) 01	0.036	0.024	0.022	03	大田区東雲谷	現地 (環境) 02	現地 (環境) 02	0.028	0.021	0.019	04	町田市栗ヶ谷	文献 (気象) 04 (現地 (環境) 03)	現地 (環境) 03	0.013	0.011	0.019	05	町田市小野路町	文献 (気象) 05 (現地 (環境) 04)	現地 (環境) 04	0.017	0.013	0.019	06	町田市上小山田町	現地 (環境) 05	現地 (環境) 05	0.017	0.014	0.017
地点 番号	使用したデータ	窒素酸化物 (ppm)	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )																																																																																										
01	文献 (大気) 02	0.054	0.029	0.023																																																																																										
02	現地 (環境) 01	0.036	0.024	0.022																																																																																										
03	現地 (環境) 02	0.028	0.021	0.019																																																																																										
04	現地 (環境) 03	0.013	0.011	0.019																																																																																										
05	現地 (環境) 04	0.017	0.013	0.019																																																																																										
06	現地 (環境) 05	0.017	0.014	0.017																																																																																										
地点 番号	予測地点	気象データ		大気質データ (バックグラウンド濃度)																																																																																										
		風向・風速	日射量・ 雲量	使用 データ	窒素 酸化物 (ppm)	二酸化 窒素 (ppm)	浮遊 粒子状 物質 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )																																																																																							
01	港区港南	文献 (気象) 02	文献 (気象) 01-1	文献 (大気) 02	0.054	0.029	0.023																																																																																							
02	高川区金島山	文献 (気象) 03 (現地 (環境) 01)		現地 (環境) 01	0.036	0.024	0.022																																																																																							
03	大田区東雲谷	現地 (環境) 02		現地 (環境) 02	0.028	0.021	0.019																																																																																							
04	町田市栗ヶ谷	文献 (気象) 04 (現地 (環境) 03)		現地 (環境) 03	0.013	0.011	0.019																																																																																							
05	町田市小野路町	文献 (気象) 05 (現地 (環境) 04)		現地 (環境) 04	0.017	0.013	0.019																																																																																							
06	町田市上小山田町	現地 (環境) 05		現地 (環境) 05	0.017	0.014	0.017																																																																																							
p. 8-1-1-33 表 8-1-1-20(1) 建設 機械の稼働による二酸 化窒素濃度の予測結果	(地点番号 05 最大濃度地点、寄与率 (%)) 40.8	(地点番号 05 最大濃度地点、寄与率 (%)) 40.9																																																																																												
p. 8-1-1-34 表 8-1-1-20(2) 建設 機械の稼働による浮遊 粒子状物質濃度の予測 結果	(地点番号 05 最大濃度地点、寄与率 (%)) 1.4	(地点番号 05 最大濃度地点、寄与率 (%)) 1.5																																																																																												
p. 8-1-1-35～36 図 8-1-1-7 調査結果 及び予測結果 (大気 質) [建設機械の稼働： 二酸化窒素、浮遊粒子 状物質]	—	追記																																																																																												
p. 8-1-1-37 a) 環境保全措置の検討 の状況	本事業では、計画の立案の段階において、「環境対策型の建設機械の使用」及び「工事規模に合わせた建設機械の設定」について検討した。	本事業では、計画の立案の段階において、「排出ガス対策型建設機械の採用」及び「工事規模に合わせた建設機械の設定」について検討した。																																																																																												

表 12-1 (5) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-1-1-37 表 8-1-1-21 環境保全措置の検討の状況	(排出ガス対策型建設機械の稼働、適否の理由) 排出ガス対策型建設機械を使用することにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できるため、環境保全措置として採用する。	(排出ガス対策型建設機械の採用、適否の理由) 最新の排出ガス対策型建設機械の使用に努めることにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できるため、環境保全措置として採用する。
	(工事規模に合わせた建設機械の設定、適否の理由) 適切な機械の設定により必要以上の建設機械の配置及び稼働を避けることで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できるため、環境保全措置として採用する。	(工事規模に合わせた建設機械の設定、適否の理由) 工事規模に合わせて必要以上の建設機械の規格、配置及び稼働とならないように計画することで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できるため、環境保全措置として採用する。
	(建設機械の点検及び整備による性能維持、適否の理由) 適切な点検及び整備により、建設機械の性能を維持することで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できるため、環境保全措置として採用する。	(建設機械の点検及び整備による性能維持、適否の理由) 法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、建設機械の性能を維持することで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できるため、環境保全措置として採用する。
	—	「揮発性有機化合物(以下、「VOC」という。)の排出抑制」を追記
p. 8-1-1-37 b) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容	本事業では、建設機械の稼働による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「排出ガス対策型建設機械の稼働」、「工事規模に合わせた建設機械の設定」、「建設機械の使用時における配慮」及び「建設機械の点検及び整備による性能維持」を実施する。	本事業では、建設機械の稼働による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「排出ガス対策型建設機械の採用」、「工事規模に合わせた建設機械の設定」、「建設機械の使用時における配慮」、「建設機械の点検及び整備による性能維持」及び「VOCの排出抑制」を実施する。
p. 8-1-1-37 表 8-1-1-22(1) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 排出ガス対策型建設機械を使用することにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。	(環境保全措置の効果) 最新の排出ガス対策型建設機械の使用に努めることにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。
p. 8-1-1-38 表 8-1-1-22(2) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な機械の設定により必要以上の建設機械の配置及び稼働を避けることで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。	(環境保全措置の効果) 工事規模に合わせて必要以上の建設機械の規格、配置及び稼働とならないように計画することで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。
p. 8-1-1-38 表 8-1-1-22(4) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な点検及び整備により、建設機械の性能を維持することで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。	(環境保全措置の効果) 法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、建設機械の性能を維持することで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。
p. 8-1-1-38 表 8-1-1-22(5) 環境保全措置の内容	—	追記

表 12-1(6) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-1-1-40 ①回避又は低減に係る評価</p>	<p>本事業では、建設機械の稼働に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の影響を低減させるため、表 8-1-1-22 に示した環境保全措置を確実に実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。</p>	<p>建設機械の稼働による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の予測結果及び現況値に対する寄与率の程度は表 8-1-1-20 に示すとおりである。  <u>二酸化窒素については、地点番号 05 (町田市小野路町) において最大濃度地点で寄与率 40.9%と最大となり、直近住居等の位置で寄与率 11.7%となる。また、その他の地点についても最大濃度地点で 14.4%～30.6%、直近住居等の位置で 0.2%～18.2%となる。</u>  <u>浮遊粒子状物質については、地点番号 01 (港区港南) において最大濃度地点で寄与率 15.6%と最大となり、直近住居等の位置で寄与率 0.2%となる。また、その他の地点についても最大濃度地点で 3.1%～10.7%、直近住居等の位置で 0.4%～1.6%となる。</u>  <u>なお、「資料編 1-5 使用する気象データの期間代表性及び地域代表性による誤差の程度について」に示すとおり、これら予測値には気象データの期間代表性及び地域代表性、バックグラウンド濃度の期間代表性に起因する誤差が考えられるものの、その影響は気象データについては二酸化窒素で寄与濃度の誤差が最大 38.5%程度、浮遊粒子状物質で寄与濃度の誤差が最大 32.3%程度、バックグラウンド濃度については二酸化窒素で概ね 0.001ppm 程度、浮遊粒子状物質で概ね 0.001 mg/m<sup>3</sup> 程度に収まると試算される。</u>            本事業では、これらの状況に加え、表 8-1-1-22 に示した環境保全措置を確実に実施することから、建設機械の稼働による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の環境影響について低減が図られていると評価する。</p>
<p>p. 8-1-1-41 表 8-1-1-24(2) 基準又は目標との整合の状況 (浮遊粒子状物質)</p>	<p>日平均値の 2%除外値</p>	<p>日平均値の年間 2%除外値</p>
<p>p. 8-1-1-42 a) 予測項目</p>	<p>窒素酸化物</p>	<p><u>二酸化窒素</u></p>
<p>p. 8-1-1-44 ②予測式</p>	<p>z : x 軸に直角な距離 (m)</p>	<p>z : x 軸に直角な鉛直距離 (m)</p>
<p>p. 8-1-1-46 表 8-1-1-25 予測地点</p>	<p>(地点番号 03、計画施設) 非常口(都市部)、変電施設</p>	<p>(地点番号 03、計画施設) <u>地下駅</u>、非常口(都市部)、変電施設</p>
<p>準備書 p. 8-1-1-45～46 図 8-1-1-9 予測地点 (沿道)</p>	<p>予測地点 (沿道)</p>	<p>削除</p>

表 12-1(7) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-1-1-47 e) 予測対象時期	予測地点別の予測対象時期を表 8-1-1-26 に示す。	予測地点別の予測対象時期を表 8-1-1-26 に示す。 <u>地上部工事における資材及び機械の運搬に用いる車両の運行時間は、8～17 時(12 時台を除く)の 8 時間/日、月稼働日数を 22 日/月と想定した。トンネル・地下駅工事における資材及び機械の運搬に用いる車両の運行時間は、24 時間稼働を前提とするとともに、月稼働日数は 22 日/月(地下駅は 23 日/月)と想定した。</u>
p. 8-1-1-47 表 8-1-1-26 予測対象時期	—	注. <u>地点番号 03 は、地下駅を基準とした予測対象時期とした。</u>
p. 8-1-1-47 表 8-1-1-27 資材及び機械の運搬に用いる車両等の台数	(地点番号 01、資材及び機械の運搬に用いる車両(年間発生台数)大型車) 170, 554 (地点番号 02、資材及び機械の運搬に用いる車両(年間発生台数)大型車) 19, 505 (地点番号 03、資材及び機械の運搬に用いる車両(年間発生台数)大型車) 304, 649 (地点番号 04、資材及び機械の運搬に用いる車両(年間発生台数)大型車) 29, 033	(地点番号 01、資材及び機械の運搬に用いる車両(年間発生台数)大型車) <u>10, 062</u> (地点番号 02、資材及び機械の運搬に用いる車両(年間発生台数)大型車) <u>86, 101</u> (地点番号 03、資材及び機械の運搬に用いる車両(年間発生台数)大型車) <u>242, 534</u> (地点番号 04、資材及び機械の運搬に用いる車両(年間発生台数)大型車) <u>28, 062</u>
p. 8-1-1-50 ④気象条件	風向は、地下駅を対象とする場合は一般環境大気測定局で測定されたデータ、その他の計画施設を対象とする場合で、一般環境大気測定局と現地調査結果との間に高い相関が確認された場合は一般環境大気測定局のデータ、相関が確認されなかった場合は現地調査結果のデータを用いた。 風速は、地下駅を対象とする場合は一般環境大気測定局で測定されたデータ、その他の計画施設を対象とする場合で、一般環境大気測定局と現地調査結果との間に高い相関が確認された場合は現地調査結果で補正した一般環境大気測定局のデータ、相関が確認されなかった場合は現地調査結果のデータを用いた。	<u>道路沿道における風向及び風速は、対象とする各計画施設における建設機械の稼働の予測に使用したデータを用いた。なお、予測地点 03 は、北品川の非常口(都市部)及び変電施設における建設機械の予測に使用したデータを用いた。</u>
p. 8-1-1-50 g) 気象条件及びバックグラウンド濃度の設定	g) バックグラウンド濃度の設定 バックグラウンド濃度は、現地調査結果及び自動車排出ガス測定局の測定結果を基に、表 8-1-1-29 に示すとおり設定した。	g) <u>気象条件及びバックグラウンド濃度の設定</u> 予測に用いる風向・風速データは、一般環境大気測定局と現地調査結果との間で高い相関が確認された場合は一般環境大気測定局のデータを補正して用い、そうでない場合は現地調査結果を用いた。 バックグラウンド濃度は、一部を除き現地調査結果又は自動車排出ガス測定局のデータを基に設定した。 <u>予測に使用した気象及び大気質のデータを表 8-1-1-29 に示す。</u>

表 12-1 (8) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																						
p. 8-1-1-50 表 8-1-1-29 予測に使用した気象及び大気質データ	<p>表 8-1-1-29 予測に用いたバックグラウンド濃度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>使用したデータ</th> <th>窒素酸化物 (ppm)</th> <th>二酸化窒素 (ppm)</th> <th>浮遊粒子状物質 (mg/m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>注1</td> <td>0.056</td> <td>0.029</td> <td>0.023</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>注1</td> <td>0.056</td> <td>0.029</td> <td>0.023</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>現地(沿道)01</td> <td>0.050</td> <td>0.030</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>文獻07</td> <td>0.034</td> <td>0.023</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>文獻08</td> <td>0.041</td> <td>0.020</td> <td>0.017</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>現地(沿道)02</td> <td>0.044</td> <td>0.022</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>現地(沿道)03</td> <td>0.023</td> <td>0.016</td> <td>0.019</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 地点番号01、02は当該地点調査した交通量調査等の結果から、大気拡散予測によりバックグラウンド濃度を設定した。 注2. 地点番号04、05においては、平成24年度に測定されたデータ(文獻07、08)を用いた。</p>	地点番号	使用したデータ	窒素酸化物 (ppm)	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	01	注1	0.056	0.029	0.023	02	注1	0.056	0.029	0.023	03	現地(沿道)01	0.050	0.030	0.021	04	文獻07	0.034	0.023	0.018	05	文獻08	0.041	0.020	0.017	06	現地(沿道)02	0.044	0.022	0.020	07	現地(沿道)03	0.023	0.016	0.019	<p>表 8-1-1-29 予測に使用した気象及び大気質データ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">気象データ</th> <th colspan="3">大気質データ(バックグラウンド濃度)</th> </tr> <tr> <th>風向・風速</th> <th>湿度</th> <th>二酸化窒素 (ppm)</th> <th>浮遊粒子状物質 (mg/m<sup>3</sup>)</th> <th>窒素酸化物 (ppm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区特別区道119号</td> <td>文獻(気象)02</td> <td>注1</td> <td>0.056</td> <td>0.029</td> <td>0.023</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区特別区道車-12号</td> <td>文獻(気象)02</td> <td>注1</td> <td>0.056</td> <td>0.029</td> <td>0.023</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>都道316号(海岸通り)</td> <td>文獻(気象)03 (現地(気象)01)</td> <td>現地(沿道)01</td> <td>0.050</td> <td>0.030</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>都道2号(中原街道)</td> <td>現地(気象)02</td> <td>文獻(大気)07</td> <td>0.034</td> <td>0.023</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td> <td>文獻(気象)04 (現地(気象)03)</td> <td>文獻(大気)08</td> <td>0.041</td> <td>0.020</td> <td>0.017</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>都道18号(鎌倉街道)</td> <td>文獻(気象)05 (現地(気象)04)</td> <td>現地(沿道)02</td> <td>0.044</td> <td>0.022</td> <td>0.020</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>市道境2000号</td> <td>現地(気象)06</td> <td>現地(沿道)03</td> <td>0.023</td> <td>0.016</td> <td>0.019</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 地点番号01、02は当該地点で調査した交通量調査等の結果から、大気拡散予測によりバックグラウンド濃度を設定した。 注2. 地点番号04、05においては、04-1-17~19に設置する平成23年度に測定された番号04-1-19及び05-1-19(文獻07、08)の都庁公開のデータではなく、平成24年度に測定されたデータを用いた。 注3. ( )は、文獻調査地点の車線番号に用いた現場調査地点の番号を示す。 注4. 予測に用いた風向・風速の詳細は「資料編 1-3」予測に用いた気象条件を参照</p>	地点番号	予測地点	気象データ		大気質データ(バックグラウンド濃度)			風向・風速	湿度	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	窒素酸化物 (ppm)	01	港区特別区道119号	文獻(気象)02	注1	0.056	0.029	0.023	02	品川区特別区道車-12号	文獻(気象)02	注1	0.056	0.029	0.023	03	都道316号(海岸通り)	文獻(気象)03 (現地(気象)01)	現地(沿道)01	0.050	0.030	0.021	04	都道2号(中原街道)	現地(気象)02	文獻(大気)07	0.034	0.023	0.018	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	文獻(気象)04 (現地(気象)03)	文獻(大気)08	0.041	0.020	0.017	06	都道18号(鎌倉街道)	文獻(気象)05 (現地(気象)04)	現地(沿道)02	0.044	0.022	0.020	07	市道境2000号	現地(気象)06	現地(沿道)03	0.023	0.016	0.019	
地点番号	使用したデータ	窒素酸化物 (ppm)	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )																																																																																																				
01	注1	0.056	0.029	0.023																																																																																																				
02	注1	0.056	0.029	0.023																																																																																																				
03	現地(沿道)01	0.050	0.030	0.021																																																																																																				
04	文獻07	0.034	0.023	0.018																																																																																																				
05	文獻08	0.041	0.020	0.017																																																																																																				
06	現地(沿道)02	0.044	0.022	0.020																																																																																																				
07	現地(沿道)03	0.023	0.016	0.019																																																																																																				
地点番号	予測地点	気象データ		大気質データ(バックグラウンド濃度)																																																																																																				
		風向・風速	湿度	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	窒素酸化物 (ppm)																																																																																																		
01	港区特別区道119号	文獻(気象)02	注1	0.056	0.029	0.023																																																																																																		
02	品川区特別区道車-12号	文獻(気象)02	注1	0.056	0.029	0.023																																																																																																		
03	都道316号(海岸通り)	文獻(気象)03 (現地(気象)01)	現地(沿道)01	0.050	0.030	0.021																																																																																																		
04	都道2号(中原街道)	現地(気象)02	文獻(大気)07	0.034	0.023	0.018																																																																																																		
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	文獻(気象)04 (現地(気象)03)	文獻(大気)08	0.041	0.020	0.017																																																																																																		
06	都道18号(鎌倉街道)	文獻(気象)05 (現地(気象)04)	現地(沿道)02	0.044	0.022	0.020																																																																																																		
07	市道境2000号	現地(気象)06	現地(沿道)03	0.023	0.016	0.019																																																																																																		
p. 8-1-1-51 表 8-1-1-30(1) 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による二酸化窒素濃度変化の予測結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th rowspan="2">資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)</th> <th rowspan="2">バックグラウンド濃度(B)</th> <th colspan="2">環境濃度(A+B)</th> <th rowspan="2">寄与率(%) (A/(A+B)) ×100</th> </tr> <tr> <th>濃度</th> <th>濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区特別区道119号</td> <td>0.00006</td> <td>0.029</td> <td>0.02906</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区特別区道車-12号</td> <td>0.00021</td> <td>0.029</td> <td>0.02921</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>都道316号(海岸通り)</td> <td>0.00032</td> <td>0.030</td> <td>0.03032</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>都道2号(中原街道)</td> <td>0.00003</td> <td>0.023</td> <td>0.02303</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td> <td>0.00001</td> <td>0.020</td> <td>0.02001</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>都道18号(鎌倉街道)</td> <td>0.00018</td> <td>0.022</td> <td>0.02218</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>市道境2000号</td> <td>0.00016</td> <td>0.016</td> <td>0.01616</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度(A+B)		寄与率(%) (A/(A+B)) ×100	濃度	濃度	01	港区特別区道119号	0.00006	0.029	0.02906	0.2	02	品川区特別区道車-12号	0.00021	0.029	0.02921	0.7	03	都道316号(海岸通り)	0.00032	0.030	0.03032	1.1	04	都道2号(中原街道)	0.00003	0.023	0.02303	0.1	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	0.00001	0.020	0.02001	0.05	06	都道18号(鎌倉街道)	0.00018	0.022	0.02218	0.8	07	市道境2000号	0.00016	0.016	0.01616	1.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th rowspan="2">資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)</th> <th rowspan="2">バックグラウンド濃度(B)</th> <th colspan="2">環境濃度(A+B)</th> <th rowspan="2">寄与率(%) (A/(A+B)) ×100</th> </tr> <tr> <th>濃度</th> <th>濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区特別区道119号</td> <td>0.00003</td> <td>0.029</td> <td>0.02903</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区特別区道車-12号</td> <td>0.00020</td> <td>0.029</td> <td>0.02920</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>都道316号(海岸通り)</td> <td>0.00020</td> <td>0.030</td> <td>0.03020</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>都道2号(中原街道)</td> <td>0.00003</td> <td>0.023</td> <td>0.02303</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td> <td>0.00001</td> <td>0.020</td> <td>0.02001</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>都道18号(鎌倉街道)</td> <td>0.00018</td> <td>0.022</td> <td>0.02218</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>市道境2000号</td> <td>0.00016</td> <td>0.016</td> <td>0.01616</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度(A+B)		寄与率(%) (A/(A+B)) ×100	濃度	濃度	01	港区特別区道119号	0.00003	0.029	0.02903	0.1	02	品川区特別区道車-12号	0.00020	0.029	0.02920	0.7	03	都道316号(海岸通り)	0.00020	0.030	0.03020	0.7	04	都道2号(中原街道)	0.00003	0.023	0.02303	0.1	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	0.00001	0.020	0.02001	0.05	06	都道18号(鎌倉街道)	0.00018	0.022	0.02218	0.8	07	市道境2000号	0.00016	0.016	0.01616	1.0
地点番号	路線名					資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)		環境濃度(A+B)		寄与率(%) (A/(A+B)) ×100																																																																																													
		濃度	濃度																																																																																																					
01	港区特別区道119号	0.00006	0.029	0.02906	0.2																																																																																																			
02	品川区特別区道車-12号	0.00021	0.029	0.02921	0.7																																																																																																			
03	都道316号(海岸通り)	0.00032	0.030	0.03032	1.1																																																																																																			
04	都道2号(中原街道)	0.00003	0.023	0.02303	0.1																																																																																																			
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	0.00001	0.020	0.02001	0.05																																																																																																			
06	都道18号(鎌倉街道)	0.00018	0.022	0.02218	0.8																																																																																																			
07	市道境2000号	0.00016	0.016	0.01616	1.0																																																																																																			
地点番号	路線名	資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度(A+B)		寄与率(%) (A/(A+B)) ×100																																																																																																		
				濃度	濃度																																																																																																			
01	港区特別区道119号	0.00003	0.029	0.02903	0.1																																																																																																			
02	品川区特別区道車-12号	0.00020	0.029	0.02920	0.7																																																																																																			
03	都道316号(海岸通り)	0.00020	0.030	0.03020	0.7																																																																																																			
04	都道2号(中原街道)	0.00003	0.023	0.02303	0.1																																																																																																			
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	0.00001	0.020	0.02001	0.05																																																																																																			
06	都道18号(鎌倉街道)	0.00018	0.022	0.02218	0.8																																																																																																			
07	市道境2000号	0.00016	0.016	0.01616	1.0																																																																																																			
p. 8-1-1-51 表 8-1-1-30(2) 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による浮遊粒子状物質濃度変化の予測結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th rowspan="2">資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)</th> <th rowspan="2">バックグラウンド濃度(B)</th> <th colspan="2">環境濃度(A+B)</th> <th rowspan="2">寄与率(%) (A/(A+B)) ×100</th> </tr> <tr> <th>濃度</th> <th>濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区特別区道119号</td> <td>0.00003</td> <td>0.023</td> <td>0.02303</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区特別区道車-12号</td> <td>0.00010</td> <td>0.023</td> <td>0.02310</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>都道316号(海岸通り)</td> <td>0.00013</td> <td>0.021</td> <td>0.02113</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>都道2号(中原街道)</td> <td>0.00002</td> <td>0.018</td> <td>0.01802</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td> <td>0.00001</td> <td>0.017</td> <td>0.01701</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>都道18号(鎌倉街道)</td> <td>0.00007</td> <td>0.020</td> <td>0.02007</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>市道境2000号</td> <td>0.00004</td> <td>0.019</td> <td>0.01904</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度(A+B)		寄与率(%) (A/(A+B)) ×100	濃度	濃度	01	港区特別区道119号	0.00003	0.023	0.02303	0.1	02	品川区特別区道車-12号	0.00010	0.023	0.02310	0.4	03	都道316号(海岸通り)	0.00013	0.021	0.02113	0.6	04	都道2号(中原街道)	0.00002	0.018	0.01802	0.1	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	0.00001	0.017	0.01701	0.06	06	都道18号(鎌倉街道)	0.00007	0.020	0.02007	0.3	07	市道境2000号	0.00004	0.019	0.01904	0.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th rowspan="2">資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)</th> <th rowspan="2">バックグラウンド濃度(B)</th> <th colspan="2">環境濃度(A+B)</th> <th rowspan="2">寄与率(%) (A/(A+B)) ×100</th> </tr> <tr> <th>濃度</th> <th>濃度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区特別区道119号</td> <td>0.00002</td> <td>0.023</td> <td>0.02302</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区特別区道車-12号</td> <td>0.00005</td> <td>0.023</td> <td>0.02305</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>都道316号(海岸通り)</td> <td>0.00009</td> <td>0.021</td> <td>0.02109</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>都道2号(中原街道)</td> <td>0.00001</td> <td>0.018</td> <td>0.01801</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td> <td>0.00001</td> <td>0.017</td> <td>0.01701</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>都道18号(鎌倉街道)</td> <td>0.00007</td> <td>0.020</td> <td>0.02007</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>市道境2000号</td> <td>0.00004</td> <td>0.019</td> <td>0.01904</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度(A+B)		寄与率(%) (A/(A+B)) ×100	濃度	濃度	01	港区特別区道119号	0.00002	0.023	0.02302	0.1	02	品川区特別区道車-12号	0.00005	0.023	0.02305	0.2	03	都道316号(海岸通り)	0.00009	0.021	0.02109	0.5	04	都道2号(中原街道)	0.00001	0.018	0.01801	0.1	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	0.00001	0.017	0.01701	0.1	06	都道18号(鎌倉街道)	0.00007	0.020	0.02007	0.3	07	市道境2000号	0.00004	0.019	0.01904	0.2
地点番号	路線名					資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)		環境濃度(A+B)		寄与率(%) (A/(A+B)) ×100																																																																																													
		濃度	濃度																																																																																																					
01	港区特別区道119号	0.00003	0.023	0.02303	0.1																																																																																																			
02	品川区特別区道車-12号	0.00010	0.023	0.02310	0.4																																																																																																			
03	都道316号(海岸通り)	0.00013	0.021	0.02113	0.6																																																																																																			
04	都道2号(中原街道)	0.00002	0.018	0.01802	0.1																																																																																																			
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	0.00001	0.017	0.01701	0.06																																																																																																			
06	都道18号(鎌倉街道)	0.00007	0.020	0.02007	0.3																																																																																																			
07	市道境2000号	0.00004	0.019	0.01904	0.2																																																																																																			
地点番号	路線名	資材及び機械の運搬に用いる車両寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度(A+B)		寄与率(%) (A/(A+B)) ×100																																																																																																		
				濃度	濃度																																																																																																			
01	港区特別区道119号	0.00002	0.023	0.02302	0.1																																																																																																			
02	品川区特別区道車-12号	0.00005	0.023	0.02305	0.2																																																																																																			
03	都道316号(海岸通り)	0.00009	0.021	0.02109	0.5																																																																																																			
04	都道2号(中原街道)	0.00001	0.018	0.01801	0.1																																																																																																			
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	0.00001	0.017	0.01701	0.1																																																																																																			
06	都道18号(鎌倉街道)	0.00007	0.020	0.02007	0.3																																																																																																			
07	市道境2000号	0.00004	0.019	0.01904	0.2																																																																																																			
p. 8-1-1-52~53 図 8-1-1-11 調査結果及び予測結果(大気質) [資材及び機械の運搬に用いる車両の運行: 二酸化窒素、浮遊粒子状物質]	—	追記																																																																																																						
p. 8-1-1-54 表 8-1-1-31 環境保全措置の検討の状況	(資材及び機械の運搬に用いる車両の点検及び整備による性能維持) 適切な点検及び整備により、資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持することで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できるため、環境保全措置として採用する。	(資材及び機械の運搬に用いる車両の点検及び整備による性能維持) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持することで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できるため、環境保全措置として採用する。</u>																																																																																																						
—	—	「環境負荷低減を意識した運転の徹底」を追記																																																																																																						
—	—	「低公害型の工事用車両の選定」を追記																																																																																																						
—	—	「揮発性有機化合物(以下、「VOC」という。)の排出抑制」を追記																																																																																																						
p. 8-1-1-54 b) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容	本事業では、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質による環境影響を低減させるため、環境保全措置として「資材及び機械の運搬に用いる車両の点検及び整備による性能維持」及び「資材及び機械の運搬に用いる車両の運行計画の配慮」を実施する。	本事業では、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質による環境影響を低減させるため、環境保全措置として「資材及び機械の運搬に用いる車両の点検及び整備による性能維持」、「資材及び機械の運搬に用いる車両の運行計画の配慮」、「環境負荷低減を意識した運転の徹底」、「低公害型の工事用車両の選定」及び「VOCの排出抑制」を実施する。																																																																																																						

表 12-1(9) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-1-1-54 表 8-1-1-32(1) 環境 保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な点検及び整備により、資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持することで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持することで、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。</u>
p. 8-1-1-55 表 8-1-1-32(2) 環境 保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行ルートの分散化、法定速度の遵守等を行うことにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。	(環境保全措置の効果) 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行ルートの分散化等を行うことにより、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の発生を低減できる。
p. 8-1-1-55 表 8-1-1-32(3) 環境 保全措置の内容	—	追記
p. 8-1-1-55 表 8-1-1-32(4) 環境 保全措置の内容	—	追記
p. 8-1-1-55 表 8-1-1-32(5) 環境 保全措置の内容	—	追記
p. 8-1-1-56～57 ①回避又は低減に係る 評価	本事業では、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る二酸化窒素及び浮遊粒子状物質による環境影響を低減させるため、表 8-1-1-32 に示した環境保全措置を確実に実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。	<u>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の予測結果及び現況値に対する寄与率の程度は表 8-1-1-30 に示すとおりである。</u> <u>二酸化窒素については、地点番号 07 (市道堺 2000 号) において寄与率 1.0%と最大となり、その他の地点についても 0.05%～0.8%となる。</u> <u>浮遊粒子状物質については、地点番号 03 (都道 316 号 (海岸通り)) において寄与率 0.5%と最大となり、その他の地点についても 0.1%～0.3%となる。</u> <u>なお、「資料編 1-5 使用する気象データの期間代表性及び地域代表性による誤差の程度について」に示すとおり、これら予測値には気象データの期間代表性及び地域代表性、バックグラウンド濃度の期間代表性に起因する誤差が考えられるものの、その影響は気象データについては二酸化窒素で寄与濃度の誤差が最大 38.5%程度、浮遊粒子状物質で寄与濃度の誤差が最大 32.3%程度、バックグラウンド濃度については二酸化窒素で概ね 0.001ppm 程度、浮遊粒子状物質で概ね 0.001 mg/m<sup>3</sup> 程度に収まると試算される。</u> 本事業では、これらの状況に加え、表 8-1-1-32 に示した環境保全措置を確実に実施することから、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の環境影響について低減が図られていると評価する。
p. 8-1-1-57 表 8-1-1-34(1) 基準 又は目標との整合の状 況 (二酸化窒素)	(地点番号 01、年平均値) 0.02906	(地点番号 01、年平均値) <u>0.02903</u>
	(地点番号 02、年平均値) 0.02921	(地点番号 02、年平均値) <u>0.02909</u>
	(地点番号 03、年平均値) 0.03032	(地点番号 03、年平均値) <u>0.03020</u>

表 12-1(10) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-1-1-57 表 8-1-1-34(2) 基準 又は目標との整合の状 況 (浮遊粒子状物質)	日平均値の2%除外値	日平均値の年間2%除外値
	(地点番号 01、年平均値) 0.02303	(地点番号 01、年平均値) <u>0.02302</u>
	(地点番号 02、年平均値) 0.02310	(地点番号 02、年平均値) <u>0.02305</u>
	(地点番号 03、年平均値) 0.02113	(地点番号 03、年平均値) <u>0.02109</u>
	(地点番号 04、年平均値) 0.01802	(地点番号 04、年平均値) <u>0.01801</u>
p. 8-1-1-61 e) 予測対象時期	建設機械の稼働による環境影響が最も大きくなると想定される時期とした。	建設機械の稼働による環境影響が最も大きくなると想定される時期とした。また、建設機械の稼働の日稼働時間及び月稼働日数は、「(1) 二酸化窒素及び浮遊粒子状物質」と同様とした。
p. 8-1-1-61 ① 予測対象ユニットの 選定	選定した予測対象ユニットを表 8-1-1-35 に示す。 予測対象ユニットは、工事計画により想定した工種及び予想される工事内容を基に選定した種別の中から、各計画施設ごとに、最も粉じんの影響が大きくなるものを選定した。	選定した予測対象ユニットを表 8-1-1-35 に示す。 予測対象ユニットは、「 <u>道路環境影響評価の技術手法 (平成 24 年度版)</u> 」に基づき、工事計画により想定した工種及び予想される工事内容を基に選定した種別の中から各計画施設ごとに、最も粉じんの影響が大きくなるものを選定し、 <u>そのユニット数は各ユニットの日当り施工能力に対する計画施設の施工規模から算出した。</u>
p. 8-1-1-64~65 図 8-1-1-14 調査結果 及び予測結果 (大気質) [建設機械の稼働：降下 ばいじん]	—	追記
p. 8-1-1-66 表 8-1-1-39 環境保全 措置の検討の状況	(工事規模に合わせた建設機械の設定、 適否の理由) 適切な機械の設定により必要以上の建設 機械の配置及び稼働を避けることで、粉 じん等の発生を低減できるため、環境保 全措置として採用する。	(工事規模に合わせた建設機械の設定、適 否の理由) <u>工事規模に合わせて必要以上の建設機械 の規格、配置及び稼働とならないように計 画することで、粉じん等の発生を低減でき るため、環境保全措置として採用する。</u>
	(仮囲いの設置、適否の理由) 仮囲いを設置することで、粉じん等の拡 散を低減できるため、環境保全措置とし て採用する。	(仮囲いの設置、適否の理由) <u>住居等周辺環境を考慮した仮囲いの高さ の検討を行ったうえで仮囲いを設置する ことで、粉じん等の拡散を低減できるた め、環境保全措置として採用する。</u>
p. 8-1-1-66 表 8-1-1-40(1) 環境 保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な機械の設定により必要以上の建設 機械の配置及び稼働を避けることで、粉 じん等の発生を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>工事規模に合わせて必要以上の建設機械 の規格、配置及び稼働とならないように計 画することで、粉じん等の発生を低減でき る。</u>
p. 8-1-1-67 表 8-1-1-40(3) 環境 保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 仮囲いを設置することで、粉じん等の拡 散を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>住居等周辺環境を考慮した仮囲いの高さ の検討を行ったうえで仮囲いを設置する ことで、粉じん等の拡散を低減できる。</u>
p. 8-1-1-68 ① 回避又は低減に係る 評価	本事業では、建設機械の稼働に係る粉 じん等の影響を低減させるため、表 8-1-1-40 に示した環境保全措置を実施 することから、事業者により実行可能な 範囲内で低減が図られていると評価す る。	本事業では、表 8-1-1-40 に示す環境保 全措置を確実に実施することから、建設機 械の稼働による粉じん等への環境影響に ついて低減が図られていると評価する。

表 12-1(11) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																												
p. 8-1-1-71 e) 予測対象時期	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による環境影響が最も大きくなると想定される時期とした。	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による環境影響が最も大きくなると想定される時期とした。 <u>また、資材及び機械の運搬に用いる車両の日運行時間及び月稼働日数は、「(1) 二酸化窒素及び浮遊粒子状物質」と同様とした。</u>																																																																																												
p. 8-1-1-72 ③ 気象条件	地点 01 に対する設定を表 8-1-1-44 に例示し、他は資料編 1-3-2 に記載した。	地点 01、02 に対する設定を表 8-1-1-44 に例示し、他は資料編 1-3-2 に記載した。																																																																																												
p. 8-1-1-72 表 8-1-1-44 予測に用いた気象条件 (地点 01、02)	(表題) 表 8-1-1-44 予測に用いた気象条件 (地点 01~03)	(表題) 表 8-1-1-44 予測に用いた気象条件 (地点 01、02)																																																																																												
p. 8-1-1-73 表 8-1-1-45 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による降下ばいじん予測結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th colspan="4">予測値 (t/km<sup>2</sup>/月)</th> </tr> <tr> <th>春季</th> <th>夏季</th> <th>秋季</th> <th>冬季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>0.10</td><td>0.12</td><td>0.11</td><td>0.10</td></tr> <tr><td>02</td><td>0.79</td><td>0.92</td><td>0.89</td><td>0.79</td></tr> <tr><td>03</td><td>1.52</td><td>1.71</td><td>1.72</td><td>1.37</td></tr> <tr><td>04</td><td>0.57</td><td>0.62</td><td>0.77</td><td>0.59</td></tr> <tr><td>05</td><td>0.23</td><td>0.29</td><td>0.16</td><td>0.14</td></tr> <tr><td>06</td><td>1.03</td><td>1.00</td><td>1.47</td><td>1.50</td></tr> <tr><td>07</td><td>0.45</td><td>0.50</td><td>0.58</td><td>0.35</td></tr> </tbody> </table>	地点番号	予測値 (t/km <sup>2</sup> /月)				春季	夏季	秋季	冬季	01	0.10	0.12	0.11	0.10	02	0.79	0.92	0.89	0.79	03	1.52	1.71	1.72	1.37	04	0.57	0.62	0.77	0.59	05	0.23	0.29	0.16	0.14	06	1.03	1.00	1.47	1.50	07	0.45	0.50	0.58	0.35	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th colspan="4">予測値 (t/km<sup>2</sup>/月)</th> </tr> <tr> <th>春季</th> <th>夏季</th> <th>秋季</th> <th>冬季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>0.13</td><td>0.18</td><td>0.17</td><td>0.17</td></tr> <tr><td>02</td><td>0.39</td><td>0.61</td><td>0.47</td><td>0.50</td></tr> <tr><td>03</td><td>1.14</td><td>1.25</td><td>1.29</td><td>1.07</td></tr> <tr><td>04</td><td>0.57</td><td>0.62</td><td>0.77</td><td>0.59</td></tr> <tr><td>05</td><td>0.23</td><td>0.29</td><td>0.16</td><td>0.14</td></tr> <tr><td>06</td><td>1.03</td><td>1.00</td><td>1.47</td><td>1.50</td></tr> <tr><td>07</td><td>0.45</td><td>0.50</td><td>0.58</td><td>0.35</td></tr> </tbody> </table>	地点番号	予測値 (t/km <sup>2</sup> /月)				春季	夏季	秋季	冬季	01	0.13	0.18	0.17	0.17	02	0.39	0.61	0.47	0.50	03	1.14	1.25	1.29	1.07	04	0.57	0.62	0.77	0.59	05	0.23	0.29	0.16	0.14	06	1.03	1.00	1.47	1.50	07	0.45	0.50	0.58	0.35				
地点番号	予測値 (t/km <sup>2</sup> /月)																																																																																													
	春季	夏季	秋季	冬季																																																																																										
01	0.10	0.12	0.11	0.10																																																																																										
02	0.79	0.92	0.89	0.79																																																																																										
03	1.52	1.71	1.72	1.37																																																																																										
04	0.57	0.62	0.77	0.59																																																																																										
05	0.23	0.29	0.16	0.14																																																																																										
06	1.03	1.00	1.47	1.50																																																																																										
07	0.45	0.50	0.58	0.35																																																																																										
地点番号	予測値 (t/km <sup>2</sup> /月)																																																																																													
	春季	夏季	秋季	冬季																																																																																										
01	0.13	0.18	0.17	0.17																																																																																										
02	0.39	0.61	0.47	0.50																																																																																										
03	1.14	1.25	1.29	1.07																																																																																										
04	0.57	0.62	0.77	0.59																																																																																										
05	0.23	0.29	0.16	0.14																																																																																										
06	1.03	1.00	1.47	1.50																																																																																										
07	0.45	0.50	0.58	0.35																																																																																										
p. 8-1-1-74~75 図 8-1-1-17 調査結果及び及び予測結果 (大気質) [資材及び機械の運搬に用いる車両の運行: 降下ばいじん]	—	追記																																																																																												
p. 8-1-1-78 ① 回避又は低減に係る評価	本事業では、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る粉じん等の影響を低減させるため、表 8-1-1-47 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。	本事業では、表 8-1-1-47 に示す環境保全措置を確実に実施することから、 <u>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る粉じん等の環境影響について低減が図られていると評価する。</u>																																																																																												
p. 8-1-1-78 ② 基準又は目標との整合性の検討	降下ばいじん量は、各季節の予測値は 0.10~1.72 t/km <sup>2</sup> /月であり、全ての予測地点で参考値を下回っており、基準又は目標との整合が図られているものと評価する。	降下ばいじん量は、各季節の予測値は <u>0.13~1.50</u> t/km <sup>2</sup> /月であり、全ての予測地点で参考値を下回っており、基準又は目標との整合が図られているものと評価する。																																																																																												
p. 8-1-1-78 表 8-1-1-49 基準又は目標との整合の状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th colspan="4">予測値 (t/km<sup>2</sup>/月)</th> <th rowspan="2">基準値等</th> </tr> <tr> <th>春季</th> <th>夏季</th> <th>秋季</th> <th>冬季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>0.10</td><td>0.12</td><td>0.11</td><td>0.10</td><td rowspan="7">10t/km<sup>2</sup>/月</td></tr> <tr><td>02</td><td>0.79</td><td>0.92</td><td>0.89</td><td>0.79</td></tr> <tr><td>03</td><td>1.52</td><td>1.71</td><td>1.72</td><td>1.37</td></tr> <tr><td>04</td><td>0.57</td><td>0.62</td><td>0.77</td><td>0.59</td></tr> <tr><td>05</td><td>0.23</td><td>0.29</td><td>0.16</td><td>0.14</td></tr> <tr><td>06</td><td>1.03</td><td>1.00</td><td>1.47</td><td>1.50</td></tr> <tr><td>07</td><td>0.45</td><td>0.50</td><td>0.58</td><td>0.35</td></tr> </tbody> </table>	地点番号	予測値 (t/km <sup>2</sup> /月)				基準値等	春季	夏季	秋季	冬季	01	0.10	0.12	0.11	0.10	10t/km <sup>2</sup> /月	02	0.79	0.92	0.89	0.79	03	1.52	1.71	1.72	1.37	04	0.57	0.62	0.77	0.59	05	0.23	0.29	0.16	0.14	06	1.03	1.00	1.47	1.50	07	0.45	0.50	0.58	0.35	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th colspan="4">予測値 (t/km<sup>2</sup>/月)</th> <th rowspan="2">参考値</th> </tr> <tr> <th>春季</th> <th>夏季</th> <th>秋季</th> <th>冬季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>0.13</td><td>0.18</td><td>0.17</td><td>0.17</td><td rowspan="7">10t/km<sup>2</sup>/月</td></tr> <tr><td>02</td><td>0.39</td><td>0.61</td><td>0.47</td><td>0.50</td></tr> <tr><td>03</td><td>1.14</td><td>1.25</td><td>1.29</td><td>1.07</td></tr> <tr><td>04</td><td>0.57</td><td>0.62</td><td>0.77</td><td>0.59</td></tr> <tr><td>05</td><td>0.23</td><td>0.29</td><td>0.16</td><td>0.14</td></tr> <tr><td>06</td><td>1.03</td><td>1.00</td><td>1.47</td><td>1.50</td></tr> <tr><td>07</td><td>0.45</td><td>0.50</td><td>0.58</td><td>0.35</td></tr> </tbody> </table>	地点番号	予測値 (t/km <sup>2</sup> /月)				参考値	春季	夏季	秋季	冬季	01	0.13	0.18	0.17	0.17	10t/km <sup>2</sup> /月	02	0.39	0.61	0.47	0.50	03	1.14	1.25	1.29	1.07	04	0.57	0.62	0.77	0.59	05	0.23	0.29	0.16	0.14	06	1.03	1.00	1.47	1.50	07	0.45	0.50	0.58	0.35
地点番号	予測値 (t/km <sup>2</sup> /月)				基準値等																																																																																									
	春季	夏季	秋季	冬季																																																																																										
01	0.10	0.12	0.11	0.10	10t/km <sup>2</sup> /月																																																																																									
02	0.79	0.92	0.89	0.79																																																																																										
03	1.52	1.71	1.72	1.37																																																																																										
04	0.57	0.62	0.77	0.59																																																																																										
05	0.23	0.29	0.16	0.14																																																																																										
06	1.03	1.00	1.47	1.50																																																																																										
07	0.45	0.50	0.58	0.35																																																																																										
地点番号	予測値 (t/km <sup>2</sup> /月)				参考値																																																																																									
	春季	夏季	秋季	冬季																																																																																										
01	0.13	0.18	0.17	0.17	10t/km <sup>2</sup> /月																																																																																									
02	0.39	0.61	0.47	0.50																																																																																										
03	1.14	1.25	1.29	1.07																																																																																										
04	0.57	0.62	0.77	0.59																																																																																										
05	0.23	0.29	0.16	0.14																																																																																										
06	1.03	1.00	1.47	1.50																																																																																										
07	0.45	0.50	0.58	0.35																																																																																										
p. 8-1-2-11 b) 予測式	<p>また遮音壁の音響透過損失が十分見込まれない場合には回折減衰量を次式の <math>\Delta L_d</math> (dB) で置き換えた。</p> $\Delta L_D = 10 \log_{10} \left( 10^{\frac{\Delta L_d}{10}} + 10^{\frac{\Delta L_d, slit}{10}} \cdot 10^{\frac{-R_2}{10}} \right)$	<p>また遮音壁の音響透過損失が十分見込まれない場合には回折減衰量を次式の <math>\Delta L_D</math> (dB) で置き換えた。</p> $\Delta L_D = 10 \log_{10} \left( 10^{\frac{\Delta L_d}{10}} + 10^{\frac{\Delta L_d, slit}{10}} \cdot 10^{\frac{-R_2}{10}} \right)$ <p><math>\Delta L_D</math> : 透過音を考慮した回折補正量 (dB)  <math>\Delta L_{d, slit}</math> : 遮音壁をスリット開口と考えた時の回折補正量 (dB)  <math>R_2</math> : 遮音壁の透過損失 (dB)          ※遮音壁の透過損失は、一般の遮音壁や防音パネルを仮設物として設置した場合の 20dB とした。</p>																																																																																												

表 12-1(12) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																												
p. 8-1-2-11 b) 予測式	(工事範囲境界の脚注を追記) —	(工事範囲境界の脚注) 追記																																																																																																																												
p. 8-1-2-12 b) 予測式	なお、地下駅、非常口（都市部）、変電施設の予測は、広範囲な工事となるため、建設機械1ユニットあたりの施工範囲を25m×25m程度と想定して工事範囲境界付近に面音源として配置し、予測を行った。	なお、地下駅、非常口（都市部）、変電施設の予測は、広範囲な工事となるため、建設機械1ユニットあたりの施工範囲を25m×25m程度と想定して工事範囲境界付近に面音源として配置し、予測を行った。 その際、面音源は、建設機械の回転半径等を考慮し、工事範囲境界から5m地点の離れを想定した上で設定した。																																																																																																																												
準備書 p. 8-1-2-13 図 8-1-2-5	予測地点	削除																																																																																																																												
p. 8-1-2-13 a) 予測対象時期	予測地点別の予測時期を表 8-1-2-11 に示す。	予測地点別の予測時期を表 8-1-2-11 に示す。 地上部工事における建設機械の稼働は、日稼働時間を8～17時（12時台を除く）の8時間/日、月稼働日数は22日/月と想定した。トンネル・地下駅工事における建設機械の稼働は24時間稼働を前提とするとともに、月稼働日数は22日/月（地下駅は23日/月）と想定した。																																																																																																																												
p. 8-1-2-14 表 8-1-2-12 建設機械の騒音パワーレベルの設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建設機械</th> <th>規格</th> <th>騒音パワーレベル (dB)</th> <th>出典</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>クローラードリル</td><td>130ps</td><td>122</td><td>②</td></tr> <tr><td>コンクリートポンプ車</td><td>90～110m<sup>3</sup>/h</td><td>112</td><td>①</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>750t</td><td>107</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>200t</td><td>107</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>100t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>60t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>8t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>4.9t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>50t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>25t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>0.8m<sup>3</sup></td><td>106</td><td>③</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>0.7m<sup>3</sup></td><td>105</td><td>③</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>0.45m<sup>3</sup></td><td>105</td><td>③</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>0.2m<sup>3</sup></td><td>103</td><td>①</td></tr> </tbody> </table>	建設機械	規格	騒音パワーレベル (dB)	出典	クローラードリル	130ps	122	②	コンクリートポンプ車	90～110m <sup>3</sup> /h	112	①	クローラクレーン	750t	107	③	クローラクレーン	200t	107	③	クローラクレーン	100t	101	③	クローラクレーン	60t	101	③	クローラクレーン	8t	101	③	クローラクレーン	4.9t	101	③	ラフテレンクレーン	50t	101	③	ラフテレンクレーン	25t	101	③	バックホウ	0.8m <sup>3</sup>	106	③	バックホウ	0.7m <sup>3</sup>	105	③	バックホウ	0.45m <sup>3</sup>	105	③	バックホウ	0.2m <sup>3</sup>	103	①	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建設機械</th> <th>規格</th> <th>騒音パワーレベル (dB)</th> <th>出典</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>掘削機 BMX</td><td>260kW</td><td>114</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラードリル</td><td>130ps</td><td>122</td><td>②</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>0.2m<sup>3</sup></td><td>103</td><td>①</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>0.45m<sup>3</sup></td><td>105</td><td>③</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>0.7m<sup>3</sup></td><td>105</td><td>③</td></tr> <tr><td>バックホウ</td><td>0.8m<sup>3</sup></td><td>106</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>4.9t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>8t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>60t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>100t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>200t</td><td>107</td><td>③</td></tr> <tr><td>クローラクレーン</td><td>750t</td><td>107</td><td>③</td></tr> <tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>25t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>ラフテレンクレーン</td><td>50t</td><td>101</td><td>③</td></tr> <tr><td>コンクリートポンプ車</td><td>90～110m<sup>3</sup>/h</td><td>112</td><td>①</td></tr> </tbody> </table>	建設機械	規格	騒音パワーレベル (dB)	出典	掘削機 BMX	260kW	114	③	クローラードリル	130ps	122	②	バックホウ	0.2m <sup>3</sup>	103	①	バックホウ	0.45m <sup>3</sup>	105	③	バックホウ	0.7m <sup>3</sup>	105	③	バックホウ	0.8m <sup>3</sup>	106	③	クローラクレーン	4.9t	101	③	クローラクレーン	8t	101	③	クローラクレーン	60t	101	③	クローラクレーン	100t	101	③	クローラクレーン	200t	107	③	クローラクレーン	750t	107	③	ラフテレンクレーン	25t	101	③	ラフテレンクレーン	50t	101	③	コンクリートポンプ車	90～110m <sup>3</sup> /h	112	①
建設機械	規格	騒音パワーレベル (dB)	出典																																																																																																																											
クローラードリル	130ps	122	②																																																																																																																											
コンクリートポンプ車	90～110m <sup>3</sup> /h	112	①																																																																																																																											
クローラクレーン	750t	107	③																																																																																																																											
クローラクレーン	200t	107	③																																																																																																																											
クローラクレーン	100t	101	③																																																																																																																											
クローラクレーン	60t	101	③																																																																																																																											
クローラクレーン	8t	101	③																																																																																																																											
クローラクレーン	4.9t	101	③																																																																																																																											
ラフテレンクレーン	50t	101	③																																																																																																																											
ラフテレンクレーン	25t	101	③																																																																																																																											
バックホウ	0.8m <sup>3</sup>	106	③																																																																																																																											
バックホウ	0.7m <sup>3</sup>	105	③																																																																																																																											
バックホウ	0.45m <sup>3</sup>	105	③																																																																																																																											
バックホウ	0.2m <sup>3</sup>	103	①																																																																																																																											
建設機械	規格	騒音パワーレベル (dB)	出典																																																																																																																											
掘削機 BMX	260kW	114	③																																																																																																																											
クローラードリル	130ps	122	②																																																																																																																											
バックホウ	0.2m <sup>3</sup>	103	①																																																																																																																											
バックホウ	0.45m <sup>3</sup>	105	③																																																																																																																											
バックホウ	0.7m <sup>3</sup>	105	③																																																																																																																											
バックホウ	0.8m <sup>3</sup>	106	③																																																																																																																											
クローラクレーン	4.9t	101	③																																																																																																																											
クローラクレーン	8t	101	③																																																																																																																											
クローラクレーン	60t	101	③																																																																																																																											
クローラクレーン	100t	101	③																																																																																																																											
クローラクレーン	200t	107	③																																																																																																																											
クローラクレーン	750t	107	③																																																																																																																											
ラフテレンクレーン	25t	101	③																																																																																																																											
ラフテレンクレーン	50t	101	③																																																																																																																											
コンクリートポンプ車	90～110m <sup>3</sup> /h	112	①																																																																																																																											
p. 8-1-2-16～17 図 8-1-2-5(1)、(2) 予測結果（騒音）[建設機械の稼働]	—	追記																																																																																																																												

表 12-1(13) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-1-2-18 表 8-1-2-14 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>(仮囲い・防音シート等の設置による遮音対策、適否の理由) 遮音効果が大きいことから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(工事規模に合わせた建設機械の設定、適否の理由) 適正な機械の設定により必要以上の建設機械の配置及び稼働を避けることで、騒音の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(建設機械の点検・整備による性能維持、適否の理由) 適切な点検、整備により建設機械の性能を維持することで、騒音の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>	<p>(仮囲い・防音シート等の設置による遮音対策、適否の理由) <u>住居等周辺環境を考慮した仮囲い等の高さの検討を行ったうえで仮囲い・防音シート等を設置することで、遮音による騒音の低減効果が見込まれる</u>ことから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(工事規模に合わせた建設機械の設定、適否の理由) <u>工事規模に合わせて必要以上の建設機械の規格、配置及び稼働とならないように計画することで、騒音の発生を低減できる</u>ことから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(建設機械の点検・整備による性能維持、適否の理由) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、建設機械の性能を維持することで、騒音の発生を低減できる</u>ことから、環境保全措置として採用する。</p>
<p>p. 8-1-2-19 表 8-1-2-15(2) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 遮音による低減効果が見込まれる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) <u>住居等周辺環境を考慮した仮囲い等の高さの検討を行ったうえで仮囲い・防音シート等を設置することで、遮音による騒音の低減効果が見込まれる。</u></p>
<p>p. 8-1-2-19 表 8-1-2-15(3) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 適切な機械の設定により必要以上の建設機械の配置及び稼働を避けることで、騒音の発生を低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) <u>工事規模に合わせて必要以上の建設機械の規格、配置及び稼働とならないように計画することで、騒音の発生を低減できる。</u></p>
<p>p. 8-1-2-19 表 8-1-2-15(5) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 適切な点検、整備により建設機械の性能を維持することで、騒音の発生を低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、建設機械の性能を維持することで、騒音の発生を低減できる</u></p>

表 12-1(14) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																		
<p>p. 8-1-2-22 a) 回避又は低減に係る評価</p>	<p>本事業では、建設機械の稼働により発生する建設作業騒音の影響を低減する環境保全措置として、「低騒音型建設機械の採用」、「仮囲い・防音シートの設置による遮音対策」、「工事規模に合わせた建設機械の設定」、「建設機械の使用時における配慮」、「建設機械の点検・整備による性能維持」、「工事の平準化」を図る。したがって、事業者により実行可能な範囲内で環境影響を低減できるものと評価する。</p>	<p>建設機械の稼働による各地点の騒音レベルの予測値は 68～76dB となるが、これらはいくまで工事期間中における最大の値であり、その値が観測されるのは工事中の限られた期間にとどまる。本事業では、これらの状況に加え、「低騒音型建設機械の採用」、「仮囲い・防音シートの設置による遮音対策」、「工事規模に合わせた建設機械の設定」、「建設機械の使用時における配慮」、「建設機械の点検・整備による性能維持」及び「工事の平準化」の環境保全措置を確実に実施することから、建設機械の稼働による騒音の環境影響について低減が図られているものと評価する。</p>																																																																																																																		
<p>p. 8-1-2-26 b) 予測対象時期</p>	<p>予測地点別の予測対象時期を、表 8-1-2-19 に示す。</p>	<p>予測地点別の予測時期を、表 8-1-2-19 に示す。 地上部工事における資材及び機械の運搬に用いる車両の運行時間は、8～17 時（12 時台を除く）の 8 時間/日、月稼働日数は 22 日/月と想定した。トンネル・地下駅工事における資材及び機械の運搬に用いる車両の運行時間は、24 時間稼働を前提とするとともに、月稼働日数は 22 日/月（地下駅は 23 日/月）と想定した。</p>																																																																																																																		
<p>p. 8-1-2-26 表 8-1-2-19 予測対象時期</p>	<table border="1" data-bbox="475 1122 911 1317"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>路線名</th> <th>予測対象時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道 1119 号</td><td>工事開始後 5 年目</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12 号</td><td>工事開始後 5 年目</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道 317 号（山手通り）</td><td>工事開始後 7 年目</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道 2 号（中原街道）</td><td>工事開始後 6 年目</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）</td><td>工事開始後 3 年目</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道 18 号（鎌倉街道）</td><td>工事開始後 6 年目</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環 2000 号</td><td>工事開始後 6 年目</td></tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	予測対象時期	01	港区特別区道 1119 号	工事開始後 5 年目	02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	工事開始後 5 年目	03	都道 317 号（山手通り）	工事開始後 7 年目	04	都道 2 号（中原街道）	工事開始後 6 年目	05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	工事開始後 3 年目	06	都道 18 号（鎌倉街道）	工事開始後 6 年目	07	市道環 2000 号	工事開始後 6 年目	<table border="1" data-bbox="949 1099 1401 1339"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>路線名</th> <th>予測対象時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道 1119 号</td><td>工事開始後 5 年目(昼間) 工事開始後 4 年目(夜間)</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12 号</td><td>工事開始後 5 年目(昼間) 工事開始後 5 年目(夜間)</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道 317 号（山手通り）</td><td>工事開始後 8 年目</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道 2 号（中原街道）</td><td>工事開始後 3 年目</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）</td><td>工事開始後 3 年目</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道 18 号（鎌倉街道）</td><td>工事開始後 8 年目</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環 2000 号</td><td>工事開始後 7 年目</td></tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	予測対象時期	01	港区特別区道 1119 号	工事開始後 5 年目(昼間) 工事開始後 4 年目(夜間)	02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	工事開始後 5 年目(昼間) 工事開始後 5 年目(夜間)	03	都道 317 号（山手通り）	工事開始後 8 年目	04	都道 2 号（中原街道）	工事開始後 3 年目	05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	工事開始後 3 年目	06	都道 18 号（鎌倉街道）	工事開始後 8 年目	07	市道環 2000 号	工事開始後 7 年目																																																																		
地点番号	路線名	予測対象時期																																																																																																																		
01	港区特別区道 1119 号	工事開始後 5 年目																																																																																																																		
02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	工事開始後 5 年目																																																																																																																		
03	都道 317 号（山手通り）	工事開始後 7 年目																																																																																																																		
04	都道 2 号（中原街道）	工事開始後 6 年目																																																																																																																		
05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	工事開始後 3 年目																																																																																																																		
06	都道 18 号（鎌倉街道）	工事開始後 6 年目																																																																																																																		
07	市道環 2000 号	工事開始後 6 年目																																																																																																																		
地点番号	路線名	予測対象時期																																																																																																																		
01	港区特別区道 1119 号	工事開始後 5 年目(昼間) 工事開始後 4 年目(夜間)																																																																																																																		
02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	工事開始後 5 年目(昼間) 工事開始後 5 年目(夜間)																																																																																																																		
03	都道 317 号（山手通り）	工事開始後 8 年目																																																																																																																		
04	都道 2 号（中原街道）	工事開始後 3 年目																																																																																																																		
05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	工事開始後 3 年目																																																																																																																		
06	都道 18 号（鎌倉街道）	工事開始後 8 年目																																																																																																																		
07	市道環 2000 号	工事開始後 7 年目																																																																																																																		
<p>p. 8-1-2-26 表 8-1-2-20 予測条件</p>	<p>単位：交通量（台/日）、速度（km/h）</p> <table border="1" data-bbox="475 1391 911 1574"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>路線名</th> <th>発生交通量 大型</th> <th>規制速度</th> <th>昼夜区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道 1119 号</td><td>139</td><td>30</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12 号</td><td>139</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道 317 号（山手通り）</td><td>797</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道 2 号（中原街道）</td><td>319</td><td>50</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）</td><td>143</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道 18 号（鎌倉街道）</td><td>332</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環 2000 号</td><td>350</td><td>50</td><td>昼間</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 昼間は 6:00～22:00 とした。 注2. 発生交通量は、1 日の往復の工事用車両台数とした。</p>	地点番号	路線名	発生交通量 大型	規制速度	昼夜区分	01	港区特別区道 1119 号	139	30	昼間	02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	139	40	昼間	03	都道 317 号（山手通り）	797	40	昼間	04	都道 2 号（中原街道）	319	50	昼間	05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	143	40	昼間	06	都道 18 号（鎌倉街道）	332	40	昼間	07	市道環 2000 号	350	50	昼間	<p>単位：交通量（台/日）、速度（km/h）</p> <table border="1" data-bbox="949 1391 1401 1574"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>路線名</th> <th>発生交通量 大型</th> <th>規制速度</th> <th>昼夜区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道 1119 号</td><td>20</td><td>30</td><td>昼間</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>24</td><td>30</td><td>夜間</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12 号</td><td>169</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道 317 号（山手通り）</td><td>169</td><td>40</td><td>夜間</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道 2 号（中原街道）</td><td>319</td><td>50</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）</td><td>143</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道 18 号（鎌倉街道）</td><td>788</td><td>50</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環 2000 号</td><td>350</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 昼間は 6:00～22:00、夜間は 22:00～翌 6:00 注2. 発生交通量は、1 日の片道の工事用車両台数とした。</p>	地点番号	路線名	発生交通量 大型	規制速度	昼夜区分	01	港区特別区道 1119 号	20	30	昼間			24	30	夜間	02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	169	40	昼間	03	都道 317 号（山手通り）	169	40	夜間	04	都道 2 号（中原街道）	319	50	昼間	05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	143	40	昼間	06	都道 18 号（鎌倉街道）	788	50	昼間	07	市道環 2000 号	350	40	昼間																													
地点番号	路線名	発生交通量 大型	規制速度	昼夜区分																																																																																																																
01	港区特別区道 1119 号	139	30	昼間																																																																																																																
02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	139	40	昼間																																																																																																																
03	都道 317 号（山手通り）	797	40	昼間																																																																																																																
04	都道 2 号（中原街道）	319	50	昼間																																																																																																																
05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	143	40	昼間																																																																																																																
06	都道 18 号（鎌倉街道）	332	40	昼間																																																																																																																
07	市道環 2000 号	350	50	昼間																																																																																																																
地点番号	路線名	発生交通量 大型	規制速度	昼夜区分																																																																																																																
01	港区特別区道 1119 号	20	30	昼間																																																																																																																
		24	30	夜間																																																																																																																
02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	169	40	昼間																																																																																																																
03	都道 317 号（山手通り）	169	40	夜間																																																																																																																
04	都道 2 号（中原街道）	319	50	昼間																																																																																																																
05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	143	40	昼間																																																																																																																
06	都道 18 号（鎌倉街道）	788	50	昼間																																																																																																																
07	市道環 2000 号	350	40	昼間																																																																																																																
<p>p. 8-1-2-27 b) 予測結果</p>	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音の予測結果を表 8-1-2-21 に示すとおり、予測地点における等価騒音レベルの予測結果は、64～72dB であった。</p>	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音の予測結果は、表 8-1-2-21 及び図 8-1-2-7 に示すとおり、予測地点における等価騒音レベルの予測結果は、59～72dB であった。</p>																																																																																																																		
<p>p. 8-1-2-27 表 8-1-2-21 予測結果</p>	<table border="1" data-bbox="475 1816 911 1973"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="3">等価騒音レベル(L<sub>eq</sub>) (dB)</th> <th rowspan="2">昼夜区分</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>寄与分</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道 1119 号</td><td>62</td><td>2.4</td><td>64</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12 号</td><td>64</td><td>0.6</td><td>65</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道 317 号（山手通り）</td><td>68</td><td>0.8</td><td>69</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道 2 号（中原街道）</td><td>72</td><td>0.2</td><td>72</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）</td><td>64</td><td>0.1</td><td>64</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道 18 号（鎌倉街道）</td><td>70</td><td>1.0</td><td>71</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環 2000 号</td><td>66</td><td>1.0</td><td>67</td><td>昼間</td></tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	等価騒音レベル(L <sub>eq</sub> ) (dB)			昼夜区分	現況値	寄与分	予測値	01	港区特別区道 1119 号	62	2.4	64	昼間	02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	64	0.6	65	昼間	03	都道 317 号（山手通り）	68	0.8	69	昼間	04	都道 2 号（中原街道）	72	0.2	72	昼間	05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	64	0.1	64	昼間	06	都道 18 号（鎌倉街道）	70	1.0	71	昼間	07	市道環 2000 号	66	1.0	67	昼間	<table border="1" data-bbox="949 1816 1401 1973"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="3">等価騒音レベル(L<sub>eq</sub>) (dB)</th> <th rowspan="2">昼夜区分</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>寄与分</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道 1119 号</td><td>62</td><td>0.1</td><td>62</td><td>昼間</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>58</td><td>0.3</td><td>59</td><td>夜間</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12 号</td><td>64</td><td>0.3</td><td>64</td><td>昼間</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>60</td><td>2.4</td><td>62</td><td>夜間</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道 317 号（山手通り）</td><td>68</td><td>0.8</td><td>69</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道 2 号（中原街道）</td><td>72</td><td>0.2</td><td>72</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）</td><td>64</td><td>0.1</td><td>64</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道 18 号（鎌倉街道）</td><td>70</td><td>0.9</td><td>71</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環 2000 号</td><td>66</td><td>1.0</td><td>67</td><td>昼間</td></tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	等価騒音レベル(L <sub>eq</sub> ) (dB)			昼夜区分	現況値	寄与分	予測値	01	港区特別区道 1119 号	62	0.1	62	昼間			58	0.3	59	夜間	02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	64	0.3	64	昼間			60	2.4	62	夜間	03	都道 317 号（山手通り）	68	0.8	69	昼間	04	都道 2 号（中原街道）	72	0.2	72	昼間	05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	64	0.1	64	昼間	06	都道 18 号（鎌倉街道）	70	0.9	71	昼間	07	市道環 2000 号	66	1.0	67	昼間
地点番号	路線名			等価騒音レベル(L <sub>eq</sub> ) (dB)				昼夜区分																																																																																																												
		現況値	寄与分	予測値																																																																																																																
01	港区特別区道 1119 号	62	2.4	64	昼間																																																																																																															
02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	64	0.6	65	昼間																																																																																																															
03	都道 317 号（山手通り）	68	0.8	69	昼間																																																																																																															
04	都道 2 号（中原街道）	72	0.2	72	昼間																																																																																																															
05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	64	0.1	64	昼間																																																																																																															
06	都道 18 号（鎌倉街道）	70	1.0	71	昼間																																																																																																															
07	市道環 2000 号	66	1.0	67	昼間																																																																																																															
地点番号	路線名	等価騒音レベル(L <sub>eq</sub> ) (dB)			昼夜区分																																																																																																															
		現況値	寄与分	予測値																																																																																																																
01	港区特別区道 1119 号	62	0.1	62	昼間																																																																																																															
		58	0.3	59	夜間																																																																																																															
02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	64	0.3	64	昼間																																																																																																															
		60	2.4	62	夜間																																																																																																															
03	都道 317 号（山手通り）	68	0.8	69	昼間																																																																																																															
04	都道 2 号（中原街道）	72	0.2	72	昼間																																																																																																															
05	神奈川県道 137 号（上麻生連光寺線）	64	0.1	64	昼間																																																																																																															
06	都道 18 号（鎌倉街道）	70	0.9	71	昼間																																																																																																															
07	市道環 2000 号	66	1.0	67	昼間																																																																																																															

表 12-1 (15) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-1-2-28～29 図 8-1-2-7(1)、(2) 調査結果及び予測結果 (騒音)[資材及び機械の運搬に用いる車両の運行]	—	追記
p. 8-1-2-30 表 8-1-2-22 環境保全措置の検討の状況	(資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持、適否の理由) 資材及び機械の運搬に用いる車両の適切な点検、整備による性能維持により、発生する騒音の低減が見込まれるため、環境保全措置として採用する。	(資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持、適否の理由) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持することで、発生する騒音を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>
	(資材及び機械の運搬に用いる車両の運行計画の配慮、適否の理由) 資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルート分散化、法定速度の遵守等を行うことにより、騒音の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。	(資材及び機械の運搬に用いる車両の運行計画の配慮、適否の理由) 資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルートの分散化等を行うことにより、騒音の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。
	—	「環境負荷低減を意識した運転の徹底」を追記
p. 8-1-2-30 表 8-1-2-23(1) 環境保全措置の検討の状況	(環境保全措置の効果) 資材及び機械の運搬に用いる車両の適切な点検、整備による性能維持により、発生する騒音が低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持することで、発生する騒音が低減できる。</u>
p. 8-1-2-31 表 8-1-2-23(2) 環境保全措置の検討の状況	(環境保全措置の効果) 資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルートの分散化、法定速度の遵守等を行うことにより、騒音の発生を低減できる。	(環境保全措置の効果) 資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルートの分散化等を行うことにより、騒音の発生を低減できる。
p. 8-1-2-31 表 8-1-2-23(3) 環境保全措置の検討の状況	—	追記
p. 8-1-2-32 a) 回避又は低減に係る評価	本事業では、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音の影響を低減させるため、表 8-1-2-23 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲で低減が図られていると評価する。	本事業では、「 <u>資材及び機械の運搬に用いる車両の点検及び整備による性能維持</u> 」「 <u>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行計画の配慮</u> 」及び「 <u>工事の平準化</u> 」の環境保全措置を確実に実施することから、 <u>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による騒音の環境影響について低減が図られているもの</u> と評価する。

表 12-1(16) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																																		
p. 8-1-2-32~33 b) 基準又は目標との整合性の検討	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音の予測結果は、表 8-1-2-25 に示すとおり道路端において 64~72dB となる。</p> <p>また、現況で騒音に係る環境基準値以下となっている地点の予測結果は 64~71dB であり、騒音に係る環境基準 70dB を超える地点があるが、資材及び機械の運搬に用いる車両による寄与は小さく、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音の影響は軽微なものであると評価する。</p>	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音の予測結果は、表 8-1-2-25 に示すとおり道路端において 59~72dB となる。</p> <p>また、現況で騒音に係る環境基準値以下となっている地点の予測結果は 59~71dB であり、騒音に係る環境基準 70dB を超える地点があるが、資材及び機械の運搬に用いる車両による寄与は小さく、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る騒音の影響は軽微なものであると評価する。</p>																																																																																																																																		
p. 8-1-2-33 表 8-1-2-25 評価結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="4">等価騒音レベル(L<sub>eq</sub>) (dB)</th> <th rowspan="2">昼夜区分</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>寄与分</th> <th>予測値</th> <th>環境基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区特別区道 1119 号</td> <td>82</td> <td>2.4</td> <td>84</td> <td>85</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区特別区道Ⅲ-12 号</td> <td>84</td> <td>0.8</td> <td>85</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>都道 317 号 (山手通り)</td> <td>88</td> <td>0.8</td> <td>89</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>都道 2 号 (中原街道)</td> <td>72</td> <td>0.2</td> <td>72</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>神奈川県道 137 号 (上麻生蓮光寺線)</td> <td>64</td> <td>0.1</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>都道 18 号 (鎌倉街道)</td> <td>70</td> <td>1.0</td> <td>71</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>市道環 2000 号</td> <td>88</td> <td>1.0</td> <td>87</td> <td>80</td> <td>昼間</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	等価騒音レベル(L <sub>eq</sub> ) (dB)				昼夜区分	現況値	寄与分	予測値	環境基準	01	港区特別区道 1119 号	82	2.4	84	85	昼間	02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	84	0.8	85	70	昼間	03	都道 317 号 (山手通り)	88	0.8	89	70	昼間	04	都道 2 号 (中原街道)	72	0.2	72	70	昼間	05	神奈川県道 137 号 (上麻生蓮光寺線)	64	0.1	64	70	昼間	06	都道 18 号 (鎌倉街道)	70	1.0	71	70	昼間	07	市道環 2000 号	88	1.0	87	80	昼間	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="4">等価騒音レベル(L<sub>eq</sub>) (dB)</th> <th rowspan="2">昼夜区分</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>寄与分</th> <th>予測値</th> <th>環境基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">01</td> <td rowspan="2">港区特別区道 1119 号</td> <td>62</td> <td>0.1</td> <td>62</td> <td>65</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>68</td> <td>0.5</td> <td>69</td> <td>60</td> <td>夜間</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">02</td> <td rowspan="2">品川区特別区道Ⅲ-12 号</td> <td>64</td> <td>0.3</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>2.4</td> <td>62</td> <td>65</td> <td>夜間</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>都道 317 号 (山手通り)</td> <td>68</td> <td>0.8</td> <td>69</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>都道 2 号 (中原街道)</td> <td>72</td> <td>0.2</td> <td>72</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>神奈川県道 137 号 (上麻生蓮光寺線)</td> <td>64</td> <td>0.1</td> <td>64</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>都道 18 号 (鎌倉街道)</td> <td>70</td> <td>0.9</td> <td>71</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>市道環 2000 号</td> <td>66</td> <td>1.0</td> <td>67</td> <td>60</td> <td>昼間</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	等価騒音レベル(L <sub>eq</sub> ) (dB)				昼夜区分	現況値	寄与分	予測値	環境基準	01	港区特別区道 1119 号	62	0.1	62	65	昼間	68	0.5	69	60	夜間	02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	64	0.3	64	70	昼間	60	2.4	62	65	夜間	03	都道 317 号 (山手通り)	68	0.8	69	70	昼間	04	都道 2 号 (中原街道)	72	0.2	72	70	昼間	05	神奈川県道 137 号 (上麻生蓮光寺線)	64	0.1	64	70	昼間	06	都道 18 号 (鎌倉街道)	70	0.9	71	70	昼間	07	市道環 2000 号	66	1.0	67	60	昼間
地点番号	路線名			等価騒音レベル(L <sub>eq</sub> ) (dB)					昼夜区分																																																																																																																											
		現況値	寄与分	予測値	環境基準																																																																																																																															
01	港区特別区道 1119 号	82	2.4	84	85	昼間																																																																																																																														
02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	84	0.8	85	70	昼間																																																																																																																														
03	都道 317 号 (山手通り)	88	0.8	89	70	昼間																																																																																																																														
04	都道 2 号 (中原街道)	72	0.2	72	70	昼間																																																																																																																														
05	神奈川県道 137 号 (上麻生蓮光寺線)	64	0.1	64	70	昼間																																																																																																																														
06	都道 18 号 (鎌倉街道)	70	1.0	71	70	昼間																																																																																																																														
07	市道環 2000 号	88	1.0	87	80	昼間																																																																																																																														
地点番号	路線名	等価騒音レベル(L <sub>eq</sub> ) (dB)				昼夜区分																																																																																																																														
		現況値	寄与分	予測値	環境基準																																																																																																																															
01	港区特別区道 1119 号	62	0.1	62	65	昼間																																																																																																																														
		68	0.5	69	60	夜間																																																																																																																														
02	品川区特別区道Ⅲ-12 号	64	0.3	64	70	昼間																																																																																																																														
		60	2.4	62	65	夜間																																																																																																																														
03	都道 317 号 (山手通り)	68	0.8	69	70	昼間																																																																																																																														
04	都道 2 号 (中原街道)	72	0.2	72	70	昼間																																																																																																																														
05	神奈川県道 137 号 (上麻生蓮光寺線)	64	0.1	64	70	昼間																																																																																																																														
06	都道 18 号 (鎌倉街道)	70	0.9	71	70	昼間																																																																																																																														
07	市道環 2000 号	66	1.0	67	60	昼間																																																																																																																														
p. 8-1-2-35 b) 予測式	$LRa = (PWLexit / N - 11 - 20 \log_{10}(r_a) + \Delta L_d)$ $LRb = (PWLexit / N - 11 - 20 \log_{10}(r_b) + \Delta L_d)$	$LRa = (PWLexit - 10 \log_{10} N - 11 - 20 \log_{10}(r_a) + \Delta L_d)$ $LRb = (PWLexit - 10 \log_{10} N - 11 - 20 \log_{10}(r_b) + \Delta L_d)$																																																																																																																																		
	$\overline{LR} = 10 \log_{10} 10 \left\{ \sum_{i=1}^N 10^{LRi/10} \right\}$	$\overline{LR} = 10 \log_{10} \left\{ \sum_{i=1}^N 10^{LRi/10} \right\}$																																																																																																																																		
p. 8-1-2-39~40 図 8-1-2-11(1)、(2) 予測結果(騒音)[鉄道施設(換気施設)の供用]	—	追記																																																																																																																																		
p. 8-1-2-41 表 8-1-2-33 環境保全措置の検討の状況	<p>(換気施設の点検・整備による性能維持、適否の理由)</p> <p>適切な点検、整備により換気施設の性能を維持することで、騒音の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>	<p>(換気施設の点検・整備による性能維持、適否の理由)</p> <p><u>換気設備の異常な騒音、ケーシング内の異物の混入の有無、据付ボルトの緩み、消音設備の腐食の有無や目詰まり状況の異常等の検査に加え、定期的に分解検査を行い、換気設備内部の粉塵の堆積、腐食の進行等の検査を行うことにより、換気施設の性能を維持することで、騒音の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u></p>																																																																																																																																		
p. 8-1-2-42 表 8-1-2-34(4) 環境保全措置の内容	<p>(環境保全措置の効果)</p> <p>適切な点検・整備により換気施設の性能を維持することで、騒音の発生を低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果)</p> <p><u>換気設備の異常な騒音、ケーシング内の異物の混入の有無、据付ボルトの緩み、消音設備の腐食の有無や目詰まり状況の異常等の検査に加え、定期的に分解検査を行い、換気設備内部の粉塵の堆積、腐食の進行等の検査を行うことにより、換気施設の性能を維持することで、騒音の発生を低減できる。</u></p>																																																																																																																																		

表 12-1(17) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																									
p. 8-1-2-44 a) 回避又は低減に係る評価	事業の実施に当たっては、環境保全措置として「環境対策型換気施設の採用」、「消音装置の設置」、「換気ダクトの曲がり部の設置」及び「換気施設の点検・整備による性能維持」の実施により、環境負荷の低減に努める。よって、事業者により実行可能な範囲内で低減されているものと評価する。	本事業では、「環境対策型換気施設の採用」、「消音装置の設置」、「換気ダクトの曲がり部の設置」及び「換気施設の点検・整備による性能維持」の環境保全措置を確実に実施することから、鉄道施設(換気施設)の供用に係る騒音の環境影響について低減が図られているものと評価する。																																																																									
p. 8-1-2-44 表 8-1-2-36 評価結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">区市名</th> <th rowspan="2">所在地</th> <th rowspan="2">区域の区分</th> <th colspan="2">予測値 (dB)</th> <th rowspan="2">基準値 (dB)</th> </tr> <tr> <th>20m</th> <th>50m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区</td> <td>港南</td> <td>第3種区域</td> <td rowspan="6">26</td> <td rowspan="6">22</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区</td> <td>北品川</td> <td>第3種区域</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>大田区</td> <td>東雪谷</td> <td>第2種区域</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td rowspan="4">町田市</td> <td>能ヶ谷</td> <td>第1種区域</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>小野路町</td> <td>第1種区域</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>上小山田町</td> <td>第2種区域</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	区市名	所在地	区域の区分	予測値 (dB)		基準値 (dB)	20m	50m	01	港区	港南	第3種区域	26	22	50	02	品川区	北品川	第3種区域	50	03	大田区	東雪谷	第2種区域	45	04	町田市	能ヶ谷	第1種区域	40	05	小野路町	第1種区域	40	06	上小山田町	第2種区域	45	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">区市名</th> <th rowspan="2">所在地</th> <th rowspan="2">区域の区分</th> <th colspan="2">予測値 (dB)</th> <th rowspan="2">基準値 (dB)</th> </tr> <tr> <th>20m</th> <th>50m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区</td> <td>港南</td> <td>第3種区域</td> <td rowspan="6">26</td> <td rowspan="6">22</td> <td rowspan="6">40</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区</td> <td>北品川</td> <td>第3種区域</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>大田区</td> <td>東雪谷</td> <td>第2種区域</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td rowspan="4">町田市</td> <td>能ヶ谷</td> <td>第1種区域</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>小野路町</td> <td>第1種区域</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>上小山田町</td> <td>第2種区域</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 規制基準値は「騒音規制法の特定工場等に係る規制基準」(昭和44年東京都告示第157号)における最も厳しい基準値と比較した。</p>	地点番号	区市名	所在地	区域の区分	予測値 (dB)		基準値 (dB)	20m	50m	01	港区	港南	第3種区域	26	22	40	02	品川区	北品川	第3種区域	03	大田区	東雪谷	第2種区域	04	町田市	能ヶ谷	第1種区域	05	小野路町	第1種区域	06	上小山田町	第2種区域
地点番号	区市名					所在地	区域の区分		予測値 (dB)		基準値 (dB)																																																																
		20m	50m																																																																								
01	港区	港南	第3種区域	26	22	50																																																																					
02	品川区	北品川	第3種区域			50																																																																					
03	大田区	東雪谷	第2種区域			45																																																																					
04	町田市	能ヶ谷	第1種区域			40																																																																					
05		小野路町	第1種区域			40																																																																					
06		上小山田町	第2種区域			45																																																																					
地点番号		区市名	所在地	区域の区分	予測値 (dB)		基準値 (dB)																																																																				
	20m				50m																																																																						
01	港区	港南	第3種区域	26	22	40																																																																					
02	品川区	北品川	第3種区域																																																																								
03	大田区	東雪谷	第2種区域																																																																								
04	町田市	能ヶ谷	第1種区域																																																																								
05		小野路町	第1種区域																																																																								
06		上小山田町	第2種区域																																																																								
p. 8-1-3-7 表 8-1-3-7 道路交通振動の調査結果		(地点番号 06、調査結果、昼間) 43	(地点番号 06、調査結果、昼間) 44																																																																								
p. 8-1-3-11 o) 予測対象時期	予測地点別の予測時期を表 8-1-3-12 に示す。	予測地点別の予測時期を表 8-1-3-12 に示す。 <u>地上部工事における建設機械の稼働は、日稼働時間を8～17時(12時台を除く)の8時間/日、月稼働日数は22日/月と想定した。トンネル・地下駅工事における建設機械の稼働は24時間稼働を前提とするとともに、月稼働日数は22日/月(地下駅は23日/月)と想定した。</u>																																																																									
準備書 p. 8-1-3-12～13 図 8-1-3-4 予測地点	予測地点	削除																																																																									
p. 8-1-3-13 k) 予測結果	工事中における建設機械の稼働に係る振動の予測結果は、表 8-1-3-14 に示すとおり、予測地点における主な建設機械の振動レベルで 59～65dB であった。	工事中の <u>実施時</u> における建設機械の稼働に係る振動の予測結果は、表 8-1-3-14 <u>及び図 8-1-3-4</u> に示すとおり、59～65dB であった。																																																																									
p. 8-1-3-14～15 図 8-1-3-4 予測結果(振動)[建設機械の稼働]	—	追記																																																																									

表 12-1(18) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																												
p. 8-1-3-16 表 8-1-3-15 環境保全措置の検討の状況	(工事規模に合わせた建設機械の設定、適否の理由) 使用する建設機械を工事規模に合わせ適切に設定し、必要以上の建設機械の配置、稼働を避けることで振動の発生を抑制することができるため、適切な環境保全措置と考へ採用する。  (建設機械の点検・整備による性能維持、適否の理由) 適切な点検、整備により建設機械の性能を維持し、作業の効率化、性能低下を補うための過負荷運転等の防止を図ることで振動の発生を抑制することができるため、適切な環境保全措置と考へ採用する。	(工事規模に合わせた建設機械の設定、適否の理由) <u>工事規模に合わせて必要以上の建設機械の規格、配置及び稼働とならないように計画することで、振動の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>  (建設機械の点検・整備による性能維持、適否の理由) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、建設機械の性能を維持することで、振動の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>																																																																																												
p. 8-1-3-16 表 8-1-3-16(1) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 低振動型建設機械の採用により、工事に伴う振動の発生を抑制することができる。	(環境保全措置の効果) 低振動型建設機械の採用により、 <u>発生する振動を低減</u> できる。																																																																																												
p. 8-1-3-17 表 8-1-3-16(2) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な機械の設定により必要以上の建設機械の配置・稼働を避けることで、振動の発生を抑制することができる。	(環境保全措置の効果) <u>工事規模に合わせて必要以上の建設機械の規格、配置及び稼働とならないように計画することで、振動の発生を低減</u> できる。																																																																																												
p. 8-1-3-17 表 8-1-3-16(4) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な点検、整備により建設機械の性能を維持することで、振動の発生を抑制することができる。	(環境保全措置の効果) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、建設機械の性能を維持することで、振動の発生を低減</u> できる。																																																																																												
p. 8-1-3-19 表 8-1-3-17(2) 指定建設作業に係る振動の規制基準	(作業時間) 1号区域 午前7時～午後10時 2号区域 午前6時～午後7時	(作業時間) 1号区域 午前7時～午後7時 2号区域 午前6時～午後10時																																																																																												
p. 8-1-3-20 a) 回避又は低減に係る評価	本事業では、建設機械の稼働に係る振動の影響を低減させるため、表 8-1-3-16 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。	建設機械の稼働による各地点の振動レベルの予測値は 59dB～65dB となるが、 <u>これらはあくまで工事期間中における最大の値であり、その値が観測されるのは工事中の限られた期間にとどまる。</u> 本事業では、これらの状況に加え、「 <u>低騒音型建設機械の採用</u> 」、「 <u>工事規模に合わせた建設機械の設定</u> 」、「 <u>建設機械の使用時における配慮</u> 」、「 <u>建設機械の点検・整備による性能維持</u> 」、及び「 <u>工事の平準化</u> 」の環境保全措置を確実に実施することから、 <u>建設機械の稼働による振動の環境影響について低減が図られているものと評価する。</u>																																																																																												
p. 8-1-3-20 表 8-1-3-18 評価結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>区市名</th> <th>所在地</th> <th>工種</th> <th>予測地点における振動レベル(dB)</th> <th colspan="2">規制基準(dB)</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>指定建設作業</th> <th>特定建設作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区</td> <td>港南</td> <td>路上運搬工</td> <td>65</td> <td rowspan="6">70</td> <td rowspan="6">75</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区</td> <td>北品川</td> <td>掘削工</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>大田区</td> <td>東雪谷</td> <td>到達・発進防護工</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td></td> <td>鈴ヶ谷</td> <td>到達防護工</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>町田市</td> <td>小野路町</td> <td>掘削工</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td></td> <td>上小山田町</td> <td>シールド機発進準備工</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	区市名	所在地	工種	予測地点における振動レベル(dB)	規制基準(dB)							指定建設作業	特定建設作業	01	港区	港南	路上運搬工	65	70	75	02	品川区	北品川	掘削工	62	03	大田区	東雪谷	到達・発進防護工	63	04		鈴ヶ谷	到達防護工	63	05	町田市	小野路町	掘削工	64	06		上小山田町	シールド機発進準備工	63	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>区市名</th> <th>所在地</th> <th>工種</th> <th>予測地点における振動レベル(dB)</th> <th colspan="2">規制基準(dB)</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>指定建設作業</th> <th>特定建設作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区</td> <td>港南</td> <td>路上運搬工</td> <td>65</td> <td rowspan="6">70</td> <td rowspan="6">75</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区</td> <td>北品川</td> <td>掘削工</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>大田区</td> <td>東雪谷</td> <td>到達・発進防護工</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td></td> <td>鈴ヶ谷</td> <td>到達防護工</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>町田市</td> <td>小野路町</td> <td>掘削工</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td></td> <td>上小山田町</td> <td>シールド機発進準備工</td> <td>63</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	区市名	所在地	工種	予測地点における振動レベル(dB)	規制基準(dB)							指定建設作業	特定建設作業	01	港区	港南	路上運搬工	65	70	75	02	品川区	北品川	掘削工	59	03	大田区	東雪谷	到達・発進防護工	63	04		鈴ヶ谷	到達防護工	63	05	町田市	小野路町	掘削工	64	06		上小山田町	シールド機発進準備工	63
地点番号	区市名	所在地	工種	予測地点における振動レベル(dB)	規制基準(dB)																																																																																									
					指定建設作業	特定建設作業																																																																																								
01	港区	港南	路上運搬工	65	70	75																																																																																								
02	品川区	北品川	掘削工	62																																																																																										
03	大田区	東雪谷	到達・発進防護工	63																																																																																										
04		鈴ヶ谷	到達防護工	63																																																																																										
05	町田市	小野路町	掘削工	64																																																																																										
06		上小山田町	シールド機発進準備工	63																																																																																										
地点番号	区市名	所在地	工種	予測地点における振動レベル(dB)	規制基準(dB)																																																																																									
					指定建設作業	特定建設作業																																																																																								
01	港区	港南	路上運搬工	65	70	75																																																																																								
02	品川区	北品川	掘削工	59																																																																																										
03	大田区	東雪谷	到達・発進防護工	63																																																																																										
04		鈴ヶ谷	到達防護工	63																																																																																										
05	町田市	小野路町	掘削工	64																																																																																										
06		上小山田町	シールド機発進準備工	63																																																																																										

表 12-1(19) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																														
p. 8-1-3-22 ㉔) 予測対象時期	予測地点別の予測対象時期を表 8-1-3-19 に示す。	予測地点別の予測対象時期を表 8-1-3-19 に示す。 <u>地上部工事における資材及び機械の運搬に用いる車両の運行時間は、8～17時(12時台を除く)の8時間/日、月稼働日数を22日/月と想定した。トンネル・地下駅工事における資材及び機械の運搬に用いる車両の運行時間は、24時間稼働を前提とするとともに、月稼働日数は22日/月(地下駅は23日/月)と想定した。</u>																																																																																																														
p. 8-1-3-22 表 8-1-3-19 予測対象時期	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>路線名</th> <th>予測時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道1119号</td><td>工事開始後5年目</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12号</td><td>工事開始後5年目</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道317号(山手通り)</td><td>工事開始後7年目</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道2号(中原街道)</td><td>工事開始後6年目</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td><td>工事開始後3年目</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道18号(鎌倉街道)</td><td>工事開始後6年目</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環2000号</td><td>工事開始後6年目</td></tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	予測時期	01	港区特別区道1119号	工事開始後5年目	02	品川区特別区道Ⅲ-12号	工事開始後5年目	03	都道317号(山手通り)	工事開始後7年目	04	都道2号(中原街道)	工事開始後6年目	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	工事開始後3年目	06	都道18号(鎌倉街道)	工事開始後6年目	07	市道環2000号	工事開始後6年目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>路線名</th> <th>予測対象時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道1119号</td><td>工事開始後5年目(昼間)</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>工事開始後4年目(夜間)</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12号</td><td>工事開始後5年目(昼間)</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>工事開始後5年目(夜間)</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道317号(山手通り)</td><td>工事開始後8年目</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道2号(中原街道)</td><td>工事開始後3年目</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td><td>工事開始後3年目</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道18号(鎌倉街道)</td><td>工事開始後3年目</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環2000号</td><td>工事開始後7年目</td></tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	予測対象時期	01	港区特別区道1119号	工事開始後5年目(昼間)			工事開始後4年目(夜間)	02	品川区特別区道Ⅲ-12号	工事開始後5年目(昼間)			工事開始後5年目(夜間)	03	都道317号(山手通り)	工事開始後8年目	04	都道2号(中原街道)	工事開始後3年目	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	工事開始後3年目	06	都道18号(鎌倉街道)	工事開始後3年目	07	市道環2000号	工事開始後7年目																																																								
地点番号	路線名	予測時期																																																																																																														
01	港区特別区道1119号	工事開始後5年目																																																																																																														
02	品川区特別区道Ⅲ-12号	工事開始後5年目																																																																																																														
03	都道317号(山手通り)	工事開始後7年目																																																																																																														
04	都道2号(中原街道)	工事開始後6年目																																																																																																														
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	工事開始後3年目																																																																																																														
06	都道18号(鎌倉街道)	工事開始後6年目																																																																																																														
07	市道環2000号	工事開始後6年目																																																																																																														
地点番号	路線名	予測対象時期																																																																																																														
01	港区特別区道1119号	工事開始後5年目(昼間)																																																																																																														
		工事開始後4年目(夜間)																																																																																																														
02	品川区特別区道Ⅲ-12号	工事開始後5年目(昼間)																																																																																																														
		工事開始後5年目(夜間)																																																																																																														
03	都道317号(山手通り)	工事開始後8年目																																																																																																														
04	都道2号(中原街道)	工事開始後3年目																																																																																																														
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	工事開始後3年目																																																																																																														
06	都道18号(鎌倉街道)	工事開始後3年目																																																																																																														
07	市道環2000号	工事開始後7年目																																																																																																														
p. 8-1-3-23 表 8-1-3-20 予測条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">発生集中交通量(台/日)</th> <th rowspan="2">規制速度(km/h)</th> <th rowspan="2">昼夜区分</th> </tr> <tr> <th>大型</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道1119号</td><td>188</td><td>30</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12号</td><td>188</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道317号(山手通り)</td><td>787</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道2号(中原街道)</td><td>319</td><td>50</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td><td>143</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道18号(鎌倉街道)</td><td>332</td><td>50</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環2000号</td><td>350</td><td>50</td><td>昼間</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 昼間は09～17時 注2. 発生交通量は、1日の往復の工事用車両台数とした。</p>	地点番号	路線名	発生集中交通量(台/日)		規制速度(km/h)	昼夜区分	大型		01	港区特別区道1119号	188	30	昼間	02	品川区特別区道Ⅲ-12号	188	40	昼間	03	都道317号(山手通り)	787	40	昼間	04	都道2号(中原街道)	319	50	昼間	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	143	40	昼間	06	都道18号(鎌倉街道)	332	50	昼間	07	市道環2000号	350	50	昼間	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">発生集中交通量(台/日)</th> <th rowspan="2">規制速度(km/h)</th> <th rowspan="2">昼夜区分</th> </tr> <tr> <th>大型</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道1119号</td><td>20</td><td>30</td><td>昼間</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>24</td><td>30</td><td>夜間</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12号</td><td>188</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>189</td><td>40</td><td>夜間</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道317号(山手通り)</td><td>323</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道2号(中原街道)</td><td>319</td><td>50</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td><td>143</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道18号(鎌倉街道)</td><td>232</td><td>50</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環2000号</td><td>350</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 品川区特別区道(地点番号05、07) 注2. 発生交通量は、1日の往復の工事用車両台数とした。</p>	地点番号	路線名	発生集中交通量(台/日)		規制速度(km/h)	昼夜区分	大型		01	港区特別区道1119号	20	30	昼間			24	30	夜間	02	品川区特別区道Ⅲ-12号	188	40	昼間			189	40	夜間	03	都道317号(山手通り)	323	40	昼間	04	都道2号(中原街道)	319	50	昼間	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	143	40	昼間	06	都道18号(鎌倉街道)	232	50	昼間	07	市道環2000号	350	40	昼間														
地点番号	路線名			発生集中交通量(台/日)				規制速度(km/h)	昼夜区分																																																																																																							
		大型																																																																																																														
01	港区特別区道1119号	188	30	昼間																																																																																																												
02	品川区特別区道Ⅲ-12号	188	40	昼間																																																																																																												
03	都道317号(山手通り)	787	40	昼間																																																																																																												
04	都道2号(中原街道)	319	50	昼間																																																																																																												
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	143	40	昼間																																																																																																												
06	都道18号(鎌倉街道)	332	50	昼間																																																																																																												
07	市道環2000号	350	50	昼間																																																																																																												
地点番号	路線名	発生集中交通量(台/日)		規制速度(km/h)	昼夜区分																																																																																																											
		大型																																																																																																														
01	港区特別区道1119号	20	30	昼間																																																																																																												
		24	30	夜間																																																																																																												
02	品川区特別区道Ⅲ-12号	188	40	昼間																																																																																																												
		189	40	夜間																																																																																																												
03	都道317号(山手通り)	323	40	昼間																																																																																																												
04	都道2号(中原街道)	319	50	昼間																																																																																																												
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	143	40	昼間																																																																																																												
06	都道18号(鎌倉街道)	232	50	昼間																																																																																																												
07	市道環2000号	350	40	昼間																																																																																																												
p. 8-1-3-23 ㉔) 予測結果	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動の予測結果は、表 8-1-3-21 に示すとおり、予測地点における振動レベルの予測結果は、40～49dBであった。	資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動の予測結果は、表 8-1-3-21 <u>及び図 8-1-3-6</u> に示すとおり、 <u>33～49dB</u> であった。																																																																																																														
p. 8-1-3-23 表 8-1-3-21 予測結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">振動レベル(dB)</th> <th rowspan="2">昼夜区分</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道1119号</td><td>36</td><td>3.5</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12号</td><td>38</td><td>1.0</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道317号(山手通り)</td><td>38</td><td>1.1</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道2号(中原街道)</td><td>48</td><td>0.5</td><td>49</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td><td>39</td><td>0.5</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道18号(鎌倉街道)</td><td>45</td><td>1.8</td><td>47</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環2000号</td><td>46</td><td>2.2</td><td>48</td><td>昼間</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 予測結果はL<sub>1</sub>:80%レンジ上確値(dB)である。 注2. 1時間毎に算出した予測値(現況値+寄与分)の内、最大値を示している。 よって、調査結果に示した現況値と上表の現況値が異なる場合がある。</p>	地点番号	路線名	振動レベル(dB)		昼夜区分	現況値	予測値	01	港区特別区道1119号	36	3.5	40	昼間	02	品川区特別区道Ⅲ-12号	38	1.0	40	昼間	03	都道317号(山手通り)	38	1.1	40	昼間	04	都道2号(中原街道)	48	0.5	49	昼間	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	39	0.5	40	昼間	06	都道18号(鎌倉街道)	45	1.8	47	昼間	07	市道環2000号	46	2.2	48	昼間	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="2">振動レベル(dB)</th> <th rowspan="2">昼夜区分</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>予測値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>01</td><td>港区特別区道1119号</td><td>36</td><td>0.3</td><td>36</td><td>昼間</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>32</td><td>0.6</td><td>33</td><td>夜間</td></tr> <tr><td>02</td><td>品川区特別区道Ⅲ-12号</td><td>38</td><td>0.5</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>33</td><td>2.1</td><td>35</td><td>夜間</td></tr> <tr><td>03</td><td>都道317号(山手通り)</td><td>38</td><td>1.1</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>04</td><td>都道2号(中原街道)</td><td>48</td><td>0.5</td><td>49</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>05</td><td>神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)</td><td>39</td><td>0.5</td><td>40</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>06</td><td>都道18号(鎌倉街道)</td><td>45</td><td>1.7</td><td>47</td><td>昼間</td></tr> <tr><td>07</td><td>市道環2000号</td><td>46</td><td>2.2</td><td>48</td><td>昼間</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 予測結果はL<sub>1</sub>:80%レンジ上確値(dB)である。 注2. 1時間毎に算出した予測値(現況値+寄与分)の内、最大値を示している。 よって、調査結果に示した現況値と上表の現況値が異なる場合がある。</p>	地点番号	路線名	振動レベル(dB)		昼夜区分	現況値	予測値	01	港区特別区道1119号	36	0.3	36	昼間			32	0.6	33	夜間	02	品川区特別区道Ⅲ-12号	38	0.5	40	昼間			33	2.1	35	夜間	03	都道317号(山手通り)	38	1.1	40	昼間	04	都道2号(中原街道)	48	0.5	49	昼間	05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	39	0.5	40	昼間	06	都道18号(鎌倉街道)	45	1.7	47	昼間	07	市道環2000号	46	2.2	48	昼間
地点番号	路線名			振動レベル(dB)			昼夜区分																																																																																																									
		現況値	予測値																																																																																																													
01	港区特別区道1119号	36	3.5	40	昼間																																																																																																											
02	品川区特別区道Ⅲ-12号	38	1.0	40	昼間																																																																																																											
03	都道317号(山手通り)	38	1.1	40	昼間																																																																																																											
04	都道2号(中原街道)	48	0.5	49	昼間																																																																																																											
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	39	0.5	40	昼間																																																																																																											
06	都道18号(鎌倉街道)	45	1.8	47	昼間																																																																																																											
07	市道環2000号	46	2.2	48	昼間																																																																																																											
地点番号	路線名	振動レベル(dB)		昼夜区分																																																																																																												
		現況値	予測値																																																																																																													
01	港区特別区道1119号	36	0.3	36	昼間																																																																																																											
		32	0.6	33	夜間																																																																																																											
02	品川区特別区道Ⅲ-12号	38	0.5	40	昼間																																																																																																											
		33	2.1	35	夜間																																																																																																											
03	都道317号(山手通り)	38	1.1	40	昼間																																																																																																											
04	都道2号(中原街道)	48	0.5	49	昼間																																																																																																											
05	神奈川県道137号(上麻生蓮光寺線)	39	0.5	40	昼間																																																																																																											
06	都道18号(鎌倉街道)	45	1.7	47	昼間																																																																																																											
07	市道環2000号	46	2.2	48	昼間																																																																																																											
p. 8-1-3-24、25 図 8-1-3-6 予測結果(振動)[資材及び機械の運搬に用いる車両の運行]	—	追記																																																																																																														

表 12-1 (20) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-1-3-26 表 8-1-3-22 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>(資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持、適否の理由) 適切な点検、整備により資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持し、作業の効率化、性能低下を補うための過負荷運転等の防止を図ることで振動の発生を抑制することができるため、適切な環境保全措置と考え採用する。</p> <p>(環境保全措置) 資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルート<sup>の分散</sup></p> <p>(資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルート<sup>の分散</sup>、適否の理由) 詳細な工事計画策定時に資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルート<sup>の再検討</sup>を行い、更なる分散化を行うことにより、車両の集中による局地的な振動の発生を防止することができるため、適切な環境保全措置と考え採用する。</p> <p>—</p>	<p>(資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持、適否の理由) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検、整備により、資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持すること</u>で、発生する振動を<u>低減</u>できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(環境保全措置) 資材及び機械の運搬に用いる車両<sup>の運行計画の配慮</sup></p> <p>(資材及び機械の運搬に用いる車両の運行計画の配慮、適否の理由) 資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルート<sup>の分散化等</sup>を行うことにより、振動の発生を<u>低減</u>できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>「環境負荷軽減を意識した運転の徹底」を追記</p>
<p>p. 8-1-3-26 1) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内</p>	<p>本事業では、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る振動による環境影響を低減させるため、環境保全措置として「資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持」「資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルート<sup>の分散</sup>」及び「工事の平準化」を実施する。</p>	<p>本事業では、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に係る振動による環境影響を低減させるため、環境保全措置として「資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持」、「資材及び機械の運搬に用いる車両<sup>の運行計画の配慮</sup>」、「環境負荷軽減を意識した運転の徹底」及び「工事の平準化」を実施する。</p>
<p>p. 8-1-3-26 表 8-1-3-23(1) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 適切な点検、整備により資材運搬等の車両の性能を維持することで、振動の発生を抑制することができる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により、資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持すること</u>で、発生する振動が<u>低減</u>できる。</p>
<p>p. 8-1-3-27 表 8-1-3-23(2) 環境保全措置の内容</p>	<p>(実施内容、種類・方法) 資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルート<sup>の分散</sup></p> <p>(環境保全措置の効果) 資材運搬等の車両の運行ルート<sup>の更なる分散化</sup>を行うことにより、車両の集中による局地的な振動の発生を防止することができる。</p>	<p>(実施内容、種類・方法) 資材及び機械の運搬に用いる車両<sup>の運行計画の配慮</sup></p> <p>(環境保全措置の効果) <u>資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルート<sup>の分散化等</sup>を行うことにより、振動の発生を低減</u>できる。</p>
<p>p. 8-1-3-27 表 8-1-3-23(3) 環境保全措置の内容</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>

表 12-1 (21) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																																																				
<p>p. 8-1-3-28 a) 回避又は低減に係る評価</p>	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴い発生する道路交通振動の影響を低減する環境保全措置として、「資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持」、「資材及び機械の運搬に用いる車両及び運行ルート分散」及び「工事の平準化」を図ることとしている。したがって、事業者により実行可能な範囲内で環境影響を低減できるものと評価する。</p>	<p>本事業では、「資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持」、「資材及び機械の運搬に用いる車両の運行計画の配慮」、「環境負荷低減を意識した運転の徹底」及び「工事の平準化」の環境保全措置を確実に実施することから、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による振動の環境影響について低減が図られているものと評価する。</p>																																																																																																																																																				
<p>p. 8-1-3-29 表 8-1-3-25 評価結果</p>	<table border="1" data-bbox="470 600 922 757"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="5">振動レベル (dB)</th> <th rowspan="2">昼夜区分</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>寄与分</th> <th>予測値</th> <th>規制基準</th> <th>要請限度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区特別区道1119号</td> <td>38</td> <td>3.5</td> <td>40</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区特別区道-12号</td> <td>38</td> <td>1.0</td> <td>40</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>都道317号(山手通)</td> <td>39</td> <td>1.1</td> <td>40</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>都道2号(中原街道)</td> <td>46</td> <td>0.5</td> <td>49</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>神奈川県道137号(上麻生通光寺橋)</td> <td>39</td> <td>0.5</td> <td>40</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>都道13号(鎌倉街道)</td> <td>45</td> <td>1.5</td> <td>47</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>市道境2000号</td> <td>46</td> <td>2.2</td> <td>48</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>昼間</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	路線名	振動レベル (dB)					昼夜区分	現況値	寄与分	予測値	規制基準	要請限度	01	港区特別区道1119号	38	3.5	40	65	70	昼間	02	品川区特別区道-12号	38	1.0	40	65	70	昼間	03	都道317号(山手通)	39	1.1	40	65	70	昼間	04	都道2号(中原街道)	46	0.5	49	65	70	昼間	05	神奈川県道137号(上麻生通光寺橋)	39	0.5	40	60	65	昼間	06	都道13号(鎌倉街道)	45	1.5	47	65	70	昼間	07	市道境2000号	46	2.2	48	60	65	昼間	<table border="1" data-bbox="957 600 1396 757"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">路線名</th> <th colspan="5">振動レベル (dB)</th> <th rowspan="2">昼夜区分</th> </tr> <tr> <th>現況値</th> <th>寄与分</th> <th>予測値</th> <th>規制基準</th> <th>要請限度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">01</td> <td rowspan="2">港区特別区道1119号</td> <td>38</td> <td>0.3</td> <td>38</td> <td rowspan="2">50</td> <td rowspan="2">70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>0.6</td> <td>38</td> <td>夜間</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">02</td> <td rowspan="2">品川区特別区道-12号</td> <td>38</td> <td>0.5</td> <td>40</td> <td rowspan="2">50</td> <td rowspan="2">70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>33</td> <td>2.1</td> <td>36</td> <td>夜間</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>都道317号(山手通)</td> <td>39</td> <td>1.1</td> <td>40</td> <td rowspan="2">50</td> <td rowspan="2">70</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>都道2号(中原街道)</td> <td>46</td> <td>0.5</td> <td>49</td> <td>夜間</td> </tr> <tr> <td>05</td> <td>神奈川県道137号(上麻生通光寺橋)</td> <td>39</td> <td>0.5</td> <td>40</td> <td rowspan="2">50</td> <td rowspan="2">65</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td>06</td> <td>都道13号(鎌倉街道)</td> <td>45</td> <td>1.2</td> <td>47</td> <td>夜間</td> </tr> <tr> <td>07</td> <td>市道境2000号</td> <td>46</td> <td>2.2</td> <td>48</td> <td rowspan="2">50</td> <td rowspan="2">65</td> <td>昼間</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>夜間</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="965 757 1396 784">注：1.規制基準は「日本道路協会「自動車振動の規制基準」(報告)の換算に安全を確保する程度に関する規制値(138dB、別表第130)における最も厳しい基準値と比較した。</p>	地点番号	路線名	振動レベル (dB)					昼夜区分	現況値	寄与分	予測値	規制基準	要請限度	01	港区特別区道1119号	38	0.3	38	50	70	昼間	38	0.6	38	夜間	02	品川区特別区道-12号	38	0.5	40	50	70	昼間	33	2.1	36	夜間	03	都道317号(山手通)	39	1.1	40	50	70	昼間	04	都道2号(中原街道)	46	0.5	49	夜間	05	神奈川県道137号(上麻生通光寺橋)	39	0.5	40	50	65	昼間	06	都道13号(鎌倉街道)	45	1.2	47	夜間	07	市道境2000号	46	2.2	48	50	65	昼間						夜間
地点番号	路線名			振動レベル (dB)						昼夜区分																																																																																																																																												
		現況値	寄与分	予測値	規制基準	要請限度																																																																																																																																																
01	港区特別区道1119号	38	3.5	40	65	70	昼間																																																																																																																																															
02	品川区特別区道-12号	38	1.0	40	65	70	昼間																																																																																																																																															
03	都道317号(山手通)	39	1.1	40	65	70	昼間																																																																																																																																															
04	都道2号(中原街道)	46	0.5	49	65	70	昼間																																																																																																																																															
05	神奈川県道137号(上麻生通光寺橋)	39	0.5	40	60	65	昼間																																																																																																																																															
06	都道13号(鎌倉街道)	45	1.5	47	65	70	昼間																																																																																																																																															
07	市道境2000号	46	2.2	48	60	65	昼間																																																																																																																																															
地点番号	路線名	振動レベル (dB)					昼夜区分																																																																																																																																															
		現況値	寄与分	予測値	規制基準	要請限度																																																																																																																																																
01	港区特別区道1119号	38	0.3	38	50	70	昼間																																																																																																																																															
		38	0.6	38			夜間																																																																																																																																															
02	品川区特別区道-12号	38	0.5	40	50	70	昼間																																																																																																																																															
		33	2.1	36			夜間																																																																																																																																															
03	都道317号(山手通)	39	1.1	40	50	70	昼間																																																																																																																																															
04	都道2号(中原街道)	46	0.5	49			夜間																																																																																																																																															
05	神奈川県道137号(上麻生通光寺橋)	39	0.5	40	50	65	昼間																																																																																																																																															
06	都道13号(鎌倉街道)	45	1.2	47			夜間																																																																																																																																															
07	市道境2000号	46	2.2	48	50	65	昼間																																																																																																																																															
							夜間																																																																																																																																															
<p>準備書 p. 8-1-3-30~31 図 8-1-3-7 予測地点</p>	<p>予測地点</p>	<p>削除</p>																																																																																																																																																				
<p>p. 8-1-3-33 b) 予測地点における予測結果</p>	<p>本事業で用いる換気施設と比べて規模の大きな施設での実測値を用いて予測を行ったものであることから、他事例の結果より、それぞれの予測地点における換気施設の稼働に係る振動レベルの予測結果は、表8-1-3-31に示すとおり30dBを超えることはないと予測される。</p>	<p>本事業で用いる換気施設と比べて規模の大きな施設での実測値を用いて予測を行ったものであることから、他事例の結果より、それぞれの予測地点における換気施設の稼働に係る振動レベルの予測結果は、表8-1-3-31及び図8-1-3-9に示すとおり30dBを超えることはないと予測される。</p>																																																																																																																																																				
<p>p. 8-1-3-34~35 図 8-1-3-9 予測結果(振動)[鉄道施設(換気施設)の供用]</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>																																																																																																																																																				
<p>p. 8-1-3-36 表 8-1-3-32 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>(換気施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 適切な点検・整備により換気施設の性能を維持することで、振動の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>	<p>(換気施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 換気設備の異常な振動、ケーシング内の異物の混入の有無、据付ボルトの緩み、消音設備の腐食の有無や目詰まり状況の異常等の検査に加え、定期的に分解検査を行い、換気設備内部の粉塵の堆積、腐食の進行等の検査を行うことにより、換気設備の性能を維持することで、振動の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>																																																																																																																																																				

表 12-1 (22) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-1-3-37 表 8-1-3-33(3) 環境 保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 適切な点検、整備により換気施設の性能を維持することで、振動の発生を低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) <u>換気設備の異常な振動、ケーシング内の異物の混入の有無、据付ボルトの緩み、消音設備の腐食の有無や目詰まり状況の異常等の検査に加え、定期的に分解検査を行い、換気設備内部の粉塵の堆積、腐食の進行等の検査を行うことにより、換気施設の性能を維持することで、振動の発生を低減できる。</u></p>
<p>p. 8-1-3-38 a) 回避又は低減に係る評価</p>	<p>本事業では、鉄道施設（換気施設）の供用に伴い発生する振動の影響を低減させるため、表 8-1-3-33 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。</p>	<p>本事業では、「<u>環境対策型換気施設の採用</u>」、「<u>防振装置の設置</u>」、「<u>換気施設の点検・整備による性能維持</u>」の環境保全措置を<u>確実に実施することから、鉄道施設（換気施設）の供用に係る振動の環境影響について低減が図られているものと評価する。</u></p>
<p>準備書 p. 8-1-3-40 図 8-1-3-11 予測地点</p>	<p>予測地点</p>	<p>削除</p>
<p>p. 8-1-3-42 a) 予測地点における予測結果</p>	<p>表 8-1-3-38 に示したとおり、地質により異なっているものの、最大値はトンネル直上では 47dB、トンネル直上から 10m 離れた点では 45dB となっている。これに編成両数の影響を加味すると、各地点における 16 両編成での予測値は、表 8-1-3-39 に示すとおり最大でも 48dB となり、表 8-1-3-40 に示した基準値（70dB）を下回っている。</p>	<p>表 8-1-3-38 に示したとおり、地質により異なっているものの、最大値はトンネル直上では 47dB、トンネル直上から 10m 離れた点では 45dB となっている。これに編成両数の影響を加味すると、各地点における 16 両編成での予測値は、表 8-1-3-39 <u>及び図 8-1-3-13 に示すとおり最大でも 48dB となり、表 8-1-3-40 に示した基準値（70dB）を下回っている。</u></p>
<p>p. 8-1-3-43 図 8-1-3-13 予測結果（振動）[列車の走行（地下を走行する場合に限る。）]</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>
<p>p. 8-1-3-44 表 8-1-3-41 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>(ガイドウェイの維持管理の徹底、適否の理由) ガイドウェイの適切な点検、整備を行い、その性能を維持することで、振動の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>	<p>(ガイドウェイの維持管理の徹底、適否の理由) <u>ガイドウェイの取り付けボルトの緩みや取り付け状況の確認、ガイドウェイコンクリートのひび割れ、欠け等の検査を行い、検査結果をもとに必要に応じて、取り付けボルトの増締めやガイドウェイの補修、交換等を行うことにより、その性能を維持管理することで、振動の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u></p>

表 12-1 (23) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-1-3-44 表 8-1-3-42 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) ガイドウェイの適切な点検、整備を行い、その性能を維持することで、振動の発生を低減できる	(環境保全措置の効果) ガイドウェイの <u>取り付けボルトの緩みや取り付け状況の確認、ガイドウェイコンクリートのひび割れ、欠け等の検査を行い、検査結果をもとに必要に応じて、取り付けボルトの増締めやガイドウェイの補修、交換等を行うことによりその性能を維持管理することで、振動の発生を低減できる。</u>
p. 8-1-3-45 a) 回避又は低減に係る評価	事業の実施に当たっては、環境保全措置として「ガイドウェイの維持管理の徹底」の実施により、環境負荷の低減に努める。よって、事業者により実行可能な範囲内で低減されているものと評価する。	本事業では、「ガイドウェイの維持管理の徹底」の環境保全措置を確実に実施することから、列車の走行による振動の環境影響について低減が図られているものと評価する。
p. 8-1-4-3 e) 予測地点	予測地点は、表 8-1-4-2 に示す非常口（都市部）の換気設備の換気口中心から 20m 及び 50m 離れの地点を設定した。	予測地点は、表 8-1-4-2 に示す非常口（都市部）の換気設備の換気口中心から 20m 及び 50m 離れの地点を設定した。 <u>微気圧波は、一般的に坑口中心から離れるとその値は小さくなる。20m 地点は、微気圧波の基準値である「坑口中心から 20m 地点で原則 50Pa 以下」との整合性の検討を行うため、50m は段階的に微気圧波が小さくなることを示すため予測を実施した。</u>
p. 8-1-4-4 表 8-1-4-6 環境保全措置の検討の状況	(多孔板の設置、適否の理由) 適切に多孔板を設置することにより、微気圧波の低減効果が期待できることから、環境保全措置として採用する。	(多孔板の設置、適否の理由) 微気圧波対策が必要な箇所である非常口（都市部）に、 <u>周辺の住居分布等に留意し、基準値を満足できる延長の多孔板を設置することにより、微気圧波を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>
	(多孔板の維持管理、適否の理由) 適切な点検、整備により多孔板の性能を維持することで、微気圧波を低減できることから、環境保全措置として採用する。	(多孔板の維持管理、適否の理由) 多孔板の性能を維持するため、 <u>目詰まりの有無、多孔板の腐食の有無、取り付けボルトの緩み等の検査を行い、その結果をもとに必要に応じて、目詰まりの除去や多孔板の交換、取り付けボルトの増締め等を行うこと</u> で、微気圧波を低減できることから、環境保全措置として採用する。
p. 8-1-4-4 表 8-1-4-7(1) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 微気圧波対策が必要な箇所である非常口（都市部）に適切に多孔板を設置することにより、微気圧波を低減できる。	(環境保全措置の効果) 微気圧波対策が必要な箇所である非常口（都市部）に、 <u>周辺の住居分布等に留意し、基準値を満足できる延長の多孔板を設置することにより、微気圧波を低減できる。</u>
p. 8-1-4-5 表 8-1-4-7(2) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な点検・整備により多孔板の性能を維持することで、微気圧波の発生を低減できる。	(環境保全措置の効果) 多孔板の性能を維持するため、 <u>目詰まりの有無、多孔板の腐食の有無、取り付けボルトの緩み等の検査を行い、その結果をもとに必要に応じて、目詰まりの除去や多孔板の交換、取り付けボルトの増締め等を行うこと</u> で、微気圧波を低減できる。

表 12-1 (24) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-1-4-6 a) 回避又は低減に係る評価	事業の実施に当たっては、環境保全措置として「多孔板の設置」及び「多孔板の維持管理」の実施により、微気圧波の低減に努める。よって、事業者により実行可能な範囲内で低減されているものと評価する。	本事業においては、「 <u>多孔板の設置</u> 」及び「 <u>多孔板の維持管理</u> 」の <u>環境保全措置を確実に実施することから、列車の走行（地下を走行する場合に限る。）に係る非常口（都市部）から発生する微気圧波に係る環境影響の低減が図られていると評価する。</u>
p. 8-1-4-6 b) 基準又は目標との整合性の検討	なお、換気設備に当たっては、できる限り住居等が換気口中心から 20m 以内に存在しない位置に計画し、20m 以内に住居が存在する場合にも適切に多孔板を設置することにより、基準値との整合が図られていることを確認した。	なお、換気設備に当たっては、できる限り住居等が換気口中心から 20m 以内に存在しない位置に計画し、20m 以内に住居が存在する場合にも <u>適切な延長の多孔板を設置することにより、基準値との整合が図られていることを確認した。</u>
p. 8-1-4-6 表 8-1-4-9 評価結果	(基準値) 換気口中心から 20m 地点：原則 50Pa 以下	(基準値) 換気口中心から 20m 地点：原則 50Pa 以下 <u>民家近傍での微気圧波のピーク値：20Pa 以下</u>
p. 8-1-5-4 図 8-1-5-2 予測式の模式図	$LRa = (PWL_{\text{exit}}/N - 11 - 20\log_{10}(r_a))$ $LRb = (PWL_{\text{exit}}/N - 11 - 20\log_{10}(r_b))$	$LRa = (PWL_{\text{exit}} - \underline{10\log_{10} N} - 11 - 20\log_{10}(r_a))$ $LRb = (PWL_{\text{exit}} - \underline{10\log_{10} N} - 11 - 20\log_{10}(r_b))$
p. 8-1-5-9 表 8-1-5-9 環境保全措置の検討の状況	(換気施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 適切な点検・整備により換気施設の性能を維持することで、低周波音の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。	(換気施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) <u>換気設備の異常な騒音や振動、ケーシング内の異物の混入の有無、据付ボルトの緩み、消音設備の腐食の有無や目詰まり状況の異常等の検査に加え、定期的に分解検査を行い、換気設備内部の粉塵の堆積、腐食の進行等の検査を行うことにより、低周波音の発生を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>
p. 8-1-5-10 表 8-1-5-10(3) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な点検・整備により換気施設の性能を維持することで、低周波音の発生を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>換気設備の異常な騒音や振動、ケーシング内の異物の混入の有無、据付ボルトの緩み、消音設備の腐食の有無や目詰まり状況の異常等の検査に加え、定期的に分解検査を行い、換気設備内部の粉塵の堆積、腐食の進行等の検査を行うことにより、低周波音の発生を低減できる。</u>
p. 8-1-5-13 a) 回避又は低減に係る評価	予測の結果、環境保全措置として「環境対策型換気施設の採用」、「消音装置の設置」、「換気施設の点検・整備による性能維持」の実施により、環境負荷の低減に努める。よって、事業者により実行可能な範囲内で低減されているものと評価する。	本事業では、「 <u>環境対策型換気施設の採用</u> 」、「 <u>消音装置の設置</u> 」及び「 <u>換気施設の点検・整備による性能維持</u> 」の <u>環境保全措置を確実に実施することから、鉄道施設（換気施設）の供用により発生する低周波音に係る環境影響の低減が図られていると評価する。</u>

表 12-1 (25) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																																																																																		
p. 8-2-1-7 表 8-2-1-4 現地調査期間	(豊水時) 平成 24 年 8 月 13 日	(豊水時) 平成24年7月30日 (地点番号01) 平成24年8月13日 (地点番号02, 03)																																																																																																																																																																																		
p. 8-2-1-7 表 8-2-1-4 現地調査期間	(低水時) 平成 25 年 1 月 18 日	(低水時) 平成25年1月18日 (地点番号02, 03) 平成25年1月30日 (地点番号01)																																																																																																																																																																																		
p. 8-2-1-7 表 8-2-1-5 (1) 文献調査結果 (浮遊物質量 (SS))	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">市区名</th> <th rowspan="2">水系</th> <th rowspan="2">公共用水域</th> <th rowspan="2">測定地点</th> <th rowspan="2">類型指定</th> <th rowspan="2">測定項目 (mg/L)</th> <th colspan="5">測定年度</th> </tr> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">01</td> <td rowspan="2">港区</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">高浜運河</td> <td rowspan="2">御橋橋</td> <td rowspan="2">D</td> <td>平均値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>最小～最大</td> <td>1～4</td> <td>1～5</td> <td>1～3</td> <td>1～3</td> <td>1～3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">02</td> <td rowspan="2">品川区</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">目黒川</td> <td rowspan="2">大森橋</td> <td rowspan="2">D</td> <td>平均値</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>最小～最大</td> <td>1～64</td> <td>&lt;1～170</td> <td>&lt;1～63</td> <td>&lt;1～190</td> <td>1～170</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">03</td> <td rowspan="2">大田区</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">香川</td> <td rowspan="2">夫婦橋</td> <td rowspan="2">D</td> <td>平均値</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>最小～最大</td> <td>1～14</td> <td>&lt;1～34</td> <td>1～10</td> <td>&lt;1～21</td> <td>&lt;1～27</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">04</td> <td rowspan="2">町田市</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">鷺見川</td> <td rowspan="2">麻生橋</td> <td rowspan="2">D</td> <td>平均値</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>最小～最大</td> <td>1～11</td> <td>1～7</td> <td>&lt;1～6</td> <td>&lt;1～7</td> <td>&lt;1～11</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	市区名	水系	公共用水域	測定地点	類型指定	測定項目 (mg/L)	測定年度					H19	H20	H21	H22	H23	01	港区	-	高浜運河	御橋橋	D	平均値	2	2	2	2	2	最小～最大	1～4	1～5	1～3	1～3	1～3	02	品川区	-	目黒川	大森橋	D	平均値	8	13	5	12	14	最小～最大	1～64	<1～170	<1～63	<1～190	1～170	03	大田区	-	香川	夫婦橋	D	平均値	3	4	3	5	7	最小～最大	1～14	<1～34	1～10	<1～21	<1～27	04	町田市	-	鷺見川	麻生橋	D	平均値	4	5	4	3	4	最小～最大	1～11	1～7	<1～6	<1～7	<1～11	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">市区名</th> <th rowspan="2">水系</th> <th rowspan="2">公共用水域</th> <th rowspan="2">測定地点</th> <th rowspan="2">類型指定</th> <th rowspan="2">測定項目 (mg/L)</th> <th colspan="5">測定年度</th> </tr> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">01</td> <td rowspan="2">港区</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">高浜運河</td> <td rowspan="2">御橋橋</td> <td rowspan="2">D</td> <td>平均値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>最小～最大</td> <td>1～4</td> <td>1～5</td> <td>1～3</td> <td>1～3</td> <td>1～3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">02</td> <td rowspan="2">目黒区</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">目黒川</td> <td rowspan="2">大森橋</td> <td rowspan="2">D</td> <td>平均値</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>最小～最大</td> <td>1～64</td> <td>&lt;1～170</td> <td>&lt;1～63</td> <td>&lt;1～190</td> <td>1～170</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">03</td> <td rowspan="2">大田区</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">香川</td> <td rowspan="2">夫婦橋</td> <td rowspan="2">D</td> <td>平均値</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>最小～最大</td> <td>&lt;1～14</td> <td>&lt;1～34</td> <td>1～10</td> <td>&lt;1～21</td> <td>&lt;1～27</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">04</td> <td rowspan="2">町田市</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">鷺見川</td> <td rowspan="2">麻生橋</td> <td rowspan="2">D</td> <td>平均値</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>最小～最大</td> <td>1～11</td> <td>1～7</td> <td>&lt;1～6</td> <td>&lt;1～7</td> <td>&lt;1～11</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	市区名	水系	公共用水域	測定地点	類型指定	測定項目 (mg/L)	測定年度					H19	H20	H21	H22	H23	01	港区	-	高浜運河	御橋橋	D	平均値	2	2	2	2	2	最小～最大	1～4	1～5	1～3	1～3	1～3	02	目黒区	-	目黒川	大森橋	D	平均値	7	13	5	12	14	最小～最大	1～64	<1～170	<1～63	<1～190	1～170	03	大田区	-	香川	夫婦橋	D	平均値	3	4	3	5	7	最小～最大	<1～14	<1～34	1～10	<1～21	<1～27	04	町田市	-	鷺見川	麻生橋	D	平均値	3	5	3	3	4	最小～最大	1～11	1～7	<1～6	<1～7	<1～11
地点番号	市区名								水系	公共用水域	測定地点	類型指定	測定項目 (mg/L)	測定年度																																																																																																																																																																						
		H19	H20	H21	H22	H23																																																																																																																																																																														
01	港区	-	高浜運河	御橋橋	D	平均値	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																									
						最小～最大	1～4	1～5	1～3	1～3	1～3																																																																																																																																																																									
02	品川区	-	目黒川	大森橋	D	平均値	8	13	5	12	14																																																																																																																																																																									
						最小～最大	1～64	<1～170	<1～63	<1～190	1～170																																																																																																																																																																									
03	大田区	-	香川	夫婦橋	D	平均値	3	4	3	5	7																																																																																																																																																																									
						最小～最大	1～14	<1～34	1～10	<1～21	<1～27																																																																																																																																																																									
04	町田市	-	鷺見川	麻生橋	D	平均値	4	5	4	3	4																																																																																																																																																																									
						最小～最大	1～11	1～7	<1～6	<1～7	<1～11																																																																																																																																																																									
地点番号	市区名	水系	公共用水域	測定地点	類型指定	測定項目 (mg/L)	測定年度																																																																																																																																																																													
							H19	H20	H21	H22	H23																																																																																																																																																																									
01	港区	-	高浜運河	御橋橋	D	平均値	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																									
						最小～最大	1～4	1～5	1～3	1～3	1～3																																																																																																																																																																									
02	目黒区	-	目黒川	大森橋	D	平均値	7	13	5	12	14																																																																																																																																																																									
						最小～最大	1～64	<1～170	<1～63	<1～190	1～170																																																																																																																																																																									
03	大田区	-	香川	夫婦橋	D	平均値	3	4	3	5	7																																																																																																																																																																									
						最小～最大	<1～14	<1～34	1～10	<1～21	<1～27																																																																																																																																																																									
04	町田市	-	鷺見川	麻生橋	D	平均値	3	5	3	3	4																																																																																																																																																																									
						最小～最大	1～11	1～7	<1～6	<1～7	<1～11																																																																																																																																																																									
p. 8-2-1-8 表 8-2-1-6(1) 現地調査結果 (浮遊物質量 (SS) 及び流量の状況)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">市区名</th> <th rowspan="2">水系</th> <th rowspan="2">対象河川</th> <th colspan="2">豊水時</th> <th colspan="2">低水時</th> <th rowspan="2">類型指定</th> </tr> <tr> <th>SS (mg/L)</th> <th>流量 (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>SS (mg/L)</th> <th>流量 (m<sup>3</sup>/s)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>川崎市</td> <td rowspan="3">鷺見川</td> <td>片平川</td> <td>5</td> <td>0.02</td> <td>1</td> <td>0.02</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td rowspan="2">町田市</td> <td>小野路川</td> <td>1</td> <td>0.02</td> <td>4</td> <td>0.02</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>平川</td> <td>14</td> <td>0.01</td> <td>7</td> <td>0.01</td> <td>D</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	市区名	水系	対象河川	豊水時		低水時		類型指定	SS (mg/L)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	SS (mg/L)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	01	川崎市	鷺見川	片平川	5	0.02	1	0.02	D	02	町田市	小野路川	1	0.02	4	0.02	D	03	平川	14	0.01	7	0.01	D	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">市区名</th> <th rowspan="2">水系</th> <th rowspan="2">対象河川</th> <th colspan="2">豊水時</th> <th colspan="2">低水時</th> <th rowspan="2">類型指定</th> </tr> <tr> <th>SS (mg/L)</th> <th>流量 (m<sup>3</sup>/s)</th> <th>SS (mg/L)</th> <th>流量 (m<sup>3</sup>/s)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>川崎市</td> <td rowspan="3">鷺見川</td> <td>片平川</td> <td>5</td> <td>0.020</td> <td>1</td> <td>0.018</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td rowspan="2">町田市</td> <td>小野路川</td> <td>1</td> <td>0.022</td> <td>4</td> <td>0.023</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>平川</td> <td>14</td> <td>0.009</td> <td>7</td> <td>0.011</td> <td>D</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	市区名	水系	対象河川	豊水時		低水時		類型指定	SS (mg/L)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	SS (mg/L)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	01	川崎市	鷺見川	片平川	5	0.020	1	0.018	D	02	町田市	小野路川	1	0.022	4	0.023	D	03	平川	14	0.009	7	0.011	D																																																																																																								
地点番号	市区名					水系	対象河川	豊水時			低水時		類型指定																																																																																																																																																																							
		SS (mg/L)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	SS (mg/L)	流量 (m <sup>3</sup> /s)																																																																																																																																																																															
01	川崎市	鷺見川	片平川	5	0.02	1	0.02	D																																																																																																																																																																												
02	町田市		小野路川	1	0.02	4	0.02	D																																																																																																																																																																												
03			平川	14	0.01	7	0.01	D																																																																																																																																																																												
地点番号	市区名	水系	対象河川	豊水時		低水時		類型指定																																																																																																																																																																												
				SS (mg/L)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	SS (mg/L)	流量 (m <sup>3</sup> /s)																																																																																																																																																																													
01	川崎市	鷺見川	片平川	5	0.020	1	0.018	D																																																																																																																																																																												
02	町田市		小野路川	1	0.022	4	0.023	D																																																																																																																																																																												
03			平川	14	0.009	7	0.011	D																																																																																																																																																																												
p. 8-2-1-11 g) 予測結果	切土工等又は既存の工作物の除去に伴い発生する濁水は、発生水量を考慮した処理能力を備えた濁水処理設備を設置し、法令に基づく排水基準等を踏まえ、適切に処理をして公共用水域へ排水することから、周辺公共用水域への水の濁りの影響は小さいものと予測する。	切土工等又は既存の工作物の除去に伴い発生する濁水は、発生水量を考慮した処理能力を備えた濁水処理設備を設置し、「 <u>水質汚濁防止法に基づく排水基準 (昭和 46 年総理府令第 35 号、改正 平成 24 年環境省令第 15 号)</u> 」及び「 <u>都民の健康と安全を確保する環境に関する条例</u> 」に基づいて定められた排水基準を踏まえ、適切に処理をして公共用水域へ排水することから、公共用水域への水の濁りの影響は小さいものと予測する。																																																																																																																																																																																		

表 12-1(26) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-2-1-12～20 表 8-2-1-8 表 8-2-1-11 表 8-2-1-14 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>(工事排水の適切な処理、適否の理由) 工事により発生する濁水は、濁水処理等の対策により、適切に処理したうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(処理施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 処理施設を設置する場合は、適切な点検・整備による性能維持により、工事排水の適正処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(下水道への排水、適否の理由) 下水道の利用が可能な地域では、下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>	<p>(工事排水の適切な処理、適否の理由) 工事により発生する濁水は<u>必要に応じ、発生水量を考慮した処理能力を有する濁水処理設備を設置し、法令等に基づく排水基準を踏まえ、沈殿、濾過等、濁りを低減させるための処理</u>をしたうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(処理施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 処理装置を設置する場合は、<u>点検・整備を確実に</u>行い、性能を維持することにより、<u>工事排水の処理</u>を徹底することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(下水道への排水、適否の理由) 下水道の利用が可能な地域では、<u>処理したうえで下水道へ排水</u>することで、公共用水域への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>
<p>p. 8-2-1-12～21 表 8-2-1-9(1) 表 8-2-1-12(1) 表 8-2-1-15(1) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 工事により発生する濁水は、濁水処理等の対策により、適切に処理したうえで排出することで、公共用水域への影響を低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) 工事により発生する濁水は<u>必要に応じ、発生水量を考慮した処理能力を有する濁水処理設備を設置し、法令等に基づく排水基準を踏まえ、沈殿、濾過等、濁りを低減させるための処理</u>をしたうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できる。</p>
<p>p. 8-2-1-13～21 表 8-2-1-9(3) 表 8-2-1-12(3) 表 8-2-1-15(3) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 処理施設を設置する場合は、適切な点検・整備による性能維持により、工事排水の適正処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) 処理装置を設置する場合は、<u>点検・整備を確実に</u>行い、性能を維持することにより、<u>工事排水の処理</u>を徹底することで、公共用水域への影響を低減できる。</p>
<p>p. 8-2-1-13～21 表 8-2-1-9(4) 表 8-2-1-12(4) 表 8-2-1-15(4) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 下水道の利用が可能な地域では、下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) 下水道の利用が可能な地域では、<u>処理したうえで下水道へ排水</u>することで、公共用水域への影響を回避又は低減できる。</p>
<p>p. 8-2-1-13 ①回避又は低減に係る評価</p>	<p>本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去に係る水の濁りの影響を回避又は低減させるため、表 8-2-1-9 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られていると評価する。</p>	<p>本事業では、<u>表 8-2-1-9 に示した環境保全措置を確実に実施することから、切土工等又は既存の工作物の除去に係る水の濁りの影響の回避又は低減が図られていると評価する。</u></p>

表 12-1(27) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																																		
p. 8-2-1-16 g) 予測結果	以上より、トンネルの工事に伴い発生する濁水はわずかであること、また発生する濁水についても水量を考慮した処理能力を備えた濁水処理設備を設置し、法令に基づく排水基準等を踏まえ、適切に処理をして公共用水域へ排水することから、公共用水域への水の濁りの影響は小さいものと予測する。	以上より、トンネルの工事に伴い発生する濁水はわずかであること、また発生する濁水についても水量を考慮した処理能力を備えた濁水処理設備を設置し、「 <u>水質汚濁防止法に基づく排水基準（昭和 46 年総理府令第 35 号、改正 平成 24 年環境省令第 15 号）</u> 」及び「 <u>都民の健康と安全を確保する環境に関する条例</u> 」に基づいて定められた排水基準を踏まえ、適切に処理をして公共用水域へ排水することから、公共用水域への水の濁りの影響は小さいものと予測する。																																																																																																																																		
p. 8-2-1-18 ①回避又は低減に係る評価	本事業では、トンネルの工事に係る水の濁りの影響を回避又は低減させるため、表 8-2-1-12 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られていると評価する。	本事業では、表 8-2-1-12 に示した環境保全措置を確実に実施することから、トンネルの工事に係る水の濁りの影響の回避又は低減が図られていると評価する。																																																																																																																																		
p. 8-2-1-20 g) 予測結果	工事施工ヤードの設置に伴い発生する濁水は、発生水量を考慮した処理能力を備えた濁水処理設備を設置し、法令に基づく排水基準等を踏まえ、適切に処理をして公共用水域へ排水することから、公共用水域への水の濁りの影響は小さいものと予測する。	工事施工ヤードの設置に伴い発生する濁水は、発生水量を考慮した処理能力を備えた濁水処理設備を設置し、「 <u>水質汚濁防止法に基づく排水基準（昭和 46 年総理府令第 35 号、改正 平成 24 年環境省令第 15 号）</u> 」及び「 <u>都民の健康と安全を確保する環境に関する条例</u> 」に基づいて定められた排水基準を踏まえ、適切に処理をして公共用水域へ排水することから、公共用水域への水の濁りの影響は小さいものと予測する。																																																																																																																																		
p. 8-2-1-22 ①回避又は低減に係る評価	本事業では、工事施工ヤードの設置に係る水の濁りの影響を回避又は低減させるため、表 8-2-1-15 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られていると評価する。	本事業では、表 8-2-1-15 に示した環境保全措置を確実に実施することから、工事施工ヤードの設置に係る水の濁りの影響の回避又は低減が図られていると評価する。																																																																																																																																		
p. 8-2-1-23 イ. 調査の基本的な手法	7) 浮遊物質質量(SS)及び流量の状況	7) 水素イオン濃度(pH)の状況																																																																																																																																		
p. 8-2-1-24 表 8-2-1-17(1) 文献調査結果（水素イオン濃度(pH)）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">市区名</th> <th rowspan="2">水系</th> <th rowspan="2">公共用水域</th> <th rowspan="2">測定地点</th> <th rowspan="2">測定項目</th> <th colspan="5">測定年度</th> <th rowspan="2">留意指定</th> </tr> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区</td> <td>-</td> <td>高浜運河</td> <td>御橋橋</td> <td>最小～最大</td> <td>7.0～7.4</td> <td>7.0～7.9</td> <td>7.0～7.9</td> <td>6.9～7.2</td> <td>7.0～7.9</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>品川区</td> <td>城南</td> <td>目黒川</td> <td>太鼓橋</td> <td>最小～最大</td> <td>6.9～7.8</td> <td>7.0～8.7</td> <td>6.9～7.4</td> <td>7.0～8.7</td> <td>7.0～8.7</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>大田区</td> <td>城南</td> <td>赤川</td> <td>夫婦橋</td> <td>最小～最大</td> <td>7.0～8.5</td> <td>7.0～8.9</td> <td>7.2～7.8</td> <td>7.1～8.5</td> <td>7.2～9.0</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>町田市</td> <td>鶴見川</td> <td>鶴見川</td> <td>養生橋</td> <td>最小～最大</td> <td>7.4～8.8</td> <td>7.3～9.1</td> <td>6.9～8.3</td> <td>7.3～8.4</td> <td>7.4～8.8</td> <td>D</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	市区名	水系	公共用水域	測定地点	測定項目	測定年度					留意指定	H19	H20	H21	H22	H23	01	港区	-	高浜運河	御橋橋	最小～最大	7.0～7.4	7.0～7.9	7.0～7.9	6.9～7.2	7.0～7.9	D	02	品川区	城南	目黒川	太鼓橋	最小～最大	6.9～7.8	7.0～8.7	6.9～7.4	7.0～8.7	7.0～8.7	D	03	大田区	城南	赤川	夫婦橋	最小～最大	7.0～8.5	7.0～8.9	7.2～7.8	7.1～8.5	7.2～9.0	D	04	町田市	鶴見川	鶴見川	養生橋	最小～最大	7.4～8.8	7.3～9.1	6.9～8.3	7.3～8.4	7.4～8.8	D	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地点番号</th> <th rowspan="2">市区名</th> <th rowspan="2">水系</th> <th rowspan="2">公共用水域</th> <th rowspan="2">測定地点</th> <th rowspan="2">測定項目</th> <th colspan="5">測定年度</th> <th rowspan="2">留意指定</th> </tr> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>港区</td> <td>-</td> <td>高浜運河</td> <td>御橋橋</td> <td>最小～最大</td> <td>7.0～7.4</td> <td>7.0～7.9</td> <td>7.0～7.9</td> <td>6.9～7.2</td> <td>7.0～7.9</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>02</td> <td>目黒区</td> <td>城南</td> <td>目黒川</td> <td>太鼓橋</td> <td>最小～最大</td> <td>6.9～7.8</td> <td>7.0～8.7</td> <td>6.9～7.4</td> <td>7.0～8.7</td> <td>7.0～8.7</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>大田区</td> <td>河川</td> <td>赤川</td> <td>夫婦橋</td> <td>最小～最大</td> <td>7.0～8.5</td> <td>7.0～8.9</td> <td>7.2～7.8</td> <td>7.1～8.5</td> <td>7.2～9.0</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>04</td> <td>川崎市</td> <td>鶴見川</td> <td>鶴見川</td> <td>養生橋</td> <td>最小～最大</td> <td>7.4～8.8</td> <td>7.3～9.1</td> <td>6.9～8.3</td> <td>7.3～8.4</td> <td>7.4～8.8</td> <td>D</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	市区名	水系	公共用水域	測定地点	測定項目	測定年度					留意指定	H19	H20	H21	H22	H23	01	港区	-	高浜運河	御橋橋	最小～最大	7.0～7.4	7.0～7.9	7.0～7.9	6.9～7.2	7.0～7.9	D	02	目黒区	城南	目黒川	太鼓橋	最小～最大	6.9～7.8	7.0～8.7	6.9～7.4	7.0～8.7	7.0～8.7	D	03	大田区	河川	赤川	夫婦橋	最小～最大	7.0～8.5	7.0～8.9	7.2～7.8	7.1～8.5	7.2～9.0	D	04	川崎市	鶴見川	鶴見川	養生橋	最小～最大	7.4～8.8	7.3～9.1	6.9～8.3	7.3～8.4	7.4～8.8	D
地点番号	市区名							水系	公共用水域	測定地点	測定項目	測定年度					留意指定																																																																																																																			
		H19	H20	H21	H22	H23																																																																																																																														
01	港区	-	高浜運河	御橋橋	最小～最大	7.0～7.4	7.0～7.9	7.0～7.9	6.9～7.2	7.0～7.9	D																																																																																																																									
02	品川区	城南	目黒川	太鼓橋	最小～最大	6.9～7.8	7.0～8.7	6.9～7.4	7.0～8.7	7.0～8.7	D																																																																																																																									
03	大田区	城南	赤川	夫婦橋	最小～最大	7.0～8.5	7.0～8.9	7.2～7.8	7.1～8.5	7.2～9.0	D																																																																																																																									
04	町田市	鶴見川	鶴見川	養生橋	最小～最大	7.4～8.8	7.3～9.1	6.9～8.3	7.3～8.4	7.4～8.8	D																																																																																																																									
地点番号	市区名	水系	公共用水域	測定地点	測定項目	測定年度					留意指定																																																																																																																									
						H19	H20	H21	H22	H23																																																																																																																										
01	港区	-	高浜運河	御橋橋	最小～最大	7.0～7.4	7.0～7.9	7.0～7.9	6.9～7.2	7.0～7.9	D																																																																																																																									
02	目黒区	城南	目黒川	太鼓橋	最小～最大	6.9～7.8	7.0～8.7	6.9～7.4	7.0～8.7	7.0～8.7	D																																																																																																																									
03	大田区	河川	赤川	夫婦橋	最小～最大	7.0～8.5	7.0～8.9	7.2～7.8	7.1～8.5	7.2～9.0	D																																																																																																																									
04	川崎市	鶴見川	鶴見川	養生橋	最小～最大	7.4～8.8	7.3～9.1	6.9～8.3	7.3～8.4	7.4～8.8	D																																																																																																																									

表 12-1 (28) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-2-1-27 g) 予測結果	切土工等又は既存の工作物の除去に伴い発生する可能性のあるアルカリ排水は、発生水量を考慮した処理能力を備えた処理設備を設置し、法令に基づく排水基準等を踏まえ、適切に処理をして公共用水域へ排水することから、公共用水域への水の汚れの影響は小さいものと予測する。	切土工等又は既存の工作物の除去に伴い発生する可能性のあるアルカリ排水は、発生水量を考慮した処理能力を備えた処理設備を設置し、「 <u>水質汚濁防止法に基づく排水基準</u> （昭和 46 年総理府令第 35 号、改正 平成 24 年環境省令第 15 号）」及び「 <u>都民の健康と安全を確保する環境に関する条例</u> 」に基づいて定められた排水基準を踏まえ、適切に処理をして公共用水域へ排水することから、公共用水域への水の汚れの影響は小さいものと予測する。
p. 8-2-1-28～32 表 8-2-1-20 表 8-2-1-23 環境保全措置の検討の状況	<p>(工事排水の適切な処理、適否の理由) 工事により発生するアルカリ排水、自然由来の重金属等汚染排水、酸性化排水は、処理設備等の対策により、適切に処理をしたうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(処理施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 処理施設を設置する場合は、適切な点検・整備による性能維持により、工事排水の適正処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(下水道への排水、適否の理由) 下水道の利用が可能な地域では、下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>	<p>(工事排水の適切な処理、適否の理由) 工事により発生するアルカリ排水、<u>自然由来の重金属に汚染された排水</u>、酸性化排水は、<u>法令等に基づく排水基準を踏まえ、pH 値の改善を図るための処理等</u>をしたうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(処理施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 処理装置を設置する場合は、<u>点検・整備を確実に</u>行い、性能を維持することにより、<u>工事排水の処理</u>を徹底することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p> <p>(下水道への排水、適否の理由) 下水道の利用が可能な地域では、<u>処理したうえで下水道へ排水</u>することで、公共用水域への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>
p. 8-2-1-28～32 表 8-2-1-21 (1) 表 8-2-1-24 (1) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 工事により発生するアルカリ排水、自然由来の重金属等汚染排水、酸性化排水は、処理設備等の対策により、適切に処理をしたうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できる。	(環境保全措置の効果) 工事により発生するアルカリ排水、 <u>自然由来の重金属に汚染された排水</u> 、酸性化排水は、 <u>法令等に基づく排水基準を踏まえ、pH 値の改善を図るための処理等</u> をしたうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できる。
p. 8-2-1-29～33 表 8-2-1-21 (3) 表 8-2-1-24 (3) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 処理施設を設置する場合は、適切な点検・整備による性能維持により、工事排水の適正処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できる。	(環境保全措置の効果) 処理装置を設置する場合は、 <u>点検・整備を確実に</u> 行い、性能を維持することにより、 <u>工事排水の処理</u> を徹底することで、公共用水域への影響を低減できる。
p. 8-2-1-29～33 表 8-2-1-21 (4) 表 8-2-1-24 (4) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 下水道の利用が可能な地域では、下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できる。	(環境保全措置の効果) 下水道の利用が可能な地域では、 <u>処理したうえで下水道へ排水</u> することで、公共用水域への影響を回避又は低減できる。

表 12-1 (29) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																						
p. 8-2-1-29 ①回避又は低減に係る評価	本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去に係る水の汚れの影響を回避又は低減させるため、表 8-2-1-21 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られていると評価する。	本事業では、表 8-2-1-21 に示した環境保全措置を確実に実施することから、切土工等又は既存の工作物の除去に係る水の汚れの影響の回避又は低減が図られていると評価する。																						
p. 8-2-1-31 g) 予測結果	トンネルの工事に伴い非常口（都市部）から発生する可能性のあるアルカリ排水は、発生水量を考慮した処理能力を備えた処理設備を設置し、法令に基づく排水基準等を踏まえ、適切に処理をして公共用水域へ排水することから、公共用水域への水の汚れの影響は小さいものと予測する。  地下水の酸性化は、「8-2-2 地下水の水質及び水位」及び「8-3-3 土壤汚染」に記載のとおり、一部還元性を示す地層の化学反応により、掘削による排水が酸性化する可能性があるが、シールドトンネルの工事においては、	トンネルの工事に伴い非常口（都市部）から発生する可能性のあるアルカリ排水は、発生水量を考慮した処理能力を備えた処理設備を設置し、「水質汚濁防止法に基づく排水基準（昭和 46 年総理府令第 35 号、改正 平成 24 年環境省令第 15 号）」及び「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」に基づいて定められた排水基準を踏まえ、適切に処理をして公共用水域へ排水することから、公共用水域への水の汚れの影響は小さいものと予測する。  また、地下水の酸性化は、「8-3-3 土壤汚染」より対象事業実施区域及びその周囲における地層の一部では、長期にわたって空気に触れた場合に地下水を酸性化する恐れのある地盤が確認された。しかし、シールドトンネルの工事においては、																						
p. 8-2-1-33 ①回避又は低減に係る評価	本事業では、トンネルの工事に係る水の汚れの影響を回避又は低減させるため、表 8-2-1-24 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られていると評価する。	本事業では、表 8-2-1-24 に示した環境保全措置を確実に実施することから、トンネルの工事に係る水の汚れの影響の回避又は低減が図られていると評価する。																						
p. 8-2-2-19 c) 構造物のモデル化	構造物は、概略の形状を設定した。	構造物は、 <u>鉄道施設（駅、変電施設、トンネル）の概略の形状を設定した。</u>																						
p. 8-2-2-19 b) 地下水の水位	地下駅直近での水位の変動量は浅層地下水で約-0.40m～+0.47m、深層地下水で-0.15m～+0.21m、変電施設直近での水位の変動量は浅層地下水で約-0.15m～+0.17m、深層地下水で-0.03m～+0.08mと予測され、	地下駅直近での水位の変動量は浅層地下水で約-0.40m～+0.47m、 <u>深層地下水で約-0.15m～+0.21m、変電施設直近での水位の変動量は浅層地下水で約-0.13m～+0.15m、深層地下水で約-0.03m～+0.07m</u> と予測され、																						
p. 8-2-2-20 表 8-2-2-11(1) 地下水の水位の予測結果（浅層地下水）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">地下水の水位の最大変化量(m)</th> </tr> <tr> <th>上昇</th> <th>低下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下駅</td> <td>+0.47</td> <td>-0.40</td> </tr> <tr> <td>変電施設</td> <td>+0.17</td> <td>-0.15</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)		上昇	低下	地下駅	+0.47	-0.40	変電施設	+0.17	-0.15	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">地下水の水位の最大変化量(m)</th> </tr> <tr> <th>上昇</th> <th>低下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下駅</td> <td>+0.47</td> <td>-0.40</td> </tr> <tr> <td>変電施設</td> <td><u>+0.15</u></td> <td><u>-0.13</u></td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)		上昇	低下	地下駅	+0.47	-0.40	変電施設	<u>+0.15</u>	<u>-0.13</u>
予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)																							
	上昇	低下																						
地下駅	+0.47	-0.40																						
変電施設	+0.17	-0.15																						
予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)																							
	上昇	低下																						
地下駅	+0.47	-0.40																						
変電施設	<u>+0.15</u>	<u>-0.13</u>																						
p. 8-2-2-20 表 8-2-2-11(2) 地下水の水位の予測結果（深層地下水）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">地下水の水位の最大変化量(m)</th> </tr> <tr> <th>上昇</th> <th>低下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下駅</td> <td>+0.21</td> <td>-0.15</td> </tr> <tr> <td>変電施設</td> <td>+0.08</td> <td>-0.03</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)		上昇	低下	地下駅	+0.21	-0.15	変電施設	+0.08	-0.03	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">地下水の水位の最大変化量(m)</th> </tr> <tr> <th>上昇</th> <th>低下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下駅</td> <td>+0.21</td> <td>-0.15</td> </tr> <tr> <td>変電施設</td> <td><u>+0.07</u></td> <td>-0.03</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)		上昇	低下	地下駅	+0.21	-0.15	変電施設	<u>+0.07</u>	-0.03
予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)																							
	上昇	低下																						
地下駅	+0.21	-0.15																						
変電施設	+0.08	-0.03																						
予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)																							
	上昇	低下																						
地下駅	+0.21	-0.15																						
変電施設	<u>+0.07</u>	-0.03																						

表 12-1 (30) 環境影響評価準備書からの主な相違点

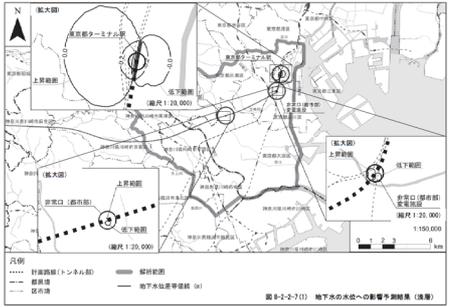
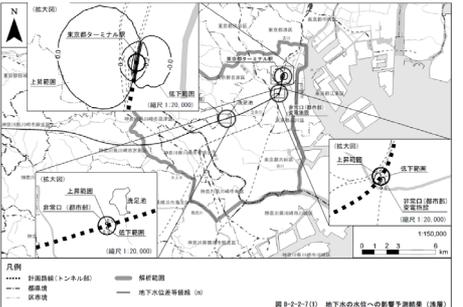
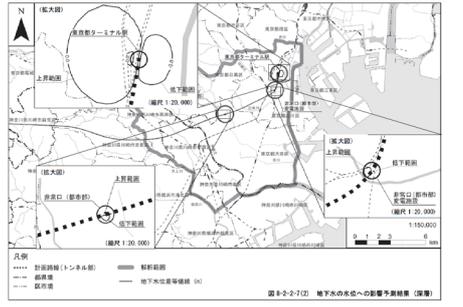
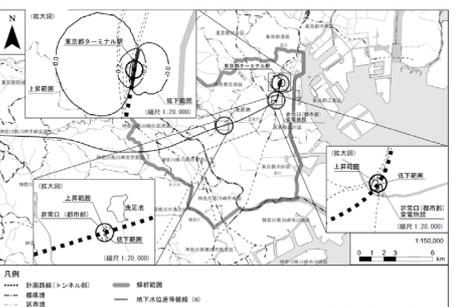
評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-2-2-25 図 8-2-2-7(1) 地下水の水位への影響予測結果 (浅層)</p>		 <p>表 8-2-2-11(1) 予測結果を反映</p>
<p>p. 8-2-2-26 図 8-2-2-7(2) 地下水の水位への影響予測結果 (深層)</p>		 <p>表 8-2-2-11(2) 予測結果を反映</p>
<p>p. 8-2-2-27 表 8-2-2-12 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>—</p>	<p>「仮置場における発生土の適切な管理」を追記</p>
<p>p. 8-2-2-27 イ) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容</p>	<p>本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去及び鉄道施設 (駅、変電施設) の存在による地下水に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「止水性の高い山留め工法等の採用」、「適切な施工管理」及び「薬液注入工法における指針の順守」を実施する。</p>	<p>本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去及び鉄道施設 (駅、変電施設) の存在による地下水に係る環境影響を回避又は低減させるため、環境保全措置として「止水性の高い山留め工法等の採用」、「地下水の継続的な監視」、「薬液注入工法における指針の順守」及び「<u>仮置場における発生土の適切な管理</u>」を実施する。</p>
<p>p. 8-2-2-28 表 8-2-2-13(4) 環境保全措置の内容</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>
<p>p. 8-2-2-28 ウ) 環境保全措置の効果及び当該環境保全措置を講じた後の環境の変化の状況</p>	<p>環境保全措置を実施することで、地下水に係る環境影響が低減される。</p>	<p>環境保全措置を実施することで、地下水に係る環境影響が<u>回避又は低減</u>される。</p>
<p>p. 8-2-2-29 a) 回避又は低減に係る評価</p>	<p>本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去及び鉄道施設 (駅、変電施設) の存在に係る地下水への影響を低減させるため、表 8-2-2-13 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。</p>	<p>本事業では、表 8-2-2-13 に示した環境保全措置を実施することから、<u>既存の工作物の除去及び鉄道施設 (駅、変電施設) の存在に係る地下水への影響の回避又は低減が図られていると評価する。</u></p>

表 12-1 (31) 環境影響評価準備書からの主な相違点

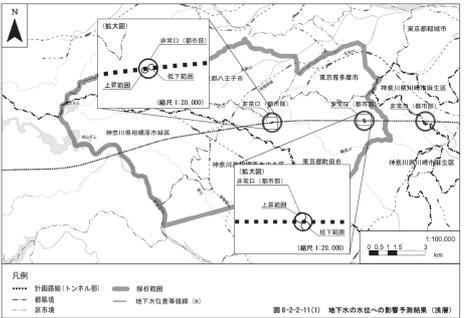
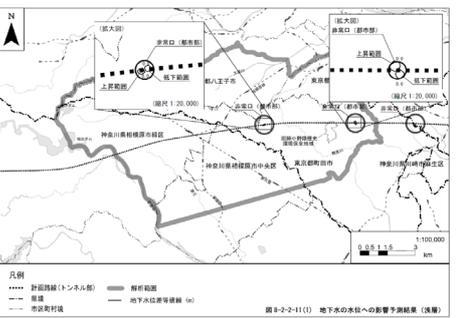
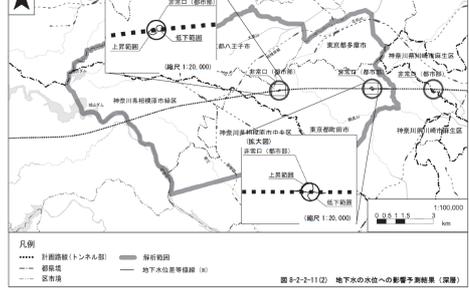
評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																										
p. 8-2-2-32 b) 水理条件のモデル化	境界条件は、既存資料及び現況調査結果を基に、解析境界上の地下水位及び多摩川、東京湾の平均水位を固定条件として与えた。	境界条件は、既存資料及び現況調査結果を基に、解析境界上の地下水位及び多摩川、 <u>東京湾（以上、区部）、相模川、境川（以上、市部）</u> の平均水位を固定条件として与えた。																										
p. 8-2-2-32 c) 構造物のモデル化	構造物は、概略の形状を設定した。	構造物は、 <u>鉄道施設（駅、変電施設、トンネル）</u> の概略の形状を設定した。																										
p. 8-2-2-33 b) 地下水の水位	—	なお、 <u>洗足池公園の地下近傍や函師小野路歴史環境保全地域の地下をシールドトンネルで通過するが、<u>図8-2-2-7、図8-2-2-11</u>に示すとおり、当該地域では地下水の水位の変化量はなく、その影響はほとんどないと予測する。</u>																										
p. 8-2-2-33 表 8-2-2-14(1) 地下水の水位の予測結果（浅層地下水）	<table border="1" data-bbox="459 772 919 869"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地域</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">地下水の水位の最大変化量(m)</th> </tr> <tr> <th>上昇</th> <th>低下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区部</td> <td rowspan="2">非常口（都市部）</td> <td>+0.05</td> <td>-0.09</td> </tr> <tr> <td>市部</td> <td>+0.12</td> <td>-0.12</td> </tr> </tbody> </table>	予測地域	予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)		上昇	低下	区部	非常口（都市部）	+0.05	-0.09	市部	+0.12	-0.12	<table border="1" data-bbox="957 772 1417 869"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地域</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">地下水の水位の最大変化量(m)</th> </tr> <tr> <th>上昇</th> <th>低下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区部</td> <td rowspan="2">非常口（都市部）</td> <td><u>+0.07</u></td> <td><u>-0.07</u></td> </tr> <tr> <td>市部</td> <td>+0.12</td> <td>-0.12</td> </tr> </tbody> </table>	予測地域	予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)		上昇	低下	区部	非常口（都市部）	<u>+0.07</u>	<u>-0.07</u>	市部	+0.12	-0.12
予測地域	予測地点			地下水の水位の最大変化量(m)																								
		上昇	低下																									
区部	非常口（都市部）	+0.05	-0.09																									
市部		+0.12	-0.12																									
予測地域	予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)																										
		上昇	低下																									
区部	非常口（都市部）	<u>+0.07</u>	<u>-0.07</u>																									
市部		+0.12	-0.12																									
p. 8-2-2-33 表 8-2-2-14(2) 地下水の水位の予測結果（深層地下水）	<table border="1" data-bbox="459 947 919 1043"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地域</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">地下水の水位の最大変化量(m)</th> </tr> <tr> <th>上昇</th> <th>低下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区部</td> <td rowspan="2">非常口（都市部）</td> <td>+0.06</td> <td>-0.09</td> </tr> <tr> <td>市部</td> <td>+0.16</td> <td>-0.15</td> </tr> </tbody> </table>	予測地域	予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)		上昇	低下	区部	非常口（都市部）	+0.06	-0.09	市部	+0.16	-0.15	<table border="1" data-bbox="957 947 1417 1043"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予測地域</th> <th rowspan="2">予測地点</th> <th colspan="2">地下水の水位の最大変化量(m)</th> </tr> <tr> <th>上昇</th> <th>低下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区部</td> <td rowspan="2">非常口（都市部）</td> <td><u>+0.08</u></td> <td><u>-0.07</u></td> </tr> <tr> <td>市部</td> <td>+0.16</td> <td>-0.15</td> </tr> </tbody> </table>	予測地域	予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)		上昇	低下	区部	非常口（都市部）	<u>+0.08</u>	<u>-0.07</u>	市部	+0.16	-0.15
予測地域	予測地点			地下水の水位の最大変化量(m)																								
		上昇	低下																									
区部	非常口（都市部）	+0.06	-0.09																									
市部		+0.16	-0.15																									
予測地域	予測地点	地下水の水位の最大変化量(m)																										
		上昇	低下																									
区部	非常口（都市部）	<u>+0.08</u>	<u>-0.07</u>																									
市部		+0.16	-0.15																									
p. 8-2-2-38 図 8-2-2-11(1) 地下水の水位への影響予測結果（浅層）																												
表 8-2-2-14(1) 予測結果を反映																												
p. 8-2-2-39 図 8-2-2-11(2) 地下水の水位への影響予測結果（深層）																												
表 8-2-2-14(2) 予測結果を反映																												

表 12-1 (32) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																
p. 8-2-2-40 表 8-2-2-15 環境保全措置の検討の状況	—	「仮置場における発生土の適切な管理」を追記																																																
p. 8-2-2-40 イ) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容	本事業では、トンネルの工事及び鉄道施設（トンネル）の存在による地下水に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「適切な構造及び工法の採用」、「適切な施工管理」及び「薬液注入工法における指針の順守」を実施する。	本事業では、トンネルの工事及び鉄道施設（トンネル）の存在による地下水に係る環境影響を回避又は低減させるため、環境保全措置として「適切な構造及び工法の採用」、「地下水の継続的な監視」、「薬液注入工法における指針の順守」及び「 <u>仮置場における発生土の適切な管理</u> 」を実施する。																																																
p. 8-2-2-41 表 8-2-2-16(4) 環境保全措置の内容	—	追記																																																
p. 8-2-2-41 ウ) 環境保全措置の効果及び当該環境保全措置を講じた後の環境の変化の状況	環境保全措置を実施することで、地下水に係る環境影響が低減される。	環境保全措置を実施することで、地下水に係る環境影響が回避又は低減される。																																																
p. 8-2-2-42 a) 回避又は低減に係る評価	本事業では、トンネルの工事及び鉄道施設（トンネル）の存在に係る地下水への影響を低減させるため、表 8-2-2-16 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する	本事業では、 <u>表 8-2-2-16 に示した環境保全措置を実施することから、トンネルの工事及び鉄道施設（トンネル）の存在に係る地下水への影響の回避又は低減が図られていると評価する。</u>																																																
p. 8-2-3-3 表 8-2-3-2 農業用水の利用状況	(水源名) 不明	(水源名) <u>田中水路堰</u>																																																
p. 8-2-3-10 表 8-2-3-6 地下水の利用状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>市区名</th> <th>事業所数</th> <th>井戸本数</th> <th>揚水量(m<sup>3</sup>/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>港区</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td>品川区</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>大田区</td> <td>11</td> <td>23</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>世田谷区</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>町田市</td> <td>27</td> <td>36</td> <td>5,217</td> </tr> </tbody> </table>	市区名	事業所数	井戸本数	揚水量(m <sup>3</sup> /日)	港区	20	21	228	品川区	8	12	2	大田区	11	23	66	世田谷区	13	13	12	町田市	27	36	5,217	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区市名</th> <th>事業所数</th> <th>井戸本数</th> <th>揚水量(m<sup>3</sup>/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>港区</td> <td><u>18</u></td> <td><u>20</u></td> <td><u>254</u></td> </tr> <tr> <td>品川区</td> <td>8</td> <td><u>10</u></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>大田区</td> <td><u>14</u></td> <td><u>28</u></td> <td><u>67</u></td> </tr> <tr> <td>世田谷区</td> <td><u>15</u></td> <td><u>15</u></td> <td><u>15</u></td> </tr> <tr> <td>町田市</td> <td><u>19</u></td> <td><u>17</u></td> <td><u>2,847</u></td> </tr> </tbody> </table>	区市名	事業所数	井戸本数	揚水量(m <sup>3</sup> /日)	港区	<u>18</u>	<u>20</u>	<u>254</u>	品川区	8	<u>10</u>	2	大田区	<u>14</u>	<u>28</u>	<u>67</u>	世田谷区	<u>15</u>	<u>15</u>	<u>15</u>	町田市	<u>19</u>	<u>17</u>	<u>2,847</u>
市区名	事業所数	井戸本数	揚水量(m <sup>3</sup> /日)																																															
港区	20	21	228																																															
品川区	8	12	2																																															
大田区	11	23	66																																															
世田谷区	13	13	12																																															
町田市	27	36	5,217																																															
区市名	事業所数	井戸本数	揚水量(m <sup>3</sup> /日)																																															
港区	<u>18</u>	<u>20</u>	<u>254</u>																																															
品川区	8	<u>10</u>	2																																															
大田区	<u>14</u>	<u>28</u>	<u>67</u>																																															
世田谷区	<u>15</u>	<u>15</u>	<u>15</u>																																															
町田市	<u>19</u>	<u>17</u>	<u>2,847</u>																																															

表 12-1 (33) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-2-3-13 表 8-2-3-7 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>(工事排水の適切な処理、適否の理由) 工事により発生する濁水及び汚水は、濁水処理等の対策により、適切に処理したうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>	<p>(工事排水の適切な処理、適否の理由) 工事により発生する水は、法令等に基づく排水基準を踏まえ、必要に応じて沈殿・濾過・中和等の対策を行い、水質の改善を図るための処理をしたうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>
	<p>(処理施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 処理施設を設置する場合は、適切な点検・整備による性能維持により、工事排水の適正処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>	<p>(処理施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 処理装置を設置する場合は、点検・整備を確実にを行い、性能を維持することにより、工事排水の処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>
	<p>(下水道への排水、適否の理由) 下水道の利用が可能な地域では、下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>	<p>(下水道への排水、適否の理由) 下水道の利用が可能な地域では、処理したうえで下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。</p>
<p>p. 8-2-3-13 表 8-2-3-8(1) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 工事により発生する濁水及び汚水は、濁水処理等の対策により、適切に処理したうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) 工事により発生する水は、法令等に基づく排水基準を踏まえ、必要に応じて沈殿・濾過・中和等の対策を行い、水質の改善を図るための処理をしたうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できる。</p>
<p>p. 8-2-3-14 表 8-2-3-8(5) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 処理施設を設置する場合は、適切な点検・整備による性能維持により、工事排水の適正処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) 処理装置を設置する場合は、点検・整備を確実にを行い、性能を維持することにより、工事排水の処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できる。</p>
<p>p. 8-2-3-15 表 8-2-3-8(7) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 下水道の利用が可能な地域では、下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) 下水道の利用が可能な地域では、処理したうえで下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できる。</p>
<p>p. 8-2-3-15 a) 回避又は低減に係る評価</p>	<p>本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去及び鉄道施設(駅、変電施設)の存在に係る水資源への影響を回避又は低減させるため、表 8-2-3-8 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られていると評価する。</p>	<p>本事業では、表 8-2-3-8 に示した環境保全措置を確実に実施することから、切土工等又は既存の工作物の除去及び鉄道施設(駅、変電施設)の存在に係る水資源への影響の回避又は低減が図られていると評価する。</p>

表 12-1 (34) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																
p. 8-2-3-18 表 8-2-3-9 環境保全措置の検討の状況	(工事排水の適切な処理、適否の理由) 工事により発生する濁水及び汚水は、濁水処理等の対策により、適切に処理したうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。	(工事排水の適切な処理、適否の理由) 工事により発生する水は、法令等に基づく排水基準を踏まえ、必要に応じて沈殿・濾過・中和等の対策を行い、水質の改善を図るための処理をしたうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。																
	(処理施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 処理施設を設置する場合は、適切な点検・整備による性能維持により、工事排水の適正処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。	(処理施設の点検・整備による性能維持、適否の理由) 処理装置を設置する場合は、点検・整備を確実にを行い、性能を維持することにより、工事排水の処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。																
	(下水道への排水、適否の理由) 下水道の利用が可能な地域では、下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。	(下水道への排水、適否の理由) 下水道の利用が可能な地域では、処理したうえで下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。																
p. 8-2-3-18 表 8-2-3-10(1) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 工事により発生する濁水及び汚水は、濁水処理等の対策により、適切に処理したうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できる。	(環境保全措置の効果) 工事により発生する水は、法令等に基づく排水基準を踏まえ、必要に応じて沈殿・濾過・中和等の対策を行い、水質の改善を図るための処理をしたうえで排水することで、公共用水域への影響を低減できる。																
p. 8-2-3-19 表 8-2-3-10(5) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 処理施設を設置する場合は、適切な点検・整備による性能維持により、工事排水の適正処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できる。	(環境保全措置の効果) 処理装置を設置する場合は、点検・整備を確実にを行い、性能を維持することにより、工事排水の処理を徹底することで、公共用水域への影響を低減できる。																
p. 8-2-3-20 表 8-2-3-10(7) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 下水道の利用が可能な地域では、下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できる。	(環境保全措置の効果) 下水道の利用が可能な地域では、処理したうえで下水道へ排水することで、公共用水域への影響を回避又は低減できる。																
p. 8-2-3-20 a) 回避又は低減に係る評価	本事業では、トンネルの工事及び鉄道施設(トンネル)の存在に係る水資源への影響を回避又は低減させるため、表 8-2-3-10 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られていると評価する。	本事業では、表 8-2-3-10 に示した環境保全措置を確実に実施することから、トンネルの工事及び鉄道施設(トンネル)の存在に係る水資源への影響の回避又は低減が図られていると評価する。																
p. 8-3-2-1 5) 調査結果	平成 18 年度から平成 23 年度までの水準測量の結果を表 8-3-2-1 に示す。年間 1cm 以上の沈下を示した水準点はなく、地盤沈下は確認されていない。	平成 18 年度から平成 23 年度までの水準測量の結果を表 8-3-2-1 に示す。																
p. 8-3-2-4 表 8-3-2-2 地質条件及び土質定数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>粘土層の厚さ(m)</th> <th>体積圧縮係数(m<sup>2</sup>/kN)</th> <th>圧密降伏応力(kN/m<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下駅付近</td> <td>4.2</td> <td>3.82×10<sup>-4</sup></td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	粘土層の厚さ(m)	体積圧縮係数(m <sup>2</sup> /kN)	圧密降伏応力(kN/m <sup>2</sup> )	地下駅付近	4.2	3.82×10 <sup>-4</sup>	78	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>粘土層の厚さ(m)</th> <th>体積圧縮係数(m<sup>2</sup>/kN)</th> <th>圧密降伏応力(kN/m<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下駅付近</td> <td>0.5</td> <td>3.82×10<sup>-4</sup></td> <td>78</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	粘土層の厚さ(m)	体積圧縮係数(m <sup>2</sup> /kN)	圧密降伏応力(kN/m <sup>2</sup> )	地下駅付近	0.5	3.82×10 <sup>-4</sup>	78
予測地点	粘土層の厚さ(m)	体積圧縮係数(m <sup>2</sup> /kN)	圧密降伏応力(kN/m <sup>2</sup> )															
地下駅付近	4.2	3.82×10 <sup>-4</sup>	78															
予測地点	粘土層の厚さ(m)	体積圧縮係数(m <sup>2</sup> /kN)	圧密降伏応力(kN/m <sup>2</sup> )															
地下駅付近	0.5	3.82×10 <sup>-4</sup>	78															

表 12-1 (35) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																												
<p>p. 8-3-2-5 表 8-3-2-3 予測結果</p>	<table border="1" data-bbox="472 304 895 387"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>粘土層の厚さ (m)</th> <th>体積圧縮係数 (m<sup>3</sup>/kN)</th> <th>圧密降伏応力 (kN/m<sup>2</sup>)</th> <th>地下水の水位低下前の有効土壌圧 (kN/m<sup>2</sup>)</th> <th>地下水の水位低下後の有効土壌圧 (kN/m<sup>2</sup>)</th> <th>圧密沈下量 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下駅付近</td> <td>4.2</td> <td>3.82 × 10<sup>-4</sup></td> <td>78</td> <td>53.1</td> <td>57.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	粘土層の厚さ (m)	体積圧縮係数 (m <sup>3</sup> /kN)	圧密降伏応力 (kN/m <sup>2</sup> )	地下水の水位低下前の有効土壌圧 (kN/m <sup>2</sup> )	地下水の水位低下後の有効土壌圧 (kN/m <sup>2</sup> )	圧密沈下量 (cm)	地下駅付近	4.2	3.82 × 10 <sup>-4</sup>	78	53.1	57.0	0.6	<table border="1" data-bbox="975 304 1398 387"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>粘土層の厚さ (m)</th> <th>体積圧縮係数 (m<sup>3</sup>/kN)</th> <th>圧密降伏応力 (kN/m<sup>2</sup>)</th> <th>地下水の水位低下前の有効土壌圧 (kN/m<sup>2</sup>)</th> <th>地下水の水位低下後の有効土壌圧 (kN/m<sup>2</sup>)</th> <th>圧密沈下量 (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下駅付近</td> <td>0.5</td> <td>3.82 × 10<sup>-4</sup></td> <td>78</td> <td>53.1</td> <td>57.0</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	粘土層の厚さ (m)	体積圧縮係数 (m <sup>3</sup> /kN)	圧密降伏応力 (kN/m <sup>2</sup> )	地下水の水位低下前の有効土壌圧 (kN/m <sup>2</sup> )	地下水の水位低下後の有効土壌圧 (kN/m <sup>2</sup> )	圧密沈下量 (cm)	地下駅付近	0.5	3.82 × 10 <sup>-4</sup>	78	53.1	57.0	0.1
予測地点	粘土層の厚さ (m)	体積圧縮係数 (m <sup>3</sup> /kN)	圧密降伏応力 (kN/m <sup>2</sup> )	地下水の水位低下前の有効土壌圧 (kN/m <sup>2</sup> )	地下水の水位低下後の有効土壌圧 (kN/m <sup>2</sup> )	圧密沈下量 (cm)																								
地下駅付近	4.2	3.82 × 10 <sup>-4</sup>	78	53.1	57.0	0.6																								
予測地点	粘土層の厚さ (m)	体積圧縮係数 (m <sup>3</sup> /kN)	圧密降伏応力 (kN/m <sup>2</sup> )	地下水の水位低下前の有効土壌圧 (kN/m <sup>2</sup> )	地下水の水位低下後の有効土壌圧 (kN/m <sup>2</sup> )	圧密沈下量 (cm)																								
地下駅付近	0.5	3.82 × 10 <sup>-4</sup>	78	53.1	57.0	0.1																								
<p>p. 8-3-2-5 表 8-3-2-4 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>—</p>	<p>「地質の状況等に応じた山留め工法等の採用」を追記</p>																												
<p>p. 8-3-2-6 イ) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容</p>	<p>本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去及び鉄道施設（駅、変電施設）の存在による地盤沈下に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「止水性の高い山留め工法等の採用」及び「適切な施工管理」を実施する。</p>	<p>本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去及び鉄道施設（駅、変電施設）の存在による地盤沈下に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「止水性の高い山留め工法等の採用」、「地下水の継続的な監視」、「地質の状況等に応じた山留め工法等の採用」及び「山留め材及び周辺地盤の計測管理」を実施する。</p>																												
<p>p. 8-3-2-6 表 8-3-2-5(3) 環境保全措置の内容</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>																												
<p>p. 8-3-2-6 表 8-3-2-5(4) 環境保全措置の内容</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>																												
<p>p. 8-3-2-7 a) 回避又は低減に係る評価</p>	<p>本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去及び鉄道施設（駅、変電施設）の存在に係る地盤沈下への影響を低減させるため、表 8-3-2-5 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。</p>	<p>本事業では、表 8-3-2-5 に示した環境保全措置を確実に実施することから、切土工等又は既存の工作物の除去及び鉄道施設（駅、変電施設）の存在に係る地盤沈下への影響の低減が図られていると評価する。</p>																												
<p>p. 8-3-2-9 表 8-3-2-6 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>—</p>	<p>「地質の状況等に応じた山留め工法等の採用」を追記</p>																												
<p>p. 8-3-2-9 イ) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容</p>	<p>本事業では、トンネルの工事及び鉄道施設（トンネル）の存在による地盤沈下に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「適切な構造及び工法の採用」及び「適切な施工管理」を実施する。</p>	<p>本事業では、トンネルの工事及び鉄道施設（トンネル）の存在による地盤沈下に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「適切な構造及び工法の採用」、「地下水の継続的な監視」、「地質の状況等に応じた山留め工法等の採用」及び「山留め材及び周辺地盤の計測管理」を実施する。</p>																												

表 12-1 (36) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																																								
p. 8-3-2-10 a) 回避又は低減に係る評価	本事業では、トンネルの工事及び鉄道施設（トンネル）の存在に係る地盤沈下への影響を低減させるため、表 8-3-2-7 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。	本事業では、表 8-3-2-7 に示した環境保全措置を確実に実施することから、トンネルの工事及び鉄道施設（トンネル）の存在に係る地盤沈下への影響の低減が図られていると評価する。																																																																																																																																								
p. 8-3-2-10 表 8-3-2-7(3) 環境保全措置の内容	—	追記																																																																																																																																								
p. 8-3-2-10 表 8-3-2-7(4) 環境保全措置の内容	—	追記																																																																																																																																								
p. 8-3-3-1 表 8-3-3-2(1) 自然由来の重金属等（溶出量試験）の試験方法	（ふっ素、試験方法） JIS K 0102 34.1 又は昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号（水質汚濁に係る環境基準について）付表 1	（ふっ素、試験方法） JIS K 0102 34.1 又は <u>JIS K 0102 34.1c</u> （注 <sup>(6)</sup> 第 3 文を除く。）に定める方法（懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しない場合にあつては、これを省略できる。）及び昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号（水質汚濁に係る環境基準について）付表 6																																																																																																																																								
p. 8-3-3-2 表 8-3-3-2(2) 自然由来の重金属等（含有量試験）の試験方法	（ふっ素、試験方法） JIS K 0102 34.1 又は昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号（水質汚濁に係る環境基準について）付表 6	（ふっ素、試験方法） JIS K 0102 34.1 又は <u>JIS K 0102 34.1c</u> （注 <sup>(6)</sup> 第 3 文を除く。）に定める方法及び昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号（水質汚濁に係る環境基準について）付表 6																																																																																																																																								
p. 8-3-3-3 表 8-3-3-3 現地調査地点	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>市区町村名</th> <th>所在地</th> <th>対象地質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">01</td> <td rowspan="3">港区</td> <td rowspan="3">港南</td> <td>沖積層 シルト</td> </tr> <tr> <td>東京層 礫</td> </tr> <tr> <td>上総層 固結シルト</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">02</td> <td rowspan="3">港区</td> <td rowspan="3">港南</td> <td>沖積層 シルト</td> </tr> <tr> <td>東京層 礫</td> </tr> <tr> <td>上総層 固結シルト</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">03</td> <td rowspan="3">品川区</td> <td rowspan="3">北品川</td> <td>東京層 シルト</td> </tr> <tr> <td>東京層 礫</td> </tr> <tr> <td>上総層 固結シルト</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">04</td> <td rowspan="3">大田区</td> <td rowspan="3">上池台</td> <td>沖積層 シルト</td> </tr> <tr> <td>東京層 砂</td> </tr> <tr> <td>上総層 固結シルト</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">05</td> <td rowspan="3">町田市</td> <td rowspan="3">広神町</td> <td>稲城層 礫</td> </tr> <tr> <td>鶴川層 シルト</td> </tr> <tr> <td>鶴川層 砂</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">06</td> <td rowspan="3">町田市</td> <td rowspan="3">小野路町</td> <td>連光寺 砂</td> </tr> <tr> <td>小山田層 砂</td> </tr> <tr> <td>小山田層 固結シルト</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">07</td> <td rowspan="3">町田市</td> <td rowspan="3">上小山田町</td> <td>平山層 砂・固結シルト</td> </tr> <tr> <td>平山層 砂</td> </tr> <tr> <td>平山層 固結シルト</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	市区町村名	所在地	対象地質	01	港区	港南	沖積層 シルト	東京層 礫	上総層 固結シルト	02	港区	港南	沖積層 シルト	東京層 礫	上総層 固結シルト	03	品川区	北品川	東京層 シルト	東京層 礫	上総層 固結シルト	04	大田区	上池台	沖積層 シルト	東京層 砂	上総層 固結シルト	05	町田市	広神町	稲城層 礫	鶴川層 シルト	鶴川層 砂	06	町田市	小野路町	連光寺 砂	小山田層 砂	小山田層 固結シルト	07	町田市	上小山田町	平山層 砂・固結シルト	平山層 砂	平山層 固結シルト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>区市名</th> <th>所在地</th> <th>対象地質</th> <th colspan="2">調査深度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">港区</td> <td rowspan="3">港南</td> <td>沖積層 シルト</td> <td>3.00m</td> <td>～ 3.90m</td> </tr> <tr> <td>東京層 礫</td> <td>15.50m</td> <td>～ 17.40m</td> </tr> <tr> <td>上総層 固結シルト</td> <td>45.00m</td> <td>～ 49.00m</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">港区</td> <td rowspan="3">港南</td> <td>沖積層 シルト</td> <td>6.00m</td> <td>～ 6.80m</td> </tr> <tr> <td>東京層 礫</td> <td>16.50m</td> <td>～ 18.00m</td> </tr> <tr> <td>上総層 固結シルト</td> <td>57.35m</td> <td>～ 58.35m</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td rowspan="3">品川区</td> <td rowspan="3">北品川</td> <td>沖積層 シルト</td> <td>10.50m</td> <td>～ 11.35m</td> </tr> <tr> <td>東京層 礫</td> <td>20.15m</td> <td>～ 20.45m</td> </tr> <tr> <td>上総層 固結シルト</td> <td>81.00m</td> <td>～ 82.00m</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4</td> <td rowspan="3">大田区</td> <td rowspan="3">上池台</td> <td>沖積層 シルト</td> <td>3.00m</td> <td>～ 4.00m</td> </tr> <tr> <td>東京層 砂</td> <td>24.50m</td> <td>～ 25.50m</td> </tr> <tr> <td>上総層 固結シルト</td> <td>90.00m</td> <td>～ 91.00m</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5</td> <td rowspan="3">町田市</td> <td rowspan="3">広神町</td> <td>稲城層 礫</td> <td>43.30m</td> <td>～ 43.80m</td> </tr> <tr> <td>鶴川層 砂</td> <td>117.50m</td> <td>～ 118.00m</td> </tr> <tr> <td>鶴川層 シルト</td> <td>126.60m</td> <td>～ 127.00m</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">6</td> <td rowspan="3">町田市</td> <td rowspan="3">小野路町</td> <td>連光寺 砂</td> <td>32.19m</td> <td>～ 32.60m</td> </tr> <tr> <td>小山田層 砂</td> <td>52.27m</td> <td>～ 52.60m</td> </tr> <tr> <td>小山田層 固結シルト</td> <td>73.00m</td> <td>～ 73.50m</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">7</td> <td rowspan="3">町田市</td> <td rowspan="3">上小山田町</td> <td>平山層 砂・固結シルト</td> <td>91.00m</td> <td>～ 91.50m</td> </tr> <tr> <td>平山層 砂</td> <td>37.00m</td> <td>～ 37.50m</td> </tr> <tr> <td>平山層 固結シルト</td> <td>72.24m</td> <td>～ 72.83m</td> </tr> </tbody> </table>	地点番号	区市名	所在地	対象地質	調査深度		1	港区	港南	沖積層 シルト	3.00m	～ 3.90m	東京層 礫	15.50m	～ 17.40m	上総層 固結シルト	45.00m	～ 49.00m	2	港区	港南	沖積層 シルト	6.00m	～ 6.80m	東京層 礫	16.50m	～ 18.00m	上総層 固結シルト	57.35m	～ 58.35m	3	品川区	北品川	沖積層 シルト	10.50m	～ 11.35m	東京層 礫	20.15m	～ 20.45m	上総層 固結シルト	81.00m	～ 82.00m	4	大田区	上池台	沖積層 シルト	3.00m	～ 4.00m	東京層 砂	24.50m	～ 25.50m	上総層 固結シルト	90.00m	～ 91.00m	5	町田市	広神町	稲城層 礫	43.30m	～ 43.80m	鶴川層 砂	117.50m	～ 118.00m	鶴川層 シルト	126.60m	～ 127.00m	6	町田市	小野路町	連光寺 砂	32.19m	～ 32.60m	小山田層 砂	52.27m	～ 52.60m	小山田層 固結シルト	73.00m	～ 73.50m	7	町田市	上小山田町	平山層 砂・固結シルト	91.00m	～ 91.50m	平山層 砂	37.00m	～ 37.50m	平山層 固結シルト	72.24m	～ 72.83m
地点番号	市区町村名	所在地	対象地質																																																																																																																																							
01	港区	港南	沖積層 シルト																																																																																																																																							
			東京層 礫																																																																																																																																							
			上総層 固結シルト																																																																																																																																							
02	港区	港南	沖積層 シルト																																																																																																																																							
			東京層 礫																																																																																																																																							
			上総層 固結シルト																																																																																																																																							
03	品川区	北品川	東京層 シルト																																																																																																																																							
			東京層 礫																																																																																																																																							
			上総層 固結シルト																																																																																																																																							
04	大田区	上池台	沖積層 シルト																																																																																																																																							
			東京層 砂																																																																																																																																							
			上総層 固結シルト																																																																																																																																							
05	町田市	広神町	稲城層 礫																																																																																																																																							
			鶴川層 シルト																																																																																																																																							
			鶴川層 砂																																																																																																																																							
06	町田市	小野路町	連光寺 砂																																																																																																																																							
			小山田層 砂																																																																																																																																							
			小山田層 固結シルト																																																																																																																																							
07	町田市	上小山田町	平山層 砂・固結シルト																																																																																																																																							
			平山層 砂																																																																																																																																							
			平山層 固結シルト																																																																																																																																							
地点番号	区市名	所在地	対象地質	調査深度																																																																																																																																						
1	港区	港南	沖積層 シルト	3.00m	～ 3.90m																																																																																																																																					
			東京層 礫	15.50m	～ 17.40m																																																																																																																																					
			上総層 固結シルト	45.00m	～ 49.00m																																																																																																																																					
2	港区	港南	沖積層 シルト	6.00m	～ 6.80m																																																																																																																																					
			東京層 礫	16.50m	～ 18.00m																																																																																																																																					
			上総層 固結シルト	57.35m	～ 58.35m																																																																																																																																					
3	品川区	北品川	沖積層 シルト	10.50m	～ 11.35m																																																																																																																																					
			東京層 礫	20.15m	～ 20.45m																																																																																																																																					
			上総層 固結シルト	81.00m	～ 82.00m																																																																																																																																					
4	大田区	上池台	沖積層 シルト	3.00m	～ 4.00m																																																																																																																																					
			東京層 砂	24.50m	～ 25.50m																																																																																																																																					
			上総層 固結シルト	90.00m	～ 91.00m																																																																																																																																					
5	町田市	広神町	稲城層 礫	43.30m	～ 43.80m																																																																																																																																					
			鶴川層 砂	117.50m	～ 118.00m																																																																																																																																					
			鶴川層 シルト	126.60m	～ 127.00m																																																																																																																																					
6	町田市	小野路町	連光寺 砂	32.19m	～ 32.60m																																																																																																																																					
			小山田層 砂	52.27m	～ 52.60m																																																																																																																																					
			小山田層 固結シルト	73.00m	～ 73.50m																																																																																																																																					
7	町田市	上小山田町	平山層 砂・固結シルト	91.00m	～ 91.50m																																																																																																																																					
			平山層 砂	37.00m	～ 37.50m																																																																																																																																					
			平山層 固結シルト	72.24m	～ 72.83m																																																																																																																																					

注 1. 調査深度は、自然由来の重金属等の溶出量・含有量試験の深度を示す。

表 12-1 (37) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>p. 8-3-3-7 表 8-3-3-4(1) 自然由来の重金属等の溶出量試験結果</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>カドミウム (mg/L)</th> <th>六価クロム (mg/L)</th> <th>水銀 (mg/L)</th> <th>セレン (mg/L)</th> <th>鉛 (mg/L)</th> <th>砒素 (mg/L)</th> <th>ふっ素 (mg/L)</th> <th>ほう素 (mg/L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">01</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.01</td><td>&lt;0.0005</td><td>0.004</td><td>0.006</td><td>0.064</td><td>1.4</td><td>0.8</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.01</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>0.001</td><td>0.002</td><td>&lt;0.08</td><td>&lt;0.1</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.01</td><td>&lt;0.0005</td><td>0.012</td><td>&lt;0.001</td><td>0.100</td><td>0.11</td><td>&lt;0.1</td></tr> <tr><td rowspan="3">02</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.01</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.001</td><td>0.003</td><td>0.15</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.01</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.08</td><td>&lt;0.1</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.01</td><td>&lt;0.0005</td><td>0.003</td><td>&lt;0.001</td><td>0.031</td><td>&lt;0.08</td><td>&lt;0.1</td></tr> <tr><td rowspan="3">03</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.002</td><td>0.01</td><td>0.09</td><td>2.8</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.002</td><td>0.003</td><td>0.004</td><td>0.29</td><td>&lt;0.1</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>&lt;0.0005</td><td>0.011</td><td>0.013</td><td>0.11</td><td>0.25</td><td>0.2</td></tr> <tr><td rowspan="3">04</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.01</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.001</td><td>0.001</td><td>&lt;0.08</td><td>&lt;0.1</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.01</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.001</td><td>0.001</td><td>&lt;0.08</td><td>&lt;0.1</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.01</td><td>&lt;0.0005</td><td>0.012</td><td>&lt;0.001</td><td>0.071</td><td>0.14</td><td>0.1</td></tr> <tr><td rowspan="3">05</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>0.004</td><td>&lt;0.2</td><td>&lt;0.1</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>0.018</td><td>&lt;0.2</td><td>&lt;0.2</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;0.0005</td><td>0.004</td><td>&lt;0.005</td><td>0.083</td><td>&lt;0.2</td><td>&lt;0.2</td></tr> <tr><td rowspan="3">06</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.2</td><td>&lt;0.2</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>0.006</td><td>&lt;0.2</td><td>&lt;0.2</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>0.052</td><td>&lt;0.2</td><td>&lt;0.2</td></tr> <tr><td rowspan="3">07</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.2</td><td>&lt;0.2</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>0.003</td><td>&lt;0.2</td><td>&lt;0.2</td></tr> <tr><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;0.0005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.005</td><td>&lt;0.001</td><td>&lt;0.2</td><td>&lt;0.2</td></tr> <tr><td>指定基準*</td><td>0.01</td><td>0.05</td><td>0.0005</td><td>0.01</td><td>0.01</td><td>0.01</td><td>0.8</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. ※：指定基準：土壌汚染対策法に定める土壌汚染基準値 注2. 「」は未検を示す。</p>	地点番号	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	砒素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)	01	<0.001	<0.01	<0.0005	0.004	0.006	0.064	1.4	0.8	<0.001	<0.01	<0.0005	<0.001	0.001	0.002	<0.08	<0.1	<0.001	<0.01	<0.0005	0.012	<0.001	0.100	0.11	<0.1	02	<0.001	<0.01	<0.0005	<0.001	<0.001	0.003	0.15	0.2	<0.001	<0.01	<0.0005	<0.001	<0.001	<0.001	<0.08	<0.1	<0.001	<0.01	<0.0005	0.003	<0.001	0.031	<0.08	<0.1	03	<0.001	<0.005	<0.0005	<0.002	0.01	0.09	2.8	0.5	<0.001	<0.005	<0.0005	<0.002	0.003	0.004	0.29	<0.1	<0.001	<0.005	<0.0005	0.011	0.013	0.11	0.25	0.2	04	<0.001	<0.01	<0.0005	<0.001	<0.001	0.001	<0.08	<0.1	<0.001	<0.01	<0.0005	<0.001	<0.001	0.001	<0.08	<0.1	<0.001	<0.01	<0.0005	0.012	<0.001	0.071	0.14	0.1	05	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	0.004	<0.2	<0.1	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	0.018	<0.2	<0.2	<0.001	<0.02	<0.0005	0.004	<0.005	0.083	<0.2	<0.2	06	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.001	<0.2	<0.2	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	0.006	<0.2	<0.2	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	0.052	<0.2	<0.2	07	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.001	<0.2	<0.2	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	0.003	<0.2	<0.2	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.001	<0.2	<0.2	指定基準*	0.01	0.05	0.0005	0.01	0.01	0.01	0.8	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>対象地質</th> <th>調査深度</th> <th>カドミウム (mg/kg)</th> <th>六価クロム (mg/kg)</th> <th>水銀 (mg/kg)</th> <th>セレン (mg/kg)</th> <th>鉛 (mg/kg)</th> <th>砒素 (mg/kg)</th> <th>ふっ素 (mg/kg)</th> <th>ほう素 (mg/kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">01</td><td>沖積層 シルト</td><td>3.00m ~ 3.90m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>83</td><td>&lt;5</td><td>80</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>東京層 礫</td><td>15.50m ~ 17.60m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>48.00m ~ 49.00m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td rowspan="3">02</td><td>沖積層 シルト</td><td>8.00m ~ 8.10m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>13</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>東京層 礫</td><td>15.50m ~ 15.60m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>57.35m ~ 58.35m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>18</td></tr> <tr><td rowspan="3">03</td><td>沖積層 シルト</td><td>15.50m ~ 11.50m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>18</td></tr> <tr><td>東京層 礫</td><td>20.15m ~ 20.45m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>4</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>81.00m ~ 82.00m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;5</td><td>12</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>8</td></tr> <tr><td rowspan="3">04</td><td>沖積層 シルト</td><td>3.00m ~ 4.00m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>東京層 砂</td><td>24.50m ~ 25.50m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>90.00m ~ 91.00m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>11</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td rowspan="3">05</td><td>稲城層 礫</td><td>44.28m ~ 44.79m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>9</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>鶴川層 砂</td><td>118.70m ~ 119.00m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>9</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>小山田層 砂・固結シルト</td><td>91.00m ~ 91.50m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>9</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td rowspan="3">06</td><td>沖積層 シルト</td><td>3.00m ~ 4.00m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>東京層 砂</td><td>32.60m ~ 33.00m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>小山田層 砂</td><td>52.60m ~ 53.10m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td rowspan="3">07</td><td>平山層 固結シルト</td><td>71.24m ~ 72.00m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>平山層 固結シルト</td><td>72.24m ~ 72.85m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>大次郎層 砂</td><td>99.50m ~ 100.00m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>指定基準*</td><td></td><td></td><td>150</td><td>250</td><td>15</td><td>150</td><td>150</td><td>150</td><td>4000</td><td>4000</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. ※：指定基準：土壌汚染対策法に定める土壌汚染基準値 注2. 「」は未検を示す。</p>	地点番号	対象地質	調査深度	カドミウム (mg/kg)	六価クロム (mg/kg)	水銀 (mg/kg)	セレン (mg/kg)	鉛 (mg/kg)	砒素 (mg/kg)	ふっ素 (mg/kg)	ほう素 (mg/kg)	01	沖積層 シルト	3.00m ~ 3.90m	<5	<5	<0.05	<5	83	<5	80	<50	東京層 礫	15.50m ~ 17.60m	<5	<5	<0.05	<5	<5	<5	50	<50	上総層 固結シルト	48.00m ~ 49.00m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	<50	02	沖積層 シルト	8.00m ~ 8.10m	<5	<5	<0.05	<5	13	<5	50	<50	東京層 礫	15.50m ~ 15.60m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	<50	上総層 固結シルト	57.35m ~ 58.35m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	18	03	沖積層 シルト	15.50m ~ 11.50m	<5	<5	<0.02	<5	8	<5	50	18	東京層 礫	20.15m ~ 20.45m	<5	<5	<0.02	<5	5	<5	50	4	上総層 固結シルト	81.00m ~ 82.00m	<5	<5	<0.02	<5	12	<5	50	8	04	沖積層 シルト	3.00m ~ 4.00m	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	50	50	東京層 砂	24.50m ~ 25.50m	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	50	50	上総層 固結シルト	90.00m ~ 91.00m	<5	<5	<0.05	<5	11	<5	50	50	05	稲城層 礫	44.28m ~ 44.79m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50	鶴川層 砂	118.70m ~ 119.00m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50	小山田層 砂・固結シルト	91.00m ~ 91.50m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50	06	沖積層 シルト	3.00m ~ 4.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	東京層 砂	32.60m ~ 33.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	小山田層 砂	52.60m ~ 53.10m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	07	平山層 固結シルト	71.24m ~ 72.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	平山層 固結シルト	72.24m ~ 72.85m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	大次郎層 砂	99.50m ~ 100.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	指定基準*			150	250	15	150	150	150	4000	4000
地点番号	カドミウム (mg/L)	六価クロム (mg/L)	水銀 (mg/L)	セレン (mg/L)	鉛 (mg/L)	砒素 (mg/L)	ふっ素 (mg/L)	ほう素 (mg/L)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
01	<0.001	<0.01	<0.0005	0.004	0.006	0.064	1.4	0.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.01	<0.0005	<0.001	0.001	0.002	<0.08	<0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.01	<0.0005	0.012	<0.001	0.100	0.11	<0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
02	<0.001	<0.01	<0.0005	<0.001	<0.001	0.003	0.15	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.01	<0.0005	<0.001	<0.001	<0.001	<0.08	<0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.01	<0.0005	0.003	<0.001	0.031	<0.08	<0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
03	<0.001	<0.005	<0.0005	<0.002	0.01	0.09	2.8	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.005	<0.0005	<0.002	0.003	0.004	0.29	<0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.005	<0.0005	0.011	0.013	0.11	0.25	0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
04	<0.001	<0.01	<0.0005	<0.001	<0.001	0.001	<0.08	<0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.01	<0.0005	<0.001	<0.001	0.001	<0.08	<0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.01	<0.0005	0.012	<0.001	0.071	0.14	0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
05	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	0.004	<0.2	<0.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	0.018	<0.2	<0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.02	<0.0005	0.004	<0.005	0.083	<0.2	<0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
06	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.001	<0.2	<0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	0.006	<0.2	<0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	0.052	<0.2	<0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
07	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.001	<0.2	<0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	0.003	<0.2	<0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<0.001	<0.02	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.001	<0.2	<0.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
指定基準*	0.01	0.05	0.0005	0.01	0.01	0.01	0.8	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
地点番号	対象地質	調査深度	カドミウム (mg/kg)	六価クロム (mg/kg)	水銀 (mg/kg)	セレン (mg/kg)	鉛 (mg/kg)	砒素 (mg/kg)	ふっ素 (mg/kg)	ほう素 (mg/kg)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
01	沖積層 シルト	3.00m ~ 3.90m	<5	<5	<0.05	<5	83	<5	80	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	東京層 礫	15.50m ~ 17.60m	<5	<5	<0.05	<5	<5	<5	50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	上総層 固結シルト	48.00m ~ 49.00m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
02	沖積層 シルト	8.00m ~ 8.10m	<5	<5	<0.05	<5	13	<5	50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	東京層 礫	15.50m ~ 15.60m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	上総層 固結シルト	57.35m ~ 58.35m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
03	沖積層 シルト	15.50m ~ 11.50m	<5	<5	<0.02	<5	8	<5	50	18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	東京層 礫	20.15m ~ 20.45m	<5	<5	<0.02	<5	5	<5	50	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	上総層 固結シルト	81.00m ~ 82.00m	<5	<5	<0.02	<5	12	<5	50	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
04	沖積層 シルト	3.00m ~ 4.00m	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	東京層 砂	24.50m ~ 25.50m	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	上総層 固結シルト	90.00m ~ 91.00m	<5	<5	<0.05	<5	11	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
05	稲城層 礫	44.28m ~ 44.79m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	鶴川層 砂	118.70m ~ 119.00m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	小山田層 砂・固結シルト	91.00m ~ 91.50m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
06	沖積層 シルト	3.00m ~ 4.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	東京層 砂	32.60m ~ 33.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	小山田層 砂	52.60m ~ 53.10m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
07	平山層 固結シルト	71.24m ~ 72.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	平山層 固結シルト	72.24m ~ 72.85m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	大次郎層 砂	99.50m ~ 100.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
指定基準*			150	250	15	150	150	150	4000	4000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>p. 8-3-3-8 表 8-3-3-4(2) 自然由来の重金属等の含有量試験結果</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>カドミウム (mg/kg)</th> <th>六価クロム (mg/kg)</th> <th>水銀 (mg/kg)</th> <th>セレン (mg/kg)</th> <th>鉛 (mg/kg)</th> <th>砒素 (mg/kg)</th> <th>ふっ素 (mg/kg)</th> <th>ほう素 (mg/kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">01</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>63</td><td>&lt;5</td><td>60</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>&lt;50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td rowspan="3">02</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>&lt;50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>&lt;50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td rowspan="3">03</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>19</td></tr> <tr><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>&lt;5</td></tr> <tr><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>12</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>8</td></tr> <tr><td rowspan="3">04</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>11</td><td>&lt;5</td><td>&lt;50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td rowspan="3">05</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>9</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td rowspan="3">06</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td rowspan="3">07</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>&lt;100</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>指定基準*</td><td>150</td><td>250</td><td>15</td><td>150</td><td>150</td><td>150</td><td>4000</td><td>4000</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. ※：指定基準：土壌汚染対策法に定める土壌汚染基準値 注2. 「」は未検を示す。</p>	地点番号	カドミウム (mg/kg)	六価クロム (mg/kg)	水銀 (mg/kg)	セレン (mg/kg)	鉛 (mg/kg)	砒素 (mg/kg)	ふっ素 (mg/kg)	ほう素 (mg/kg)	01	<5	<5	<0.05	<5	63	<5	60	<50	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	<50	<50	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	<50	<50	02	<5	<5	<0.05	<5	7	<5	<50	<50	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	<50	<50	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	<50	<50	03	<5	<5	<0.02	<5	8	<5	<100	19	<5	<5	<0.02	<5	5	<5	<100	<5	<5	<5	<0.05	<5	12	<5	<100	8	04	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	<50	<50	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	<50	<50	<5	<5	<0.05	<5	11	<5	<50	<50	05	<1	<5	<0.5	<1	<5	<5	<100	<50	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	<100	<50	<1	<5	<0.5	<1	<5	<5	<100	<50	06	<1	<5	<0.5	<1	<5	<5	<100	<50	<1	<5	<0.5	<1	8	<5	<100	<50	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	<100	<50	07	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	<100	<50	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	<100	<50	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	<100	<50	指定基準*	150	250	15	150	150	150	4000	4000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>対象地質</th> <th>調査深度</th> <th>カドミウム (mg/kg)</th> <th>六価クロム (mg/kg)</th> <th>水銀 (mg/kg)</th> <th>セレン (mg/kg)</th> <th>鉛 (mg/kg)</th> <th>砒素 (mg/kg)</th> <th>ふっ素 (mg/kg)</th> <th>ほう素 (mg/kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">01</td><td>沖積層 シルト</td><td>3.00m ~ 3.90m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>83</td><td>&lt;5</td><td>80</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>東京層 礫</td><td>15.50m ~ 17.60m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>48.00m ~ 49.00m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td rowspan="3">02</td><td>沖積層 シルト</td><td>8.00m ~ 8.10m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>13</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>東京層 礫</td><td>15.50m ~ 15.60m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>&lt;50</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>57.35m ~ 58.35m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>18</td></tr> <tr><td rowspan="3">03</td><td>沖積層 シルト</td><td>15.50m ~ 11.50m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;5</td><td>8</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>18</td></tr> <tr><td>東京層 礫</td><td>20.15m ~ 20.45m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>4</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>81.00m ~ 82.00m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.02</td><td>&lt;5</td><td>12</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>8</td></tr> <tr><td rowspan="3">04</td><td>沖積層 シルト</td><td>3.00m ~ 4.00m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>東京層 砂</td><td>24.50m ~ 25.50m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>5</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>90.00m ~ 91.00m</td><td>&lt;5</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.05</td><td>&lt;5</td><td>11</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td rowspan="3">05</td><td>稲城層 礫</td><td>44.28m ~ 44.79m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>9</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>鶴川層 砂</td><td>118.70m ~ 119.00m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>9</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>小山田層 砂・固結シルト</td><td>91.00m ~ 91.50m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>9</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td rowspan="3">06</td><td>沖積層 シルト</td><td>3.00m ~ 4.00m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>東京層 砂</td><td>32.60m ~ 33.00m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>小山田層 砂</td><td>52.60m ~ 53.10m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td rowspan="3">07</td><td>平山層 固結シルト</td><td>71.24m ~ 72.00m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>平山層 固結シルト</td><td>72.24m ~ 72.85m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>大次郎層 砂</td><td>99.50m ~ 100.00m</td><td>&lt;1</td><td>&lt;5</td><td>&lt;0.5</td><td>&lt;1</td><td>7</td><td>&lt;5</td><td>50</td><td>50</td></tr> <tr><td>指定基準*</td><td></td><td></td><td>150</td><td>250</td><td>15</td><td>150</td><td>150</td><td>150</td><td>4000</td><td>4000</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. ※：指定基準：土壌汚染対策法に定める土壌汚染基準値 注2. 「」は未検を示す。</p>	地点番号	対象地質	調査深度	カドミウム (mg/kg)	六価クロム (mg/kg)	水銀 (mg/kg)	セレン (mg/kg)	鉛 (mg/kg)	砒素 (mg/kg)	ふっ素 (mg/kg)	ほう素 (mg/kg)	01	沖積層 シルト	3.00m ~ 3.90m	<5	<5	<0.05	<5	83	<5	80	<50	東京層 礫	15.50m ~ 17.60m	<5	<5	<0.05	<5	<5	<5	50	<50	上総層 固結シルト	48.00m ~ 49.00m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	<50	02	沖積層 シルト	8.00m ~ 8.10m	<5	<5	<0.05	<5	13	<5	50	<50	東京層 礫	15.50m ~ 15.60m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	<50	上総層 固結シルト	57.35m ~ 58.35m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	18	03	沖積層 シルト	15.50m ~ 11.50m	<5	<5	<0.02	<5	8	<5	50	18	東京層 礫	20.15m ~ 20.45m	<5	<5	<0.02	<5	5	<5	50	4	上総層 固結シルト	81.00m ~ 82.00m	<5	<5	<0.02	<5	12	<5	50	8	04	沖積層 シルト	3.00m ~ 4.00m	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	50	50	東京層 砂	24.50m ~ 25.50m	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	50	50	上総層 固結シルト	90.00m ~ 91.00m	<5	<5	<0.05	<5	11	<5	50	50	05	稲城層 礫	44.28m ~ 44.79m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50	鶴川層 砂	118.70m ~ 119.00m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50	小山田層 砂・固結シルト	91.00m ~ 91.50m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50	06	沖積層 シルト	3.00m ~ 4.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	東京層 砂	32.60m ~ 33.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	小山田層 砂	52.60m ~ 53.10m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	07	平山層 固結シルト	71.24m ~ 72.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	平山層 固結シルト	72.24m ~ 72.85m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	大次郎層 砂	99.50m ~ 100.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50	指定基準*			150	250	15	150	150	150	4000	4000
地点番号	カドミウム (mg/kg)	六価クロム (mg/kg)	水銀 (mg/kg)	セレン (mg/kg)	鉛 (mg/kg)	砒素 (mg/kg)	ふっ素 (mg/kg)	ほう素 (mg/kg)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
01	<5	<5	<0.05	<5	63	<5	60	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	<50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	<50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
02	<5	<5	<0.05	<5	7	<5	<50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	<50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	<50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
03	<5	<5	<0.02	<5	8	<5	<100	19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<5	<5	<0.02	<5	5	<5	<100	<5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<5	<5	<0.05	<5	12	<5	<100	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
04	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	<50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	<50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<5	<5	<0.05	<5	11	<5	<50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
05	<1	<5	<0.5	<1	<5	<5	<100	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	<100	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<1	<5	<0.5	<1	<5	<5	<100	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
06	<1	<5	<0.5	<1	<5	<5	<100	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<1	<5	<0.5	<1	8	<5	<100	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	<100	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
07	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	<100	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	<100	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	<100	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
指定基準*	150	250	15	150	150	150	4000	4000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
地点番号	対象地質	調査深度	カドミウム (mg/kg)	六価クロム (mg/kg)	水銀 (mg/kg)	セレン (mg/kg)	鉛 (mg/kg)	砒素 (mg/kg)	ふっ素 (mg/kg)	ほう素 (mg/kg)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
01	沖積層 シルト	3.00m ~ 3.90m	<5	<5	<0.05	<5	83	<5	80	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	東京層 礫	15.50m ~ 17.60m	<5	<5	<0.05	<5	<5	<5	50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	上総層 固結シルト	48.00m ~ 49.00m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
02	沖積層 シルト	8.00m ~ 8.10m	<5	<5	<0.05	<5	13	<5	50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	東京層 礫	15.50m ~ 15.60m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	<50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	上総層 固結シルト	57.35m ~ 58.35m	<5	<5	<0.05	<5	8	<5	50	18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
03	沖積層 シルト	15.50m ~ 11.50m	<5	<5	<0.02	<5	8	<5	50	18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	東京層 礫	20.15m ~ 20.45m	<5	<5	<0.02	<5	5	<5	50	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	上総層 固結シルト	81.00m ~ 82.00m	<5	<5	<0.02	<5	12	<5	50	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
04	沖積層 シルト	3.00m ~ 4.00m	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	東京層 砂	24.50m ~ 25.50m	<5	<5	<0.05	<5	5	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	上総層 固結シルト	90.00m ~ 91.00m	<5	<5	<0.05	<5	11	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
05	稲城層 礫	44.28m ~ 44.79m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	鶴川層 砂	118.70m ~ 119.00m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	小山田層 砂・固結シルト	91.00m ~ 91.50m	<1	<5	<0.5	<1	9	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
06	沖積層 シルト	3.00m ~ 4.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	東京層 砂	32.60m ~ 33.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	小山田層 砂	52.60m ~ 53.10m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
07	平山層 固結シルト	71.24m ~ 72.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	平山層 固結シルト	72.24m ~ 72.85m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	大次郎層 砂	99.50m ~ 100.00m	<1	<5	<0.5	<1	7	<5	50	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
指定基準*			150	250	15	150	150	150	4000	4000																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>p. 8-3-3-9 表 8-3-3-4(3) 酸性化可能性試験結果</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>pH(H<sub>2</sub>O) (pH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">01</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">02</td><td>3.6</td></tr> <tr><td>2.7</td></tr> <tr><td rowspan="2">03</td><td>-</td></tr> <tr><td>7.9</td></tr> <tr><td rowspan="2">04</td><td>3.8</td></tr> <tr><td>7.6</td></tr> <tr><td rowspan="2">05</td><td>7.4</td></tr> <tr><td>7.9</td></tr> <tr><td rowspan="2">06</td><td>8.9</td></tr> <tr><td>7.9</td></tr> <tr><td rowspan="2">07</td><td>5.3</td></tr> <tr><td>2.2</td></tr> <tr><td rowspan="2">08</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>5.3</td></tr> <tr><td rowspan="2">09</td><td>5.3</td></tr> <tr><td>2.5</td></tr> <tr><td rowspan="2">10</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>7.6</td></tr> <tr><td rowspan="2">11</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>2.9</td></tr> <tr><td>参考値*</td><td>3.5以下</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 参考値：「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（暫定版）（平成 22 年 3 月）」に示されている参考値であり、pH(H<sub>2</sub>O)が 3.5 以下のものを、地質資料の長期的な酸性化の可能性があると評価する。</p>	地点番号	pH(H <sub>2</sub> O) (pH)	01	3.4	-	02	3.6	2.7	03	-	7.9	04	3.8	7.6	05	7.4	7.9	06	8.9	7.9	07	5.3	2.2	08	2.9	5.3	09	5.3	2.5	10	2.5	7.6	11	2.5	2.9	参考値*	3.5以下	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点番号</th> <th>対象地質</th> <th>調査深度</th> <th>pH(H<sub>2</sub>O) (pH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">01</td><td>沖積層 シルト</td><td>3.00m ~ 3.90m</td><td>3.4</td></tr> <tr><td>東京層 礫</td><td>15.50m ~ 17.60m</td><td>6.1</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>48.00m ~ 49.00m</td><td>3.6</td></tr> <tr><td rowspan="3">02</td><td>東京層 シルト</td><td>6.00m ~ 6.80m</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>東京層 礫</td><td>16.50m ~ 18.00m</td><td>7.9</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>57.35m ~ 58.35m</td><td>6.1</td></tr> <tr><td rowspan="3">03</td><td>沖積層 シルト</td><td>10.50m ~ 11.25m</td><td>3.8</td></tr> <tr><td>東京層 礫</td><td>20.15m ~ 20.45m</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>81.00m ~ 82.00m</td><td>7.4</td></tr> <tr><td rowspan="3">04</td><td>沖積層 シルト</td><td>3.00m ~ 4.00m</td><td>6.6</td></tr> <tr><td>東京層 砂</td><td>24.50m ~ 25.50m</td><td>8.9</td></tr> <tr><td>上総層 固結シルト</td><td>90.00m ~ 91.00m</td><td>7.9</td></tr> <tr><td rowspan="3">05</td><td>稲城層 礫</td><td>44.28m ~ 44.79m</td><td>5.3</td></tr> <tr><td>鶴川層 砂</td><td>118.70m ~ 119.00m</td><td>2.2</td></tr> <tr><td>小山田層 シルト</td><td>128.04m ~ 128.40m</td><td>2.9</td></tr> <tr><td rowspan="3">06</td><td>連光寺層 砂</td><td>32.60m ~ 33.00m</td><td>5.3</td></tr> <tr><td>小山田層 砂</td><td>52.60m ~ 53.10m</td><td>5.3</td></tr> <tr><td>小山田層 固結シルト</td><td>73.50m ~ 74.00m</td><td>2.5</td></tr> <tr><td rowspan="3">07</td><td>平山層 砂・固結シルト</td><td>91.50m ~ 92.00m</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>平山層 砂</td><td>37.00m ~ 37.50m</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>平山層 固結シルト</td><td>71.24m ~ 72.00m</td><td>2.5</td></tr> <tr><td rowspan="2">08</td><td>大次郎層 砂</td><td>99.50m ~ 100.00m</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>参考値*</td><td></td><td>3.5以下</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. ※参考値：「建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル（暫定版）（平成 22 年 3 月）」に示されている参考値であり、pH(H<sub>2</sub>O)が 3.5 以下のものを、地質資料の長期的な酸性化の可能性があると評価する。</p>	地点番号	対象地質	調査深度	pH(H <sub>2</sub> O) (pH)	01	沖積層 シルト	3.00m ~ 3.90m	3.4	東京層 礫	15.50m ~ 17.60m	6.1	上総層 固結シルト	48.00m ~ 49.00m	3.6	02	東京層 シルト	6.00m ~ 6.80m	3.2	東京層 礫	16.50m ~ 18.00m	7.9	上総層 固結シルト	57.35m ~ 58.35m	6.1	03	沖積層 シルト	10.50m ~ 11.25m	3.8	東京層 礫	20.15m ~ 20.45m	7.0	上総層 固結シルト	81.00m ~ 82.00m	7.4	04	沖積層 シルト	3.00m ~ 4.00m	6.6	東京層 砂	24.50m ~ 25.50m	8.9	上総層 固結シルト	90.00m ~ 91.00m	7.9	05	稲城層 礫	44.28m ~ 44.79m	5.3	鶴川層 砂	118.70m ~ 119.00m	2.2	小山田層 シルト	128.04m ~ 128.40m	2.9	06	連光寺層 砂	32.60m ~ 33.00m	5.3	小山田層 砂	52.60m ~ 53.10m	5.3	小山田層 固結シルト	73.50m ~ 74.00m	2.5	07	平山層 砂・固結シルト	91.50m ~ 92.00m	2.5	平山層 砂	37.00m ~ 37.50m	7.0	平山層 固結シルト	71.24m ~ 72.00m	2.5	08	大次郎層 砂	99.50m ~ 100.00m	2.9	参考値*		3.5以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
地点番号	pH(H <sub>2</sub> O) (pH)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
01	3.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
02	3.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	2.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
03	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	7.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
04	3.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	7.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
05	7.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	7.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
06	8.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	7.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
07	5.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	2.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
08	2.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	5.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
09	5.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
10	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	7.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
11	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	2.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
参考値*	3.5以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
地点番号	対象地質	調査深度	pH(H <sub>2</sub> O) (pH)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
01	沖積層 シルト	3.00m ~ 3.90m	3.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	東京層 礫	15.50m ~ 17.60m	6.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	上総層 固結シルト	48.00m ~ 49.00m	3.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
02	東京層 シルト	6.00m ~ 6.80m	3.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	東京層 礫	16.50m ~ 18.00m	7.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	上総層 固結シルト	57.35m ~ 58.35m	6.1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
03	沖積層 シルト	10.50m ~ 11.25m	3.8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	東京層 礫	20.15m ~ 20.45m	7.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	上総層 固結シルト	81.00m ~ 82.00m	7.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
04	沖積層 シルト	3.00m ~ 4.00m	6.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	東京層 砂	24.50m ~ 25.50m	8.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	上総層 固結シルト	90.00m ~ 91.00m	7.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
05	稲城層 礫	44.28m ~ 44.79m	5.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	鶴川層 砂	118.70m ~ 119.00m	2.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	小山田層 シルト	128.04m ~ 128.40m	2.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
06	連光寺層 砂	32.60m ~ 33.00m	5.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	小山田層 砂	52.60m ~ 53.10m	5.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	小山田層 固結シルト	73.50m ~ 74.00m	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
07	平山層 砂・固結シルト	91.50m ~ 92.00m	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	平山層 砂	37.00m ~ 37.50m	7.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	平山層 固結シルト	71.24m ~ 72.00m	2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
08	大次郎層 砂	99.50m ~ 100.00m	2.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	参考値*		3.5以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

表 12-1(38) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-3-3-11~16 か) 予測結果	土壌汚染が明らかとなった際には、関連法令等に基づき適切に処理、処分する。	土壌汚染が明らかとなった際には、 <u>土壌汚染対策法(平成14年法律第53号、改正平成23年法律第74号)</u> 等の関連法令等に基づき適切に処理、処分する。
p. 8-3-3-12 表 8-3-3-5 環境保全措置の検討の状況	(有害物質の有無の確認と汚染土壌の適切な処理、適否の理由) 土壌汚染が明らかとなった際には、関係法令等に基づき適切に処理、処分を行うことで、土壌汚染を回避できることから、環境保全措置として採用する。	(有害物質の有無の確認と汚染土壌の適切な処理、適否の理由) 土壌汚染が明らかとなった際には、関係法令等に基づき <u>対象物質の種類や含有状況等に合わせた処理、処分を行う</u> ことで、土壌汚染を回避できることから、環境保全措置として採用する。
p. 8-3-3-12~17 表 8-3-3-5 表 8-3-3-7 環境保全措置の検討の状況	(工事排水の適切な処理、適否の理由) 処理施設により工事排水を適切に処理することで、土壌汚染を回避できることから、環境保全措置として採用する。	(工事排水の適切な処理、適否の理由) <u>工事排水について、処理施設により法令等に基づく排水基準を踏まえ、水質の改善を図るための処理をしたうえで排水</u> することで、土壌汚染を回避できることから、環境保全措置として採用する。
	(仮置場における発生土の適切な管理、適否の理由) 発生土の仮置場にシート覆いを設置するなど、発生土を適切に管理することで、重金属等の有無を確認するまでの間の雨水等による重金属等の流出を防止し、土壌汚染を回避できることから、環境保全措置として採用する。	(仮置場における発生土の適切な管理、適否の理由) 発生土の仮置場に <u>屋根、側溝、シート覆い、地盤への浸透防止シートを設置する等の管理を行う</u> ことで、重金属等の有無を確認するまでの間の雨水等による重金属等の流出を防止し、土壌汚染を回避できることから、環境保全措置として採用する。
	—	「発生土を有効利用する事業者への土壌汚染に関する情報提供の徹底」を追記
p. 8-3-3-12 イ) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容	本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去による土壌汚染に係る環境影響を回避させるため、環境保全措置として「有害物質の有無の確認と汚染土壌の適切な処理」、「薬液注入工法における指針の順守」、「工事排水の適切な処理」及び「仮置場における発生土の適切な管理」を実施する。	本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去による土壌汚染に係る環境影響を回避又は低減させるため、環境保全措置として「有害物質の有無の確認と汚染土壌の適切な処理」、「薬液注入工法における指針の順守」、「工事排水の適切な処理」、「仮置場における発生土の適切な管理」及び「 <u>発生土を有効利用する事業者への土壌汚染に関する情報提供の徹底</u> 」を実施する。
p. 8-3-3-12 表 8-3-3-6(1) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 土壌汚染が明らかとなった際には、関連法令等に基づき適切に処理、処分することで、土壌汚染を回避できる。	(環境保全措置の効果) 土壌汚染が明らかとなった際には、関係法令等に基づき <u>対象物質の種類や含有状況等に合わせた処理、処分を行う</u> ことで、土壌汚染を回避できる。

表 12-1 (39) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-3-3-13～18 表 8-3-3-6(3) 表 8-3-3-8(3) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 処理施設により工事排水を適切に処理することで、土壌汚染を回避できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) <u>工事排水について、処理施設により法令等に基づく排水基準を踏まえ、水質の改善を図るための処理をしたうえで排水することで、土壌汚染を回避できる。</u></p>
<p>p. 8-3-3-13～18 表 8-3-3-6(4) 表 8-3-3-8(4) 環境保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 発生土の仮置場にシート覆いを設置するなど、発生土を適切に管理することで、重金属等の有無を確認するまでの間の雨水等による重金属等の流出を防止し、土壌汚染を回避できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) 発生土の仮置場に屋根、側溝、シート覆い、<u>地盤への浸透防止シートを設置する等の管理を行う</u>ことで、重金属等の有無を確認するまでの間の雨水等による重金属等の流出を防止し、土壌汚染を回避できる。</p>
<p>p. 8-3-3-13～18 表 8-3-3-6(5) 表 8-3-3-8(5) 環境保全措置の内容</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>
<p>p. 8-3-3-13 り) 環境保全措置の効果及び当該環境保全措置を講じた後の環境の変化の状況</p>	<p>環境保全措置を実施することで、土壌汚染に係る環境影響が回避される。</p>	<p>環境保全措置を実施することで、土壌汚染に係る環境影響が回避又は低減される。</p>
<p>p. 8-3-3-14 a) 回避又は低減に係る評価</p>	<p>本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去に伴う土壌汚染を回避させるため、表 8-3-3-6 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で回避できるものと評価する。</p>	<p>本事業では、<u>表 8-3-3-6 に示した環境保全措置を確実に実施することから、切土工等又は既存の工作物の除去に伴う土壌汚染を回避又は低減</u>できるものと評価する。</p>
<p>p. 8-3-3-17 表 8-3-3-7 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>(発生土に含まれる重金属等の定期的な調査、適否の理由) 発生土に含まれる重金属等の有無を定期的に確認し、指定基準に適合しない発生土及び酸性化のおそれのある発生土は、選別して適切な現場管理を行うとともに、関連法令等に基づき処理、処分することで、土壌汚染を回避できることから、環境保全措置として採用する。</p>	<p>(発生土に含まれる重金属等の定期的な調査、適否の理由) 発生土に含まれる重金属等の有無を定期的に確認し、指定基準に適合しない発生土及び酸性化のおそれのある発生土は、選別して<u>対象物質の種類や含有状況等に合わせた現場管理を行う</u>とともに、<u>関連法令等に基づき処理、処分を行う</u>ことで、土壌汚染を回避できることから、環境保全措置として採用する。</p>
<p>p. 8-3-3-17 1) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容</p>	<p>本事業では、トンネルの工事による土壌汚染に係る環境影響を回避させるため、環境保全措置として「発生土に含まれる重金属等の定期的な調査」、「薬液注入工法における指針の順守」、「工事排水の適切な処理」及び「仮置場における発生土の適切な管理」を実施する。</p>	<p>本事業では、トンネルの工事による土壌汚染に係る環境影響を回避又は低減させるため、環境保全措置として「発生土に含まれる重金属等の定期的な調査」、「薬液注入工法における指針の順守」、「工事排水の適切な処理」、「仮置場における発生土の適切な管理」及び「発生土を有効利用する事業者への土壌汚染に関する情報提供の徹底」を実施する。</p>

表 12-1(40) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																		
<p>p. 8-3-3-17 表 8-3-3-8(1) 環境 保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 発生土に含まれる重金属等の有無を定期的 に確認し、指定基準に適合しない発生土 及び酸性化のおそれのある発生土は、選別 して適切な現場管理を行うとともに、関連 法令等に基づき処理、処分することで、土 壌汚染を回避できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) 発生土に含まれる重金属等の有無を定期的 に確認し、指定基準に適合しない発生土 及び酸性化のおそれのある発生土は、選別 して対象物質の種類や含有状況等に合わ せた現場管理を行うとともに、関連法令等 に基づき処理、処分を行うことで、土壌汚 染を回避できる。</p>																																																																																																		
<p>p. 8-3-3-18 り) 環境保全措置の効 果及び当該環境保全措 置を講じた後の環境の 変化の状況</p>	<p>環境保全措置を実施することで、土壌汚染 に係る環境影響が回避される。</p>	<p>環境保全措置を実施することで、土壌汚染 に係る環境影響が回避又は低減される。</p>																																																																																																		
<p>p. 8-3-3-19 a) 回避又は低減に係 る評価</p>	<p>本事業では、トンネルの工事に伴う土壌汚 染を回避させるため、表 8-3-3-8 に示した 環境保全措置を実施することから、事業者 により実行可能な範囲内で回避できるも のと評価する。</p>	<p>本事業では、表 8-3-3-8 に示した環境保全 措置を確実に実施することから、トンネル の工事に伴う土壌汚染を回避又は低減で きるものと評価する。</p>																																																																																																		
<p>p. 8-3-4-4 表 8-3-4-2 予測地点</p>	<p>(品川区) 鉄道施設 換気施設等、変電施設 計画施設の高さ 約 10m、約 35m</p>	<p>(品川区) 鉄道施設 変電施設 計画施設の高さ 約 35m</p>																																																																																																		
<p>p. 8-3-4-5 表 8-3-4-4 予測結果</p>	<table border="1" data-bbox="456 1122 903 1368"> <thead> <tr> <th>市町村名</th> <th>所在地</th> <th>用途地域</th> <th>予測値</th> <th>基準又は 目標<sup>(B1)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">品川区</td> <td rowspan="5">北品川</td> <td>準工業地域(容積率300%)</td> <td>4時間未満</td> <td>5時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3時間未満</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td>準工業地域(容積率400%)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>第一種住居地域</td> <td>3時間未満</td> <td>4時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.5時間未満</td> <td>2.5時間</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">町田市・ 川崎市麻生区</td> <td rowspan="3">能ヶ谷</td> <td>第一種中高層住居専用地域</td> <td>0時間</td> <td>4時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.5時間未満</td> <td>2.5時間</td> </tr> <tr> <td>第一種低層住居専用地域</td> <td>0時間</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">町田市</td> <td rowspan="3">小野路町</td> <td>用途地域の指定なし</td> <td>1時間未満</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0時間</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>第一種低層住居専用地域</td> <td>2時間未満</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上小山田町</td> <td>用途地域の指定なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	市町村名	所在地	用途地域	予測値	基準又は 目標 <sup>(B1)</sup>	品川区	北品川	準工業地域(容積率300%)	4時間未満	5時間		3時間未満	3時間	準工業地域(容積率400%)	—	—	第一種住居地域	3時間未満	4時間		2.5時間未満	2.5時間	町田市・ 川崎市麻生区	能ヶ谷	第一種中高層住居専用地域	0時間	4時間		2.5時間未満	2.5時間	第一種低層住居専用地域	0時間	3時間	町田市	小野路町	用途地域の指定なし	1時間未満	3時間		0時間	2時間	第一種低層住居専用地域	2時間未満	3時間		上小山田町	用途地域の指定なし	—	—	<table border="1" data-bbox="951 1122 1398 1368"> <thead> <tr> <th>区市名</th> <th>所在地</th> <th>用途地域</th> <th>予測値</th> <th>基準又は 目標<sup>(B1)</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">品川区</td> <td rowspan="5">北品川</td> <td>準工業地域(容積率300%)</td> <td>4時間未満</td> <td>5時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3時間未満</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td>準工業地域(容積率400%)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>第一種住居地域</td> <td>3時間未満</td> <td>4時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.5時間未満</td> <td>2.5時間</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">町田市・ 川崎市麻生区</td> <td rowspan="3">能ヶ谷</td> <td>第一種中高層住居専用地域</td> <td>該当なし</td> <td>4時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.5時間未満</td> <td>2.5時間</td> </tr> <tr> <td>第一種低層住居専用地域</td> <td>0時間</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">町田市</td> <td rowspan="3">小野路町</td> <td>用途地域の指定なし</td> <td>1時間未満</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0時間</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>第一種低層住居専用地域</td> <td>2時間未満</td> <td>3時間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上小山田町</td> <td>用途地域の指定なし</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	区市名	所在地	用途地域	予測値	基準又は 目標 <sup>(B1)</sup>	品川区	北品川	準工業地域(容積率300%)	4時間未満	5時間		3時間未満	3時間	準工業地域(容積率400%)	—	—	第一種住居地域	3時間未満	4時間		2.5時間未満	2.5時間	町田市・ 川崎市麻生区	能ヶ谷	第一種中高層住居専用地域	該当なし	4時間		2.5時間未満	2.5時間	第一種低層住居専用地域	0時間	3時間	町田市	小野路町	用途地域の指定なし	1時間未満	3時間		0時間	2時間	第一種低層住居専用地域	2時間未満	3時間		上小山田町	用途地域の指定なし	—	—
市町村名	所在地	用途地域	予測値	基準又は 目標 <sup>(B1)</sup>																																																																																																
品川区	北品川	準工業地域(容積率300%)	4時間未満	5時間																																																																																																
			3時間未満	3時間																																																																																																
		準工業地域(容積率400%)	—	—																																																																																																
		第一種住居地域	3時間未満	4時間																																																																																																
			2.5時間未満	2.5時間																																																																																																
町田市・ 川崎市麻生区	能ヶ谷	第一種中高層住居専用地域	0時間	4時間																																																																																																
			2.5時間未満	2.5時間																																																																																																
		第一種低層住居専用地域	0時間	3時間																																																																																																
町田市	小野路町	用途地域の指定なし	1時間未満	3時間																																																																																																
			0時間	2時間																																																																																																
		第一種低層住居専用地域	2時間未満	3時間																																																																																																
	上小山田町	用途地域の指定なし	—	—																																																																																																
区市名	所在地	用途地域	予測値	基準又は 目標 <sup>(B1)</sup>																																																																																																
品川区	北品川	準工業地域(容積率300%)	4時間未満	5時間																																																																																																
			3時間未満	3時間																																																																																																
		準工業地域(容積率400%)	—	—																																																																																																
		第一種住居地域	3時間未満	4時間																																																																																																
			2.5時間未満	2.5時間																																																																																																
町田市・ 川崎市麻生区	能ヶ谷	第一種中高層住居専用地域	該当なし	4時間																																																																																																
			2.5時間未満	2.5時間																																																																																																
		第一種低層住居専用地域	0時間	3時間																																																																																																
町田市	小野路町	用途地域の指定なし	1時間未満	3時間																																																																																																
			0時間	2時間																																																																																																
		第一種低層住居専用地域	2時間未満	3時間																																																																																																
	上小山田町	用途地域の指定なし	—	—																																																																																																
<p>p. 8-3-4-8 a) 回避又は低減に係 る評価</p>	<p>本事業では、鉄道施設(換気施設、変電施 設)の存在に伴う日照障害への影響を回避 又は低減させるため、環境保全措置として 「鉄道施設(換気施設、変電施設)の配置 等の工夫」を実施する。これらの措置は、 他の公共事業においても採用され、その効 果が確認されている。以上のことから、本 事業の影響を事業者により実行可能な範 囲内で回避又は低減しているものと評価 する。</p>	<p>本事業では、「<u>鉄道施設(換気施設、変電 施設)の配置等の工夫</u>」の環境保全措置を 実施することとしており、この措置は、他 の公共事業においても採用され、その効果 が確認されていることから、鉄道施設(換 気施設、変電施設)の存在に伴う日照障害 への影響を回避又は低減しているものと 評価する。</p>																																																																																																		

表 12-1(41) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																	
p. 8-3-5-3 表 8-3-5-3(1) テレビジョン電波の送信所及び電波発信の状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>UHF</th> <th>UHF</th> <th>UHF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>送信局名</td> <td>関東広域圏 東京親局</td> <td>放送大学親局</td> <td>神奈川県域 横浜親局</td> </tr> <tr> <td>チャンネル数</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>488~560MHz</td> <td>560~566MHz</td> <td>500~506MHz</td> </tr> <tr> <td>送信アンテナ高</td> <td>566~614m</td> <td>267m</td> <td>177.7m</td> </tr> <tr> <td>送信出力</td> <td>3kW, 10kW</td> <td>5kW</td> <td>1kW</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">送信所の位置</td> <td>名称</td> <td>墨田</td> <td>三ッ池公園</td> </tr> <tr> <td>緯度</td> <td>35.42.36</td> <td>35.39.32</td> <td>35.31.29</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>139.48.39</td> <td>139.44.43</td> <td>139.39.50</td> </tr> </tbody> </table>		UHF	UHF	UHF	送信局名	関東広域圏 東京親局	放送大学親局	神奈川県域 横浜親局	チャンネル数	8	1	1	周波数	488~560MHz	560~566MHz	500~506MHz	送信アンテナ高	566~614m	267m	177.7m	送信出力	3kW, 10kW	5kW	1kW	送信所の位置	名称	墨田	三ッ池公園	緯度	35.42.36	35.39.32	35.31.29	経度	139.48.39	139.44.43	139.39.50	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>UHF</th> <th>UHF</th> <th>UHF</th> <th>UHF</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>送信局名</td> <td>関東広域圏 東京親局</td> <td>東京都域 放送親局</td> <td>放送大学親局</td> <td>神奈川県域 横浜親局</td> </tr> <tr> <td>チャンネル数</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>488~560MHz</td> <td>488~494MHz</td> <td>560~566MHz</td> <td>500~506MHz</td> </tr> <tr> <td>送信アンテナ高</td> <td>566~614m</td> <td>566m</td> <td>267m</td> <td>177.7m</td> </tr> <tr> <td>送信出力</td> <td>3kW, 10kW</td> <td>3kW</td> <td>5kW</td> <td>1kW</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">送信所の位置</td> <td>名称</td> <td>墨田</td> <td>墨田</td> <td>三ッ池公園</td> </tr> <tr> <td>緯度</td> <td>35.42.36</td> <td>35.42.36</td> <td>35.39.32</td> <td>35.31.29</td> </tr> <tr> <td>経度</td> <td>139.48.39</td> <td>139.48.39</td> <td>139.44.43</td> <td>139.39.50</td> </tr> </tbody> </table>		UHF	UHF	UHF	UHF	送信局名	関東広域圏 東京親局	東京都域 放送親局	放送大学親局	神奈川県域 横浜親局	チャンネル数	7	1	1	1	周波数	488~560MHz	488~494MHz	560~566MHz	500~506MHz	送信アンテナ高	566~614m	566m	267m	177.7m	送信出力	3kW, 10kW	3kW	5kW	1kW	送信所の位置	名称	墨田	墨田	三ッ池公園	緯度	35.42.36	35.42.36	35.39.32	35.31.29	経度	139.48.39	139.48.39	139.44.43	139.39.50
	UHF	UHF	UHF																																																																																
送信局名	関東広域圏 東京親局	放送大学親局	神奈川県域 横浜親局																																																																																
チャンネル数	8	1	1																																																																																
周波数	488~560MHz	560~566MHz	500~506MHz																																																																																
送信アンテナ高	566~614m	267m	177.7m																																																																																
送信出力	3kW, 10kW	5kW	1kW																																																																																
送信所の位置	名称	墨田	三ッ池公園																																																																																
	緯度	35.42.36	35.39.32	35.31.29																																																																															
	経度	139.48.39	139.44.43	139.39.50																																																																															
	UHF	UHF	UHF	UHF																																																																															
送信局名	関東広域圏 東京親局	東京都域 放送親局	放送大学親局	神奈川県域 横浜親局																																																																															
チャンネル数	7	1	1	1																																																																															
周波数	488~560MHz	488~494MHz	560~566MHz	500~506MHz																																																																															
送信アンテナ高	566~614m	566m	267m	177.7m																																																																															
送信出力	3kW, 10kW	3kW	5kW	1kW																																																																															
送信所の位置	名称	墨田	墨田	三ッ池公園																																																																															
	緯度	35.42.36	35.42.36	35.39.32	35.31.29																																																																														
	経度	139.48.39	139.48.39	139.44.43	139.39.50																																																																														
p. 8-3-5-3 1) 現地調査	テレビジョン電波の受信状況の概要を、表 8-3-5-4 に示す。なお、総合品質評価の基準を表 8-3-5-5 に示す。	テレビジョン電波の受信状況の概要を、表 8-3-5-4 に示す。 <u>各調査地域における広域局、県域局及び中継局別の品質評価としては、各チャンネルの品質評価の中で、最下位の品質評価を集約し、整理した。</u> なお、 <u>各チャンネルの品質評価の基準を表 8-3-5-5 に示す。</u>																																																																																	
p. 8-3-5-4 表 8-3-5-4(1) テレビジョン電波の受信状況の概要（関東広域圏東京親局）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総合品質評価</th> <th colspan="4">広域局（東京スカイツリー、東京 MX を除く）</th> </tr> <tr> <th>品川区</th> <th>町田市・川崎市</th> <th>町田市</th> <th>全域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>1 (50.0)</td> <td>1 (100.0)</td> <td>6 (60.0)</td> <td>8 (61.5)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>1 (50.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>1 (10.0)</td> <td>2 (15.4)</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>1 (10.0)</td> <td>1 (7.7)</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>2 (20.0)</td> <td>2 (15.4)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2地点 (100.0)</td> <td>1地点 (100.0)</td> <td>10地点 (100.0)</td> <td>13地点 (100.0)</td> </tr> </tbody> </table>	総合品質評価	広域局（東京スカイツリー、東京 MX を除く）				品川区	町田市・川崎市	町田市	全域	A	1 (50.0)	1 (100.0)	6 (60.0)	8 (61.5)	B	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	2 (15.4)	C	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	1 (7.7)	D	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	E	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	2 (15.4)	合計	2地点 (100.0)	1地点 (100.0)	10地点 (100.0)	13地点 (100.0)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総合品質評価</th> <th colspan="4">広域局（東京スカイツリー、東京 MX を除く）</th> </tr> <tr> <th>品川区</th> <th>町田市・川崎市</th> <th>町田市</th> <th>全域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>1 (50.0)</td> <td>1 (100.0)</td> <td>6 (60.0)</td> <td>8 (61.5)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>1 (50.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>1 (7.7)</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>2 (20.0)</td> <td>2 (15.4)</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>0 (0.0)</td> <td>0 (0.0)</td> <td>2 (20.0)</td> <td>2 (15.4)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2地点 (100.0)</td> <td>1地点 (100.0)</td> <td>10地点 (100.0)</td> <td>13地点 (100.0)</td> </tr> </tbody> </table>	総合品質評価	広域局（東京スカイツリー、東京 MX を除く）				品川区	町田市・川崎市	町田市	全域	A	1 (50.0)	1 (100.0)	6 (60.0)	8 (61.5)	B	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	C	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	2 (15.4)	D	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	E	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	2 (15.4)	合計	2地点 (100.0)	1地点 (100.0)	10地点 (100.0)	13地点 (100.0)			
総合品質評価	広域局（東京スカイツリー、東京 MX を除く）																																																																																		
	品川区	町田市・川崎市	町田市	全域																																																																															
A	1 (50.0)	1 (100.0)	6 (60.0)	8 (61.5)																																																																															
B	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	2 (15.4)																																																																															
C	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	1 (7.7)																																																																															
D	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)																																																																															
E	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	2 (15.4)																																																																															
合計	2地点 (100.0)	1地点 (100.0)	10地点 (100.0)	13地点 (100.0)																																																																															
総合品質評価	広域局（東京スカイツリー、東京 MX を除く）																																																																																		
	品川区	町田市・川崎市	町田市	全域																																																																															
A	1 (50.0)	1 (100.0)	6 (60.0)	8 (61.5)																																																																															
B	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.7)																																																																															
C	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	2 (15.4)																																																																															
D	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)																																																																															
E	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	2 (15.4)																																																																															
合計	2地点 (100.0)	1地点 (100.0)	10地点 (100.0)	13地点 (100.0)																																																																															
p. 8-3-5-6 ア. 予測	放送衛星 (BS) 及び通信衛星 (CS) は、鉄道施設と電波発信方向の関係から影響がないと考えられるため、予測対象から除外した。	放送衛星 (BS) 及び通信衛星 (CS) は、 <u>東京都内の全予測地点での地上波の最大仰角が3度程度であるのに比べ、表 8-3-5-3 (2) に示す通り、電波の仰角が極めて大きい</u> ため、 <u>予測対象から除外した。</u>																																																																																	
p. 8-3-5-7 表 8-3-5-6 予測条件	(北品川) 鉄道施設 換気施設等、変電施設 計画施設の高さ 約 10m、約 35m	(北品川) 鉄道施設 <u>変電施設</u> 計画施設の高さ <u>約 35m</u>																																																																																	
p. 8-3-5-7 表 8-3-5-7 予測結果	(遮蔽障害) 北品川 約 400m 小野路町 約 400m 上小山田町 約 100m	(遮蔽障害) 北品川 約 400m <u>(北東、南西方向)</u> 小野路町 約 400m <u>(西方向)</u> 上小山田町 約 100m <u>(東方向)</u>																																																																																	
p. 8-3-5-8 表 8-3-5-8 環境保全措置の検討の状況	(受信施設の移設又は改良、共同受信施設の設置、個別受信施設の設置、有線テレビジョン放送の活用) 電波障害の影響を代償できることから、  (指針等に基づく改善策の実施) 基づき	(受信施設の移設又は改良、共同受信施設の設置、個別受信施設の設置、有線テレビジョン放送の活用) 電波障害の影響を <u>回避又は低減</u> できることから、  (指針等に基づく改善策の実施) <u>準じて</u>																																																																																	
p. 8-3-5-8~9 表 8-3-5-9(1)(3)(4)(5) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 電波障害の影響を代償できる。	(環境保全措置の効果) 電波障害の影響を <u>回避又は低減</u> できる。																																																																																	
p. 8-3-5-9 表 8-3-5-9(6) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 基づき	(環境保全措置の効果) <u>準じて</u>																																																																																	

表 12-1(42) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-3-5-10 a) 回避又は低減に係る評価	以上により、鉄道施設（換気施設、変電施設）の存在に伴う電波障害の環境影響を事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られているものと評価する。	以上により、鉄道施設（換気施設、変電施設）の存在に伴う電波障害の環境影響の <u>回避又は低減が図られている</u> ものと評価する。
p. 8-3-6-1 5) 調査結果	埋蔵文化財包蔵地は 72 箇所分布している。	埋蔵文化財包蔵地は <u>77</u> 箇所分布している。
p. 8-3-6-3 図 8-3-6-1(1) 指定等文化財の分布状況	—	拡大図を右上部に追加
p. 8-3-6-8 表 8-3-6-2 (1) 埋蔵文化財包蔵地の状況	(地点番号 01、遺跡名称) 伊皿子貝塚	(地点番号 01、遺跡名称) 伊皿子貝塚 <u>(消滅)</u>
	(地点番号 13、遺跡名称) けぞう谷	(地点番号 13、遺跡名称) けぞう谷 <u>(一部消滅)</u>
	(地点番号 14、遺跡名称) けぞう谷	(地点番号 14、遺跡名称) けぞう谷 <u>(一部消滅)</u>
	(地点番号 21、遺跡名称) 野津田上の原	(地点番号 21、遺跡名称) 野津田上の原 <u>(消滅)</u>
p. 8-3-6-9 表 8-3-6-2 (2) 埋蔵文化財包蔵地の状況	(地点番号 44、遺跡名称) 町田 708	(地点番号 44、遺跡名称) 町田 708 <u>(消滅)</u>
	(地点番号 46、遺跡名称) 町田 71・73	(地点番号 46、遺跡名称) 町田 71・73 <u>(消滅)</u>
p. 8-3-6-10 表 8-3-6-2 (3) 埋蔵文化財包蔵地の状況	(地点番号 54、遺跡名称) 八王子 466	(地点番号 54、遺跡名称) 八王子 466 <u>(消滅)</u>
	(地点番号 55、遺跡名称) 八王子 362	(地点番号 55、遺跡名称) 八王子 362 <u>(消滅)</u>
	(地点番号 56、遺跡名称) 八王子 803	(地点番号 56、遺跡名称) 八王子 803 <u>(消滅)</u>
	(地点番号 57、遺跡名称) 八王子 363	(地点番号 57、遺跡名称) 八王子 363 <u>(消滅)</u>
	(地点番号 58、遺跡名称) 八王子 361	(地点番号 58、遺跡名称) 八王子 361 <u>(消滅)</u>
	(地点番号 59、遺跡名称) 八王子 525	(地点番号 59、遺跡名称) 八王子 525 <u>(消滅)</u>
	(地点番号 60、遺跡名称) 八王子 805	(地点番号 60、遺跡名称) 八王子 805 <u>(一部消滅)</u>
	—	(地点番号 K13、遺跡名称) <u>— (消滅)</u>
	—	(地点番号 K14、遺跡名称) <u>— (消滅)</u>
	—	(地点番号 K15、遺跡名称) <u>— (消滅)</u>
	—	(地点番号 K16、遺跡名称) <u>能ヶ谷平和台遺跡群 No.5 (消滅)</u>
—	(地点番号 K17、遺跡名称) <u>新光寺広袴遺跡群 No.13 地点(向) (消滅)</u>	
p. 8-3-6-12 図 8-3-6-2(2) 埋蔵文化財包蔵地の分布状況	—	拡大図を右上部に追加

表 12-1(43) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-3-6-13 図 8-3-6-2 (3) 埋蔵文化財包蔵地の分布状況	—	拡大図を右上部に追加 消滅した埋蔵文化財(K13~17)の追加
p. 8-3-6-16 か) 予測結果	文化財保護法等の関係法令に基づき関係機関への手続き、適切な措置を講ずることから、影響は小さいものと予測する。	文化財保護法等の関係法令に基づき必要となる関係機関への手続きを行い、 <u>試掘・確認調査を実施したうえで、必要により文化財としての価値を後世に継承するために発掘調査を実施することから、影響は小さいものと予測する。</u>
p. 8-3-6-17 表 8-3-6-5 環境保全措置の検討の状況	(適切な構造及び工法の採用、適否の理由) 文化財への影響を考慮した適切な構造、工法等を採用することで、文化財への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。  (試掘・確認調査及び発掘調査の実施、適否の理由) 埋蔵文化財の範囲や性格等の把握が十分でない場合は、自治体等関係箇所との調整の上、必要となる届出を行い、必要により試掘・確認調査を実施したうえで、記録保存のための発掘調査を実施する。	(適切な構造及び工法の採用、適否の理由) <u>必要な範囲で地上への仮設物の設置を避ける等、文化財の状況に応じた構造、工法等を採用することで、文化財への影響を回避又は低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>  (試掘・確認調査及び発掘調査の実施、適否の理由) <u>事前に埋蔵文化財の範囲及び性格等を明らかにし、自治体等関係機関との調整のうえ、必要となる届出を行い、試掘・確認調査を実施したうえで、必要により文化財としての価値を後世に継承するために発掘調査を実施する。</u>
p. 8-3-6-18 表 8-3-6-6(1) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な構造、工法等を採用することで文化財への影響を回避又は低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>必要な範囲で地上への仮設物の設置を避ける等、文化財の状況に応じた構造、工法等を採用することで、文化財への影響を回避又は低減できる。</u>
p. 8-3-6-18 表 8-3-6-6(2) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 事前に埋蔵文化財の範囲や性格等を明らかにし、自治体など関係箇所との調整や届出を行い、試掘・確認調査を実施した上で、必要により記録保存のための発掘調査を実施することで、影響を回避又は低減できる。	(環境保全措置の効果) 事前に埋蔵文化財の範囲及び性格等を明らかにし、自治体等関係機関との調整のうえ、 <u>必要となる届出を行い、試掘・確認調査を実施したうえで、必要により文化財としての価値を後世に継承するために発掘調査を実施する。これらにより、文化財が記録保存され、影響を回避又は低減できる。</u>
p. 8-3-6-19 a) 回避又は低減に係る評価	本事業では、鉄道施設（トンネル、駅、変電施設）の存在に係る文化財への影響を回避又は低減させるために表 8-3-6-5 に示した環境保全措置を確実に実行することから、文化財へ及ぼす影響は、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られていると評価する。	本事業では、 <u>表 8-3-6-5 に示した環境保全措置を確実に実行することから、鉄道施設（トンネル、駅、変電施設）の存在に係る文化財への影響の回避又は低減が図られていると評価する。</u>

表 12-1(44) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-4-1-2 表 8-4-1-1(2) 動物の調査方法	(哺乳類 捕獲調査 コウモリ類) 3 地点	(哺乳類 捕獲調査 コウモリ類) 2 地点
p. 8-4-1-4 3) 調査地域	—	なお、東京都区部は、市街化が高度に進展しており、本事業により改変の可能性がある範囲は既に人工的な改変を受けた区域であることから調査地域に選定していない。
p. 8-4-1-6 表 8-4-1-4(1) 調査期間等	(任意確認 (フィールドサイン法)、夜間撮影、夏季、調査実施日) 平成 24 年 6 月 6 日、8 月 8 日～10 日	(任意確認 (フィールドサイン法)、夜間撮影、夏季、調査実施日) 平成 24 年 7 月 6 日、8 月 8 日～10 日
p. 8-4-1-8 表 8-4-1-5 改変区域と確認位置の距離に関する定義	—	追記
p. 8-4-1-10 表 8-4-1-8 現地調査で確認された重要な種の確認位置	—	追記
p. 8-4-1-15 表 8-4-1-11 現地調査で確認された重要な種の確認位置	—	追記
p. 8-4-1-18 表 8-4-1-14 現地調査で確認された重要な種の確認位置	—	追記
p. 8-4-1-21 表 8-4-1-17 現地調査で確認された重要な種の確認位置	—	追記
p. 8-4-1-22 表 8-4-1-18 昆虫類現地調査結果の概要	(夏季 確認種数) 12 目 107 科 271 種	(夏季 確認種数) 12 目 105 科 271 種
p. 8-4-1-26 表 8-4-1-20 現地調査で確認された重要な種の確認位置	—	追記
p. 8-4-1-28 表 8-4-1-23 現地調査で確認された重要な種の確認位置	—	追記
p. 8-4-1-30 表 8-4-1-26 現地調査で確認された重要な種の確認位置	—	追記
準備書 p. 8-4-1-28 ウ. 予測地域	なお、非常口 (都市部) は、図 8-4-1-1 に示した円の中心から半径 100m の範囲を、改変の可能性がある範囲として設定した。	削除

表 12-1 (45) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-4-1-34 図 8-4-1-2 影響予測の手順</p>		
<p>準備書 p. 8-4-1-32 表 8-4-1-20 予測地域の定義</p>	<p>予測地域の定義</p>	<p>削除</p>
<p>p. 8-4-1-36 表 8-4-1-28(2) 現地調査で確認された重要な種の予測結果の概要</p>	<p>(カワセミ 変換の可能性がある範囲) (空欄)</p> <p>(アカゲラ 変換の可能性がある範囲) (空欄)</p> <p>(モズ 変換の可能性がある範囲) (空欄)</p> <p>(セグロセキレイ 変換の可能性がある範囲) (空欄)</p>	<p>(カワセミ 変換の可能性がある範囲) ○</p> <p>(アカゲラ 変換の可能性がある範囲) ○</p> <p>(モズ 変換の可能性がある範囲) ○</p> <p>(セグロセキレイ 変換の可能性がある範囲) ○</p>
<p>p. 8-4-1-40 表 8-4-1-29(3) 重要な哺乳類の予測結果</p>	<p>(ホンシュウカヤネズミ 確認状況) 夏季及び秋季調査時に合計 3 地点 3 個体が確認された。 確認された 3 地点は変換の可能性がある範囲であった。</p>	<p>(ホンシュウカヤネズミ 確認状況) 夏季及び秋季調査時に合計 3 地点 3 個体が確認された。<u>なお、いずれも生息個体ではなく、草地に作られた球巣を確認したものである。</u> 確認された 3 地点 3 個体は<u>変換の可能性がある範囲</u>であった。</p>
<p>p. 8-4-1-41~61 表 8-4-1-30(1)~(43) 重要な鳥類の予測結果</p>	<p>(別表 1 にて整理)</p>	<p>(別表 1 にて整理)</p>

表 12-1(46) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-4-1-50 表 8-4-1-30(19) 重要な鳥類の予測結果	(カワセミ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、	(カワセミ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲とその近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、
	(カワセミ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、	(カワセミ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲とその近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、
p. 8-4-1-51 表 8-4-1-30(20) 重要な鳥類の予測結果	(アカゲラ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、	(アカゲラ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲とその近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、
	(アカゲラ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、	(アカゲラ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲とその近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、
p. 8-4-1-54 表 8-4-1-30(26) 重要な鳥類の予測結果	(モズ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、	(モズ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲とその近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、
	(モズ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、	(モズ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲とその近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、
p. 8-4-1-59 表 8-4-1-30(37) 重要な鳥類の予測結果	(セグロセキレイ 確認状況) 春季、繁殖期、夏季及び秋季調査	(セグロセキレイ 確認状況) 春季、繁殖期、夏季、 <u>秋季及び冬季</u> 調査
	(セグロセキレイ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、	(セグロセキレイ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲とその近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、
	(セグロセキレイ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、	(セグロセキレイ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性</u> がある範囲とその近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、
p. 8-4-1-63~78 表 8-4-1-31~34 重要な爬虫類、両性類、昆虫類、魚類の予測結果	(別表 2 にて整理)	(別表 2 にて整理)
p. 8-4-1-63 表 8-4-1-31(2) 重要な爬虫類の予測結果	(ニホンヤモリ 確認状況) 早春、春季、夏季及び秋季調査	(ニホンヤモリ 確認状況) <u>春季、夏季及び秋季</u> 調査

表 12-1(47) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-4-1-64 表 8-4-1-31(3) 重要な爬虫類の予測結果	(ヒガシニホントカゲ 確認状況) 早春季、春季、夏季及び秋季調査	(ヒガシニホントカゲ 確認状況) <u>春季、夏季及び秋季調査</u>
p. 8-4-1-65 表 8-4-1-31(5) 重要な爬虫類の予測結果	(アオダイショウ 予測結果 工事の実施) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(アオダイショウ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性のある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、</u>
	(アオダイショウ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(アオダイショウ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性のある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、</u>
p. 8-4-1-67 表 8-4-1-32(1) 重要な両生類の予測結果	(アカハライモリ 予測結果 工事の実施) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(アカハライモリ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性のある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、</u>
	(アカハライモリ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(アカハライモリ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性のある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、</u>
p. 8-4-1-69 表 8-4-1-32(5) 重要な両生類の予測結果	(ヤマアカガエル 予測結果 工事の実施) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(ヤマアカガエル 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性のある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、</u>
	(ヤマアカガエル 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(ヤマアカガエル 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性のある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、</u>
p. 8-4-1-69 表 8-4-1-32(6) 重要な両生類の予測結果	(シュレーゲルアオガエル 予測結果 工事の実施) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(シュレーゲルアオガエル 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性のある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、</u>
	(シュレーゲルアオガエル 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(シュレーゲルアオガエル 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性のある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、</u>

表 12-1(48) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-4-1-74 表 8-4-1-33(12) 重要な昆虫類の予測結果	(ショウリョウバッタモドキ 予測結果 工事の実施) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(ショウリョウバッタモドキ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性がある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、</u>
	(ショウリョウバッタモドキ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(ショウリョウバッタモドキ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性がある範囲の近傍及び相当離れた地域において生息が確認され、</u>
p. 8-4-1-76 表 8-4-1-33(17) 重要な昆虫類の予測結果	(オオイシアブ 予測結果 工事の実施) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(オオイシアブ 予測結果 工事の実施) 本種は、 <u>改変の可能性がある範囲の近傍において生息が確認され、</u>
	(オオイシアブ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、相当離れた地域において生息が確認され、	(オオイシアブ 予測結果 鉄道施設の存在) 本種は、 <u>改変の可能性がある範囲の近傍において生息が確認され、</u>
p. 8-4-1-83 表 8-4-1-36 環境保全措置の検討の状況	(資材運搬等の適切化、適否の理由) 車両の運行ルート、配車計画を適切に行うことにより、動物全般への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。	(資材運搬等の適切化、適否の理由) <u>運行ルートを自然環境保全地域など動物の重要な生息地をできる限り回避するよう設定し、配車計画を運行ルートに応じた車両の台数や速度、運転方法などに留意して計画することにより動物全般への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>
	(工事施工ヤード等の緑化、林縁保護植栽による動物の生息環境の確保、適否の理由) 使用した工事施工ヤード等に対する動物の生息環境に配慮した緑化、林縁の保護植栽を図ることにより、重要な種の生息環境の変化に伴う動物への影響を低減できることから環境保全措置として採用する。	(工事施工ヤード等の緑化、林縁保護植栽による動物の生息環境の確保、適否の理由) 使用した工事施工ヤード等に対する動物の生息環境に配慮した緑化、林縁の保護植栽を図ることにより、 <u>林内環境への影響を軽減し、重要な種の生息環境の変化に伴う動物への影響を低減できることから環境保全措置として採用する。</u>
	(動物個体の類似環境への誘導、適否の理由) 草刈り等の手順を工夫し、影響範囲内に生息する個体を隣接する類似環境へ誘導することにより、重要な種の個体への影響を回避できることから、環境保全措置として採用する。	(動物個体の類似環境への誘導、適否の理由) <u>オギ群落の草刈りを一定方向に複数回に分けて行う等の工夫をし、影響範囲内に生息する個体を隣接する類似環境へ誘導することにより、重要な種の個体への影響を回避できることから、環境保全措置として採用する。</u>
p. 8-4-1-84 表 8-4-1-37(1) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 車両の運行ルート、配車計画を適切に行うことにより、動物全般への影響を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>運行ルートを自然環境保全地域など動物の重要な生息地をできる限り回避するよう設定し、配車計画を運行ルートに応じた車両の台数や速度、運転方法などに留意して計画することにより動物全般への影響を低減できる。</u>

表 12-1(49) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-4-1-84 表 8-4-1-37(3) 環境 保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 使用した工事施工ヤード等に対する動物の生息環境に配慮した緑化、林縁の保護植栽を図ることにより、重要な種の生息環境の変化に伴う動物への影響を低減できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) 使用した工事施工ヤード等に対する動物の生息環境に配慮した緑化、林縁の保護植栽を図ることにより、<u>林内環境への影響を軽減し、重要な種の生息環境の変化に伴う動物への影響を低減</u>できる。</p>
<p>p. 8-4-1-85 表 8-4-1-37(5) 環境 保全措置の内容</p>	<p>(環境保全措置の効果) 草刈り等の手順を工夫し、影響範囲内に生息する個体を隣接する類似環境へ誘導することにより、重要な種の個体への影響を回避できる。</p>	<p>(環境保全措置の効果) <u>オギ群落の草刈りを一定方向に複数回に分けて行う等の工夫をし、影響範囲内に生息する個体を隣接する類似環境へ誘導することにより、重要な種の個体への影響を回避</u>できる。</p>
<p>p. 8-4-1-85 7) 回避又は低減に係る評価</p>	<p>一部の種は、生息環境の一部は保全されない可能性があるとして予測されたが、動物個体の類似環境への誘導等の環境保全措置を実施することで、影響の回避又は低減に努める。 今後の本事業における詳細な計画検討にあたっては、環境影響評価の結果に基づき環境保全に配慮して行うこととし、本環境影響評価の段階において予測し得なかった著しい環境への影響が生じた場合には、必要に応じて専門家の助言等を踏まえて、別途対策を検討する。 このことから、環境への影響は事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減されていると評価する。</p>	<p>一部の種は、生息環境の一部は保全されない可能性があるとして予測されたが、<u>表 8-4-1-37 に示した環境保全措置を確実に実施</u>することで、影響の回避又は低減に努める。 今後の本事業における詳細な計画検討にあたっては、環境影響評価の結果に基づき環境保全に配慮して行うこととし、本環境影響評価の段階において予測し得なかった著しい環境への影響が生じた場合には、必要に応じて専門家の助言等を踏まえて、別途対策を検討する。 <u>このことから、動物に係る環境影響の回避又は低減が図られていると評価</u>する。</p>

表 12-1 (50) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-4-2-4 3) 調査地域	—	なお、東京都区部は、市街化が高度に進展しており、本事業により改変の可能性がある範囲は既に人工的な改変を受けた区域であることから調査地域に選定していない。
p. 8-4-2-6 6) 調査結果	—	高等植物に係る植物相、高等植物に係る植生について現地調査の結果を以下に示す。なお、確認地点における改変の可能性がある範囲からの位置関係は、表 8-4-2-5 に基づいて整理した。
p. 8-4-2-6 表 8-4-2-5 改変区域と確認位置の距離に関する定義	—	追記
p. 8-4-2-13 1) 高等植物に係る重要な種の確認状況	—	また、現地で確認された重要な種の確認地点を表 8-4-2-9 に示す。
p. 8-4-2-13~14 表 8-4-2-9 現地調査で確認された重要な種の確認位置	—	追記
p. 8-4-2-21 ウ. 予測地域	<p>予測地域は、工事の実施又は鉄道施設の存在に係る重要な種への影響が生じるおそれがあると認められる地域として、調査地域と同様とした。</p> <p>なお、非常口（都市部）は、図 8-4-2-1 に示した円の中心から半径 100m の範囲を、改変の可能性がある範囲として設定した。</p>	<p>予測地域は、工事の実施又は鉄道施設の存在に係る重要な種への影響が生じるおそれがあると認められる地域として、調査地域と同様とした。</p>
p. 8-4-2-23 図 8-4-2-3 影響予測の手順		

表 12-1 (51) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-4-2-24 表 8-4-2-12(1) 重要な種の予測結果の概要	(トモエソウ、確認種の生育環境) 草地、林縁	(トモエソウ、確認種の生育環境) <u>草地</u>
p. 8-4-2-25 表 8-4-2-12(2) 重要な種の予測結果の概要	(オオバクサフジ、確認種の生育環境) 草地、林縁	(オオバクサフジ、確認種の生育環境) <u>草地</u>
p. 8-4-2-28 表 8-4-2-13(6) 重要な種の予測結果	(オニカナワラビ、確認状況) 春季調査時に 1 地点 5 個体が確認された。	(オニカナワラビ、確認状況) 春季及び秋季調査時に 1 地点 5 個体が確認された。
	(オニカナワラビ、確認地点の生育環境) 樹林	(オニカナワラビ、確認地点の生育環境) 樹林 ( <u>植栽樹林</u> )
p. 8-4-2-29 表 8-4-2-13(7) 重要な種の予測結果	(トウゴクシダ、確認地点の生育環境) 樹林	(トウゴクシダ、確認地点の生育環境) 樹林 ( <u>スギ林、コナラ林</u> )
p. 8-4-2-29 表 8-4-2-13(8) 重要な種の予測結果	(ナライシダ、確認地点の生育環境) 樹林	(ナライシダ、確認地点の生育環境) 樹林 ( <u>シラカシ林</u> )
p. 8-4-2-30 表 8-4-2-13(12) 重要な種の予測結果	(イカリソウ、確認状況) 春季調査時に 3 地点 17 個体が確認された。	(イカリソウ、確認状況) 春季及び秋季調査時に 3 地点 17 個体が確認された。
p. 8-4-2-31 表 8-4-2-13(13) 重要な種の予測結果	(ハンゲショウ、確認状況) 夏季調査時に 1 地点 100 個体が確認された。	(ハンゲショウ、確認状況) 夏季及び秋季調査時に 1 地点 100 個体が確認された。
p. 8-4-2-31 表 8-4-2-13(15) 重要な種の予測結果	(タマノカンアオイ、確認地点の生育環境) 樹林 (クヌギ・コナラ林、スギ・サワラの多い樹林、モウソウチク林、マダケ林、土手、落葉広葉樹林)	(タマノカンアオイ、確認地点の生育環境) 樹林 ( <u>クヌギ、コナラ、イヌシデなどの落葉広葉樹林</u> 、スギ・サワラの多い樹林、モウソウチク林、マダケ林、土手)
p. 8-4-2-32 表 8-4-2-13(16) 重要な種の予測結果	(トモエソウ、確認地点の生育環境) 草地、林縁 (コナラ林、耕作地、林縁)	(トモエソウ、確認地点の生育環境) 草地 ( <u>コナラ林と耕作地の境界部の明るい草地</u> )
p. 8-4-2-32 表 8-4-2-13(17) 重要な種の予測結果	(アズマツメクサ、確認地点の生育環境) 湿性地 (低茎草地)	(アズマツメクサ、確認地点の生育環境) 湿性地 ( <u>水田や休耕田内の低茎草地</u> )
p. 8-4-2-32 表 8-4-2-13(18) 重要な種の予測結果	(チダケサシ、確認状況) 春季及び夏季調査時に合計 5 地点 100 個体以上が確認された。	(チダケサシ、確認状況) 春季、夏季及び秋季調査時に合計 5 地点 100 個体以上が確認された。
	(タコノアシ、確認地点の生育環境) 湿性地 (低茎草地)	(タコノアシ、確認地点の生育環境) 湿性地 ( <u>休耕田内の低茎草地や溜池の縁</u> )
p. 8-4-2-33 表 8-4-2-13(21) 重要な種の予測結果	(オオバクサフジ、確認状況) 春季調査時に 2 地点 11 個体が確認された。	(オオバクサフジ、確認状況) 春季及び夏季調査時に 2 地点 11 個体が確認された。
	(オオバクサフジ、確認地点の生育環境) 草地、林縁	(オオバクサフジ、確認地点の生育環境) 草地 ( <u>畑の脇や林縁の土手</u> )

表 12-1 (52) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-4-2-34 表 8-4-2-13 (24) 重 要な種の予測結果	(ヤブムグラ、確認状況) 夏季調査時に1地点で2m×2mの範囲に群生が確認された。	(ヤブムグラ、確認状況) 夏季及び秋季調査時に1地点で2m×2mの範囲に群生が確認された。
	(ヤブムグラ、確認地点の生育環境) 林縁	(ヤブムグラ、確認地点の生育環境) 林縁 <u>(スギ林の林縁部)</u>
p. 8-4-2-35 表 8-4-2-13 (27) 重 要な種の予測結果	(オグルマ、確認状況) 夏季調査時に1地点100個体以上が確認された。	(オグルマ、確認状況) 夏季及び秋季調査時に1地点 <u>100個体</u> が確認された。
p. 8-4-2-36 表 8-4-2-13 (28) 重 要な種の予測結果	(オオニガナ、確認状況) 春季調査時に1地点60個体が確認された。	(オオニガナ、確認状況) 春季、 <u>夏季</u> 及び秋季調査時に1地点60個体が確認された。
p. 8-4-2-36 表 8-4-2-13 (29) 重 要な種の予測結果	(アマドコロ、確認状況) 春季調査時に7地点100個体以上が確認された。	(アマドコロ、確認状況) 春季及び夏季調査時に7地点100個体以上が確認された。
	(アマドコロ、確認地点の生育環境) 草地	(アマドコロ、確認地点の生育環境) 草地 <u>(林道脇や畑内の低茎草地)</u>
	(アマドコロ、予測結果、工事の実施) ・本種が確認された1地点は改変の可能性がある範囲の近傍であり、6地点は相当離れた地域であった。そのため工事作業により乾燥化、光環境の変化等、生育環境の一部が変化する可能性があるが、周辺に同質の生育環境が広く分布する。	(アマドコロ、予測結果、工事の実施) ・本種が確認された1地点は改変の可能性がある範囲の近傍であり、6地点は相当離れた地域であった。そのため工事作業により乾燥化、光環境の変化等、生育環境の一部が変化する可能性があるが、 <u>周辺に草地(林道脇や畑内の低茎草地)など同質の生育環境が広く分布する。</u>
p. 8-4-2-36 表 8-4-2-13 (30) 重 要な種の予測結果	(ホトトギス、確認状況) 夏季調査時に1地点3個体で確認された。	(ホトトギス、確認状況) 夏季及び秋季調査時に1地点3個体で確認された。
p. 8-4-2-37 表 8-4-2-13 (31) 重 要な種の予測結果	(シュロソウ、確認状況) 早春季、春季及び秋季調査時に合計5地点73個体が確認された。	(シュロソウ、確認状況) 早春季、春季、 <u>夏季</u> 及び秋季調査時に合計5地点73個体が確認された。
p. 8-4-2-37 表 8-4-2-13 (32) 重 要な種の予測結果	(キツネノカミソリ、確認状況) 夏季調査に1地点1個体が確認された。	(キツネノカミソリ、確認状況) 夏季調査に1地点 <u>10</u> 個体が確認された。
p. 8-4-2-39 表 8-4-2-13 (37) 重 要な種の予測結果	(ムツオレグサ、確認状況) 春季調査時に2地点25個体が確認された。	(ムツオレグサ、確認状況) 春季及び <u>夏季</u> 調査時に2地点25個体が確認された。
p. 8-4-2-40 表 8-4-2-13 (39) 重 要な種の予測結果	(ショウブ、確認状況) 早春季及び春季調査時に合計3地点100個体以上が確認された。	(ショウブ、確認状況) 早春季、 <u>春季</u> 及び <u>夏季</u> 調査時に合計3地点100個体以上が確認された。
p. 8-4-2-41 表 8-4-2-13 (43) 重 要な種の予測結果	(シカクイ、確認状況) 夏季調査時に1地点100個体以上が確認された。	(シカクイ、確認状況) 夏季及び秋季調査時に1地点100個体以上が確認された。

表 12-1 (53) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-4-2-41 表 8-4-2-13 (44) 重 要な種の予測結果	(クロテンツキ、確認地点の生育環境) 湿性地	(クロテンツキ、確認地点の生育環境) 湿性地 (休耕田内の低茎草地)
p. 8-4-2-42 表 8-4-2-13 (45) 重 要な種の予測結果	(エビネ、確認状況) 早春季、春季及び秋季調査時に合計 7 地点 43 個体が確認された。	(エビネ、確認状況) 早春季、春季、 <u>夏季</u> 及び秋季調査時に合 計 7 地点 43 個体が確認された。
	(エビネ、確認地点の生育環境) 樹林 (コナラ林、モウソウチク林)	(エビネ、確認地点の生育環境) 樹林 (コナラ林、モウソウチク林、 <u>マダ ケ林</u> )
	(エビネ、予測結果、工事の実施) ・本種が確認された 1 地点は改変の可能 性がある範囲の近傍であり、6 地点は相当 離れた地域であった。そのため工事作業 により乾燥化、光環境の変化等、生育環 境の一部が変化する可能性があるが、周 辺に同質の生育環境が広く分布する。	(エビネ、予測結果、工事の実施) ・本種が確認された 1 地点は改変の可能 性がある範囲の近傍であり、6 地点は相 当離れた地域であった。そのため工事作 業により乾燥化、光環境の変化等、生育 環境の一部が変化する可能性があるが、 周辺に <u>樹林(コナラ林、モウソウチク林、 マダケ林)</u> など同質の生育環境が広く分 布する。
p. 8-4-2-42 表 8-4-2-13 (46) 重 要な種の予測結果	(ギンラン、予測結果、工事の実施) ・本種が確認された 1 地点は改変の可能 性がある範囲の近傍であり、3 地点は相当 離れた地域であった。そのため工事作業 により乾燥化、光環境の変化等、生育環 境の一部が変化する可能性があるが、周 辺に同質の生育環境が広く分布する。	(ギンラン、予測結果、工事の実施) ・本種が確認された 1 地点は改変の可能 性がある範囲の近傍であり、3 地点は相 当離れた地域であった。そのため工事作 業により乾燥化、光環境の変化等、生育 環境の一部が変化する可能性があるが、 周辺に <u>樹林(コナラ林、モウソウチク林)</u> など同質の生育環境が広く分布する。
p. 8-4-2-43 表 8-4-2-13 (48) 重 要な種の予測結果	(ササバギンラン、予測結果、工事の実施) ・本種が確認された 1 地点は改変の可能 性がある範囲の近傍であり、6 地点は相当 離れた地域であった。そのため工事作業 により乾燥化、光環境の変化等、生育環 境の一部が変化する可能性があるが、周 辺に同質の生育環境が広く分布する。	(ササバギンラン、予測結果、工事の実施) ・本種が確認された 1 地点は改変の可能 性がある範囲の近傍であり、6 地点は相 当離れた地域であった。そのため工事作 業により乾燥化、光環境の変化等、生育 環境の一部が変化する可能性があるが、 周辺に <u>樹林(コナラ林、マダケ林)</u> など同 質の生育環境が広く分布する。
p. 8-4-2-44 ア. 環境保全措置の検 討の状況	本事業では、計画の立案の段階におい て、植物に係る環境影響を回避又は低減す るため「緑化等による自然環境の確保」に ついて検討した。	本事業では、計画の立案の段階におい て、植物に係る環境影響を回避又は低減 するため「 <u>林縁保護植栽</u> 等による自然環 境の確保」について検討した。
p. 8-4-2-44 表 8-4-2-14 環境保 全措置の検討の状況	(環境保全措置) 緑化等による自然環境の確保	(環境保全措置) <u>林縁保護植栽</u> 等による自然環境の確保
	(緑化等による自然環境の確保、適否の理 由) 改変された区域の一部に緑化等を行い自 然環境の確保を図ることにより、重要な種 への影響を低減できることから、環境保全 措置として採用する。	(林縁保護植栽等による自然環境の確 保、適否の理由) 改変された区域の一部に <u>林縁保護植栽</u> 等を行い自然環境の確保を図ることによ り、 <u>林内環境</u> への影響を軽減し、 <u>重要な 種</u> への影響を低減できることから、環境 保全措置として採用する。
	—	<u>外来種の拡大抑制</u> を追記

表 12-1 (54) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-4-2-44 イ. 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容	植物に係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「緑化等による自然環境の確保」、「工事に伴う改変区域をできるだけ小さくする」及び「重要な種の移植」を実施する。	植物に係る環境影響を回避又は低減させるため、環境保全措置として「 <u>林縁保護植栽</u> 等による自然環境の確保」、「工事に伴う改変区域をできるだけ小さくする」、「 <u>重要な種の移植</u> 」及び「 <u>外来種の拡大抑制</u> 」を実施する。
p. 8-4-2-45 表 8-4-2-15(1) 環境保全措置の内容	(実施内容、種類・方法) 緑化等による自然環境の確保	(実施内容、種類・方法) <u>林縁保護植栽</u> 等による自然環境の確保
	(環境保全措置の効果) 改変された区域の一部に緑化等を行い自然環境の確保を図ることにより、重要な種への影響を低減できる。	(環境保全措置の効果) 改変された区域の一部に <u>林縁保護植栽</u> 等を行い自然環境の確保を図ることにより、 <u>林内環境への影響を軽減し</u> 、重要な種への影響を低減できる。
p. 8-4-2-46 表 8-4-2-15(4) 環境保全措置の内容	—	追記
p. 8-4-2-48 7) 回避又は低減に係る評価	<p>計画路線は、計画段階において、大部分をトンネル構造にする等、改変面積を極力小さくする計画とし、植物への影響の回避、低減を図っている。</p> <p>一部の種は、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測されたが、緑化等による自然環境の確保、重要な種の移植等の環境保全措置を実施することで、影響の回避、低減に努める。</p> <p>なお、重要な種の移植は、環境保全措置の効果に不確実性が生じるため、事後調査を実施する。予測し得ない影響が生じた場合は、専門家等の助言等を踏まえて、別途対策を検討する。</p> <p>このことから、環境への影響は事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減されていると評価する。</p>	<p>計画路線は、計画段階において、大部分をトンネル構造にする等、改変面積を極力小さくする計画とし、植物への影響の回避、低減を図っている。</p> <p>一部の種は、生育環境の一部は保全されない可能性があるとして予測されたが、<u>表 8-4-2-15 に示した環境保全措置を確実に実施</u>することで、影響の回避、低減に努める。</p> <p>なお、「重要な種の移植」は、環境保全措置の効果に不確実性が生じるため、事後調査を実施する。また、予測し得ない影響が生じた場合は、専門家等の助言等を踏まえて、別途対策を検討する。</p> <p>このことから、<u>植物に係る環境影響の回避又は低減が図られていると評価する。</u></p>
p. 8-4-3-1 3) 調査地域	—	<p>なお、東京都区部は、市街化が高度に進展しており、本事業により改変の可能性のある範囲は既に人工的な改変を受けた区域であることから調査地域に選定していない。</p>

表 12-1 (55) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-4-3-14 表 8-4-3-6(1) 注目種等の選定とその理由</p>	<p>(オオタカ、選定理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食物連鎖の上位に位置する肉食の鳥類で、谷津の丘陵地斜面に広がる落葉広葉樹林を中心に見られる。</li> <li>・ツグミ等の小鳥、中型・大型の鳥、ネズミ及びウサギ等を餌とし、餌動物を求めて、谷部の耕作地、草地及び水辺等の開けた場所にも飛来する。</li> <li>・谷津の生態系の構成要素である落葉広葉樹林等の樹林と耕作地及び草地といった多様な生物が生息する自然環境が広い面積で分布することを指標する種である。</li> </ul>	<p>(オオタカ、選定理由)</p> <p><u>本種は、食物連鎖の上位に位置する肉食の鳥類であり、里地・里山を代表する落葉広葉樹林（クヌギ-コナラ群集）や耕作地、草地などの環境を広域に利用することから、里地・里山の生態系において多様な生物が生息する自然環境が広く分布することを指標する種である。以上のことから、本種を多摩地区の里地・里山の生態系の上位性の注目種に選定する。</u></p>
	<p>(ホンドタヌキ、選定理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹林から草地、耕作地にかけて広く分布する。雑食性で、果実等の植物、昆虫、カエル、魚類、甲殻類等を捕食する。</li> <li>・調査地域において多くの個体（足跡及び糞等の痕跡）が確認されており、生息数は多いと考えられる。</li> </ul>	<p>(ホンドタヌキ、選定理由)</p> <p><u>本種は、里地・里山を代表する落葉広葉樹林（クヌギ-コナラ群集）や耕作地、草地などの環境を広域に利用し、果実や昆虫、カエル等を捕食している。また、現地調査においても足跡及び糞等の痕跡が数多く確認されていることから、生息個体数は多いと考えられる。以上のことから、本種を多摩地区の里地・里山の生態系の典型性の注目種に選定する。</u></p>
	<p>(ヤマアカガエル、選定理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繁殖期は谷津の水田及び水路等に広く分布し、非繁殖期は周辺の樹林等に生息する。捕食者はホンドイタチ、ホンドタヌキ、ニホンアナグマ等の哺乳類、サギ類等の鳥類、ヘビ類等である。</li> <li>・調査地域において成体、幼生、卵塊が確認されており、生息数は多いと考えられる。</li> </ul>	<p>(ヤマアカガエル、選定理由)</p> <p><u>本種は、里地・里山の谷戸を代表する水田及び水路、またその周辺の樹林に生息し、ホンドタヌキ等の哺乳類、肉食の鳥類、へび等の重要な食物資源である。また、現地調査においても成体、幼生、卵塊が確認されていることから、生息個体数は多いと考えられる。以上のことから、本種を多摩地区の里地・里山の生態系の典型性の注目種に選定する。</u></p>
	<p>(クヌギ-コナラ群集、選定理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系を構成する生物の生息基盤環境であり、広面積分布群落であるとともに、低次から樹林性の昆虫類、鳥類、哺乳類といった高次消費者を支える重要な群落である。</li> </ul>	<p>(クヌギ-コナラ群集、選定理由)</p> <p><u>本種は、里地・里山の生態系を構成する生物の生息基盤環境であり、低次から高次の消費者を支える重要な群落である。現地調査においても広面積で確認されている。以上のことから、本種を多摩地区の里地・里山の生態系の典型性の注目種に選定する。</u></p>

表 12-1 (56) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																						
p. 8-4-3-14 表 8-4-3-6(1) 注目種等の選定とその理由	(モズ、選定理由) ・食物連鎖の上位に位置する肉食（昆虫類、カエル類等）の鳥類で、市街地周辺等に見られる。 ・主に、耕作地及び果樹園周辺等で確認された。 ・市街地周辺の環境とそこに生息する生物の多様性を指標する種である。	(モズ、選定理由) <u>本種は、食物連鎖の上位に位置する肉食の鳥類であり、市街地周辺から森林域に生息し、地域に生息する生物の多様性を指標する種である。現地調査において、市街地でも比較的確認されており、市街地の耕作地及び果樹園等の周辺で確認された。以上ことから、本種を多摩地区の市街地の生態系の上位性の注目種に選定する。</u>																																																																						
	(バツタ類、選定理由) ・食物資源であるイネ科植物が比較的広面積で生育する場所で多く見られる。 ・モズ等の重要な食物資源であり、高次消費者と低次消費者を結ぶ重要な役割を果たしている種である。	(バツタ類、選定理由) <u>本種は、イネ科植物が比較的広面積で生育する場所に生息し、モズ等の肉食性動物の重要な食物資源であり高次と低次消費者を結ぶ重要な役割を果たしている種である。現地調査において、市街地でも比較的確認されており、市街地の草地、耕作地、果樹園等で確認された。以上のことから、本種を多摩地区の市街地の生態系の典型性の注目種に選定する。</u>																																																																						
p. 8-4-3-15 表 8-4-3-6(2) 注目種等の選定とその理由	(アズマモグラ、選定理由) ・クヌギ-コナラ群集及び耕作地を中心に、生活痕が多く見られる。 ・調査地域では、比較的緑が残っている場所及び耕作地で広く分布している。 ・高次消費者の食物資源となる種である。	(アズマモグラ、選定理由) <u>本種は、樹林や耕作地等に生息し、高次の消費者の食物資源となる種である。現地調査において、市街地でも比較的確認されており、市街地の比較的緑が残っている場所や耕作地で確認された。以上のことから、本種を多摩地区の市街地の生態系の典型性の注目種に選定する。</u>																																																																						
p. 8-4-3-21 b) 市街地の生態系(多摩地域)	アズマヒキガエル	ニホンアマガエル																																																																						
p. 8-4-3-26 a) オオタカのハビタット(生息環境)の状況	里地・里山の生態系におけるオオタカのハビタットへの影響は表 8-4-3-10 に示すとおりである。	里地・里山の生態系におけるオオタカのハビタットへの直接的影響の程度は表 8-4-3-10 に示すとおりである。																																																																						
p. 8-4-3-27 表 8-4-3-10 オオタカのハビタットへの直接的影響の程度(Aペア・Bペア)	<p>表 8-4-3-10 オオタカのハビタットへの影響(Aペア・Bペア)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A: ハビタット面積 (ha)</th> <th>B: 変更の可能性がある面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高集エリア</td> <td>9.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>Aペア</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>Bペア</td> </tr> <tr> <td>繁殖エリア</td> <td>129.4</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>Aペア</td> </tr> <tr> <td></td> <td>61.6</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>Bペア</td> </tr> <tr> <td>生息エリア</td> <td>406.6</td> <td>3.1</td> <td>0.8</td> <td>Aペア</td> </tr> <tr> <td></td> <td>283.4</td> <td>0.6</td> <td>0.2</td> <td>Bペア</td> </tr> </tbody> </table>		A: ハビタット面積 (ha)	B: 変更の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事	高集エリア	9.0	0.0	0.0	Aペア		9.0	0.0	0.0	Bペア	繁殖エリア	129.4	0.0	0.0	Aペア		61.6	0.0	0.0	Bペア	生息エリア	406.6	3.1	0.8	Aペア		283.4	0.6	0.2	Bペア	<p>表 8-4-3-10 オオタカのハビタットへの直接的影響の程度(Aペア・Bペア)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A: 子連地帯及びその周辺のハビタット面積 (ha)</th> <th>B: 変更の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高集エリア</td> <td>9.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>Aペア</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>Bペア</td> </tr> <tr> <td>繁殖エリア</td> <td>129.4</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>Aペア</td> </tr> <tr> <td></td> <td>61.6</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>Bペア</td> </tr> <tr> <td>生息エリア</td> <td>406.6</td> <td>3.1</td> <td>0.8</td> <td>Aペア</td> </tr> <tr> <td></td> <td>283.4</td> <td>0.6</td> <td>0.2</td> <td>Bペア</td> </tr> </tbody> </table>		A: 子連地帯及びその周辺のハビタット面積 (ha)	B: 変更の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事	高集エリア	9.0	0.0	0.0	Aペア		9.0	0.0	0.0	Bペア	繁殖エリア	129.4	0.0	0.0	Aペア		61.6	0.0	0.0	Bペア	生息エリア	406.6	3.1	0.8	Aペア		283.4	0.6	0.2	Bペア
	A: ハビタット面積 (ha)	B: 変更の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事																																																																				
高集エリア	9.0	0.0	0.0	Aペア																																																																				
	9.0	0.0	0.0	Bペア																																																																				
繁殖エリア	129.4	0.0	0.0	Aペア																																																																				
	61.6	0.0	0.0	Bペア																																																																				
生息エリア	406.6	3.1	0.8	Aペア																																																																				
	283.4	0.6	0.2	Bペア																																																																				
	A: 子連地帯及びその周辺のハビタット面積 (ha)	B: 変更の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事																																																																				
高集エリア	9.0	0.0	0.0	Aペア																																																																				
	9.0	0.0	0.0	Bペア																																																																				
繁殖エリア	129.4	0.0	0.0	Aペア																																																																				
	61.6	0.0	0.0	Bペア																																																																				
生息エリア	406.6	3.1	0.8	Aペア																																																																				
	283.4	0.6	0.2	Bペア																																																																				
p. 8-4-3-28 b) モズのハビタット(生息環境)の状況	モズのハビタットへの影響は表 8-4-3-13 に示すとおりである。	モズのハビタットへの直接的影響の程度は表 8-4-3-13 に示すとおりである。																																																																						
p. 8-4-3-28 表 8-4-3-13 モズのハビタットへの直接的影響の程度	<p>表 8-4-3-13 モズのハビタットへの影響(調査区域周辺)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A: ハビタット面積 (ha)</th> <th>B: 変更の可能性がある面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖可能性エリア</td> <td>17.2</td> <td>0.5</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生息可能性エリア</td> <td>42.8</td> <td>0.6</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A: ハビタット面積 (ha)	B: 変更の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事	繁殖可能性エリア	17.2	0.5	2.9		生息可能性エリア	42.8	0.6	1.4		<p>表 8-4-3-13 モズのハビタットへの直接的影響の程度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A: 子連地帯及びその周辺のハビタット面積 (ha)</th> <th>B: 変更の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖可能性エリア</td> <td>17.2</td> <td>0.5</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生息可能性エリア</td> <td>42.8</td> <td>0.6</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A: 子連地帯及びその周辺のハビタット面積 (ha)	B: 変更の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事	繁殖可能性エリア	17.2	0.5	2.9		生息可能性エリア	42.8	0.6	1.4																																									
	A: ハビタット面積 (ha)	B: 変更の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事																																																																				
繁殖可能性エリア	17.2	0.5	2.9																																																																					
生息可能性エリア	42.8	0.6	1.4																																																																					
	A: 子連地帯及びその周辺のハビタット面積 (ha)	B: 変更の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事																																																																				
繁殖可能性エリア	17.2	0.5	2.9																																																																					
生息可能性エリア	42.8	0.6	1.4																																																																					

表 12-1 (57) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																														
<p>p. 8-4-3-29～45            図 8-4-3-9 モズの推定ハビタット図</p> <p>図 8-4-3-10 ホンドタヌキの推定ハビタット図</p> <p>図 8-4-3-11 ヤマアカガエルの推定ハビタット図</p> <p>図 8-4-3-12 バッタ類の推定ハビタット図</p> <p>図 8-4-3-13 アズマモグラの推定ハビタット図</p> <p>図 8-4-3-14 クヌギコナラ群集の推定ハビタット図</p>	<p>調査地域</p>	<p>予測地域</p>																														
<p>p. 8-4-3-31            c) ホンドタヌキのハビタット（生息環境）の状況</p>	<p>ホンドタヌキのハビタットへの影響は表 8-4-3-16 に示すとおりである。</p>	<p>ホンドタヌキのハビタットへの<u>直接的影響の程度</u>は表 8-4-3-16 に示すとおりである。</p>																														
<p>p. 8-4-3-31            表 8-4-3-16 ホンドタヌキのハビタットへの直接的影響の程度</p>	<table border="1" data-bbox="475 1182 903 1254"> <caption>表 8-4-3-16 ホンドタヌキのハビタットへの影響（調査区域周辺）</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>A：ハビタット面積 (ha)</th> <th>B：改変の可能性がある面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖可能性エリア</td> <td>220.3</td> <td>1.6</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生息可能性エリア</td> <td>363.8</td> <td>4.1</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A：ハビタット面積 (ha)	B：改変の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事	繁殖可能性エリア	220.3	1.6	0.7		生息可能性エリア	363.8	4.1	1.1		<table border="1" data-bbox="954 1182 1391 1254"> <caption>表 8-4-3-16 ホンドタヌキのハビタットへの直接的影響の程度</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>A：予測地域及びその周辺のハビタット面積 (ha)</th> <th>B：改変の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖可能性エリア</td> <td>220.3</td> <td>1.6</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生息可能性エリア</td> <td>363.8</td> <td>4.1</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A：予測地域及びその周辺のハビタット面積 (ha)	B：改変の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事	繁殖可能性エリア	220.3	1.6	0.7		生息可能性エリア	363.8	4.1	1.1	
	A：ハビタット面積 (ha)	B：改変の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事																												
繁殖可能性エリア	220.3	1.6	0.7																													
生息可能性エリア	363.8	4.1	1.1																													
	A：予測地域及びその周辺のハビタット面積 (ha)	B：改変の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事																												
繁殖可能性エリア	220.3	1.6	0.7																													
生息可能性エリア	363.8	4.1	1.1																													
<p>p. 8-4-3-34            d) ヤマアカガエルのハビタット（生息環境）の状況</p>	<p>ヤマアカガエルのハビタットへの影響は表 8-4-3-19 に示すとおりである。</p>	<p>ヤマアカガエルのハビタットへの<u>直接的影響の程度</u>は表 8-4-3-19 に示すとおりである。</p>																														
<p>p. 8-4-3-34            表 8-4-3-19 ヤマアカガエルのハビタットへの直接的影響の程度</p>	<table border="1" data-bbox="475 1541 903 1612"> <caption>表 8-4-3-19 ヤマアカガエルのハビタットへの影響（調査区域周辺）</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>A：ハビタット面積 (ha)</th> <th>B：改変の可能性がある面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖可能性エリア</td> <td>2.2</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生息可能性エリア</td> <td>70.2</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A：ハビタット面積 (ha)	B：改変の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事	繁殖可能性エリア	2.2	0.0	0.0		生息可能性エリア	70.2	0.3	0.4		<table border="1" data-bbox="954 1541 1391 1612"> <caption>表 8-4-3-19 ヤマアカガエルのハビタットへの直接的影響の程度</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>A：予測地域及びその周辺のハビタット面積 (ha)</th> <th>B：改変の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖可能性エリア</td> <td>2.2</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生息可能性エリア</td> <td>70.2</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A：予測地域及びその周辺のハビタット面積 (ha)	B：改変の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事	繁殖可能性エリア	2.2	0.0	0.0		生息可能性エリア	70.2	0.3	0.4	
	A：ハビタット面積 (ha)	B：改変の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事																												
繁殖可能性エリア	2.2	0.0	0.0																													
生息可能性エリア	70.2	0.3	0.4																													
	A：予測地域及びその周辺のハビタット面積 (ha)	B：改変の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事																												
繁殖可能性エリア	2.2	0.0	0.0																													
生息可能性エリア	70.2	0.3	0.4																													
<p>p. 8-4-3-37            e) バッタ類（ヨウリヨウバツモトギ、村ガササリ）のハビタット（生息環境）の状況</p>	<p>バッタ類のハビタットへの影響は表 8-4-3-22 に示すとおりである。</p>	<p>バッタ類のハビタットへの<u>直接的影響の程度</u>は表 8-4-3-22 に示すとおりである。</p>																														

表 12-1 (58) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																														
p. 8-4-3-37 表 8-4-3-22 バッタ類のハビタットへの直接的影響の程度	<p>表 8-4-3-22 バッタ類のハビタットへの影響 (調査区域周辺)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A:ハビタット面積 (ha)</th> <th>B:改善の可能性がある面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖可能性エリア</td> <td>33.1</td> <td>0.4</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生息可能性エリア</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A:ハビタット面積 (ha)	B:改善の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事	繁殖可能性エリア	33.1	0.4	1.2		生息可能性エリア					<p>表 8-4-3-22 バッタ類のハビタットへの直接的影響の程度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A:調査区域周辺に存在するハビタットの面積 (ha)</th> <th>B:改善の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖可能性エリア</td> <td>33.1</td> <td>0.4</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生息可能性エリア</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A:調査区域周辺に存在するハビタットの面積 (ha)	B:改善の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事	繁殖可能性エリア	33.1	0.4	1.2		生息可能性エリア				
	A:ハビタット面積 (ha)	B:改善の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事																												
繁殖可能性エリア	33.1	0.4	1.2																													
生息可能性エリア																																
	A:調査区域周辺に存在するハビタットの面積 (ha)	B:改善の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事																												
繁殖可能性エリア	33.1	0.4	1.2																													
生息可能性エリア																																
p. 8-4-3-40 f) アズマモグラのハビタット (生息環境) の状況	アズマモグラのハビタットへの影響は表 8-4-3-25 に示すとおりである。	アズマモグラのハビタットへの直接的影響の程度は表 8-4-3-25 に示すとおりである。																														
p. 8-4-3-40 表 8-4-3-25 アズマモグラのハビタットへの直接的影響の程度	<p>表 8-4-3-25 アズマモグラのハビタットへの影響 (調査区域周辺)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A:ハビタット面積 (ha)</th> <th>B:改善の可能性がある面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖可能性エリア</td> <td>26.6</td> <td>0.2</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生息可能性エリア</td> <td>69.5</td> <td>0.6</td> <td>0.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A:ハビタット面積 (ha)	B:改善の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事	繁殖可能性エリア	26.6	0.2	0.8		生息可能性エリア	69.5	0.6	0.9		<p>表 8-4-3-25 アズマモグラのハビタットへの直接的影響の程度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A:調査区域周辺に存在するハビタットの面積 (ha)</th> <th>B:改善の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖可能性エリア</td> <td>26.6</td> <td>0.2</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生息可能性エリア</td> <td>69.5</td> <td>0.6</td> <td>0.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A:調査区域周辺に存在するハビタットの面積 (ha)	B:改善の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事	繁殖可能性エリア	26.6	0.2	0.8		生息可能性エリア	69.5	0.6	0.9	
	A:ハビタット面積 (ha)	B:改善の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事																												
繁殖可能性エリア	26.6	0.2	0.8																													
生息可能性エリア	69.5	0.6	0.9																													
	A:調査区域周辺に存在するハビタットの面積 (ha)	B:改善の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事																												
繁殖可能性エリア	26.6	0.2	0.8																													
生息可能性エリア	69.5	0.6	0.9																													
p. 8-4-3-43 g) クヌギ-コナラ群集のハビタット (生育環境) の状況	クヌギ-コナラ群集のハビタットへの影響は表 8-4-3-28 に示すとおりである。	クヌギ-コナラ群集のハビタットへの直接的影響の程度は表 8-4-3-28 に示すとおりである。																														
p. 8-4-3-43 表 8-4-3-28 クヌギ-コナラ群集のハビタットへの直接的影響の程度	<p>表 8-4-3-28 クヌギ-コナラ群集のハビタットへの影響 (調査区域内)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A:ハビタット面積 (ha)</th> <th>B:改善の可能性がある面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生育エリア</td> <td>60.0</td> <td>1.6</td> <td>2.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A:ハビタット面積 (ha)	B:改善の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事	生育エリア	60.0	1.6	2.7		<p>表 8-4-3-28 クヌギ-コナラ群集のハビタットへの直接的影響の程度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A:調査区域に存在するハビタットの面積 (ha)</th> <th>B:改善の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)</th> <th>B/A (%)</th> <th>記事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生育エリア</td> <td>60.0</td> <td>1.6</td> <td>2.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		A:調査区域に存在するハビタットの面積 (ha)	B:改善の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事	生育エリア	60.0	1.6	2.7											
	A:ハビタット面積 (ha)	B:改善の可能性がある面積 (ha)	B/A (%)	記事																												
生育エリア	60.0	1.6	2.7																													
	A:調査区域に存在するハビタットの面積 (ha)	B:改善の可能性のある範囲内のハビタット面積 (ha)	B/A (%)	記事																												
生育エリア	60.0	1.6	2.7																													
p. 8-4-3-49 表 8-4-3-29(4) 注目種等の予測結果	(モズ、工事の実施、生息基盤の縮小・消失、予測結果) 0.6ha (約 1.4%)	(モズ、工事の実施、生息基盤の縮小・消失、予測結果) 0.4ha (約 0.9%)																														
p. 8-4-3-52 表 8-4-3-30 里地・里山の生態系への影響	(該当する主な生息・生育基盤) 落葉広葉樹林、耕作地、竹林、草地、果樹園・桑畑、植林地、水田、市街地	(該当する主な生息・生育基盤) 落葉広葉樹林、耕作地、竹林、草地、果樹園・桑畑・茶畑、植林地、水田、市街地																														
p. 8-4-3-54 表 8-4-3-32 環境保全措置の検討の状況	(資材運搬等の適切化、適否の理由) 車両の運行ルート、配車計画を適切に行うことにより、動物全般への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。	(資材運搬等の適切化、適否の理由) 運行ルートを自然環境保全地域など動物の重要な生息地をできる限り回避するよう設定し、配車計画を運行ルートに応じた車両の台数や速度、運転方法などに留意して計画することにより、動物全般への影響を低減できることから、環境保全措置として採用する。																														
	(工事施工ヤード等の緑化、林縁保護植栽による動物の生息環境の確保、適否の理由) 使用した工事施工ヤード等に対する動物の生息環境に配慮した緑化、林縁の保護植栽を図ることにより、重要な種の生息環境の変化に伴う動物への影響を低減できることから環境保全措置として採用する。	(工事施工ヤード等の緑化、林縁保護植栽による動物の生息環境の確保、適否の理由) 使用した工事施工ヤード等に対する動物の生息環境に配慮した緑化、林縁の保護植栽を図ることにより、林内環境への影響を軽減し、重要な種の生息環境の変化に伴う動物への影響を低減できることから環境保全措置として採用する。																														

表 12-1(59) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-4-3-55 表 8-4-3-33(3) 環境 保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 車両の運行ルート、配車計画を適切に行うことにより、動物全般への影響を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>運行ルートを自然環境保全地域など動物の重要な生息地をできる限り回避するよう設定し、配車計画を運行ルートに応じた車両の台数や速度、運転方法などに留意して計画することにより、動物全般への影響を低減できる。</u>
p. 8-4-3-55 表 8-4-3-33(4) 環境 保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 使用した工事施工ヤード等に対する動物の生息環境に配慮した緑化、林縁の保護植栽を図ることにより、重要な種の生息環境の変化に伴う動物への影響を低減できる。	(環境保全措置の効果) 使用した工事施工ヤード等に対する動物の生息環境に配慮した緑化、林縁の保護植栽を図ることにより、 <u>林内環境への影響を軽減し、重要な種の生息環境の変化に伴う動物への影響を低減できる。</u>
p. 8-4-3-56 7) 回避又は低減に係る評価	計画路線は、計画段階において、大部分をトンネル構造にする等、改変面積を極力小さくする計画とし、生態系への影響の回避、低減を図っている。また、予測結果から、注目種等の生息・生育環境は保全されることから、生態系への影響は小さいと考えられる。 今後の本事業における詳細な計画検討にあたっては、環境影響評価の結果に基づき環境保全に配慮して行うこととし、本環境影響評価の段階において予測し得なかった著しい環境への影響が生じた場合には、必要に応じて専門家の助言等を踏まえて、別途対策を検討する。 このことから、環境への影響は事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減されていると評価する。	計画路線は、計画段階において、大部分をトンネル構造にする等、改変面積を極力小さくする計画とし、生態系への影響の回避、低減を図っている。また、予測結果から、注目種等の生息・生育環境は保全されることから、生態系への影響は小さいと考えられる。 <u>さらに、表 8-4-3-33 に示した環境保全措置を確実に実施することで、影響の低減に努める。</u> 今後の本事業における詳細な計画検討にあたっては、環境影響評価の結果に基づき環境保全に配慮して行うこととし、本環境影響評価の段階において予測し得なかった著しい環境への影響が生じた場合には、必要に応じて専門家の助言等を踏まえて、別途対策を検討する。 <u>このことから、生態系に係る環境影響の回避又は低減が図られていると評価する。</u>
p. 8-5-1-6~7 b) 主要な眺望景観の変化		
p. 8-5-1-9 a) 回避又は低減に係る評価	本事業では、鉄道施設（換気施設、変電施設）の存在による景観の影響を低減させるため、表 8-5-1-8 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。	本事業では、鉄道施設（換気施設、変電施設）の存在に係る景観への影響について、 <u>「構造物の形状の配慮」の環境保全措置を確実に実施することから、景観に係る環境影響の低減が図られていると評価する。</u>

表 12-1 (60) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-5-2-12 a) 回避又は低減に係る評価	鉄道施設の存在に係る環境保全措置は、「 <u>鉄道施設の設置位置、構造への配慮</u> 」及び「 <u>鉄道施設の形状、色合い等の工夫による周辺景観への調和の配慮</u> 」を行い、影響範囲を抑え、人と自然との触れ合いの活動の場への影響を可能なかぎり回避・低減できる。以上より、本事業による影響について事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減が図られていると評価する。	本事業では、 <u>鉄道施設（換気施設、変電施設）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場への影響について、「鉄道施設の設置位置、構造への配慮」、「鉄道施設の形状、色合い等の工夫による周辺景観への調和の配慮」の環境保全措置を確実に実施することから、人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響の低減が図られていると評価する。</u>
p. 8-6-1-1 e) 予測結果	また、当該副産物の処理、処分は、関係法令、要綱及び指針等に基づき発生を抑制し再使用又は再利用するとともに、その処理にあたっては適正に処理を図る。	また、当該副産物の処理、処分は、 <u>建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成 12 年法律第 104 号、改正 平成 23 年法律第 105 号）等の関係法令、要綱及び指針等に基づき発生を抑制し再使用又は再利用するとともに、その処理にあたっては適正処理を図る。</u>
p. 8-6-1-1 表 8-6-1-1 予測結果	(主な副産物の種類、建設廃棄物) －  (コンクリート塊、発生量) 42,000m <sup>3</sup>  (アスファルト・コンクリート塊、発生量) 12,000m <sup>3</sup>  (建設発生木材、発生量) －	(主な副産物の種類、建設廃棄物) 「建設発生木材」を追記  (コンクリート塊、発生量) 40,000m <sup>3</sup>  (アスファルト・コンクリート塊、発生量) 10,000m <sup>3</sup>  (建設発生木材、発生量) 1,000 t
p. 8-6-1-2 表 8-6-1-2 環境保全措置の検討の状況	(建設汚泥の脱水処理、適否の理由) 脱水処理により減量化を図ることで、建設工事に伴う副産物の発生量を低減できるため、環境保全措置として採用する。	(建設汚泥の脱水処理、適否の理由) <u>真空脱水（ベルトフィルタ）、遠心脱水（スクリーデカンタ）、加圧脱水（フィルタープレス）、並びに加圧絞り脱水（ロールプレス、ベルトプレス）等のプラント内の機械を用いて脱水する機械式脱水処理、天日乾燥、底面脱水、並びにトレンチ工法などの強制乾燥や自重圧密により含水比低下を促す自然式脱水処理等、含水比に応じた脱水処理により減量化を図ることで、取り扱う副産物の量を低減できるため、環境保全措置として採用する。</u>
p. 8-6-1-3 表 8-6-1-3(2) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 脱水処理により減量化を図ることで、建設工事に伴う副産物の発生量を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>真空脱水（ベルトフィルタ）、遠心脱水（スクリーデカンタ）、加圧脱水（フィルタープレス）、並びに加圧絞り脱水（ロールプレス、ベルトプレス）等のプラント内の機械を用いて脱水する機械式脱水処理、天日乾燥、底面脱水、並びにトレンチ工法などの強制乾燥や自重圧密により含水比低下を促す自然式脱水処理等、含水比に応じた脱水処理により減量化を図ることで、取り扱う副産物の量を低減できる。</u>

表 12-1(61) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-6-1-4 b) 評価結果</p>	<p>切土工等又は既存の工作物の除去に係る建設工事に伴う副産物の発生量は、表 8-6-1-1 に示すとおりであり、事業の実施にあたっては、事業者により実行可能な範囲内で、再利用及び再資源化を図る。なお、再利用及び再資源化できない場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関係法令を遵守し適正に処理、処分する。基準不適合土壌が発見された場合には、土壌汚染対策法ほか、関係法令等を遵守し適正に処理、処分する（「8-3-4 土壌汚染」参照）。なお、副産物の減量化、再資源化にあたっては、「東京都建設リサイクル推進計画」（平成 20 年、東京都）を目標として実施する。本事業における減量化、再資源化等の目標を表 8-6-1-4 に示す。 したがって、事業者により実行可能な範囲内で環境影響を低減できるものと評価する</p>	<p>本事業では、切土工等又は既存の工作物の除去に係る建設工事に伴う副産物が発生するものの、「建設発生土の再利用」、「建設汚泥の脱水処理」及び「副産物の分別、再資源化」などの環境保全措置を確実に実施する。なお、再利用及び再資源化できない場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関係法令を遵守し適正に処理、処分するとともに、基準不適合土壌が発見された場合には、土壌汚染対策法ほか、関係法令等を遵守し適正に処理、処分する（「8-3-3 土壌汚染」参照）。 また、副産物の減量化、再資源化にあたっては、表 8-6-1-4 に示す「東京都建設リサイクル推進計画」（平成 20 年、東京都）を目標として実施する。 したがって、<u>廃棄物に係る環境影響の低減が図られていると評価する。</u></p>
<p>p. 8-6-1-4 表 8-6-1-4 本事業における減量化、再資源化等の目標</p>	<p>(主な副産物の種類、建設廃棄物) －</p> <p>(建設発生木材、減量化、再資源化等の目標) －</p> <p>(注 1) －</p>	<p>(主な副産物の種類、建設廃棄物) 「建設発生木材」を追記</p> <p>(建設発生木材、減量化、再資源化等の目標) <u>99%以上（再資源化・縮減率）</u></p> <p>(注 1) <u>「・再資源化・縮減率（建設発生木材）＝（再使用量＋再生利用量＋熱回収量＋焼却による減量化量）／発生量」</u>を追記</p>
<p>p. 8-6-1-5 e) 予測結果</p>	<p>トンネルの工事に係る建設工事に伴う副産物の発生量の予測結果を表 8-6-1-5 に示す。また、当該副産物の処理、処分は、関係法令、要綱及び指針等に基づき発生を抑制し再使用又は再利用するとともに、その処理にあたっては適正処理を図る。</p>	<p>トンネルの工事に係る建設工事に伴う副産物の発生量の予測結果を表 8-6-1-5 に示す。また、当該副産物の処理、処分は、<u>建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成 12 年法律第 104 号、改正平成 23 年法律第 105 号）等の関係法令、要綱及び指針等に基づき発生を抑制し再使用又は再利用するとともに、その処理にあたっては適正処理を図る。</u></p>

表 12-1(62) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-6-1-5 表 8-6-1-5 予測結果	(主な副産物の種類、建設廃棄物) —	(主な副産物の種類、建設廃棄物) 「コンクリート塊」を追記
	(主な副産物の種類、建設廃棄物) —	(主な副産物の種類、建設廃棄物) 「アスファルト・コンクリート塊」を追記
	(主な副産物の種類、建設廃棄物) —	(主な副産物の種類、建設廃棄物) 「建設発生木材」を追記
	(コンクリート塊、発生量) —	(コンクリート塊、発生量) 2,000m <sup>3</sup>
	(アスファルト・コンクリート塊、発生量) —	(アスファルト・コンクリート塊、発生量) 2,000m <sup>3</sup>
	(建設発生木材、発生量) —	(建設発生木材、発生量) 2,000t
p. 8-6-1-6 表 8-6-1-6 環境保全 措置の検討の状況	(建設汚泥の脱水処理、適否の理由) 脱水処理により減量化を図ることで、建設 工事に伴う副産物の発生量を低減できる ため、環境保全措置として採用する。	(建設汚泥の脱水処理、適否の理由) <u>真空脱水(ベルトフィルタ)、遠心脱水(ス クリューデカンタ)、加圧脱水(フィルタ ープレス)、並びに加圧絞り脱水(ロール プレス、ベルトプレス)等のプラント内の 機械を用いて脱水する機械式脱水処理、天 日乾燥、底面脱水、並びにトレンチ工法な どの強制乾燥や自重圧密により含水比低 下を促す自然式脱水処理等、含水比に応じ た脱水処理により減量化を図ることで、取 り扱う副産物の量を低減できるため、環境 保全措置として採用する。</u>
p. 8-6-1-6 表 8-6-1-7(2) 環境 保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 脱水処理により減量化を図ることで、建 設工事に伴う副産物の発生量を低減でき る。	(環境保全措置の効果) <u>真空脱水(ベルトフィルタ)、遠心脱水(ス クリューデカンタ)、加圧脱水(フィルタ ープレス)、並びに加圧絞り脱水(ロール プレス、ベルトプレス)等のプラント内の 機械を用いて脱水する機械式脱水処理、天 日乾燥、底面脱水、並びにトレンチ工法な どの強制乾燥や自重圧密により含水比低 下を促す自然式脱水処理等、含水比に応じ た脱水処理により減量化を図ることで、取 り扱う副産物の量を低減できる。</u>

表 12-1 (63) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 8-6-1-7 b) 評価結果</p>	<p>トンネルの工事に係る建設工事に伴う副産物の発生量は、表 8-6-1-5 に示すとおりであり、事業の実施にあたっては、事業者により実行可能な範囲内で、再利用及び再資源化を図る。なお、再利用及び再資源化できない場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関係法令を遵守し適正に処理、処分する。基準不適合土壌が発見された場合には、土壌汚染対策法ほか、関係法令等を遵守し適正に処理、処分する（「8-3-4 土壌汚染」参照）。</p> <p>なお、副産物の減量化、再資源化にあたっては、「東京都建設リサイクル推進計画」（平成 20 年、東京都）を目標として実施する。本事業における減量化、再資源化等の目標を表 8-6-1-4 に示す。</p> <p>したがって、事業者により実行可能な範囲内で環境影響を低減できるものと評価する。</p>	<p>本事業では、トンネルの工事に係る建設工事に伴う副産物が発生するものの、「<u>建設発生土の再利用</u>」及び「<u>建設汚泥の脱水処理</u>」などの環境保全措置を確実に実施する。なお、再利用及び再資源化できない場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関係法令を遵守し適正に処理、処分するとともに、基準不適合土壌が発見された場合には、土壌汚染対策法ほか、関係法令等を遵守し適正に処理、処分する（「8-3-3 土壌汚染」参照）。</p> <p>また、副産物の減量化、再資源化にあたっては、表 8-6-1-4 に示す「東京都建設リサイクル推進計画」を目標として実施する。</p> <p>したがって、<u>廃棄物に係る環境影響の低減が図られている</u>と評価する。</p>
<p>p. 8-6-1-8 か) 予測結果</p>	<p>鉄道施設（駅）の供用に伴う廃棄物の発生量の予測結果を表 8-6-1-8 に示す。また、当該廃棄物の処理、処分は、関係法令、要綱及び指針等に基づき発生を抑制し再使用又は再利用するとともに、その処理にあたっては適正に処理を図る。</p>	<p>鉄道施設（駅）の供用に伴う廃棄物の発生量の予測結果を表 8-6-1-8 に示す。また、当該廃棄物の処理、処分は、<u>廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号、改正 平成 24 年法律第 53 号）等の関係法令、要綱及び指針等に基づき発生を抑制し再使用又は再利用するとともに、その処理に当たっては適正処理を図る。</u></p>
<p>p. 8-6-1-9 表 8-6-1-9 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>（廃棄物の処理、処分の円滑化、適否の理由） 廃棄物保管場所の設置を適切に行い、廃棄物の処理、処分の円滑化を図ることで、分別、再資源化及び適正処理を徹底することができ、鉄道施設（駅）の供用による廃棄物の発生量を低減できるため、環境保全措置として採用する。</p>	<p>（廃棄物の処理、処分の円滑化、適否の理由） 廃棄物保管場所について、<u>利用者の利便性や収集作業の効率性を考慮した配置とするとともに、仕切りの設置、色彩または形状の工夫等で区別しやすいようにすることにより、</u>廃棄物の処理、処分の円滑化を図ることで、分別、再資源化及び適正処理を徹底することができ、<u>取り扱う廃棄物の量を低減できるため、</u>環境保全措置として採用する。</p>
<p>p. 8-6-1-9 表 8-6-1-10(2) 環境保全措置の内容</p>	<p>（環境保全措置の効果） 廃棄物保管場所の適切な配置による廃棄物の処理、処分の円滑化を図ることで、分別、再資源化及び適正処理を徹底することができる。</p>	<p>（環境保全措置の効果） 廃棄物保管場所について、<u>利用者の利便性や収集作業の効率性を考慮した配置とするとともに、仕切りの設置、色彩または形状の工夫等で区別しやすいようにすることにより、</u>廃棄物の処理、処分の円滑化を図ることで、分別、再資源化及び適正処理を徹底することができ、<u>取り扱う廃棄物の量を低減できる。</u></p>

表 12-1 (64) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																																																																																						
<p>p. 8-6-1-10 イ) 評価結果</p>	<p>鉄道施設（駅）の供用に伴う廃棄物の発生量は、表 8-6-1-8 に示すとおりであり、事業の実施にあたっては、事業者により実行可能な範囲内で、再利用及び再資源化を図る。なお、再利用及び再資源化できない場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関係法令を遵守し適正に処理、処分する。</p> <p>したがって事業者により実行可能な範囲内で環境影響を低減できるものと評価する。</p>	<p>本事業では、鉄道施設（駅）の供用に伴う廃棄物が発生するものの、「<u>廃棄物の分別、再資源化</u>」及び「<u>廃棄物の処理、処分の円滑化</u>」などの環境保全措置を確実に実施する。なお、再利用及び再資源化できない場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関係法令を遵守し適正に処理、処分する。</p> <p><u>また、廃棄物の減量化、再資源化にあたっては、表 8-6-1-4 に示す「東京都建設リサイクル推進計画」を目標として実施する。</u></p> <p><u>したがって廃棄物に係る環境影響の低減が図られていると評価する。</u></p>																																																																																																																																																																																						
<p>p. 8-6-2-2 表 8-6-2-1(1) 建設機械の稼働に伴う温室効果ガス (CO2) 排出量：燃料消費</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">建設機械等</th> <th colspan="2">延べ</th> <th>CO<sub>2</sub></th> <th>CO<sub>2</sub></th> </tr> <tr> <th>機械名</th> <th>燃料</th> <th>燃料消費量 (L)</th> <th>排出係数 (kgCO<sub>2</sub>/L)</th> <th>排出係数 (kgCO<sub>2</sub>/L)</th> <th>排出量 (kgCO<sub>2</sub>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>軽油</td> <td>400,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>1,032,000</td> </tr> <tr> <td>掘削及び積込機</td> <td>軽油</td> <td>7,200,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>18,576,000</td> </tr> <tr> <td>運搬機械</td> <td>軽油</td> <td>2,800,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>7,224,000</td> </tr> <tr> <td>クレーンその他の荷役機械</td> <td>軽油</td> <td>7,300,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>18,834,000</td> </tr> <tr> <td>基礎工事用機械</td> <td>軽油</td> <td>73,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>188,340</td> </tr> <tr> <td>せん孔機械及びトンネル工事用機械</td> <td>軽油</td> <td>310,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>799,800</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ</td> <td>軽油</td> <td>6,400</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>16,512</td> </tr> <tr> <td>締固め機械</td> <td>軽油</td> <td>68,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>175,440</td> </tr> <tr> <td>コンクリート機械</td> <td>軽油</td> <td>410,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>1,057,800</td> </tr> <tr> <td>舗装機械</td> <td>軽油</td> <td>55,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>141,900</td> </tr> <tr> <td>合計 (CO<sub>2</sub>総排出量) (tCO<sub>2</sub>)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>48,046</td> </tr> </tbody> </table>	建設機械等		延べ		CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub>	機械名	燃料	燃料消費量 (L)	排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	排出量 (kgCO <sub>2</sub> )	ブルドーザ	軽油	400,000	2.58	2.58	1,032,000	掘削及び積込機	軽油	7,200,000	2.58	2.58	18,576,000	運搬機械	軽油	2,800,000	2.58	2.58	7,224,000	クレーンその他の荷役機械	軽油	7,300,000	2.58	2.58	18,834,000	基礎工事用機械	軽油	73,000	2.58	2.58	188,340	せん孔機械及びトンネル工事用機械	軽油	310,000	2.58	2.58	799,800	モータグレーダ	軽油	6,400	2.58	2.58	16,512	締固め機械	軽油	68,000	2.58	2.58	175,440	コンクリート機械	軽油	410,000	2.58	2.58	1,057,800	舗装機械	軽油	55,000	2.58	2.58	141,900	合計 (CO <sub>2</sub> 総排出量) (tCO <sub>2</sub> )					48,046	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">建設機械等</th> <th colspan="2">延べ</th> <th>CO<sub>2</sub></th> <th>CO<sub>2</sub></th> </tr> <tr> <th>機械名</th> <th>燃料</th> <th>燃料消費量 (L)</th> <th>排出係数 (kgCO<sub>2</sub>/L)</th> <th>排出係数 (kgCO<sub>2</sub>/L)</th> <th>排出量 (kgCO<sub>2</sub>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>軽油</td> <td>400,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>1,032,000</td> </tr> <tr> <td>掘削及び積込機</td> <td>軽油</td> <td>7,400,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>19,092,000</td> </tr> <tr> <td>運搬機械</td> <td>軽油</td> <td>2,700,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>6,966,000</td> </tr> <tr> <td>クレーンその他の荷役機械</td> <td>軽油</td> <td>7,300,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>18,834,000</td> </tr> <tr> <td>基礎工事用機械</td> <td>軽油</td> <td>75,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>193,500</td> </tr> <tr> <td>せん孔機械及びトンネル工事用機械</td> <td>軽油</td> <td>220,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>567,600</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ</td> <td>軽油</td> <td>6,400</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>16,512</td> </tr> <tr> <td>締固め機械</td> <td>軽油</td> <td>68,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>175,440</td> </tr> <tr> <td>コンクリート機械</td> <td>軽油</td> <td>410,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>1,057,800</td> </tr> <tr> <td>舗装機械</td> <td>軽油</td> <td>55,000</td> <td>2.58</td> <td>2.58</td> <td>141,900</td> </tr> <tr> <td>合計 (CO<sub>2</sub>総排出量) (tCO<sub>2</sub>)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>48,077</td> </tr> </tbody> </table>	建設機械等		延べ		CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub>	機械名	燃料	燃料消費量 (L)	排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	排出量 (kgCO <sub>2</sub> )	ブルドーザ	軽油	400,000	2.58	2.58	1,032,000	掘削及び積込機	軽油	7,400,000	2.58	2.58	19,092,000	運搬機械	軽油	2,700,000	2.58	2.58	6,966,000	クレーンその他の荷役機械	軽油	7,300,000	2.58	2.58	18,834,000	基礎工事用機械	軽油	75,000	2.58	2.58	193,500	せん孔機械及びトンネル工事用機械	軽油	220,000	2.58	2.58	567,600	モータグレーダ	軽油	6,400	2.58	2.58	16,512	締固め機械	軽油	68,000	2.58	2.58	175,440	コンクリート機械	軽油	410,000	2.58	2.58	1,057,800	舗装機械	軽油	55,000	2.58	2.58	141,900	合計 (CO <sub>2</sub> 総排出量) (tCO <sub>2</sub> )					48,077																										
建設機械等		延べ		CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub>																																																																																																																																																																																			
機械名	燃料	燃料消費量 (L)	排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	排出量 (kgCO <sub>2</sub> )																																																																																																																																																																																			
ブルドーザ	軽油	400,000	2.58	2.58	1,032,000																																																																																																																																																																																			
掘削及び積込機	軽油	7,200,000	2.58	2.58	18,576,000																																																																																																																																																																																			
運搬機械	軽油	2,800,000	2.58	2.58	7,224,000																																																																																																																																																																																			
クレーンその他の荷役機械	軽油	7,300,000	2.58	2.58	18,834,000																																																																																																																																																																																			
基礎工事用機械	軽油	73,000	2.58	2.58	188,340																																																																																																																																																																																			
せん孔機械及びトンネル工事用機械	軽油	310,000	2.58	2.58	799,800																																																																																																																																																																																			
モータグレーダ	軽油	6,400	2.58	2.58	16,512																																																																																																																																																																																			
締固め機械	軽油	68,000	2.58	2.58	175,440																																																																																																																																																																																			
コンクリート機械	軽油	410,000	2.58	2.58	1,057,800																																																																																																																																																																																			
舗装機械	軽油	55,000	2.58	2.58	141,900																																																																																																																																																																																			
合計 (CO <sub>2</sub> 総排出量) (tCO <sub>2</sub> )					48,046																																																																																																																																																																																			
建設機械等		延べ		CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub>																																																																																																																																																																																			
機械名	燃料	燃料消費量 (L)	排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	排出量 (kgCO <sub>2</sub> )																																																																																																																																																																																			
ブルドーザ	軽油	400,000	2.58	2.58	1,032,000																																																																																																																																																																																			
掘削及び積込機	軽油	7,400,000	2.58	2.58	19,092,000																																																																																																																																																																																			
運搬機械	軽油	2,700,000	2.58	2.58	6,966,000																																																																																																																																																																																			
クレーンその他の荷役機械	軽油	7,300,000	2.58	2.58	18,834,000																																																																																																																																																																																			
基礎工事用機械	軽油	75,000	2.58	2.58	193,500																																																																																																																																																																																			
せん孔機械及びトンネル工事用機械	軽油	220,000	2.58	2.58	567,600																																																																																																																																																																																			
モータグレーダ	軽油	6,400	2.58	2.58	16,512																																																																																																																																																																																			
締固め機械	軽油	68,000	2.58	2.58	175,440																																																																																																																																																																																			
コンクリート機械	軽油	410,000	2.58	2.58	1,057,800																																																																																																																																																																																			
舗装機械	軽油	55,000	2.58	2.58	141,900																																																																																																																																																																																			
合計 (CO <sub>2</sub> 総排出量) (tCO <sub>2</sub> )					48,077																																																																																																																																																																																			
<p>p. 8-6-2-2 表 8-6-2-1(2) 建設機械の稼働に伴う温室効果ガス (N2O) 排出量 (CO2 換算)：燃料消費</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">建設機械等</th> <th colspan="2">延べ</th> <th>N<sub>2</sub>O</th> <th>地球</th> <th>CO<sub>2</sub>換算</th> </tr> <tr> <th>機械名</th> <th>燃料</th> <th>燃料消費量 (L)</th> <th>排出係数 (kgN<sub>2</sub>O/L)</th> <th>排出係数 (kgN<sub>2</sub>O/L)</th> <th>温暖化係数</th> <th>排出量 (kgCO<sub>2</sub>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>軽油</td> <td>400,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>7,936</td> </tr> <tr> <td>掘削及び積込機</td> <td>軽油</td> <td>7,200,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>142,848</td> </tr> <tr> <td>運搬機械</td> <td>軽油</td> <td>2,800,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>55,552</td> </tr> <tr> <td>クレーンその他の荷役機械</td> <td>軽油</td> <td>7,300,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>144,832</td> </tr> <tr> <td>基礎工事用機械</td> <td>軽油</td> <td>73,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>1,448</td> </tr> <tr> <td>せん孔機械及びトンネル工事用機械</td> <td>軽油</td> <td>310,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>6,150</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ</td> <td>軽油</td> <td>6,400</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>締固め機械</td> <td>軽油</td> <td>68,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>1,349</td> </tr> <tr> <td>コンクリート機械</td> <td>軽油</td> <td>410,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>8,134</td> </tr> <tr> <td>舗装機械</td> <td>軽油</td> <td>55,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>1,091</td> </tr> <tr> <td>合計 (CO<sub>2</sub>換算) (tCO<sub>2</sub>)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>369</td> </tr> </tbody> </table>	建設機械等		延べ		N <sub>2</sub> O	地球	CO <sub>2</sub> 換算	機械名	燃料	燃料消費量 (L)	排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	温暖化係数	排出量 (kgCO <sub>2</sub> )	ブルドーザ	軽油	400,000	0.000064	0.000064	310	7,936	掘削及び積込機	軽油	7,200,000	0.000064	0.000064	310	142,848	運搬機械	軽油	2,800,000	0.000064	0.000064	310	55,552	クレーンその他の荷役機械	軽油	7,300,000	0.000064	0.000064	310	144,832	基礎工事用機械	軽油	73,000	0.000064	0.000064	310	1,448	せん孔機械及びトンネル工事用機械	軽油	310,000	0.000064	0.000064	310	6,150	モータグレーダ	軽油	6,400	0.000064	0.000064	310	127	締固め機械	軽油	68,000	0.000064	0.000064	310	1,349	コンクリート機械	軽油	410,000	0.000064	0.000064	310	8,134	舗装機械	軽油	55,000	0.000064	0.000064	310	1,091	合計 (CO <sub>2</sub> 換算) (tCO <sub>2</sub> )						369	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">建設機械等</th> <th colspan="2">延べ</th> <th>N<sub>2</sub>O</th> <th>地球</th> <th>CO<sub>2</sub>換算</th> </tr> <tr> <th>機械名</th> <th>燃料</th> <th>燃料消費量 (L)</th> <th>排出係数 (kgN<sub>2</sub>O/L)</th> <th>排出係数 (kgN<sub>2</sub>O/L)</th> <th>温暖化係数</th> <th>排出量 (kgCO<sub>2</sub>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>軽油</td> <td>400,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>7,936</td> </tr> <tr> <td>掘削及び積込機</td> <td>軽油</td> <td>7,400,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>146,216</td> </tr> <tr> <td>運搬機械</td> <td>軽油</td> <td>2,700,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>53,568</td> </tr> <tr> <td>クレーンその他の荷役機械</td> <td>軽油</td> <td>7,300,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>144,832</td> </tr> <tr> <td>基礎工事用機械</td> <td>軽油</td> <td>75,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>1,488</td> </tr> <tr> <td>せん孔機械及びトンネル工事用機械</td> <td>軽油</td> <td>220,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>4,265</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ</td> <td>軽油</td> <td>6,400</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>締固め機械</td> <td>軽油</td> <td>68,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>1,349</td> </tr> <tr> <td>コンクリート機械</td> <td>軽油</td> <td>410,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>8,134</td> </tr> <tr> <td>舗装機械</td> <td>軽油</td> <td>55,000</td> <td>0.000064</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> <td>1,091</td> </tr> <tr> <td>合計 (CO<sub>2</sub>換算) (tCO<sub>2</sub>)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>370</td> </tr> </tbody> </table>	建設機械等		延べ		N <sub>2</sub> O	地球	CO <sub>2</sub> 換算	機械名	燃料	燃料消費量 (L)	排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	温暖化係数	排出量 (kgCO <sub>2</sub> )	ブルドーザ	軽油	400,000	0.000064	0.000064	310	7,936	掘削及び積込機	軽油	7,400,000	0.000064	0.000064	310	146,216	運搬機械	軽油	2,700,000	0.000064	0.000064	310	53,568	クレーンその他の荷役機械	軽油	7,300,000	0.000064	0.000064	310	144,832	基礎工事用機械	軽油	75,000	0.000064	0.000064	310	1,488	せん孔機械及びトンネル工事用機械	軽油	220,000	0.000064	0.000064	310	4,265	モータグレーダ	軽油	6,400	0.000064	0.000064	310	127	締固め機械	軽油	68,000	0.000064	0.000064	310	1,349	コンクリート機械	軽油	410,000	0.000064	0.000064	310	8,134	舗装機械	軽油	55,000	0.000064	0.000064	310	1,091	合計 (CO <sub>2</sub> 換算) (tCO <sub>2</sub> )						370
建設機械等		延べ		N <sub>2</sub> O	地球	CO <sub>2</sub> 換算																																																																																																																																																																																		
機械名	燃料	燃料消費量 (L)	排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	温暖化係数	排出量 (kgCO <sub>2</sub> )																																																																																																																																																																																		
ブルドーザ	軽油	400,000	0.000064	0.000064	310	7,936																																																																																																																																																																																		
掘削及び積込機	軽油	7,200,000	0.000064	0.000064	310	142,848																																																																																																																																																																																		
運搬機械	軽油	2,800,000	0.000064	0.000064	310	55,552																																																																																																																																																																																		
クレーンその他の荷役機械	軽油	7,300,000	0.000064	0.000064	310	144,832																																																																																																																																																																																		
基礎工事用機械	軽油	73,000	0.000064	0.000064	310	1,448																																																																																																																																																																																		
せん孔機械及びトンネル工事用機械	軽油	310,000	0.000064	0.000064	310	6,150																																																																																																																																																																																		
モータグレーダ	軽油	6,400	0.000064	0.000064	310	127																																																																																																																																																																																		
締固め機械	軽油	68,000	0.000064	0.000064	310	1,349																																																																																																																																																																																		
コンクリート機械	軽油	410,000	0.000064	0.000064	310	8,134																																																																																																																																																																																		
舗装機械	軽油	55,000	0.000064	0.000064	310	1,091																																																																																																																																																																																		
合計 (CO <sub>2</sub> 換算) (tCO <sub>2</sub> )						369																																																																																																																																																																																		
建設機械等		延べ		N <sub>2</sub> O	地球	CO <sub>2</sub> 換算																																																																																																																																																																																		
機械名	燃料	燃料消費量 (L)	排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	温暖化係数	排出量 (kgCO <sub>2</sub> )																																																																																																																																																																																		
ブルドーザ	軽油	400,000	0.000064	0.000064	310	7,936																																																																																																																																																																																		
掘削及び積込機	軽油	7,400,000	0.000064	0.000064	310	146,216																																																																																																																																																																																		
運搬機械	軽油	2,700,000	0.000064	0.000064	310	53,568																																																																																																																																																																																		
クレーンその他の荷役機械	軽油	7,300,000	0.000064	0.000064	310	144,832																																																																																																																																																																																		
基礎工事用機械	軽油	75,000	0.000064	0.000064	310	1,488																																																																																																																																																																																		
せん孔機械及びトンネル工事用機械	軽油	220,000	0.000064	0.000064	310	4,265																																																																																																																																																																																		
モータグレーダ	軽油	6,400	0.000064	0.000064	310	127																																																																																																																																																																																		
締固め機械	軽油	68,000	0.000064	0.000064	310	1,349																																																																																																																																																																																		
コンクリート機械	軽油	410,000	0.000064	0.000064	310	8,134																																																																																																																																																																																		
舗装機械	軽油	55,000	0.000064	0.000064	310	1,091																																																																																																																																																																																		
合計 (CO <sub>2</sub> 換算) (tCO <sub>2</sub> )						370																																																																																																																																																																																		
<p>p. 8-6-2-5 ア) 環境保全措置の検討の状況</p>	<p>本事業では、計画の立案の段階において、温室効果ガスに係る環境影響を回避又は低減するため、「高効率の建設機械の選定」、「高負荷運転の抑制」及び「低燃費車種の選定、積載の効率化、運搬計画の合理化による運搬距離の最適化」について検討した。</p>	<p>本事業では、計画の立案の段階において、温室効果ガスに係る環境影響を回避又は低減するため、「<u>低炭素型建設機械の選定</u>」、「高負荷運転の抑制」及び「低燃費車種の選定、積載の効率化、運搬計画の合理化による運搬距離の最適化」について検討した。</p>																																																																																																																																																																																						

表 12-1 (65) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-6-2-6 表 8-6-2-4 環境保全措置の検討の状況	(環境保全措置) 高効率の建設機械の選定	(環境保全措置) <u>低炭素型</u> 建設機械の選定
	(適否の理由) 高効率の建設機械の採用により、	(適否の理由) <u>低炭素型建設機械(例えば油圧ショベルではCO<sub>2</sub>排出量が従来型に比べ10%低減)の採用により、</u>
	(工事の規模に合わせた建設機械の選定、適否の理由) 適切な機械の選定により必要以上の建設機械の配置及び稼働を避けることで、温室効果ガスの排出量を低減できるため、環境保全措置として採用する。	(工事の規模に合わせた建設機械の選定、適否の理由) <u>工事規模に合わせて必要以上の建設機械の規格、配置及び稼働とならないように計画することで、温室効果ガスの排出量を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>
	(建設機械の点検・整備による性能維持、適否の理由) 適切な点検・整備により建設機械の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できるため、環境保全措置として採用する。	(建設機械の点検・整備による性能維持、適否の理由) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により建設機械の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>
	(資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持、適否の理由) 適切な点検・整備により資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できるため、環境保全措置として採用する。	(資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持、適否の理由) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>
p. 8-6-2-6 イ) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置の実施の内容	本事業では、工事の実施(建設機械の稼働、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行)による温室効果ガスに係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「高効率の建設機械の選定」、「高負荷運転の抑制」、「工事規模に合わせた建設機械の選定」、「建設機械の点検・整備による性能維持」、「資材及び機械の運搬に用いる車両の点検・整備による性能維持」及び「低燃費車種の選定、積載の効率化、運搬計画の合理化による運搬距離の最適化」を実施する。	本事業では、工事の実施(建設機械の稼働、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行)による温室効果ガスに係る環境影響を低減させるため、環境保全措置として「 <u>低炭素型</u> 建設機械の選定」、「高負荷運転の抑制」、「工事規模に合わせた建設機械の選定」、「建設機械の点検及び整備による性能維持」、「資材及び機械の運搬に用いる車両の点検及び整備による性能維持」及び「低燃費車種の選定、積載の効率化、運搬計画の合理化による運搬距離の最適化」を実施する。
p. 8-6-2-6 表 8-6-2-5(1) 環境保全措置の内容	(実施内容 種類・方法) 高効率の建設機械の選定	(実施内容 種類・方法) <u>低炭素型</u> 建設機械の選定
	(環境保全措置の効果) 高効率の建設機械の採用により、温室効果ガスの排出量を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>低炭素型建設機械(例えば油圧ショベルではCO<sub>2</sub>排出量が従来型に比べ10%低減)の採用により、温室効果ガスの排出量を低減できる。</u>
p. 8-6-2-7 表 8-6-2-5(3) 環境保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な機械の選定により必要以上の建設機械の配置及び稼働を避けることで、温室効果ガスの排出量を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>工事規模に合わせて必要以上の建設機械の規格、配置及び稼働とならないように計画することで、温室効果ガスの排出量を低減できる。</u>

表 12-1(66) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 8-6-2-7 表 8-6-2-5(4) 環境 保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な点検・整備により建設機械の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により建設機械の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できる。</u>
p. 8-6-2-7 表 8-6-2-5(5) 環境 保全措置の内容	(環境保全措置の効果) 適切な点検・整備により資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できる。	(環境保全措置の効果) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により資材及び機械の運搬に用いる車両の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できる。</u>
p. 8-6-2-8 イ) 評価結果	工事の実施(建設機械の稼働、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行)に伴い発生する温室効果ガス排出量は、表 8-6-2-3 に示すとおりであり、本事業における温室効果ガス年平均排出量は、東京都における 1 年間あたりの温室効果ガス 57,250 千 tCO <sub>2</sub> と比較すると 0.06% 程度である。 また本事業では、工事の実施(建設機械の稼働、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行)に伴う温室効果ガスの排出による環境負荷を低減させるため、表 8-6-2-5 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。	<u>本事業では、工事の実施(建設機械の稼働、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行)に伴う温室効果ガスが排出されるものの、本事業における温室効果ガス年平均排出量は、東京都における 1 年間あたりの温室効果ガス 57,250 千 tCO<sub>2</sub> と比較すると 0.06% 程度であり、表 8-6-2-5 に示した環境保全措置を確実に実施することから、温室効果ガスに係る環境影響の低減が図られていると評価する。</u>
p. 8-6-2-10 表 8-6-2-9 環境保全 措置の検討の状況	(保全措置の効果) 適切な点検・整備により設備機器の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できるため、環境保全措置として採用する。	(保全措置の効果) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により設備機器の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できることから、環境保全措置として採用する。</u>
p. 8-6-2-11 表 8-6-2-10(3) 環境 保全措置の検討の状況	(保全措置の効果) 適切な点検・整備により設備機器の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できる。	(保全措置の効果) <u>法令上の定めによる定期的な点検や日々の点検及び整備により設備機器の性能を維持することで、温室効果ガスの排出量を低減できる。</u>
p. 8-6-2-12 イ) 評価結果	鉄道施設(駅、換気施設)の供用に伴い発生する温室効果ガス排出量は、表 8-6-2-8 に示すとおりであり、本事業における温室効果ガス年平均排出量は、東京都における 1 年間あたりの温室効果ガス 57,250 千 tCO <sub>2</sub> と比較すると 0.14% 程度である。 また本事業では、鉄道施設(駅、換気施設)の供用に伴う温室効果ガスの排出による環境負荷を低減させるため、表 8-6-2-10 に示した環境保全措置を実施することから、事業者により実行可能な範囲内で低減が図られていると評価する。	<u>本事業では、鉄道施設(駅、換気施設)の供用に伴う温室効果ガスが排出されるものの、本事業における温室効果ガス年平均排出量は、東京都における 1 年間あたりの温室効果ガス 57,250 千 tCO<sub>2</sub> と比較すると 0.14% 程度であり、表 8-6-2-10 に示した環境保全措置を確実に実施することから、温室効果ガスに係る環境影響の低減が図られていると評価する。</u>

表 12-1(67) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 9-43 9-7 具体的な位置・規模等の計画を明らかにすることが困難な付帯施設に関する環境保全措置	本準備書において具体的な位置・規模等の計画を明らかにすることが困難かつ環境影響の大きい付帯施設（発生土置き場）に関する環境保全措置は、以下に示すとおりである。	本評価書において具体的な位置・規模等の計画を明らかにすることが困難かつ環境影響の大きい付帯施設（発生土置き場）に関する環境保全措置は、以下に示すとおりである。
p. 9-59 9-7 具体的な位置・規模等の計画を明らかにすることが困難な付帯施設に関する環境保全措置	—	<u>環境保全措置の内容をより詳細なものにするため、「第10章 事後調査」に示す調査及び影響検討を行う。</u>
準備書 p. 10-1	なお、本準備書において具体的な位置・規模等の計画を明らかにすることが困難かつ環境への影響が大きい付帯施設（発生土置き場）に関する環境保全措置については、その効果を事後調査により確認する。	削除
p. 10-3 表 10-1-1-1(2) 具体的な位置・規模等の計画を明らかにすることが困難な付帯施設（発生土置き場）に関する事後調査の項目	（生態系、事後調査を行うこととした理由） 生息環境の変化	（生態系、事後調査を行うこととした理由） 生息・生育環境の変化
	（生態系、調査内容、項目） 生息状況等	（生態系、調査内容、項目） 生息・生育状況等
p. 10-5 10-1-2 具体的な位置・規模等の計画を明らかにすることが困難な付帯施設に関する環境保全措置の内容をより詳細なものにするための調査	—	追記
p. 10-18 10-2 東京都環境影響評価条例に基づく事後調査	—	追記
p. 11-1 第11章 対象事業に係る環境影響の総合的な評価	本準備書において選定した対象事業に係る環境要素ごとに、調査、予測及び評価についての結果の概要を表 11-1 に示す。  これらの結果から、環境保全措置を実施することによって、環境への影響について実行可能な範囲で回避又は低減が図られ、環境の保全について適正な配慮がなされている事業であると総合的に評価する。	本評価書において選定した対象事業に係る環境要素ごとに、調査、予測及び評価についての結果の概要を表 11-1 に示す。  これらの結果から、環境保全措置を実施することによって、環境への影響について実行可能な範囲で回避又は低減が図られ、環境の保全について適正な配慮がなされている事業であると総合的に評価する。 <u>なお、山梨リニア実験線での成果を含め、工事期間中に新たな環境保全技術などの知見が得られた場合には、できる限り取り入れるよう努める。</u>

表 12-1(68) 環境影響評価準備書からの主な相違点

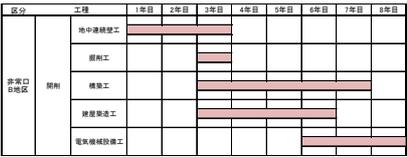
評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 事 2-2~9 図 2-1 路線概要 (縦断計画)</p>	<p>平成 25 年 9 月時点の縦断線形を反映</p>	<p>平成 26 年 3 月時点の縦断線形を反映</p>
<p>p. 事 3-1-1 3-1 工事位置</p>	<p>工事位置については図 3-1-1 に示すとおりである。</p>	<p>工事位置については図 3-1-1 に示すとおりである。なお、予測評価の前提とした非常口、変電施設の施設配置は図 3-1-2 に示すとおりである。</p>
<p>p. 事 3-1-4~8 図 3-1-2(1) 施設配置図 (A 地区)  図 3-1-2(2) 施設配置図 (B 地区)  図 3-1-2(3) 施設配置図 (C 地区)  図 3-1-2(4) 施設配置図 (D 地区)  図 3-1-2(5) 施設配置図 (E 地区)</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>
<p>p. 事 3-2-4 表 3-2-1(3) 工事工程表</p>		
<p>p. 事 3-3-1 3-3 建設機械の台数について</p>	<p>建設機械の台数については表 3-3-1 に示すとおりである。</p>	<p>建設機械の台数については、下記の手順に基づき求めた。  <u>・建設する構造物の規模や施工条件 (近接工事、地質条件など) に基づき、施工法を設定し、それに基づく、工種及び各工種で必要な建設機械を選定した。</u>  <u>・選定した建設機械について、計画の工期及び建設機械 1 台当たりの施工能力を考慮して、台数を求めた。</u>  <u>これらの方法に基づいて算定を行った建設機械の台数を表 3-3-1 に示す。</u></p>

表 12-1(69) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 事 3-3-5~7 表 3-3-1(2)~(3) 建設機械台数</p>	<p>—</p>	<p>機械台数の修正</p>
<p>p. 事 3-4-1 3-4 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行台数について</p>	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行台数については表 3-4-1 に示すとおりである。</p>	<p>資材及び機械の運搬に用いる車両の運行台数については、資材の運搬に用いる車両、機械の運搬に用いる車両、及び発生土等の運搬に用いる車両それぞれを以下に示す方法で算定し合計した。</p> <p><u>(1) 資材の運搬に用いる車両台数</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トンネル、非常口（都市部）、変電施設及び地下駅の建設工事において、建設する構造物の規模、地質条件、施工法、建設機械1台当たりの施工能力、配置可能な建設機械の台数等を考慮して、1月当たりの作業数量(掘削延長)を算定した。</li> <li>・その上で、上記の作業数量と、単位作業数量あたりに必要となる鋼材、コンクリート等資材の標準的な量から、資材の種類毎に、1月あたりに必要となる数量を算出した。</li> <li>・種類毎に求めた資材の数量を運搬車両の能力(1台当たり積載量)で除して1月当たりの運搬車両の台数を算定し、種類毎の台数を合計して1月当たりの運搬車両の総数を算出した。</li> </ul> <p><u>(2) 機械の運搬に用いる車両台数</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「3-3 建設機械の台数について」で求めた建設機械の台数に基づき、機械の搬入、搬出等が必要となる月において、必要台数を計上した。</li> </ul> <p><u>(3) 発生土の運搬に用いる車両台数</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トンネル、非常口（都市部）、変電施設及び地下駅の建設工事において、建設する構造物の規模、地質条件、施工法、建設機械1台当たりの施工能力、配置可能な建設機械の台数等を考慮して、1月当たりの掘削土量を算定し、地山に対する掘削後の体積の増加量を加味して、1月当たりの発生土量を算定した。</li> <li>・1月当たりの発生土量を運搬車両の能力(1日1台当たり積載量)及び月当たりの稼働日数で除して1月当たりの運搬車両の台数を算定した。</li> </ul> <p>これらの方法に基づいて算定を行ったそれぞれの台数を合計した資材及び機械の運搬に用いる車両の運行台数を表 3-4-1 に示す。なお、予測評価にあたっては、1日あたりの台数が必要となるため、1月当たりの車両の合計台数を月当たりの稼働日数で除して1日当たりの車両の台数を算定して用いた。</p>

表 12-1(70) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 事 3-4-3 表 3-4-1(2) 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行台数	—	車両台数の修正
p. 事 3-4-3 表 3-4-1(3) 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行台数	—	工事開始時期の修正及び車両台数の修正
p. 事 3-5-1～6 3-5 南関東ガス田への対応	—	追記
p. 事 3-6-1～3 3-6 トンネルの計画	—	追記
p. 事 4-1～2 4 施設計画	—	追記



表 12-1(72) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 環 1-1-1~3 表 1-1-1 建設機械の大気質排出量	—	注 1. NO <sub>y</sub> 排出係数及び SPM 排出係数は、「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）」（平成 25 年 国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人土木研究所）に示されている算出式に、「平成 25 年度版建設機械等損料表」（一般社団法人 日本建設機械施工協会）の燃料消費率等を代入して算出した。
p. 環 1-2-3 表 1-2-1(1) 風向別風速階級別出現頻度	地点：文献（気象）02	地点：現地（環境）01
	地点：文献（気象）03 他地点の表を掲載	地点：現地（環境）02 現地（環境）02 の表に差替
p. 環 1-2-4 表 1-2-1(2) 風向別風速階級別出現頻度	地点：文献（気象）04	地点：現地（環境）03
	地点：文献（気象）05	地点：現地（環境）04
p. 環 1-2-5 表 1-2-1(3) 風向別風速階級別出現頻度	地点：文献（気象）06	地点：現地（環境）05
p. 環 1-4-1 1-4 建設機械の稼働に係る大気質の等濃度線図及び距離毎の予測値	—	追記
p. 環 1-5-1 1-5 使用する気象データの期間代表性及び地域代表性による誤差の程度について	—	追記
p. 環 1-6-1 1-6 資材及び機械の運搬に用いる車両の運行に伴う予測地点より勾配及びカーブが急な箇所並びに道路の幅員が十分でない箇所への影響について	—	追記
p. 環 1-7-1 1-7 建設機械に関する発生源配置の考え方	—	追記
p. 環 2-1-3 2-1-2 工事により発生する騒音が最大となる時期の設定について（例示）	—	追記
p. 環 2-3-9 図 2-3-1 調査地点断面図	—	「調査地点：05」を追記
p. 環 2-6-1 2-6 建設機械の予測に係る音源配置の考え方	—	追記
p. 環 2-7-1 2-7 建設機械の稼働に係る等値線図	—	追記

表 12-1(73) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 環 2-10-1 2-10-1 非常口（都市部）区間	このうち開閉設備は列車が通過する前に扉を遮断し、列車通過時の騒音を低減するものであり、山梨リニア実験線で約10dBの騒音低減効果があることを確認している。消音設備は主に換気施設のファンの騒音を低減させるために設置するものであり、多孔板は主にファンの騒音や微気圧波を低減させるためのものであるが、これらは列車走行により発生する騒音の低減にも寄与する。	このうち開閉設備は列車が通過する前に扉を遮断（ <u>図 2-10-2</u> ）し、列車通過時の騒音を低減するものであり、山梨リニア実験線で約10dBの騒音低減効果があることを確認している。 <u>また、開閉設備の稼働に伴い発生する音はモータで駆動する音が主体であり、列車通過音と比較すると騒音や低周波音の影響は非常に小さいこと、数秒の動作時間をかけて扉を遮断するものであり、稼働に伴う微気圧波も発生しないことを確認している。</u> 消音設備は主に換気施設のファンの騒音を低減させるために設置するものであり、多孔板は <u>主に微気圧波</u> を低減させるためのものであるが、これらは <u>ファンの騒音や列車走行により発生する騒音の低減</u> にも寄与する。
p. 環 2-10-1 図 2-10-1 開閉設備の配置	—	追記
p. 環 2-10-1 図 2-10-2 開閉設備の開閉状況のイメージ	—	追記
p. 環 2-11-1 2-11-1 建設機械の稼働に係る騒音の予測について	—	追記
p. 環 2-12-1～2 2-12 変電施設の騒音及び低周波音について	—	追記
p. 環 2-13-1 2-13 騒音の大きさの目安について	—	追記
p. 環 3-1-3 3-1-2 工事により発生する振動が最大となる時期の設定について（例示）	—	追記
p. 環 3-5-1 3-5 建設機械の稼働に係る等値線図	—	追記
p. 環 3-7-1 図 3-7-1 編成両数の補正イメージ		
p. 環 3-9-1 3-9 L0 系車両の測定結果について	—	追記
p. 環 3-10-1 3-10 振動の大きさの目安について	—	追記

表 12-1(74) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
p. 環 4-3-2 図 4-3-2-1 多孔板の構造	多孔板イメージ図を記載	多孔板イメージ写真を記載
p. 環 4-3-2 4-3-2 多孔板	なお、多孔板（20m）の設置により非常口出口における微気圧波は約 1/2 に低減可能であり、基準値を満足することがわかっている。	なお、多孔板（20m）の設置により非常口出口における微気圧波は約 1/2 に低減可能であり、基準値を満足することがわかっている。また、山梨実験線にて多孔板延長を調整することにより微気圧波の大きさを小さくできることを確認している。
p. 環 4-4-1 4-4 微気圧波の基準について	—	微気圧波は図 4-4-1 に示すとおりパルス状の圧力波であり、継続時間が極めて短いことも勘案して騒音レベルである dB 表示とするより圧力レベルである Pa 表示とすることが適切とされ、これまで Pa 表示で測定や対策が進められている。
p. 環 4-4-1 図 4-4-1 微気圧波測定値（20m 離れ）	—	追記
p. 環 4-6-1 4-6 L0 系車両の測定結果について	—	追記
p. 環 5-1-1 5-1 列車走行に伴う低周波音について	後者については、山梨リニア実験線における防音防災フード設置区間での圧力変動の測定値は 50m 離れで 1Pa 以下、防音壁設置区間での測定値は 50m 離れで約 12Pa 程度である。	後者については、これまで一般的な地上走行区間での苦情は発生していない。低周波音の評価については、列車の様な移動する音源に対しての定量的な指標がないこと、また、圧力変動の継続時間が短いものであることから、微気圧波の基準値である Pa 表示の圧力レベルと比較した。山梨リニア実験線における防音防災フード設置区間での圧力変動の測定値は 50m 離れで 1Pa 以下、防音壁設置区間での測定値は 50m 離れで約 12Pa 程度である。
p. 環 5-1-1 表 5-1-1 各交通機関におけるたわみ制限（連続桁の場合）	—	追記
p. 環 5-1-2 図 5-1-1(1) 防音防災フード設置区間での圧力変動の測定値（50m 離れ）	—	追記
p. 環 5-1-2 図 5-1-1(2) 防音壁設置区間での圧力変動の測定値（50m 離れ）	—	追記
p. 環 6-2-1~2 6-2 町田市（小野路川、平川）低水期と豊水期の判断について	—	追記
p. 環 6-3-1~2 6-3 工事の実施に係る水質への影響	—	追記

表 12-1(75) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																													
p. 環 6-4-1~5 6-4 水質における調査地点及び予測地点と河川の分布状況について	-	追記																																																																																													
p. 環 7-2-7 3) 地下地質及び透水係数	地下地質は、図 7-2-4 に示す。また、各層の透水係数は、表 7-2-2 に示す。	<p>解析に用いた地質は、「資料編 環 9 地盤沈下」に示す地質縦断図を基に、沖積層、東京層及び東京礫層よりも深い部分の深層における地層を上総層群として単一化し、図 7-2-4 に示すとおりモデル化をした。解析深度は、解析精度を確保するため、トンネル下端から十分な離隔を取って、トンネル径の約 2 倍以上の深さとし、標高-120m とした。</p> <p>各層の透水係数は、ボーリング調査の結果及び文献を基に、地下水位の実測水位と解析によりシミュレートされた計算水位との相関関係が約 0.7 以上確保するよう三次元地下水流動モデルを繰り返し実行し、表 7-2-2 に示すとおり設定した。またボーリング調査で得られた透水係数の分布を図 7-2-5 に示す。</p>																																																																																													
p. 環 7-2-8 表 7-2-2 各層の透水係数	<p>表 7-2-2 透水係数モデル入力値 (m/sec)</p> <table border="1" data-bbox="475 1021 911 1216"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>地質時代</th> <th colspan="2">水理地層区分</th> <th>透水係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>完新世</td> <td>沖積層</td> <td>粘性土、砂質土、礫質土</td> <td><math>5.00 \times 10^{-5}</math></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>更新世</td> <td>ローム</td> <td>火山灰</td> <td><math>5.00 \times 10^{-5}</math></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>段丘礫層</td> <td>礫質土</td> <td><math>6.02 \times 10^{-5}</math></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>東京層</td> <td>粘性土、砂質土</td> <td><math>5.25 \times 10^{-6}</math></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>東京礫層</td> <td>礫質土</td> <td><math>1.36 \times 10^{-4}</math></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td>上総層群</td> <td>泥岩、砂岩</td> <td><math>1.41 \times 10^{-5}</math></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>構造物</td> <td></td> <td></td> <td><math>1.00 \times 10^{-10}</math></td> </tr> </tbody> </table>	No.	地質時代	水理地層区分		透水係数	1	完新世	沖積層	粘性土、砂質土、礫質土	$5.00 \times 10^{-5}$	2	更新世	ローム	火山灰	$5.00 \times 10^{-5}$	3		段丘礫層	礫質土	$6.02 \times 10^{-5}$	4		東京層	粘性土、砂質土	$5.25 \times 10^{-6}$	5		東京礫層	礫質土	$1.36 \times 10^{-4}$	6		上総層群	泥岩、砂岩	$1.41 \times 10^{-5}$	7	構造物			$1.00 \times 10^{-10}$	<p>表 7-2-2 各層の透水係数</p> <table border="1" data-bbox="938 1021 1414 1216"> <thead> <tr> <th>地質時代</th> <th>地層名</th> <th>最大値 k(m/s)</th> <th>最小値 k(m/s)</th> <th>平均値 k(m/s)</th> <th>モデルに 用いた値 k(m/s)</th> <th>備注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">完新世</td> <td>沖積層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><math>5.00 \times 10^{-5}</math></td> <td>文庫</td> </tr> <tr> <td>ローム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><math>5.00 \times 10^{-5}</math></td> <td>文庫</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">更新世</td> <td>段丘礫層</td> <td><math>7.84 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>3.12 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>6.02 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>6.02 \times 10^{-5}</math></td> <td>ボーリング調査</td> </tr> <tr> <td>東京層</td> <td><math>8.29 \times 10^{-6}</math></td> <td><math>1.88 \times 10^{-6}</math></td> <td><math>1.05 \times 10^{-6}</math></td> <td><math>5.25 \times 10^{-6}</math></td> <td>ボーリング調査</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">更新世</td> <td>東京礫層</td> <td><math>2.32 \times 10^{-4}</math></td> <td><math>1.95 \times 10^{-4}</math></td> <td><math>1.36 \times 10^{-4}</math></td> <td><math>1.36 \times 10^{-4}</math></td> <td>ボーリング調査</td> </tr> <tr> <td>上総層群</td> <td><math>1.01 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>1.08 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>2.24 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>1.41 \times 10^{-5}</math></td> <td>ボーリング調査</td> </tr> <tr> <td></td> <td>構造物 (鉄管管段(駅)、電線管段、トンネル)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><math>1.00 \times 10^{-10}</math></td> <td>文庫</td> </tr> </tbody> </table>	地質時代	地層名	最大値 k(m/s)	最小値 k(m/s)	平均値 k(m/s)	モデルに 用いた値 k(m/s)	備注	完新世	沖積層				$5.00 \times 10^{-5}$	文庫	ローム				$5.00 \times 10^{-5}$	文庫	更新世	段丘礫層	$7.84 \times 10^{-5}$	$3.12 \times 10^{-5}$	$6.02 \times 10^{-5}$	$6.02 \times 10^{-5}$	ボーリング調査	東京層	$8.29 \times 10^{-6}$	$1.88 \times 10^{-6}$	$1.05 \times 10^{-6}$	$5.25 \times 10^{-6}$	ボーリング調査	更新世	東京礫層	$2.32 \times 10^{-4}$	$1.95 \times 10^{-4}$	$1.36 \times 10^{-4}$	$1.36 \times 10^{-4}$	ボーリング調査	上総層群	$1.01 \times 10^{-5}$	$1.08 \times 10^{-5}$	$2.24 \times 10^{-5}$	$1.41 \times 10^{-5}$	ボーリング調査		構造物 (鉄管管段(駅)、電線管段、トンネル)				$1.00 \times 10^{-10}$	文庫
No.	地質時代	水理地層区分		透水係数																																																																																											
1	完新世	沖積層	粘性土、砂質土、礫質土	$5.00 \times 10^{-5}$																																																																																											
2	更新世	ローム	火山灰	$5.00 \times 10^{-5}$																																																																																											
3		段丘礫層	礫質土	$6.02 \times 10^{-5}$																																																																																											
4		東京層	粘性土、砂質土	$5.25 \times 10^{-6}$																																																																																											
5		東京礫層	礫質土	$1.36 \times 10^{-4}$																																																																																											
6		上総層群	泥岩、砂岩	$1.41 \times 10^{-5}$																																																																																											
7	構造物			$1.00 \times 10^{-10}$																																																																																											
地質時代	地層名	最大値 k(m/s)	最小値 k(m/s)	平均値 k(m/s)	モデルに 用いた値 k(m/s)	備注																																																																																									
完新世	沖積層				$5.00 \times 10^{-5}$	文庫																																																																																									
	ローム				$5.00 \times 10^{-5}$	文庫																																																																																									
更新世	段丘礫層	$7.84 \times 10^{-5}$	$3.12 \times 10^{-5}$	$6.02 \times 10^{-5}$	$6.02 \times 10^{-5}$	ボーリング調査																																																																																									
	東京層	$8.29 \times 10^{-6}$	$1.88 \times 10^{-6}$	$1.05 \times 10^{-6}$	$5.25 \times 10^{-6}$	ボーリング調査																																																																																									
更新世	東京礫層	$2.32 \times 10^{-4}$	$1.95 \times 10^{-4}$	$1.36 \times 10^{-4}$	$1.36 \times 10^{-4}$	ボーリング調査																																																																																									
	上総層群	$1.01 \times 10^{-5}$	$1.08 \times 10^{-5}$	$2.24 \times 10^{-5}$	$1.41 \times 10^{-5}$	ボーリング調査																																																																																									
	構造物 (鉄管管段(駅)、電線管段、トンネル)				$1.00 \times 10^{-10}$	文庫																																																																																									
p. 環 7-2-8 図 7-2-5 透水係数の分布	-	追記																																																																																													
p. 環 7-2-11 3) 地下地質及び透水係数	地下地質は、図 7-2-7 に示す。また、各層の透水係数は、表 7-2-3 に示す。	<p>解析に用いた地質は、「資料編 環 9 地盤沈下」に示す地質縦断図を基に、ローム、段丘礫層及び相模層群よりも深い部分の深層における地層を上総層群、中津層群及び小仏層群として単一化し、図 7-2-8 に示すとおりモデル化をした。解析深度は、解析精度を確保するため、トンネル下端から十分な離隔を取って、トンネル径の約 2 倍以上の深さとし、標高-40m とした。</p> <p>各層の透水係数は、ボーリング調査の結果及び文献を基に、地下水位の実測水位と解析によりシミュレートされた計算水位との相関関係が約 0.7 以上確保するよう三次元地下水流動モデルを繰り返し実行し、表 7-2-3 に示すとおり設定した。またボーリング調査で得られた透水係数の分布を図 7-2-9 に示す。</p>																																																																																													

表 12-1(76) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																										
p.環 7-2-12 表 7-2-3 各層の透水係数	表 7-2-2 透水係数モデル入力値 (m/sec) <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>地質時代</th> <th colspan="2">水理地層区分</th> <th>透水係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td rowspan="4">更新世</td> <td>ローム</td> <td>火山灰</td> <td><math>5.00 \times 10^{-5}</math></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>段丘礫層</td> <td>礫質土</td> <td><math>5.91 \times 10^{-5}</math></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>相模層群</td> <td>礫質土</td> <td><math>5.91 \times 10^{-5}</math></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>上総層群</td> <td>泥岩・砂岩</td> <td><math>4.40 \times 10^{-5}</math></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td rowspan="2">新第三紀</td> <td>中津層群</td> <td>泥岩・砂岩</td> <td><math>1.15 \times 10^{-6}</math></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>古第三紀～白亜紀</td> <td>小仏層群</td> <td>頁岩・砂岩</td> <td><math>1.15 \times 10^{-6}</math></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>構造物</td> <td></td> <td></td> <td><math>1.00 \times 10^{-10}</math></td> </tr> </tbody> </table>	No.	地質時代	水理地層区分		透水係数	1	更新世	ローム	火山灰	$5.00 \times 10^{-5}$	2	段丘礫層	礫質土	$5.91 \times 10^{-5}$	3	相模層群	礫質土	$5.91 \times 10^{-5}$	4	上総層群	泥岩・砂岩	$4.40 \times 10^{-5}$	5	新第三紀	中津層群	泥岩・砂岩	$1.15 \times 10^{-6}$	6	古第三紀～白亜紀	小仏層群	頁岩・砂岩	$1.15 \times 10^{-6}$	7	構造物			$1.00 \times 10^{-10}$	表 7-2-2 各層の透水係数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地質時代</th> <th>地層名</th> <th>最大値 k(m/s)</th> <th>最小値 k(m/s)</th> <th>平均値 k(m/s)</th> <th>モデルに用いた値 k(m/s)</th> <th>備注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">更新世</td> <td>ローム</td> <td>火山灰</td> <td></td> <td></td> <td><math>5.00 \times 10^{-5}</math></td> <td>記載</td> </tr> <tr> <td>段丘礫層</td> <td>礫質土</td> <td><math>9.40 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>1.58 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>6.18 \times 10^{-5}</math></td> <td>ボロシンプ調査</td> </tr> <tr> <td>相模層群</td> <td>礫質土</td> <td><math>7.19 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>3.96 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>5.70 \times 10^{-5}</math></td> <td>ボロシンプ調査</td> </tr> <tr> <td>上総層群</td> <td>泥岩・砂岩</td> <td><math>2.71 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>5.40 \times 10^{-6}</math></td> <td><math>4.40 \times 10^{-5}</math></td> <td>ボロシンプ調査</td> </tr> <tr> <td>新第三紀</td> <td>中津層群</td> <td>泥岩・砂岩</td> <td><math>6.81 \times 10^{-6}</math></td> <td><math>3.53 \times 10^{-6}</math></td> <td><math>1.73 \times 10^{-5}</math></td> <td>ボロシンプ調査</td> </tr> <tr> <td>古第三紀～白亜紀</td> <td>小仏層群</td> <td>頁岩・砂岩</td> <td><math>1.31 \times 10^{-5}</math></td> <td><math>7.71 \times 10^{-6}</math></td> <td><math>5.31 \times 10^{-6}</math></td> <td>ボロシンプ調査</td> </tr> <tr> <td></td> <td>構造物 (鉄道線路(駅・家電施設、トンネル))</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><math>1.00 \times 10^{-10}</math></td> <td>記載</td> </tr> </tbody> </table>	地質時代	地層名	最大値 k(m/s)	最小値 k(m/s)	平均値 k(m/s)	モデルに用いた値 k(m/s)	備注	更新世	ローム	火山灰			$5.00 \times 10^{-5}$	記載	段丘礫層	礫質土	$9.40 \times 10^{-5}$	$1.58 \times 10^{-5}$	$6.18 \times 10^{-5}$	ボロシンプ調査	相模層群	礫質土	$7.19 \times 10^{-5}$	$3.96 \times 10^{-5}$	$5.70 \times 10^{-5}$	ボロシンプ調査	上総層群	泥岩・砂岩	$2.71 \times 10^{-5}$	$5.40 \times 10^{-6}$	$4.40 \times 10^{-5}$	ボロシンプ調査	新第三紀	中津層群	泥岩・砂岩	$6.81 \times 10^{-6}$	$3.53 \times 10^{-6}$	$1.73 \times 10^{-5}$	ボロシンプ調査	古第三紀～白亜紀	小仏層群	頁岩・砂岩	$1.31 \times 10^{-5}$	$7.71 \times 10^{-6}$	$5.31 \times 10^{-6}$	ボロシンプ調査		構造物 (鉄道線路(駅・家電施設、トンネル))				$1.00 \times 10^{-10}$	記載
No.	地質時代	水理地層区分		透水係数																																																																																								
1	更新世	ローム	火山灰	$5.00 \times 10^{-5}$																																																																																								
2		段丘礫層	礫質土	$5.91 \times 10^{-5}$																																																																																								
3		相模層群	礫質土	$5.91 \times 10^{-5}$																																																																																								
4		上総層群	泥岩・砂岩	$4.40 \times 10^{-5}$																																																																																								
5	新第三紀	中津層群	泥岩・砂岩	$1.15 \times 10^{-6}$																																																																																								
6		古第三紀～白亜紀	小仏層群	頁岩・砂岩	$1.15 \times 10^{-6}$																																																																																							
7	構造物			$1.00 \times 10^{-10}$																																																																																								
地質時代	地層名	最大値 k(m/s)	最小値 k(m/s)	平均値 k(m/s)	モデルに用いた値 k(m/s)	備注																																																																																						
更新世	ローム	火山灰			$5.00 \times 10^{-5}$	記載																																																																																						
	段丘礫層	礫質土	$9.40 \times 10^{-5}$	$1.58 \times 10^{-5}$	$6.18 \times 10^{-5}$	ボロシンプ調査																																																																																						
	相模層群	礫質土	$7.19 \times 10^{-5}$	$3.96 \times 10^{-5}$	$5.70 \times 10^{-5}$	ボロシンプ調査																																																																																						
	上総層群	泥岩・砂岩	$2.71 \times 10^{-5}$	$5.40 \times 10^{-6}$	$4.40 \times 10^{-5}$	ボロシンプ調査																																																																																						
	新第三紀	中津層群	泥岩・砂岩	$6.81 \times 10^{-6}$	$3.53 \times 10^{-6}$	$1.73 \times 10^{-5}$	ボロシンプ調査																																																																																					
古第三紀～白亜紀	小仏層群	頁岩・砂岩	$1.31 \times 10^{-5}$	$7.71 \times 10^{-6}$	$5.31 \times 10^{-6}$	ボロシンプ調査																																																																																						
	構造物 (鉄道線路(駅・家電施設、トンネル))				$1.00 \times 10^{-10}$	記載																																																																																						
p.環 7-2-12 図 7-2-9 透水係数の分布	—	追記																																																																																										
p.環 8-1-1～8-2-6 8 水資源	—	追記																																																																																										
p.環 9-1-1～9-4-1 9 地盤沈下	—	追記																																																																																										
p.環 10-1-1～10-2-8 10 土壌汚染	—	追記																																																																																										
p.環 11-2-1～11 11-2 日影線図	—	追記																																																																																										
p.環 12-1-1 12-1-1 調査地点	電波障害の現地調査地点を図 9-1-1 に示す。	現地調査の調査地点は、本編「8-3-5 電波障害」の4)調査地点に記載の考え方で設定した。なお地点は、図 12-3-1 のテレビ受信障害予測地域図に合わせて記載した。																																																																																										
準備書 p.環 9-1-2～3 図 9-1-1 調査地点位置図	調査地点位置図	削除																																																																																										
p.環 12-3-1～5 12-3 電波障害影響図	—	追記																																																																																										
p.環 13-5-1 13-5 車内及びホームの磁界	超電導リニアの車両及びホームについては図 10-5-1 および図 10-5-2 に示す通り磁気シールドを設置しているため、車内及びホームの磁界は、国の基準である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) のガイドラインの基準値を大幅に下回っており、磁界による影響は極めて小さい。図 10-5-3 および図 10-5-4 に磁界の測定箇所を、図 10-5-5 に測定結果を示す。	超電導リニアの車両及びホームについては図 13-5-1 及び図 13-5-2 に示す通り磁気シールドを設置しているため、車内及びホームならびに乗降装置内の磁界は、国の基準である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) のガイドラインの参照値を大幅に下回っており、磁界による影響は極めて小さい。 特殊鉄道告示の解釈基準に基づく、車内及び乗降装置部の測定箇所を図 13-5-3 及び図 13-5-4 に、同基準に基づく測定結果のまとめを図 13-5-5 に示す。(測定の詳細は「13-8 磁界の測定結果について」付属資料 5(平成 25 年 12 月 5 日実施の公開磁界測定)参照。なお、対向列車すれ違いによる車内変動磁界データは平成 25 年 9 月環境影響評価準備書資料編に既に掲載済。)																																																																																										
p.環 13-5-1 図 13-5-2 ホームへの磁気シールド設置の概念図	先行区間のホームへの磁気シールド設置の概念図	新実験線のホームへの磁気シールド設置の概念図																																																																																										

表 12-1(77) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																						
p. 環 13-5-2~3 図 13-5-3 車内の磁界の測定箇所 図 13-5-4 乗降装置と車内（出入口）の磁界の測定箇所 図 13-5-5 車内及び乗降装置と車内（出入口）の磁界の測定結果	—	追記																																																																																																																						
p. 環 13-5-4	—	<<付記>>を追記																																																																																																																						
p. 環 13-8-1~21 13-8 磁界の測定結果について	—	追記																																																																																																																						
p. 環 15-1-12 表 15-1-1-(11) 植物確認種一覧	(調査時期、春季) 597 種	(調査時期、春季) 594 種																																																																																																																						
	—	注 3. トウゴクシダは、本種が重要種に該当する東京都内では、春季及び秋季調査時に確認された。																																																																																																																						
p. 環 15-2-1~4 15-2 東京都内のキンランの移植事例	—	追記																																																																																																																						
p. 環 16-1-1 16 生態系	—	追記																																																																																																																						
p. 環 17-1-1~2 17 景観	—	追記																																																																																																																						
p. 環 18-1-1 表 18-1-1 建設工事に伴う工種ごとの副産物発生量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建設副産物の種類</th> <th>単位</th> <th>切土工等又は既存の工作物の除去 (地下駅、変電施設)</th> <th>トンネルの工事 (シールド法、非常口(都市部))</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設発生土</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>1,700,000</td> <td>4,300,000</td> </tr> <tr> <td>建設汚泥</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>110,000</td> <td>1,500,000</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>42,000</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>アスファルト・コンクリート塊</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>12,000</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	建設副産物の種類	単位	切土工等又は既存の工作物の除去 (地下駅、変電施設)	トンネルの工事 (シールド法、非常口(都市部))	建設発生土	m <sup>3</sup>	1,700,000	4,300,000	建設汚泥	m <sup>3</sup>	110,000	1,500,000	コンクリート塊	m <sup>3</sup>	42,000	—	アスファルト・コンクリート塊	m <sup>3</sup>	12,000	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建設副産物の種類</th> <th>単位</th> <th>切土工等又は既存の工作物の除去 (地下駅、変電施設)</th> <th>トンネルの工事 (シールド法、非常口(都市部))</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設発生土</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>1,700,000</td> <td>4,300,000</td> </tr> <tr> <td>建設汚泥</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>110,000</td> <td>1,400,000</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塊</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>40,000</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>アスファルト・コンクリート塊</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>10,000</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>建設発生木材</td> <td>t</td> <td>1,000</td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table>	建設副産物の種類	単位	切土工等又は既存の工作物の除去 (地下駅、変電施設)	トンネルの工事 (シールド法、非常口(都市部))	建設発生土	m <sup>3</sup>	1,700,000	4,300,000	建設汚泥	m <sup>3</sup>	110,000	1,400,000	コンクリート塊	m <sup>3</sup>	40,000	2,000	アスファルト・コンクリート塊	m <sup>3</sup>	10,000	2,000	建設発生木材	t	1,000	2,000																																																																										
建設副産物の種類	単位	切土工等又は既存の工作物の除去 (地下駅、変電施設)	トンネルの工事 (シールド法、非常口(都市部))																																																																																																																					
建設発生土	m <sup>3</sup>	1,700,000	4,300,000																																																																																																																					
建設汚泥	m <sup>3</sup>	110,000	1,500,000																																																																																																																					
コンクリート塊	m <sup>3</sup>	42,000	—																																																																																																																					
アスファルト・コンクリート塊	m <sup>3</sup>	12,000	—																																																																																																																					
建設副産物の種類	単位	切土工等又は既存の工作物の除去 (地下駅、変電施設)	トンネルの工事 (シールド法、非常口(都市部))																																																																																																																					
建設発生土	m <sup>3</sup>	1,700,000	4,300,000																																																																																																																					
建設汚泥	m <sup>3</sup>	110,000	1,400,000																																																																																																																					
コンクリート塊	m <sup>3</sup>	40,000	2,000																																																																																																																					
アスファルト・コンクリート塊	m <sup>3</sup>	10,000	2,000																																																																																																																					
建設発生木材	t	1,000	2,000																																																																																																																					
p. 環 18-1-1 表 18-1-2 建設工事に伴う発生箇所ごとの副産物発生量	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">発生箇所</th> <th colspan="5">発生量(万 m<sup>3</sup>)</th> </tr> <tr> <th>建設発生土</th> <th>建設汚泥</th> <th>コンクリート塊</th> <th colspan="2">アスファルト・コンクリート塊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>港区港南</td> <td>150</td> <td>30</td> <td>9</td> <td>—</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>品川区北品川</td> <td>30</td> <td>150</td> <td>2</td> <td>58</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>大田区東雪谷</td> <td>—</td> <td>11</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>町田市船橋ヶ谷</td> <td>—</td> <td>11</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>町田市小野塚町</td> <td>—</td> <td>254</td> <td>—</td> <td>68</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>町田市上小山田町</td> <td>—</td> <td>11</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>170</td> <td>430</td> <td>11</td> <td>150</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>800</td> <td>181</td> <td>—</td> <td>4.2</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table>	発生箇所	発生量(万 m <sup>3</sup> )					建設発生土	建設汚泥	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊		港区港南	150	30	9	—	4	品川区北品川	30	150	2	58	—	大田区東雪谷	—	11	—	8	—	町田市船橋ヶ谷	—	11	—	8	—	町田市小野塚町	—	254	—	68	—	町田市上小山田町	—	11	—	8	—	計	170	430	11	150	4	合計	800	181	—	4.2	1.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">発生箇所</th> <th colspan="5">発生量</th> </tr> <tr> <th>建設発生土</th> <th>建設汚泥</th> <th>コンクリート塊</th> <th colspan="2">アスファルト・コンクリート塊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>港区港南</td> <td>150</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>—</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>品川区北品川</td> <td>20</td> <td>120</td> <td>2</td> <td>57</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>大田区東雪谷</td> <td>—</td> <td>12</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>町田市船橋ヶ谷</td> <td>—</td> <td>11</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>町田市小野塚町</td> <td>—</td> <td>250</td> <td>—</td> <td>68</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>町田市上小山田町</td> <td>—</td> <td>11</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>170</td> <td>430</td> <td>11</td> <td>149</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>800</td> <td>181</td> <td>—</td> <td>4.2</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table>	発生箇所	発生量					建設発生土	建設汚泥	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊		港区港南	150	20	9	—	4	品川区北品川	20	120	2	57	—	大田区東雪谷	—	12	—	2	—	町田市船橋ヶ谷	—	11	—	2	—	町田市小野塚町	—	250	—	68	—	町田市上小山田町	—	11	—	2	—	計	170	430	11	149	4	合計	800	181	—	4.2	1.2
発生箇所	発生量(万 m <sup>3</sup> )																																																																																																																							
	建設発生土	建設汚泥	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊																																																																																																																				
港区港南	150	30	9	—	4																																																																																																																			
品川区北品川	30	150	2	58	—																																																																																																																			
大田区東雪谷	—	11	—	8	—																																																																																																																			
町田市船橋ヶ谷	—	11	—	8	—																																																																																																																			
町田市小野塚町	—	254	—	68	—																																																																																																																			
町田市上小山田町	—	11	—	8	—																																																																																																																			
計	170	430	11	150	4																																																																																																																			
合計	800	181	—	4.2	1.2																																																																																																																			
発生箇所	発生量																																																																																																																							
	建設発生土	建設汚泥	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊																																																																																																																				
港区港南	150	20	9	—	4																																																																																																																			
品川区北品川	20	120	2	57	—																																																																																																																			
大田区東雪谷	—	12	—	2	—																																																																																																																			
町田市船橋ヶ谷	—	11	—	2	—																																																																																																																			
町田市小野塚町	—	250	—	68	—																																																																																																																			
町田市上小山田町	—	11	—	2	—																																																																																																																			
計	170	430	11	149	4																																																																																																																			
合計	800	181	—	4.2	1.2																																																																																																																			
p. 環 18-2-1 (1) 建設発生土	一次処理土の発生率は、これまでの泥水式シールドマシンの施工実績より設定した。	一次処理土の発生率は、(財)下水道新技術推進機構のマニュアルを参考に設定した。																																																																																																																						

表 12-1(78) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 環 18-2-1 (2) 建設汚泥</p>	<p>地中連続壁の施工に用いる安定液<sup>※3</sup> から発生する廃液の量を算出し、これを建設汚泥の発生量とした。発生量は、掘削断面に地中連続壁の掘削延長及び廃液の発生率を掛けることで算出した。廃液の発生率はこれまでの地中連続壁の施工実績より設定した。</p> <p>また、シールドマシンによる掘削で発生する二次処理土<sup>※2</sup>の量を算出し、建設汚泥の発生量とした。発生量は、掘削断面にトンネル延長及び二次処理土の発生率を掛けることで算出した。二次処理土の発生率は、これまでの泥水式シールドマシンの施工実績より設定した。</p>	<p>地中連続壁の施工に用いる安定液<sup>※3</sup> から発生する廃液の量を算出し、これを建設汚泥の発生量とした。発生量は、掘削断面に地中連続壁の掘削延長及び廃液の発生率を掛けることで算出した。廃液の発生率は、<u>地中連続壁協会の指針を参考に</u>設定した。</p> <p>また、シールドマシンによる掘削で発生する二次処理土<sup>※2</sup>の量を算出し、建設汚泥の発生量とした。発生量は、掘削断面にトンネル延長及び二次処理土の発生率を掛けることで算出した。二次処理土の発生率は、<u>(財)下水道新技術推進機構のマニュアルを参考に</u>設定した。</p>
<p>p. 環 18-2-1 (5) 建設発生木材</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>
<p>p. 環 18-3-1 図 18-3-1-1 建設工事に伴う副産物の一般的な処理・処分の流れ</p>		
<p>p. 環 18-3-2 図 18-3-2-1 施設の供用に伴う廃棄物の一般的な処理・処分の流れ</p>		
<p>p. 環 18-4-1~2 18-4 建設発生土の有効利用について</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>



表 12-1 (80) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>p. 環 19-1-1~6 表 19-1-1(1)~(6) 軽油を燃料とする建設機械の稼働に用いた原単位</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">建設機械等</th> <th>定格出力 (kW)</th> <th>運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)</th> <th>運転1時間あたり燃料消費量 (L/h)</th> <th>平均稼働率</th> <th>CO<sub>2</sub>排出係数 (kgCO<sub>2</sub>/L)</th> <th>N<sub>2</sub>O排出係数 (kgN<sub>2</sub>O/L)</th> <th>地球温暖化係数 (N<sub>2</sub>O)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大型ブローカー</td><td>1,300kg級</td><td>軽油</td><td>104</td><td>0.175</td><td>18.29</td><td>0.725</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>モーダークラシエーター</td><td>3.1m</td><td>軽油</td><td>85</td><td>0.108</td><td>9.18</td><td>0.679</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>タイヤローラー</td><td>8~20t</td><td>軽油</td><td>71</td><td>0.100</td><td>7.10</td><td>0.679</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>ロードローラー</td><td>10~12t</td><td>軽油</td><td>56</td><td>0.108</td><td>6.05</td><td>0.643</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>ロードローラー</td><td>13~14t</td><td>軽油</td><td>56</td><td>0.108</td><td>6.05</td><td>0.643</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>振動ローラー</td><td>3~4t</td><td>軽油</td><td>29</td><td>0.152</td><td>3.94</td><td>0.590</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>コンクリートポンプ車</td><td>90~110m<sup>3</sup>/h</td><td>軽油</td><td>199</td><td>0.078</td><td>15.52</td><td>0.857</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>アスファルトフィニッシャー</td><td>2.4~6.0m</td><td>軽油</td><td>70</td><td>0.152</td><td>10.64</td><td>0.625</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> </tbody> </table>	建設機械等		定格出力 (kW)	運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)	運転1時間あたり燃料消費量 (L/h)	平均稼働率	CO <sub>2</sub> 排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	N <sub>2</sub> O排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	地球温暖化係数 (N <sub>2</sub> O)	大型ブローカー	1,300kg級	軽油	104	0.175	18.29	0.725	2.58	0.000064	310	モーダークラシエーター	3.1m	軽油	85	0.108	9.18	0.679	2.58	0.000064	310	タイヤローラー	8~20t	軽油	71	0.100	7.10	0.679	2.58	0.000064	310	ロードローラー	10~12t	軽油	56	0.108	6.05	0.643	2.58	0.000064	310	ロードローラー	13~14t	軽油	56	0.108	6.05	0.643	2.58	0.000064	310	振動ローラー	3~4t	軽油	29	0.152	3.94	0.590	2.58	0.000064	310	コンクリートポンプ車	90~110m <sup>3</sup> /h	軽油	199	0.078	15.52	0.857	2.58	0.000064	310	アスファルトフィニッシャー	2.4~6.0m	軽油	70	0.152	10.64	0.625	2.58	0.000064	310	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">建設機械等</th> <th>定格出力 (kW)</th> <th>運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)</th> <th>運転1時間あたり燃料消費量 (L/h)</th> <th>平均稼働率</th> <th>CO<sub>2</sub>排出係数 (kgCO<sub>2</sub>/L)</th> <th>N<sub>2</sub>O排出係数 (kgN<sub>2</sub>O/L)</th> <th>N<sub>2</sub>O地球温暖化係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>保守用車</td><td>32~37t級 (12.5m幅)</td><td>軽油</td><td>361</td><td>0.085</td><td>30.94</td><td>0.823</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>24</td><td>軽油</td><td>137</td><td>0.08</td><td>6.85</td><td>0.592</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>38t</td><td>軽油</td><td>92</td><td>0.085</td><td>7.82</td><td>0.738</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>42t</td><td>軽油</td><td>42</td><td>0.089</td><td>3.74</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>42t</td><td>軽油</td><td>42</td><td>0.089</td><td>3.74</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>50t</td><td>軽油</td><td>112</td><td>0.089</td><td>9.97</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>50t</td><td>軽油</td><td>132</td><td>0.089</td><td>11.75</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>60t</td><td>軽油</td><td>166</td><td>0.089</td><td>14.77</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>70t</td><td>軽油</td><td>170</td><td>0.089</td><td>15.13</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>75t</td><td>軽油</td><td>212</td><td>0.089</td><td>18.87</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>80t</td><td>軽油</td><td>170</td><td>0.089</td><td>15.13</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>90t</td><td>軽油</td><td>170</td><td>0.089</td><td>15.13</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>100t</td><td>軽油</td><td>201</td><td>0.089</td><td>18.16</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>150t</td><td>軽油</td><td>231</td><td>0.089</td><td>19.67</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>150t</td><td>軽油</td><td>231</td><td>0.089</td><td>20.56</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>200t</td><td>軽油</td><td>235</td><td>0.089</td><td>20.92</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>450t</td><td>軽油</td><td>442</td><td>0.089</td><td>39.37</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>750t</td><td>軽油</td><td>522</td><td>0.089</td><td>46.46</td><td>0.729</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>25t</td><td>軽油</td><td>230</td><td>0.044</td><td>10.22</td><td>0.800</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>45t</td><td>軽油</td><td>249</td><td>0.044</td><td>10.96</td><td>0.800</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 「平成22年環境影響評価法」(「建設用車」日本建設機械業協会)に示された値を用いた。ただし、記載のない機械については規格・規格等が同程度のものを適用した。</p> <p>注2. 運転1時間あたり燃料消費率 (L/h) = 定格出力 (kW) × 運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)。 注3. 平均稼働率 = 年間稼働時間 (時間) / (年間標準稼働日数 (日) × 8時間)。 平均稼働率 = 年間稼働時間 (時間) / (年間標準稼働日数 (日) × 8時間)。 ただし、記載のないものは1.000とした。</p> <p>注4. CO<sub>2</sub>排出係数、及びN<sub>2</sub>O排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」(平成22年政令第20号)附表第1より算出した。</p> <p>注5. N<sub>2</sub>O地球温暖化係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に示された値を用いた。</p>	建設機械等		定格出力 (kW)	運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)	運転1時間あたり燃料消費量 (L/h)	平均稼働率	CO <sub>2</sub> 排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	N <sub>2</sub> O排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	N <sub>2</sub> O地球温暖化係数	保守用車	32~37t級 (12.5m幅)	軽油	361	0.085	30.94	0.823	2.58	0.000064	310	トラクタ	24	軽油	137	0.08	6.85	0.592	2.58	0.000064	310	トラクタ	38t	軽油	92	0.085	7.82	0.738	2.58	0.000064	310	トラクタ	42t	軽油	42	0.089	3.74	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	42t	軽油	42	0.089	3.74	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	50t	軽油	112	0.089	9.97	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	50t	軽油	132	0.089	11.75	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	60t	軽油	166	0.089	14.77	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	70t	軽油	170	0.089	15.13	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	75t	軽油	212	0.089	18.87	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	80t	軽油	170	0.089	15.13	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	90t	軽油	170	0.089	15.13	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	100t	軽油	201	0.089	18.16	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	150t	軽油	231	0.089	19.67	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	150t	軽油	231	0.089	20.56	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	200t	軽油	235	0.089	20.92	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	450t	軽油	442	0.089	39.37	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	750t	軽油	522	0.089	46.46	0.729	2.58	0.000064	310	トラクタ	25t	軽油	230	0.044	10.22	0.800	2.58	0.000064	310	トラクタ	45t	軽油	249	0.044	10.96	0.800	2.58	0.000064	310
建設機械等		定格出力 (kW)	運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)	運転1時間あたり燃料消費量 (L/h)	平均稼働率	CO <sub>2</sub> 排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	N <sub>2</sub> O排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	地球温暖化係数 (N <sub>2</sub> O)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
大型ブローカー	1,300kg級	軽油	104	0.175	18.29	0.725	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
モーダークラシエーター	3.1m	軽油	85	0.108	9.18	0.679	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
タイヤローラー	8~20t	軽油	71	0.100	7.10	0.679	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ロードローラー	10~12t	軽油	56	0.108	6.05	0.643	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ロードローラー	13~14t	軽油	56	0.108	6.05	0.643	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
振動ローラー	3~4t	軽油	29	0.152	3.94	0.590	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
コンクリートポンプ車	90~110m <sup>3</sup> /h	軽油	199	0.078	15.52	0.857	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
アスファルトフィニッシャー	2.4~6.0m	軽油	70	0.152	10.64	0.625	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
建設機械等		定格出力 (kW)	運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)	運転1時間あたり燃料消費量 (L/h)	平均稼働率	CO <sub>2</sub> 排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	N <sub>2</sub> O排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	N <sub>2</sub> O地球温暖化係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
保守用車	32~37t級 (12.5m幅)	軽油	361	0.085	30.94	0.823	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	24	軽油	137	0.08	6.85	0.592	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	38t	軽油	92	0.085	7.82	0.738	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	42t	軽油	42	0.089	3.74	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	42t	軽油	42	0.089	3.74	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	50t	軽油	112	0.089	9.97	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	50t	軽油	132	0.089	11.75	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	60t	軽油	166	0.089	14.77	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	70t	軽油	170	0.089	15.13	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	75t	軽油	212	0.089	18.87	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	80t	軽油	170	0.089	15.13	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	90t	軽油	170	0.089	15.13	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	100t	軽油	201	0.089	18.16	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	150t	軽油	231	0.089	19.67	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	150t	軽油	231	0.089	20.56	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	200t	軽油	235	0.089	20.92	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	450t	軽油	442	0.089	39.37	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	750t	軽油	522	0.089	46.46	0.729	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	25t	軽油	230	0.044	10.22	0.800	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	45t	軽油	249	0.044	10.96	0.800	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">建設機械等</th> <th>定格出力 (kW)</th> <th>運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)</th> <th>運転1時間あたり燃料消費量 (L/h)</th> <th>平均稼働率</th> <th>CO<sub>2</sub>排出係数 (kgCO<sub>2</sub>/L)</th> <th>N<sub>2</sub>O排出係数 (kgN<sub>2</sub>O/L)</th> <th>N<sub>2</sub>O地球温暖化係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>トラクタ</td><td>50t</td><td>軽油</td><td>250</td><td>0.044</td><td>11.00</td><td>0.800</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>100t</td><td>軽油</td><td>134</td><td>0.044</td><td>5.90</td><td>0.800</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>100t</td><td>軽油</td><td>134</td><td>0.044</td><td>5.90</td><td>0.800</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>150t</td><td>軽油</td><td>147</td><td>0.044</td><td>6.47</td><td>0.800</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>150t</td><td>軽油</td><td>184</td><td>0.044</td><td>8.10</td><td>0.800</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>160t</td><td>軽油</td><td>184</td><td>0.044</td><td>8.10</td><td>0.800</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>200t</td><td>軽油</td><td>191</td><td>0.044</td><td>8.40</td><td>0.847</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>12t</td><td>軽油</td><td>129</td><td>0.103</td><td>13.29</td><td>0.721</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>12t</td><td>軽油</td><td>140</td><td>0.103</td><td>14.42</td><td>0.721</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>15t</td><td>軽油</td><td>140</td><td>0.103</td><td>14.42</td><td>0.721</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>15t</td><td>軽油</td><td>140</td><td>0.103</td><td>14.42</td><td>0.721</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>193</td><td>軽油</td><td>193</td><td>0.103</td><td>19.88</td><td>0.721</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>193</td><td>軽油</td><td>193</td><td>0.103</td><td>19.88</td><td>0.721</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> <tr><td>トラクタ</td><td>200</td><td>軽油</td><td>200</td><td>0.103</td><td>20.60</td><td>0.721</td><td>2.58</td><td>0.000064</td><td>310</td></tr> </tbody> </table> <p>注1. 「平成22年環境影響評価法」(「建設用車」日本建設機械業協会)に示された値を用いた。ただし、記載のない機械については規格・規格等が同程度のものを適用した。</p> <p>注2. 運転1時間あたり燃料消費率 (L/h) = 定格出力 (kW) × 運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)。 注3. 平均稼働率 = 年間稼働時間 (時間) / (年間標準稼働日数 (日) × 8時間)。 平均稼働率 = 年間稼働時間 (時間) / (年間標準稼働日数 (日) × 8時間)。 ただし、記載のないものは1.000とした。</p> <p>注4. CO<sub>2</sub>排出係数、及びN<sub>2</sub>O排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」(平成22年政令第20号)附表第1より算出した。</p> <p>注5. N<sub>2</sub>O地球温暖化係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に示された値を用いた。</p>	建設機械等		定格出力 (kW)	運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)	運転1時間あたり燃料消費量 (L/h)	平均稼働率	CO <sub>2</sub> 排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	N <sub>2</sub> O排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	N <sub>2</sub> O地球温暖化係数	トラクタ	50t	軽油	250	0.044	11.00	0.800	2.58	0.000064	310	トラクタ	100t	軽油	134	0.044	5.90	0.800	2.58	0.000064	310	トラクタ	100t	軽油	134	0.044	5.90	0.800	2.58	0.000064	310	トラクタ	150t	軽油	147	0.044	6.47	0.800	2.58	0.000064	310	トラクタ	150t	軽油	184	0.044	8.10	0.800	2.58	0.000064	310	トラクタ	160t	軽油	184	0.044	8.10	0.800	2.58	0.000064	310	トラクタ	200t	軽油	191	0.044	8.40	0.847	2.58	0.000064	310	トラクタ	12t	軽油	129	0.103	13.29	0.721	2.58	0.000064	310	トラクタ	12t	軽油	140	0.103	14.42	0.721	2.58	0.000064	310	トラクタ	15t	軽油	140	0.103	14.42	0.721	2.58	0.000064	310	トラクタ	15t	軽油	140	0.103	14.42	0.721	2.58	0.000064	310	トラクタ	193	軽油	193	0.103	19.88	0.721	2.58	0.000064	310	トラクタ	193	軽油	193	0.103	19.88	0.721	2.58	0.000064	310	トラクタ	200	軽油	200	0.103	20.60	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																					
建設機械等		定格出力 (kW)	運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)	運転1時間あたり燃料消費量 (L/h)	平均稼働率	CO <sub>2</sub> 排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	N <sub>2</sub> O排出係数 (kgN <sub>2</sub> O/L)	N <sub>2</sub> O地球温暖化係数																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
トラクタ	50t	軽油	250	0.044	11.00	0.800	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	100t	軽油	134	0.044	5.90	0.800	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	100t	軽油	134	0.044	5.90	0.800	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	150t	軽油	147	0.044	6.47	0.800	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	150t	軽油	184	0.044	8.10	0.800	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	160t	軽油	184	0.044	8.10	0.800	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	200t	軽油	191	0.044	8.40	0.847	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	12t	軽油	129	0.103	13.29	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	12t	軽油	140	0.103	14.42	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	15t	軽油	140	0.103	14.42	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	15t	軽油	140	0.103	14.42	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	193	軽油	193	0.103	19.88	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	193	軽油	193	0.103	19.88	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
トラクタ	200	軽油	200	0.103	20.60	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

表 12-1(81) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書																																																																																																																																															
<p>p. 環 19-1-1~6 表 19-1-1(1)~(6) 軽油を燃料とする建設機械の稼働に用いた原単位</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機械名</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">燃料</th> <th rowspan="2">定額出力 (kW)</th> <th>運転1時間あたり</th> <th>運転1時間あたり</th> <th rowspan="2">定額燃費 (L/h)</th> <th rowspan="2">CO<sub>2</sub>排出係数 (kgCO<sub>2</sub>/L)</th> <th rowspan="2">NO<sub>x</sub>排出係数 (kgNO<sub>x</sub>/L)</th> <th rowspan="2">NO<sub>x</sub>換算係数</th> </tr> <tr> <th>燃料消費量 (L/h)</th> <th>燃料消費量 (L/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">クレーン</td> <td rowspan="2">55t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">227</td> <td rowspan="2">0.103</td> <td rowspan="2">24.41</td> <td rowspan="2">0.721</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">50t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">254</td> <td rowspan="2">0.103</td> <td rowspan="2">26.16</td> <td rowspan="2">0.721</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">50t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">254</td> <td rowspan="2">0.103</td> <td rowspan="2">26.16</td> <td rowspan="2">0.721</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">60t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">257</td> <td rowspan="2">0.103</td> <td rowspan="2">26.47</td> <td rowspan="2">0.721</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">60t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">273</td> <td rowspan="2">0.103</td> <td rowspan="2">28.12</td> <td rowspan="2">0.721</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">160t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">257</td> <td rowspan="2">0.103</td> <td rowspan="2">26.47</td> <td rowspan="2">0.721</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">250t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">257</td> <td rowspan="2">0.103</td> <td rowspan="2">26.47</td> <td rowspan="2">0.721</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">250t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">257</td> <td rowspan="2">0.103</td> <td rowspan="2">26.47</td> <td rowspan="2">0.721</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">400t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">257</td> <td rowspan="2">0.103</td> <td rowspan="2">26.47</td> <td rowspan="2">0.721</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">400t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">257</td> <td rowspan="2">0.103</td> <td rowspan="2">26.47</td> <td rowspan="2">0.721</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td>高圧圧入機</td> <td>90</td> <td>軽油</td> <td>96</td> <td>0.040</td> <td>3.84</td> <td>0.650</td> <td>2.58</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>油圧圧入機</td> <td>80-100t</td> <td>軽油</td> <td>95</td> <td>0.145</td> <td>13.78</td> <td>1.000</td> <td>2.58</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>鉄打機</td> <td>160kN</td> <td>軽油</td> <td>107</td> <td>0.085</td> <td>9.10</td> <td>0.775</td> <td>2.58</td> <td>0.000064</td> <td>310</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 「平成25年度建設機械等燃料表」(一般社団法人 日本建設機械工業協会)に示された値を用いた。ただし、当該の機械については規格・性能等別個発表の値を適用した。</p> <p>注2 運転1時間あたり燃料消費量 (L/h) = 定額出力 (kW) × 運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)</p> <p>注3 「平成25年度建設機械等燃料表」に示された値より算出した。</p> <p>注4 CO<sub>2</sub>排出係数、及び NO<sub>x</sub>排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」(平成22年政令第20号)第2表に基づき算出した。</p> <p>注5 NO<sub>x</sub>換算係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に示された値を用いた。</p>	機械名	種類	燃料	定額出力 (kW)	運転1時間あたり	運転1時間あたり	定額燃費 (L/h)	CO <sub>2</sub> 排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	NO <sub>x</sub> 排出係数 (kgNO <sub>x</sub> /L)	NO <sub>x</sub> 換算係数	燃料消費量 (L/h)	燃料消費量 (L/h)	クレーン	55t	軽油	227	0.103	24.41	0.721	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	50t	軽油	254	0.103	26.16	0.721	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	50t	軽油	254	0.103	26.16	0.721	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	60t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	60t	軽油	273	0.103	28.12	0.721	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	160t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	250t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	250t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	400t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	400t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	高圧圧入機	90	軽油	96	0.040	3.84	0.650	2.58	0.000064	310	油圧圧入機	80-100t	軽油	95	0.145	13.78	1.000	2.58	0.000064	310	鉄打機	160kN	軽油	107	0.085	9.10	0.775	2.58	0.000064	310
機械名	種類	燃料					定額出力 (kW)	運転1時間あたり					運転1時間あたり	定額燃費 (L/h)											CO <sub>2</sub> 排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)										NO <sub>x</sub> 排出係数 (kgNO <sub>x</sub> /L)										NO <sub>x</sub> 換算係数																																																																																																				
			燃料消費量 (L/h)	燃料消費量 (L/h)																																																																																																																																													
クレーン	55t	軽油	227	0.103	24.41	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
	50t	軽油	254	0.103	26.16	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
	50t	軽油	254	0.103	26.16	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
	60t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
	60t	軽油	273	0.103	28.12	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
	160t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
250t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																									
									(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																								
250t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																									
									(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																								
400t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																									
									(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																								
400t	軽油	257	0.103	26.47	0.721	2.58	0.000064	310																																																																																																																																									
									(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																								
高圧圧入機	90	軽油	96	0.040	3.84	0.650	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
油圧圧入機	80-100t	軽油	95	0.145	13.78	1.000	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
鉄打機	160kN	軽油	107	0.085	9.10	0.775	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機械名</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">燃料</th> <th rowspan="2">定額出力 (kW)</th> <th>運転1時間あたり</th> <th>運転1時間あたり</th> <th rowspan="2">定額燃費 (L/h)</th> <th rowspan="2">CO<sub>2</sub>排出係数 (kgCO<sub>2</sub>/L)</th> <th rowspan="2">NO<sub>x</sub>排出係数 (kgNO<sub>x</sub>/L)</th> <th rowspan="2">NO<sub>x</sub>換算係数</th> </tr> <tr> <th>燃料消費量 (L/h)</th> <th>燃料消費量 (L/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">クレーン式鉄打機</td> <td rowspan="2">50t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">227</td> <td rowspan="2">0.085</td> <td rowspan="2">7.82</td> <td rowspan="2">0.775</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モーターブレード</td> <td rowspan="2">3.1t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">25</td> <td rowspan="2">0.108</td> <td rowspan="2">9.18</td> <td rowspan="2">0.678</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">タイヤロープ</td> <td rowspan="2">8-20t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">21</td> <td rowspan="2">0.100</td> <td rowspan="2">7.10</td> <td rowspan="2">0.678</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロードローラ</td> <td rowspan="2">10-12t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">56</td> <td rowspan="2">0.108</td> <td rowspan="2">6.05</td> <td rowspan="2">0.643</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3-4t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">26</td> <td rowspan="2">0.108</td> <td rowspan="2">6.05</td> <td rowspan="2">0.643</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">駆動ローラ</td> <td rowspan="2">3-4t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">20</td> <td rowspan="2">0.152</td> <td rowspan="2">3.04</td> <td rowspan="2">0.590</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリートポンプ車</td> <td rowspan="2">90-110m<sup>3</sup>/h</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">199</td> <td rowspan="2">0.078</td> <td rowspan="2">15.52</td> <td rowspan="2">0.857</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アスファルトアイニシス</td> <td rowspan="2">2.4-6.0t</td> <td rowspan="2">軽油</td> <td rowspan="2">70</td> <td rowspan="2">0.152</td> <td rowspan="2">10.64</td> <td rowspan="2">0.625</td> <td rowspan="2">2.58</td> <td rowspan="2">0.000064</td> <td rowspan="2">310</td> </tr> <tr> <td>(三本排出ガス計測時)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1 「平成25年度建設機械等燃料表」(一般社団法人 日本建設機械工業協会)に示された値を用いた。ただし、当該の機械については規格・性能等別個発表の値を適用した。</p> <p>注2 運転1時間あたり燃料消費量 (L/h) = 定額出力 (kW) × 運転1時間あたり燃料消費率 (L/kWh)</p> <p>注3 「平成25年度建設機械等燃料表」に示された値より算出した。</p> <p>注4 CO<sub>2</sub>排出係数、及び NO<sub>x</sub>排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」(平成22年政令第20号)第2表に基づき算出した。</p> <p>注5 NO<sub>x</sub>換算係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に示された値を用いた。</p>	機械名	種類	燃料	定額出力 (kW)	運転1時間あたり	運転1時間あたり	定額燃費 (L/h)	CO <sub>2</sub> 排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)	NO <sub>x</sub> 排出係数 (kgNO <sub>x</sub> /L)	NO <sub>x</sub> 換算係数	燃料消費量 (L/h)	燃料消費量 (L/h)	クレーン式鉄打機	50t	軽油	227	0.085	7.82	0.775	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	モーターブレード	3.1t	軽油	25	0.108	9.18	0.678	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	タイヤロープ	8-20t	軽油	21	0.100	7.10	0.678	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	ロードローラ	10-12t	軽油	56	0.108	6.05	0.643	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	3-4t	軽油	26	0.108	6.05	0.643	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	駆動ローラ	3-4t	軽油	20	0.152	3.04	0.590	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	コンクリートポンプ車	90-110m <sup>3</sup> /h	軽油	199	0.078	15.52	0.857	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)	アスファルトアイニシス	2.4-6.0t	軽油	70	0.152	10.64	0.625	2.58	0.000064	310	(三本排出ガス計測時)																																												
機械名	種類	燃料					定額出力 (kW)	運転1時間あたり					運転1時間あたり	定額燃費 (L/h)											CO <sub>2</sub> 排出係数 (kgCO <sub>2</sub> /L)											NO <sub>x</sub> 排出係数 (kgNO <sub>x</sub> /L)											NO <sub>x</sub> 換算係数																																																																																																		
			燃料消費量 (L/h)	燃料消費量 (L/h)																																																																																																																																													
クレーン式鉄打機	50t	軽油	227	0.085	7.82	0.775	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
モーターブレード	3.1t	軽油	25	0.108	9.18	0.678	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
タイヤロープ	8-20t	軽油	21	0.100	7.10	0.678	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
ロードローラ	10-12t	軽油	56	0.108	6.05	0.643	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
3-4t	軽油	26	0.108	6.05	0.643	2.58	0.000064	310																																																																																																																																									
									(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																								
駆動ローラ	3-4t	軽油	20	0.152	3.04	0.590	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	90-110m <sup>3</sup> /h	軽油	199	0.078	15.52	0.857	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							
アスファルトアイニシス	2.4-6.0t	軽油	70	0.152	10.64	0.625	2.58	0.000064	310																																																																																																																																								
										(三本排出ガス計測時)																																																																																																																																							

表 12-1 (82) 環境影響評価準備書からの主な相違点

評価書の該当箇所	環境影響評価準備書	環境影響評価書
<p>p. 環 19-1-7 表 19-1-2 地下駅工事における建設機械の稼働に用いた内訳</p> <p>表 19-1-3 シールドトンネル工事における建設機械の稼働に用いた内訳（泥水圧式シールド工法）</p> <p>表 19-1-4 非常口工事における建設機械の稼働に用いた内訳</p>	<p>—</p>	<p>注1. 「CO<sub>2</sub>排出係数」は、電気使用者別 CO<sub>2</sub>排出係数（2011年度実績）の東京電力株式会社の値を用いた。</p>
<p>p. 環 19-2-1 19-2 鉄道施設（駅、換気施設）の温室効果ガス排出量</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>
<p>p. 環 19-3-1 19-3 列車の走行に伴う温室効果ガス排出量</p>	<p>列車走行に伴う温室効果ガス排出量については、東京都～大阪府間で全線開業時に、開業前と同程度の排出量となる。以下に算出根拠を示す。</p>	<p>中央新幹線の開業に伴う環境への効果としては、国土交通省の交通政策審議会の第9回中央新幹線小委員会において、2027年の名古屋までの開業及び2045年の全線開業を前提として環境等改善便益として11億円と算定されている。これに関わるものとして、東京都～大阪府間の中央新幹線の列車の走行に伴う温室効果ガス排出量について検討を行った。以下に算出結果を示す。</p>
<p>p. 環 19-3-6～8 19-3-2 名古屋開業時</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>
<p>p. 環 19-3-9～12 19-3-3 列車の走行に伴う温室効果ガス排出量の原単位について</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>
<p>p. 環 19-3-13 19-3-4 他のケースにおける CO<sub>2</sub> 排出量及び CO<sub>2</sub> 排出割合について</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>
<p>p. 環 20-1 20 モニタリング等について</p>	<p>—</p>	<p>追記</p>

別表 1		環境影響評価準備書				環境影響評価書			
	種名	確認例数				確認例数			
		変更の可能性がある範囲	変更の可能性がある範囲の近傍	相当離れた地域	合計	変更の可能性がある範囲	変更の可能性がある範囲の近傍	相当離れた地域	合計
p. 8-4-1-41 ～61 表 8-4-1-30 重要な鳥類 の予測結果	(1) キジ	1	7	7	15	1	8	2	11
	(5) コサギ	-	2	2	4	-	2	1	3
	(8) ホトトギス	-	5	15	20	-	7	7	14
	(12) トビ	-	-	-	139	-	-	-	109
	(13) ツミ	-	-	-	101	-	-	-	99
	(14) ハイタカ	-	-	-	133	-	-	-	130
	(15) オオタカ	-	-	-	728	-	-	-	724
	(17) ノスリ	-	-	-	176	-	-	-	180
	(18) フクロウ	1	-	8	9	1	-	2	3
	(19) カワセミ	-	2	13	15	2	1	8	11
	(20) アカゲラ	-	2	3	5	1	1	1	3
	(21) アオゲラ	-	2	20	22	-	4	12	16
	(22) チョウゲンボウ	-	-	-	69	-	-	-	68
	(26) モズ	-	14	39	53	2	13	14	29
	(29) ツバメ	2	8	30	40	2	8	15	25
	(30) ウグイス	3	22	90	100 以上	4	24	44	72
	(32) センダイムシクイ	-	-	6	6	-	-	4	4
	(35) オオルリ	-	-	2	2	-	-	1	1
(37) セグロセキレイ	-	4	18	22	2	4	5	11	
(40) ウソ	-	6	9	15	-	8	2	10	

別表 2		環境影響評価準備書				環境影響評価書			
	種名	変更の可能性がある範囲	変更の可能性がある範囲の近傍	相当離れた地域	合計	変更の可能性がある範囲	変更の可能性がある範囲の近傍	相当離れた地域	合計
		地点数 個体数	地点数 個体数	地点数 個体数	地点数 個体数	地点数 個体数	地点数 個体数	地点数 個体数	地点数 個体数
p. 8-4-1-64 ~ 65 表 8-4-1-31 重要な爬虫類 の予測結果	(4) ニホンカナヘビ	-	1 地点 1 個体	8 地点 9 個体	9 地点 10 個体	-	3 地点 3 個体	6 地点 7 個体	9 地点 10 個体
	(5) アオダイショウ	-	-	2 地点 2 個体	2 地点 2 個体	-	1 地点 1 個体	1 地点 1 個体	2 地点 2 個体
p. 8-4-1-67 ~ 69 表 8-4-1-32 重要な両生類 の予測結果	(1) アカハライモリ	-	-	5 地点 12 個体	5 地点 12 個体	-	1 地点 2 個体	4 地点 10 個体	5 地点 12 個体
	(2) ニホンアマガエル	-	5 地点 100 個体以上	8 地点 100 個体以上	13 地点 100 個体以上	-	6 地点 100 個体以上	7 地点 100 個体以上	13 地点 100 個体以上
	(5) ヤマアカガエル	-	-	18 地点 100 個体以上	18 地点 100 個体以上	-	1 地点 4 個体	17 地点 100 個体以上	18 地点 100 個体以上
	(6) シュレーゲルアオガエル	-	-	14 地点 100 個体以上	14 地点 100 個体以上	-	1 地点 1 個体	13 地点 100 個体以上	14 地点 100 個体以上
p. 8-4-1-74 ~ 76 表 8-4-1-33 重要な昆虫類 の予測結果	(12) ショウリョウバッタモドキ	-	-	10 地点 16 個体	10 地点 16 個体	-	1 地点 2 個体	9 地点 14 個体	10 地点 16 個体
	(17) オオイシアブ	-	-	1 地点 1 個体	1 地点 1 個体	-	1 地点 1 個体	-	1 地点 1 個体
p. 8-4-1-78 表 8-4-1-34 重要な魚類の 予測結果	(4) メダガ南日本 集団	-	3 地点 10 個体	8 地点 23 個体	11 地点 33 個体	-	3 地点 10 個体	8 地点 33 個体	11 地点 43 個体